

東宮遺跡 (4)

八ッ場ダム建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第53集

2018

国 土 交 通 省
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

東宮遺跡(4)

八ッ場ダム建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第53集

2018

国 土 交 通 省
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

序

八ッ場ダムは、治水・利水・発電を行う多目的ダムとして計画され、吾妻郡長野原町を中心に工事が進められてきました。八ッ場ダムの建設に伴う埋蔵文化財発掘調査は、当事業団が平成6年度から実施し、本年度で24年目を迎えました。

東宮遺跡は、平成7・9・19～21・26年度の発掘調査により、天明三(1783)年の浅間山噴火に伴い発生した天明泥流で被災した村が、これまでに例のないほど極めて良好な遺存状態で確認されました。それらの調査成果はすでに刊行された報告書により明らかになっています。本報告書は、それに続く平成27・28年度の発掘調査成果のうち、天明泥流で埋もれた旧川原畑村周辺に広がる畑や道路、中世から近世にかけての掘立柱建物・溝・土坑群を報告します。東宮遺跡の発掘調査は継続的に行われていますが、これら調査成果により近世山村集落の全貌が明らかになることと思われます。

発掘調査から報告書の刊行に至るまで、国土交通省八ッ場ダム工事事務所、群馬県教育委員会および長野原町教育委員会をはじめとする関係機関や地元関係者の皆様には、多大なるご尽力を賜りました。本報告書を上梓するにあたり、衷心より感謝申し上げます。

平成30年3月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 中野三智男

例 言

1. 本書は、ハツ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査として平成27・28年に実施された「東宮遺跡」の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 東宮遺跡は、平成7・9・19・20・21・26年度に発掘調査され、発掘調査報告書『ハツ場ダム発掘調査集成(1)』、『東宮遺跡(1)』～『東宮遺跡(3)』が刊行されている。本報告書は平成27・28年度に発掘調査された範囲のうち主に中近世以降の報告で『東宮遺跡(4)』にあたる。

3. 遺跡の呼称および所在地

東宮遺跡は、群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑地内に所在する。

地番は、377-2、甲378、382-1、382-6、383-1、383-5、384-1、385-1、385-4、386、甲386、392-1、392-4、392-5、393-1、393-6、394-6、395-1、395-2、395-3、395-4、395-5、396-1、396-3、396-4、甲396、397、397-1、甲397-2、乙397、398、399-1、400-1、401-2、435-2、436-1、436-2、441-1、441-3、441-4他である。

4. 事業主体 国土交通省関東地方整備局
5. 調査主体 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
6. 発掘事業及び整理事業の期間

- (1) 発掘事業

平成27年度

履行期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日

調査期間 平成27年6月1日～平成27年6月30日

調査担当 関俊明(主任調査研究員)、小野隆(主任調査研究員)、藤井義徳(主任調査研究員)、小林茂夫(主任調査研究員)

調査面積 800㎡

遺跡掘削工事請負 シン技術・毛野・山下工業 吾妻地区埋蔵文化財掘削工事経常共同企業体

平成28年度

履行期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

調査期間 平成28年4月1日～平成28年12月31日

調査担当 石坂聡(主任調査研究員)、飛田野正佳(専門調査役)

調査面積 13,053㎡

遺跡掘削工事請負 測研・技研・瑞穂建設 吾妻地区埋蔵文化財掘削工事経常共同企業体

- (2) 整理事業

履行期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

整理期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

整理担当 田村博(主任調査研究員)

7. 本書作成の担当者は以下のとおりである。

編集 田村博(主任調査研究員)

本文執筆 第1章・第2章第1節・第2章第2節2～3：中沢悟(専門調査役)・田村博、

第4章第1節：田村博・関邦一(専門調査役)、第4章第2節：別記委託、前記以外：田村博

デジタル編集 齊田智彦(主任調査研究員・資料統括)

遺構写真 発掘調査担当

遺物写真 石器・石製品：津島秀章(資料2課長(総括))、縄文土器：石坂茂(専門調査役)、

陶磁器：徳江秀夫(専門調査役)、金属器：板垣泰之(専門員)、木製品：関邦一

遺物観察 石器・石製品：津島秀章、縄文土器：石坂茂、陶磁器：徳江秀夫、金属器：板垣泰之、木製品：関邦一

保存処理 板垣泰之・関邦一

8. 発掘調査および整理事業での委託は以下のとおりである。





地上測量委託 株式会社測研

空中写真撮影委託 技研コンサル株式会社

人骨分析委託 横崎修一郎(大妻女子大学博物館)

9. 石材の同定は、飯島静男(群馬地質研究会)に依頼した。
10. 発掘調査および報告書の作成にあたり群馬県教育委員会事務局文化財保護課、長野原町教育委員会事務局のご指導とご助言を得た。
11. 発掘調査の記録資料と出土遺物は、群馬県埋蔵文化財調査センターで保管している。

凡 例

1. 本書で使用した座標値および方位は、日本測地系、平面直角座標系第IX系を用い、座標北で示した。
2. 等高線・遺構断面図等に記した数値は、海拔標高を示す。
3. 本報告書における遺構等の略称は以下の通り。
屋…屋敷、竪…竪穴状遺構、掘…掘立柱建物、柵…柵、籬…籬壇状遺構、畑…畑、平…平坦面、耕…耕作痕群、
復…復旧溝群、道…道路、積…石積遺構、溝…溝、集…集石遺構、井…井戸、墓…墓坑、坑…土坑、焼坑…焼土土坑、
P…ピット、遺…遺物集中部、不…不明遺構、焼…焼土、カ…カクラン…攪乱、外…遺構外、人…人骨、馬…馬骨、
住…竪穴住居、敷…敷石住居、列…列石(石列)、環状列石…環、トレ…トレンチ。
4. 遺構図・遺物図については原則下記の縮尺で掲載した。但し、遺構・遺物によってはこの限りではない。また、遺物写真の縮尺は、実測図と同一の縮尺を原則とした。
遺構図：全体図1/400、畑・耕・復1/200(平)・1/160(断)、道・積1/200(平)・1/100(平)・1/40(断)、溝1/80(平)・
1/80(平)・1/40(断)、竪・掘・柵・籬1/60、その他1/40
遺物図：土器・陶磁器1/3、石器・石製品1/4、銭貨1/1
5. 遺構番号は、調査時の番号を用いた。そのため、遺構番号は「東宮遺跡(3)」以前の遺構番号とは連続していない。
遺物番号は、種別に限らず遺構毎に通し番号とした。
6. 本書の遺構図に使用したスクリーントーン表現は、次のことを示す。
平面図 焼土  As-A  礎  炭化物 
7. 遺構平面図中の遺物記号は、次のことを示す。
●…土器・陶磁器 ○…土製品 ▲…石器・石製品 ■…鉄・金属製品 □…木製品・炭化材
8. 遺構の計測は、全容が計測できない遺構について残存値()で表記してある。なお、畑の計測では、畝間から隣の畝間までの間を畝サク間隔として計測した。
9. 本遺跡で検出された畑の畝間を埋めている浅間A軽石(As-A)は、天明3(1783)年の浅間山噴出軽石の略である。また、「天明3年泥流」あるいは「天明泥流」は、天明3年7月8日(新暦8月5日)の浅間山噴火に伴う泥流堆積物の略称である。
10. 遺物観察表での表現および記載法は、以下の通りである。
 - ・遺物観察表は遺構毎とした。
 - ・遺物計測位置の表現は、陶磁器類は口径：口、底径・高台径：底、器高：高と略記し、他の遺物についても長さ：長、幅、厚さ：厚、高さ：高、外径：径、孔径：孔、重さ：重と略記した。また、銭貨の内輪径は、孔と略記した。
 - ・計測値の単位はcmとし、重量はgで表記している。また、欠損した遺物の計測値には、()で現存値を記した。
 - ・建築材を含めた木製品類の樹種同定は、掲載遺物全体には及んでいない。

目 次

序
例言
凡例

目次
挿図目次
表目次
本文中写真目次
写真図版目次

第1章 調査の方法と経過	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査の方針・方法・経過	2
1 調査の方針	2
2 発掘調査の方法	2
3 調査の経過	2
第3節 調査区の概要	2
1 調査区の設定	3
2 調査前の状況	5
3 基本土層	6
全体図	8
第2章 遺跡の環境	16
第1節 地理的環境	16
第2節 歴史的環境	18
1 周辺の遺跡	18
2 川原細村の概要・変遷	18
3 川原細村と交通	23
第3章 発見された遺構と遺物	24
第1節 V～VII区第1面から発見された遺構と遺物	24
1 V区第1面から発見された遺構と遺物	24
2 VI区第1面から発見された遺構と遺物	43
3 VII区第1面から発見された遺構と遺物	48

第2節	V・VI区第2面から発見された遺構と遺物	52
1	V区第2面から発見された遺構と遺物	52
2	VI区第2面から発見された遺構と遺物	176
第3節	遺構外から発見された遺物	180
第4節	補遺	184
第4章	自然科学分析	185
第1節	東宮遺跡V区1号井戸樹種同定	185
第2節	東宮遺跡V区出土人骨	187
第5章	調査の成果とまとめ	191
1	V～VII区第1面	191
2	V・VI区第2面	192
	遺物観察表	193

写真図版

報告書抄録

付図 1枚

挿図目次

第1図 調査区設定図(長野原町1/2500「長野原都市計画図」平成18年発行を使用).....	3	第66図 V区土坑・ビット群(1).....	115
第2図 基本土層図.....	7	第67図 V区土坑・ビット群(2)その1.....	116
第3図 V区第1面全体図(1).....	8	第68図 V区土坑・ビット群(2)その2.....	117
第4図 V区第1面全体図(2).....	9	第69図 V区土坑・ビット群(3).....	118
第5図 V区第2面全体図(1).....	10	第70図 V区土坑・ビット群(4).....	119
第6図 V区第2面全体図(2).....	11	第71図 V区土坑・ビット群(5).....	120
第7図 VI区第1面全体図.....	12	第72図 V区土坑・ビット群(6)その1.....	121
第8図 VI区第2面全体図.....	13	第73図 V区土坑・ビット群(6)その2.....	122
第9図 VII区第1面全体図(1).....	14	第74図 V区土坑・ビット群(7).....	123
第10図 VII区第1面全体図(2).....	15	第75図 V区土坑・ビット群(8).....	124
第11図 道路位置図(国土地理院1/20000地勢図「長野」平成18年11月1日発行・1/50000地形図「草津」平成11年1月1日発行を使用).....	17	第76図 V区土坑・ビット群(9)その1.....	125
第12図 周辺道路図(国土地理院1/25000地形図「長野原」平成21年4月1日発行を使用).....	19	第77図 V区土坑・ビット群(9)その2.....	126
第13図 吾妻郡河原畑村(川原畑村)周辺の道と村(天保国絵図「上野国」より作成。第593集「町道路」第76図加筆修正).....	21	第78図 V区土坑・ビット群(10).....	127
第14図 1号堀、1号復旧溝群.....	25	第79図 V区土坑・ビット群(11).....	128
第15図 2～4・7号堀、2号復旧溝群、3号石積遺構(1).....	28	第80図 V区土坑・ビット群(12).....	129
第16図 2～4・7号堀、2号復旧溝群、3号石積遺構(2).....	29	第81図 V区土坑・ビット群(13)その1.....	130
第17図 2～4・7号堀、2号復旧溝群、3号石積遺構(3).....	30	第82図 V区土坑・ビット群(13)その2.....	131
第18図 1・2号平坦面.....	31	第83図 V区土坑・ビット群(14).....	132
第19図 3・4号平坦面.....	32	第84図 V区土坑・ビット群(15).....	133
第20図 5・6号堀(1).....	34	第85図 V区土坑・ビット群(16).....	134
第21図 5・6号堀(2).....	35	第86図 V区土坑・ビット群(17).....	135
第22図 5・6号堀(3).....	36	第87図 V区土坑・ビット群(18).....	136
第23図 5号平坦面.....	36	第88図 V区土坑・ビット群(19).....	137
第24図 1号道路、1号石積遺構.....	37	第89図 V区土坑・ビット群(20)その1.....	138
第25図 2・3号道路、2号石積遺構(1).....	38	第90図 V区土坑・ビット群(20)その2.....	139
第26図 2・3号道路、2号石積遺構(2).....	39	第91図 V区土坑・ビット群(21)その1.....	140
第27図 5号石積遺構(1).....	40	第92図 V区土坑・ビット群(21)その2.....	141
第28図 5号石積遺構(2).....	41	第93図 V区土坑・ビット群(22)その1.....	142
第29図 1号溝.....	42	第94図 V区土坑・ビット群(22)その2.....	143
第30図 4～6号溝.....	43	第95図 V区土坑・ビット群(23).....	144
第31図 8号堀、6号石積遺構、3号復旧溝群(1).....	44	第96図 V区土坑・ビット群(24).....	145
第32図 8号堀、6号石積遺構、3号復旧溝群(2).....	45	第97図 V区土坑・ビット群(25)・(26).....	146
第33図 8号堀、6号石積遺構、3号復旧溝群(3).....	46	第98図 V区土坑・ビット群(27)・(28).....	147
第34図 6～8号平坦面.....	47	第99図 V区土坑・ビット群(29).....	148
第35図 4号道路、7～9号石積遺構(1).....	49	第100図 V区土坑・ビット群(30).....	149
第36図 4号道路、7～9号石積遺構(2).....	50	第101図 V区土坑・ビット群(31).....	150
第37図 4号道路、7～9号石積遺構(3).....	51	第102図 V区土坑・ビット群(32)・(33).....	151
第38図 5号道路.....	52	第103図 V区土坑・ビット群(34)その1.....	152
第39図 1号屋敷.....	53	第104図 V区土坑・ビット群(34)その2.....	153
第40図 1号屋敷母屋・3号独立柱建物(1).....	55	第105図 V区土坑・ビット群(35)・(36).....	154
第41図 1号屋敷・3号独立柱建物(2)・12・13号溝.....	56	第106図 V区土坑・ビット群(37)・(38).....	155
第42図 1号屋敷石垣・4号石積遺構.....	57	第107図 V区土坑・ビット群(39).....	156
第43図 1号屋敷・ビット群(1).....	58	第108図 V区土坑・ビット群(40)その1.....	157
第44図 1号屋敷・ビット群(2).....	59	第109図 V区土坑・ビット群(40)その2.....	158
第45図 1号屋敷・ビット群(3).....	63	第110図 V区土坑・ビット群(41).....	159
第46図 1号屋敷・ビット群(4).....	64	第111図 V区土坑・ビット群(42)・(43).....	160
第47図 1号屋敷・ビット群(5)・26号土坑、1～4号塙土.....	65	第112図 V区土坑・ビット群(44)その1.....	161
第48図 1～3号塙状遺構.....	66	第113図 V区土坑・ビット群(44)その2.....	162
第49図 1号独立柱建物(1).....	68	第114図 V区土坑・ビット群(44)その3.....	163
第50図 1号独立柱建物(2)・2号独立柱建物.....	69	第115図 V区土坑・ビット群(45).....	164
第51図 2・5号堀.....	70	第116図 V区土坑・ビット群(46).....	165
第52図 1号耕作前群.....	71	第117図 V区土坑・ビット群(47).....	166
第53図 2・3・9号溝(1).....	72	第118図 V区土坑・ビット群(48).....	167
第54図 2・3・9号溝(2).....	73	第119図 V区土坑・ビット群(49)・(50).....	168
第55図 9号溝出土遺物.....	74	第120図 V区土坑・ビット群(51).....	169
第56図 10・11号溝.....	75	第121図 V区土坑・ビット群(52).....	170
第57図 14～16号溝、565号ビット.....	76	第122図 V区土坑・ビット群(53).....	171
第58図 18～22号溝.....	79	第123図 V区土坑・ビット群(54).....	172
第59図 25・26号溝.....	81	第124図 V区土坑・ビット群(55).....	173
第60図 27～30号溝.....	82	第125図 V区土坑列.....	174
第61図 1号井戸.....	84	第126図 5・7号塙土.....	175
第62図 2・3号井戸.....	85	第127図 VI区ビット群(1).....	177
第63図 1～3号墓坑、4号墓坑(1).....	86	第128図 VI区ビット群(2)その1・124号土坑.....	178
第64図 4号墓坑(2)・5・6号墓坑.....	87	第129図 VI区ビット群(2)その2.....	179
第65図 V区土坑・ビット群配置図.....	114	第130図 道橋外出土遺物(1).....	180
		第131図 道橋外出土遺物(2).....	181
		第132図 道橋外出土遺物(3).....	182
		第133図 補遺.....	184

目 次

第1表	調査区・面ごとの遺構一覧表	4	第7表	V区第2面1号屋敷・ビット一覧表	61
第2表	遺構名称変更一覧表	4	第8表	V区第2面ビット一覧表	104
第3表	周辺遺跡一覧表	20	第9表	M区第2面ビット一覧表	176
第4表	川原畑村周辺における元祿16(1703)年の石高一覧表(第628集東宮遺跡(3))第2表引用)	21	第10表	遺構外出上非埋藏遺物集計表	183
第5表	川原畑村石高表(第628集「東宮遺跡(3)」第3表加筆修正)	22	第11表	1号井戸堀構観察表	185
第6表	川原畑村人口推移表(第628集「東宮遺跡(3)」第4表加筆修正)	22	第12表	東宮遺跡出土人骨まとめ表	190

本文中写真目次

写真1	1号井戸井戸枠	186	写真6	4号墓坑出土人骨：左右大腿骨	188
写真2	1号墓坑全景[南→]	187	写真7	5号墓坑全景[南→]	188
写真3	2号墓坑全景[南→]	187	写真8	5号墓坑出土人骨：左P1(第1小臼歯)	189
写真4	2号墓坑出土人骨：右大腿骨近位部	188	写真9	6号墓坑全景[南→]	189
写真5	4号墓坑出土人骨出土状態[南→]	188	写真10	6号墓坑出土人骨：上顎左M1(第1大臼歯)	189

写真図版目次

PL. 1	1. 調査区遠景(南西から)		5. 11号溝全景(東から)	
	2. V区(28年度)西半1面全景(上空から)		PL. 10	1. 19・20号溝全景(南東から)
PL. 2	1. V区(27年度)1面全景(北東から)			2. 22号溝a・b全景(南東から)
	2. V区(27年度)2面調査風景(北東から)			3. 22号溝a・b全景(南西から)
	3. 1号畑、1号復旧溝群、1号道路、1号石積遺構全景(上空から)			4. 25・26号溝全景(南東から)
PL. 3	1. 3号平田面全景(北西から)			5. 27・28号溝全景(南東から)
	2. 3号畑泥痕全景(南東から)			6. 30号溝全景(南東から)
	3. 4号畑、2号復旧溝群全景(上空から)		PL. 11	1. 1号井戸遺物出土状況(南西から)
	4. 4号畑、2号復旧溝群近景(南東から)			2. 1号井戸井戸枠上面全景(北東から)
	5. 4号畑、2号復旧溝群近景(西から)			3. 1号井戸井戸枠断層全景(南西から)
PL. 4	1. 2・3号道路全景(北東から、南に2号畑、北に3号畑)			4. 3号井戸全景(南東から)
	2. 4号溝全景(北東から)			5. 1号墓坑全景(北東から)
	3. 5号溝全景(北西から)			6. 2号墓坑全景(南東から)
	4. 6号溝全景(西から)			7. 2号墓坑遺物出土状況(南東から)
	5. V区調査風景(南西から)			8. 3号墓坑全景(北東から)
PL. 5	1. 8号畑全景(南西から)		PL. 12	1. 4号墓坑遺物出土状況(南東から)
	2. 3号復旧溝群全景(東から)			2. 5号墓坑全景(南東から)
PL. 6	1. 6号石積遺構全景(南東から)			3. 6号墓坑遺物出土状況(北東から)
	2. 4号道路全景(南西から)			4. 1号土坑全景(南東から)
	3. 7号石積遺構全景(東から)			5. 2号土坑全景(南東から)
	4. 4号道路全景(南西から)			6. 3号土坑全景(南東から)
	5. 埴区周辺風景(南東から)			7. 5号土坑全景(南東から)
PL. 7	1. 1号屋敷全景(南西から)			8. 8号土坑全景(南東から)
	2. 1号屋敷石田・4号石積遺構遺物出土状況(北東から)		PL. 13	1. 9号土坑全景(南東から)
	3. 1号屋敷馬廐・26号土坑全景(南東から)			2. 10号土坑全景(北東から)
	4. 1号屋敷・92号ビット全景(南東から)			3. 11号土坑全景(南東から)
	5. 1号屋敷・94号ビット全景(南東から)			4. 12号土坑全景(南東から)
PL. 8	1. 1号屋敷・95号ビット全景(南東から)			5. 13号土坑全景(南東から)
	2. 1号屋敷・97号ビット全景(南東から)			6. 14号土坑全景(南東から)
	3. 1号屋敷・99号ビット全景(南東から)			7. 15・16号土坑全景(北東から)
	4. 1号屋敷・102号ビット全景(南東から)			8. 17号土坑全景(南東から)
	5. 1号屋敷・105号ビット全景(南東から)		PL. 14	1. 18号土坑全景(南東から)
	6. 1号屋敷・116号ビット全景(南東から)			2. 19号土坑全景(南東から)
	7. 1号屋敷・117号ビット全景(南東から)			3. 20号土坑全景(南東から)
	8. 1号屋敷・122号ビット全景(南東から)			4. 21号土坑全景(南東から)
	9. 1号屋敷・123号ビット全景(南東から)			5. 22号土坑全景(南東から)
	10. 1号屋敷・124号ビット全景(南東から)			6. 23号土坑全景(南東から)
	11. 1号屋敷・125号ビット全景(南東から)			7. 24号土坑全景(南東から)
	12. 1号屋敷・126号ビット全景(南東から)			8. 25号土坑全景(南東から)
	13. 1号屋敷・127号ビット全景(南東から)		PL. 15	1. 27号土坑全景(南東から)
	14. 1号屋敷・128号ビット全景(南東から)			2. 28号土坑全景(北東から)
	15. 1号屋敷・129号ビット全景(南東から)			3. 30号土坑全景(北東から)
PL. 9	1. 1号竪穴状遺構全景(南東から)			4. 31号土坑全景(北東から)
	2. 3号竪穴状遺構全景(南東から)			5. 32号土坑全景(南東から)
	3. 5号溝全景(南西から)			6. 36号土坑全景(南東から)
	4. 10号溝全景(西から)			7. 37号土坑全景(南東から)

	8.38号土坑全景(北東から)	10.31号ビット全景(南東から)
PL.16	1.39号土坑全景(南東から)	11.32号ビット全景(南東から)
	2.39・40・41・42号土坑全景(南東から)	12.33号ビット全景(南東から)
	3.43号土坑全景(南東から)	13.34号ビット全景(北西から)
	4.44号土坑全景(南東から)	14.35号ビット全景(北西から)
	5.45号土坑全景(南東から)	15.36号ビット全景(南東から)
	6.46号土坑全景(南東から)	PL.24
	7.47・48号土坑全景(南東から)	1.38号ビット全景(南東から)
	8.49・50号土坑全景(南東から)	2.39号ビット全景(南東から)
PL.17	1.53号土坑全景(北東から)	3.42号ビット全景(南東から)
	2.54号土坑全景(南東から)	4.43号ビット全景(南東から)
	3.54号土坑露出上状況(南東から)	5.44号ビット全景(南東から)
	4.59号土坑全景(南東から)	6.45号ビット全景(南東から)
	5.65号土坑全景(南東から)	7.46号ビット全景(南東から)
	6.65・66号土坑全景(南東から)	8.47号ビット全景(南東から)
	7.67号土坑全景(南東から)	9.49・55・56号ビット全景(南東から)
	8.67号土坑炭化物出土状況(南東から)	10.53号ビット全景(南東から)
PL.18	1.68号土坑全景(南東から)	11.54号ビット全景(南東から)
	2.69号土坑全景(南東から)	12.57・58号ビット全景(東から)
	3.71号土坑全景(南東から)	13.59号ビット全景(南東から)
	4.72号土坑全景(南東から)	14.60号ビット全景(南東から)
	5.78号土坑全景(南東から)	15.61号ビット全景(南東から)
	6.79号土坑全景(南東から)	PL.25
	7.80号土坑全景(南東から)	1.62号ビット全景(南東から)
	8.81号土坑全景(南東から)	2.63号ビット全景(南東から)
PL.19	1.82号土坑全景(南から)	3.67号ビット全景(北西から)
	2.83号土坑全景(北東から)	4.69号ビット全景(南東から)
	3.86号土坑全景(南東から)	5.70号ビット全景(南東から)
	4.96・97号土坑全景(南東から)	6.71号ビット全景(南東から)
	5.96号土坑断面(南東から)	7.72号ビット全景(南東から)
	6.97号土坑断面(南東から)	8.73号ビット全景(南東から)
	7.99・100号土坑全景(南から)	9.74号ビット全景(北東から)
	8.101号土坑全景(南東から)	10.75号ビット全景(南東から)
PL.20	1.103号土坑全景(南東から)	11.106号ビット全景(南東から)
	2.104号土坑全景(南東から)	12.108号ビット全景(南東から)
	3.105号土坑全景(南東から)	13.109号ビット全景(南東から)
	4.106号土坑全景(南東から)	14.110号ビット全景(南東から)
	5.106・115号土坑全景(南東から)	15.111号ビット全景(南東から)
PL.21	1.107号土坑全景(南東から)	PL.26
	2.108号土坑全景(南東から)	1.112号ビット全景(南東から)
	3.109号土坑全景(北東から)	2.113号ビット全景(南東から)
	4.112号土坑全景(南東から)	3.114号ビット全景(南東から)
	5.113号土坑全景(南西から)	4.115号ビット全景(南東から)
	6.116号土坑全景(北東から)	5.130号ビット全景(南東から)
PL.22	1.1号ビット全景(南東から)	6.186号ビット全景(南東から)
	2.2号ビット全景(南東から)	7.203号ビット全景(南東から)
	3.3号ビット全景(南東から)	8.204号ビット全景(南東から)
	4.4号ビット全景(南東から)	9.205・206号ビット全景(西から)
	5.5号ビット全景(南東から)	10.207号ビット全景(南東から)
	6.9号ビット全景(南東から)	11.208号ビット全景(南東から)
	7.10号ビット全景(南東から)	12.209号ビット全景(南東から)
	8.11号ビット全景(南東から)	13.210号ビット全景(南東から)
	9.12号ビット全景(南東から)	14.211号ビット全景(南東から)
	10.13号ビット全景(南東から)	15.212・223号ビット全景(東から)
	11.14号ビット全景(南東から)	PL.27
	12.15号ビット全景(南東から)	1.214号ビット全景(南東から)
	13.16号ビット全景(北東から)	2.216号ビット全景(南東から)
	14.18号ビット全景(北西から)	3.217号ビット全景(南東から)
	15.21号ビット全景(南東から)	4.218号ビット全景(南東から)
PL.23	1.22号ビット全景(南東から)	5.219号ビット全景(南東から)
	2.23号ビット全景(南東から)	6.220号ビット全景(南東から)
	3.24号ビット全景(南東から)	7.400号ビット全景(南東から)
	4.25号ビット全景(南東から)	8.V区ビット群全景(南東から)
	5.26号ビット全景(南東から)	9.7号橋上全景(南東から)
	6.27号ビット全景(南東から)	PL.28
	7.28号ビット全景(南東から)	1.V区ビット群全景(南東から)
	8.29号ビット全景(南東から)	2.124号土坑全景(南西から)
	9.30号ビット全景(南東から)	3.1号復旧溝群・5・8号掘出土遺物
		PL.29
		1号屋敷母屋・3号堀立柱建物、5号櫓、9・25号溝、1号井戸、3号墓坑出土遺物
		PL.30
		4・5号墓坑、86号土坑、292・462号ビット、7号橋上出土遺物
		PL.31
		遺構外出土遺物(1)
		PL.32
		遺構外出土遺物(2)

第1章 調査の方法と経過

第1節 調査に至る経緯

吾妻川は、その源を群馬・長野県境の烏居峠に発し、浅間山・草津白根山の中間を東流して万座川・熊川・白砂川等の支流を合わせ、途中、吾妻峽と称される美観をつくりながら、さらに温川・四万川・名久田川等の支流を合わせ、渋川市付近で利根川と合流する全長76.2kmの一級河川である。

ハッ場ダムは、その吾妻川の中流に建設され、①洪水調節、②流水の正常な機能維持、③水道及び工業用水の新たな確保、④発電を目的とする多目的ダムで、天端標高586m、堤高116m、湛水面積約3.0km²、総貯水容量1.075億m³の規模を測る重力式コンクリートダムである。ダム位置は、左岸が群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑字ハッ場、右岸が大字川原湯字金山山にあり、名勝「吾妻峽」の入口部付近にあたる。

ハッ場ダム建設計画は、「昭和24年利根川改修改定計画」の一環として、昭和27(1952)年5月に調査着手後、平成4(1992)年7月、「ハッ場ダム建設事業に係る基本協定書」及び「用地補償調査に関する協定書」が締結されることによって本格着工となった。

ハッ場ダム建設事業に伴う埋蔵文化財調査の実施に関しては、平成6(1994)年3月18日に建設省(現国土交通省)関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長との間で「ハッ場ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する協定書」が締結され、埋蔵文化財発掘調査事業の実施計画が決定した。これにより、委託者である建設省関東地方建設局長と受託者である群馬県教育委員会教育長とが年度区分ごとに発掘調査受委託契約を締結のうえ、以後発掘調査が実施されることが決定したのである。

この協定を踏まえて、平成6年4月1日に関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長により発掘調査受委託契約を、同日に群馬県教育委員会教育長と財団法人(現公益財団法人)群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長により発掘調査受委託契約を締結し、ハッ場ダム進入路関連

遺跡を調査箇所とするハッ場ダム埋蔵文化財発掘調査が開始された。

平成11(1999)年4月1日には、建設省関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長の間で、「ハッ場ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する協定の一部を変更する協定書(第1回変更)」が締結され、発掘調査受委託契約についての変更が行われた。これにより、受託者が群馬県教育委員会教育長から財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長へ変更となり、現在の調査体制に至っている。

東宮遺跡は長野原町大字川原畑字東宮地内に所在する。平成7(1995)年度(12月4日～12月22日、平成8(1996)年2月22日～3月7日)及び平成9(1997)年度(8月18日～8月29日)の2ヵ年度にわたって、工事用進入路(川原畑進入路)建設及び町道付け替えに伴い、発掘調査が実施されてきた。調査の結果、天明3(1783)年の浅間山噴火に伴う泥流堆積物(以下、「天明泥流」と略す)に埋没した畑跡が3地点において検出され、新発見の遺跡となった。この発掘調査の成果は、『ハッ場ダム発掘調査集成(1)』(2002、第303集)により、既に報告済みである。

その後、ハッ場ダム建設事業の進展に伴い、これまで実施されてこなかったダム水没予定地域の埋蔵文化財調査が着手されることになり、東宮遺跡は、その先がけとして、発掘調査対象遺跡に選定された。

まず、平成18(2006)年5月12日、群馬県教育委員会文化財保護課により、東宮遺跡東部分について試掘・確認調査が実施され、結果、事業地内の一部で、天明泥流に埋没した畑跡の分布が確認された。次に、同年9月21・22日、同課により、遺跡西部分についても、試掘・確認調査が実施され、天明泥流に埋没した屋敷跡及び畑跡の分布が各2地点で確認された。どちらの試掘・確認調査の結果からも、本格的な発掘調査の必要があるとの判断に至った。

第2節 調査の方針・方法・経過

1 調査の方針

東宮遺跡では、平成18(2006)年9月に実施された群馬県教育委員会文化財保護課の試掘・確認調査の結果から、天明泥流に埋没した屋敷跡の存在が2地点において確認されていた(Ⅰ区1号・Ⅳ区8号屋敷跡)。屋敷跡は、平面距離で約50mの範囲内で確認されたことから、ハツ場ダム建設に関わる長野原町大字5地区においては、これまでに発掘調査例のない、近世集落主体部(当時の川原畑村)に関わる調査となることが予想された。

また、調査原因がダム水没予定地域の発掘調査であることから、以後、調査範囲が、遺跡全体或いは新発見の遺跡を含めて、川原畑地区全体へ広範囲に拡大していくことも予想された。

そこで、以上の経緯を踏まえた上で、調査方針は、「集落の構成要素である遺構(屋敷・畑・溝・石垣・井戸・道など)を精査し、記録保存を実施するとともに、集落の全体像(景観)を明らかにすること」とした。

2 発掘調査の方法

東宮遺跡は、主に吾妻川中位河岸段丘面上に立地し、天明泥流に被覆されている。

調査は、まず、バックホーを使用することにより、天明泥流の除去作業から始めた。その後、発掘作業員を導入し、ジョレンや移植ゴテ等による遺構の検出作業、並びにトレンチ掘削や載ち削り作業等により、遺構調査を実施した。

遺物取り上げについては、遺構別地点別取り上げを基本とし、遺物の所属が明らかでない遺物に関しては、遺構外遺物として通番で取り上げ、整理段階で想定できた遺構の遺物として報告した。遺構平面測量にあたっては、測量業者委託によるデジタル測量を基本として、縮率1/10・1/20・1/40を基準に、縮率を適宜選択して実施した。

遺構断面測量も平面測量に準じた。

遺構写真については、委託業者による航空写真撮影(ラ

ジコンヘリコプター使用)、現場担当者による地上写真、並びに高所作業車およびドローン使用による高所写真撮影を行った。現場担当者による撮影には、デジタルカメラ(Canon EOS Kiss Digital N)と6×7版モノクロネガフィルムを使用した。

3 調査の経過

(1)発掘調査の経過

東宮遺跡の発掘調査は、前記の平成7(1995)・9(1997)年度の後、平成19(2007)年度に再開され、平成19年度(11月1日～12月26日)、平成20(2008)年度(4月1日～12月26日)、平成21(2009)年度(7月1日～12月26日、8月と11月に一時中断)、平成26(2014)年度(7月1日～12月25日)、平成27(2015)年度(6月1日～6月30日)、平成28(2016)年度(4月1日～12月31日)に実施された。平成29(2017)年度以降も継続している。これらの発掘調査の成果は、平成26年度までのものが『東宮遺跡(1)』(2011、第514集)、『東宮遺跡(2)』(2012、第536集)、『東宮遺跡(3)』(2017、第628集)として調査報告書に纏められている。

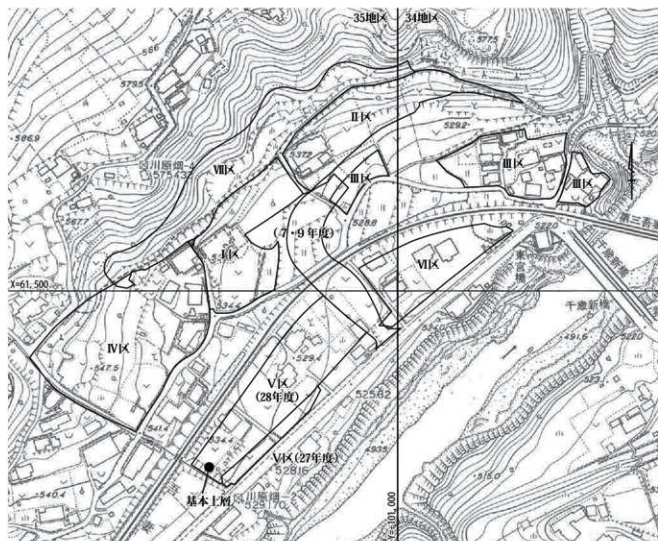
平成27年度の発掘調査は、旧国道145号に接する幅約10mの狭い範囲が対象となり、A区と仮称した。A区からは第1面(近世、天明泥流下)と第2面(中近世)が確認された。第2面の下には縄文時代後期の遺物包含層があるが、遺構は発見されなかった。

平成28年度の発掘調査は、現況道路を区境として、A区北西側の旧J R吾妻線までの区画を5区、5区の東側を6区、平成26年度以前に調査されたⅠ・Ⅱ・Ⅳ区北側の斜面を7区として、調査区を設定した。各区から第1面(近世、天明泥流下)、5・6区から第2面(中近世)、5区からはさらに第3面(縄文時代後期)と第4面(縄文時代中期)が確認された。4月1日～12月31日に5区、8月4日～11月16日に6区、11月16日～12月21日に7区の調査を行い、5区第3面以下は平成29年に継続調査となった。

なお、調査区名については、整理事業においてA・5区をV区、6区をVI区、7区をVII区と改めた。

(2)整理事業の経過

整理事業は、平成29(2017)年4月1日から平成30



第1図 調査区設定図(長野原町1/2500「長野原都市計画図」平成18年発行を使用)

(2018)年3月31日までの12か月間実施した。

遺構については、図の修正作業の後にデジタル編集作業を行い、併せて遺構写真の選定、本文執筆を行った。遺物については、接合・復元、掲載遺物の選定、写真撮影、実測作業、これら遺物図のトレース作業を行い、各遺物の観察表の執筆を行った。なお、縄文土器・石器のうち平成28年度調査第1・2面混入分については、「東宮遺跡(5)」において第3面以下の遺物とともに掲載予定である。一連の作業後、報告書版下のレイアウト作成、全体のデジタル編集作業およびデジタル組版を行い、印刷・製本を業者委託して発掘調査報告書を刊行した。遺物・図面・写真等の記録資料については、群馬県埋蔵文化財調査センターに収納、保管した。なお、整理作業において、遺構名等の変更が生じたが(第2表参照)、これに伴う遺物注記について書きかえは行っていない。

第3節 調査区の概要

1 調査区の設定

平成6(1994)年度から始まったハッ場ダム建設に伴う発掘調査においては、遺跡名称の略号やグリッドの設定などについて、「ハッ場ダム関連埋蔵文化財発掘調査方法」に基づき進められている。以下、本報告書でもそれに準拠し、必要部分について掲載する。

調査における遺跡番号は、ハッ場ダム建設に関わる長野原町の大字5地区(1:川原畑、2:川原湯、3:横壁、4:林、5:長野原)、東吾妻町の大字3地区(6:三島、7:大柏木、8:松谷)に番号を付し、ハッ場ダムの略号(YD)に続ける。ハイフン以下は各地区内に所在する遺跡

調査時		本報告書		備考		
区	面	区	面			
V	2	349 P	V	2	5種 P 1 (7月調査)	調査時に変更
V	2	353 P	V	2	1種 P 3	
V	2	356 P	V	2	1種 P 2	
V	2	357 P	V	2	1種 P 1	調査時に変更、P番号のみ整理時に変更
V	2	359 P	V	2	1種 P 10	
V	2	362 P	V	2	1種 P 9	
V	2	363 P	V	2	1種 P 8	
V	2	404 P	V	2	404 P a	
V	2	475 P	V	2	404 P b	
V	2	476 P	V	2	1種 P 7	調査時に変更、P番号のみ整理時に変更
V	2	477 P	V	2	1種 P 6	
V	2	478 P	V	2	1種 P 5	
V	2	489 P	V	2	1種 P 4	
V	2	489 P	V	2	489 P a	
V	2	533 P	V	2	489 P b	
V	2	546 P	V	2	欠番	
V	2	P (番号なし)	V	2	5種 P 5 (7月調査)	調査時に変更
V	2	6 壇	V	2	5種 P 2 (7月調査)	調査時に変更
V	2	8 壇	V	2	欠番	
V	2	8 壇	V	2	欠番	2 調中の焼土塊

調査時		本報告書		備考		
区	面	区	面			
V	2	9・10 壇	V	3	9・10 壇	調査時に変更、東宮遺跡(5)掲載予定
V	2	1 道	V	3	4 住	東宮遺跡(5)掲載予定
V	2	2 道	V	3	2 道	126 壇・10 壇付近、東宮遺跡(5)掲載予定
V	3	1 餅	V	2	1 餅	調査直後に変更
V	3	23 溝	V	3	3 列	3 列の一部、東宮遺跡(5)掲載予定
V	3	110 壇	V	2	3 井	調査直後に変更
V	3	122 壇	V	2	欠番	
V	3	125 壇	V	2	6 墓	調査直後に変更
V	3	679 P	V	2	欠番	
V	3	752 P	V	2	欠番	
V	3	919 P	V	2	欠番	
V	3	920 P	V	2	欠番	
M	1	畑(番号なし)	M	1	8 畑	
M	1	平(番号なし)	M	1	6 平	
M	1	平(番号なし)	M	1	7 平	
M	1	平(番号なし)	M	1	8 平	
M	1	復(番号なし)	M	1	3 復	

※A区は全てV区に改めた。

※「面」欄の「3」は、第3面以下を示し、第4面を含む。

に対して調査順に通し番号を付し、遺跡番号とする。東宮遺跡は「YD1-02」である。

基準座標は、国家座標(2002年4月改正以前の日本測地系)に基づく平面直角座標第IX系(日本測地系)を使用し、東吾妻町大柏木付近を原点(座標値 $X=+58,000.0$ 、 $Y=-97,000.0$)とした1km方眼を基点として60の区画を設定し、この大グリッドを「地区」と呼ぶ。本遺跡はこの34・35地区に所在する。さらに、1km方眼を南東隅から100m方眼の1～100に区画し、この中グリッドを「区」とする。南東隅を1とし、東から西へ連続する10単位を南から北へ配列し、北西隅を100として完結するよう配置する。「区」の100m方眼は、さらに4m方眼で625区画に分割され、その4m方眼の小グリッドを「グリッド」と呼ぶ。なお、小グリッドの東西にはA～Yまでのアルファベットを、南北には1～25までの算用数字を用いながら、南東隅を基点としグリッドを呼称する。また、遺構図や本文中の記載において、特に混乱が予想されない場合は地区番号を略して用いている(例:41区X-10)。

2 調査前の状況

I区は、南側の町道1-5号線、西側から北側にかけての旧町道1-11号線、東側の町道1-4号線により区画された調査区を呼称する。十数年前まで1軒の住宅が存在した。居住するとともに土地の所有者であった篠原家は、時期は確定できないながらも、以前は野口姓を名乗っており、ある時点で同地区内の篠原家と姓を交換し現在に至るといふ。この篠原家(江戸時代当時は野口家)は、郷土の偉人である野口円心(享保11(1726)～文化3(1806)年)の生家とも伝わる家系である。天明泥流の堆積状況については、80～130cmの表土及び天明泥流堆積物により被覆されていた。ただし、一部の石垣については、その上端部が泥流に埋没していない状態で現地表面に露出していた。

II区は、西側と北側は町道1-4号線(北側は旧道に相当する)と南側の1-13号線(工事用進入路)に区画された調査区を呼称する。十数年前まで1軒の住宅が存在した。居住するとともに土地所有者であった野口家は、当該地域では「東の家(ヒガシノチ)」と呼ばれる東宮地区を代表する旧家のひとつで、天明泥流被災に関わるいくつかの伝承も残る家系である。また、II区の北側の境界は旧町道1-4号線を挟んで三ツ堂岩陰(旧三ツ堂)と隣接

する。

Ⅲ区は、西側と北側は町道1-13号線(工事用進入路)、東側は松葉沢、南側は旧J R 吾妻線に区画された調査区を呼称する。東宮地区の東部集落部(「東沢地区」と地元では俗称する)に相当するため、十数年前まで8-9軒の住宅が存在していた。

Ⅳ区は、西側は境沢(東宮地区と西宮地区との境界)、南側は旧町道1-5号線、東側は旧町道1-11号線に区画された調査区を呼称する。東宮地区の西部集落部に相当するため、十数年前まで5-6軒の住宅が存在していた。天明泥流の堆積状況については、全体的に厚さ約100cm前後の表土及び天明泥流堆積物に被覆されていた。ただし、段丘崖へ向かって天明泥流の堆積厚が漸次薄くなる傾向が認められる。

V・Ⅵ区は、北側は旧J R 吾妻線、南側は旧国道145号に区画された調査区を呼称する。V・Ⅵ区の境界は町道1-13号線(工事用進入路)である。十数年前まで4-5軒の住宅が存在していた。天明泥流の堆積状況については、全体的に厚さ約150-180cmの表土及び天明泥流堆積物に被覆されていた。

Ⅶ区はI・II・Ⅳ区北側の段丘崖に位置する調査区を呼称する。全体的に厚さ約30-100cmの表土及び天明泥流堆積物に被覆されていた。全調査区中でⅦ区が最も堆積が薄い。南東端は三ッ堂岩陰(旧三ッ堂)に隣接する。

3 基本土層

東宮遺跡は、吾妻川中位河岸段丘面上に立地し、最上位段丘面との境界を形成する段丘崖により、北側の遺跡範囲は区画されている。遺跡はほぼ全域が天明泥流に被覆されており、その堆積の厚さは約30-180cmである。

天明泥流は、比高差約50mに及ぶ段丘崖の中腹まで一時的に水位が達していると考えられ、漸次堆積厚は小さくなる傾向にはあるが、本調査により、標高542.0mまで到達点を確認した。天明泥流の発生日時は、天明3(1783)年7月8日(新暦8月5日)である。

天明泥流の直下には、浅間A軽石(As-A)が約1cmの厚さで堆積している。浅間A軽石降下日時は、新暦7月27-29日と推測されている(関俊明2003)。本遺跡に堆積する浅間A軽石の降下日時を新暦7月27-29日頃とする

と、泥流発生日時との間には1週間ほどの時間差が存在したこととなる。本遺跡で確認された浅間A軽石堆積層は、純層に限られることはなく、畑の耕作状況(培土=サクキリ等)や屋敷内(庭など)の清掃・除去状況等の理由により、二次的に堆積したと思われる堆積層も確認されている。

天明3(1783)年の遺構面の下層には、黒褐色土層(平安時代遺物包含層、V区南西側のみ)、さらに、褐色・黄褐色のローム二次堆積層等が堆積しているが、調査区内には湧水(伏流水)が広範囲に多数存在するため、深層までの明確な基本土層の確認には至らなかった。なお、ローム二次堆積層の上下から土師器片が出土しており、この頃に土砂災害に襲われた可能性が考えられる。

以下、第2図に東宮遺跡V区における基本土層を掲載しておく。

基本土層(V区南西壁)

- I 灰黄褐色土(10YR6/2) 現表土。
- II 灰黄褐色土(10YR5/2) 天明泥流後の畑の耕作土。
- III 黒色土(10YR2/1) 大小の礫を含む。砂質。天明泥流の二次堆積、復旧溝埋没土。
- IV にぶい黄褐色土(10YR5/3) 礫を含む。粘性あり。シルト質。天明泥流。
- V 浅間A軽石(As-A)。
- VI にぶい黄褐色土(10YR5/4) 天明以前の畑の耕作土。※第1面はⅥ層上面にて確認。
- VI' Ⅵより黒味が強い。天明以前の畑の耕作土。
- VII 黒褐色土(10YR2/2) 白色・褐色軽石粒を含む、ローム粒を含む。やや粘性あり。平安時代遺物包含層。
- VIII 褐色土(10YR4/4) 褐色軽石粒・炭化物・礫を含む。粘質。ロームの二次堆積。※第2面はⅧ層上面にて確認。
- VIII' Ⅷより黒味が強く軽石粒の混入が多い。
- IX 黄褐色土(10YR5/6) 炭化物・礫を含む、褐色軽石粒を少し含む。ロームの二次堆積。
- IX' IXより黒味が強い。
- X にぶい黄褐色土(10YR6/3) 褐色・灰白色軽石粒を含む、角礫を少し含む、炭化物粒を少し含む。ロームの二次堆積。
- X' Xより砂質で軽石粒・炭化物粒を含まない。
- X'' Xより黒味が強い。
- XI 黄褐色土(2.5Y5/4) もろい角礫を多く含む。砂質。

ロームの二次堆積。

XI⁺ X Iに角礫を含まない。

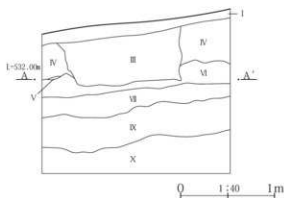
XII 暗灰黄色土(2.5Y5/2) 河床礫・角礫を極めて多く含む。ロームの二次堆積。

XIII 褐灰色土(10YR4/1) 褐色・灰白色軽石粒を含み、炭化物粒を少し含む。ロームの二次堆積。

XIV にぶい黄橙色土(10YR6/4) 褐色・灰白色軽石粒を含み、炭化物粒を少し含む。ロームの二次堆積。

XV 黄褐色土(2.5Y5/4) 砂質。礫を含む。ロームの二次堆積か。※第3面はXV層上面にて確認。

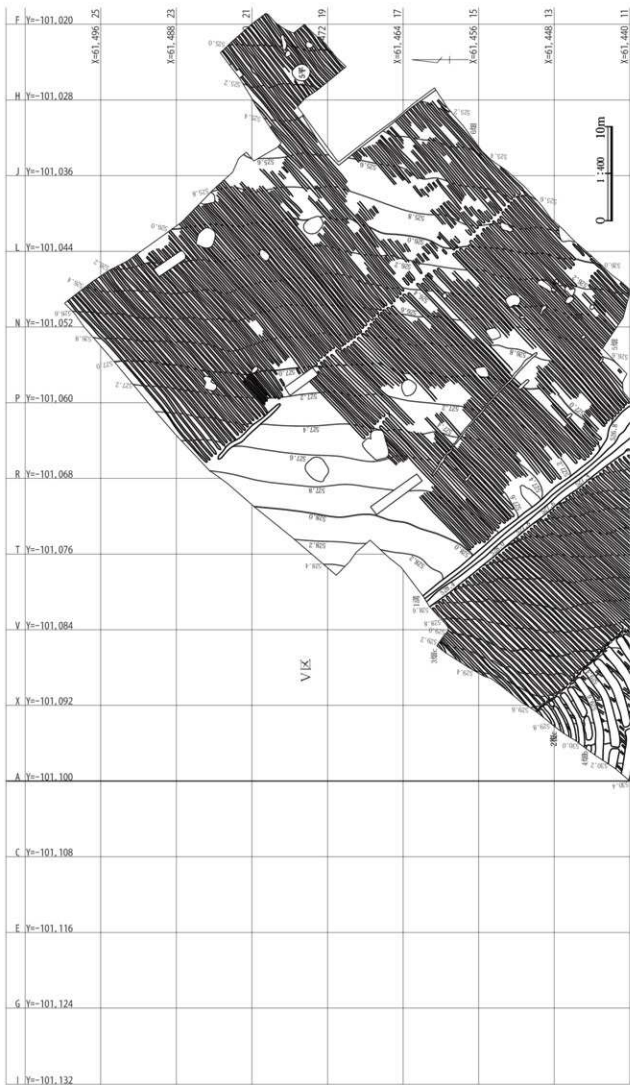
XVI 黄橙色土(10YR7/8) 粘質。大小の礫を含む。ロームの二次堆積か。



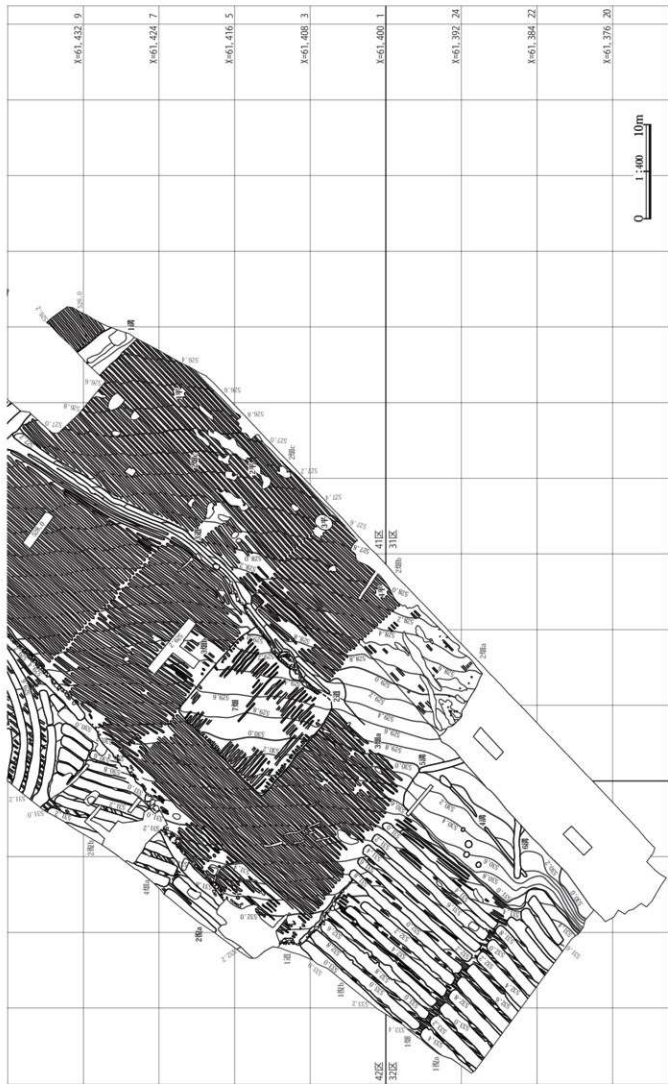
第2図 基本土層図

参考文献

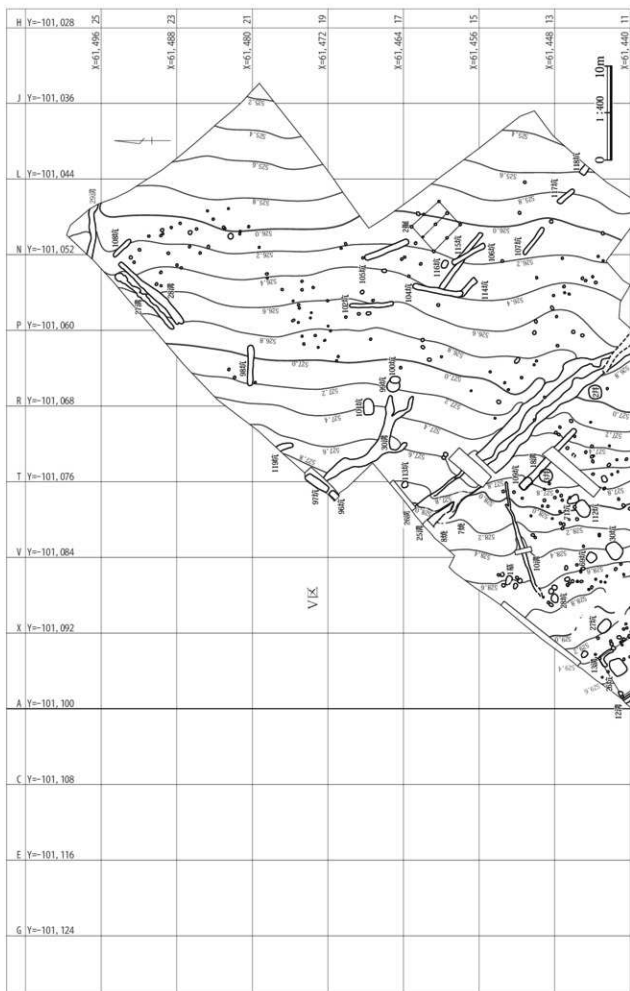
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2002「長野原一本松遺跡(1)」
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2002「八ッ場ダム発掘調査集成(1)」
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2003「久々戸遺跡・中棚Ⅱ遺跡・下原遺跡・横塚中村遺跡」
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2005「川原原勝沼遺跡(2)」
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2007「三平Ⅰ・Ⅱ遺跡」
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2011「東宮遺跡(1)」
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2012「東宮遺跡(2)」
- (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2017「東宮遺跡(3)」
- 岡復明2003「7月27日～29日降下As-A軽石「麓層」としての位置付け―天明三年浅間災害に関する地域史的研究―」研究紀要 21 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団



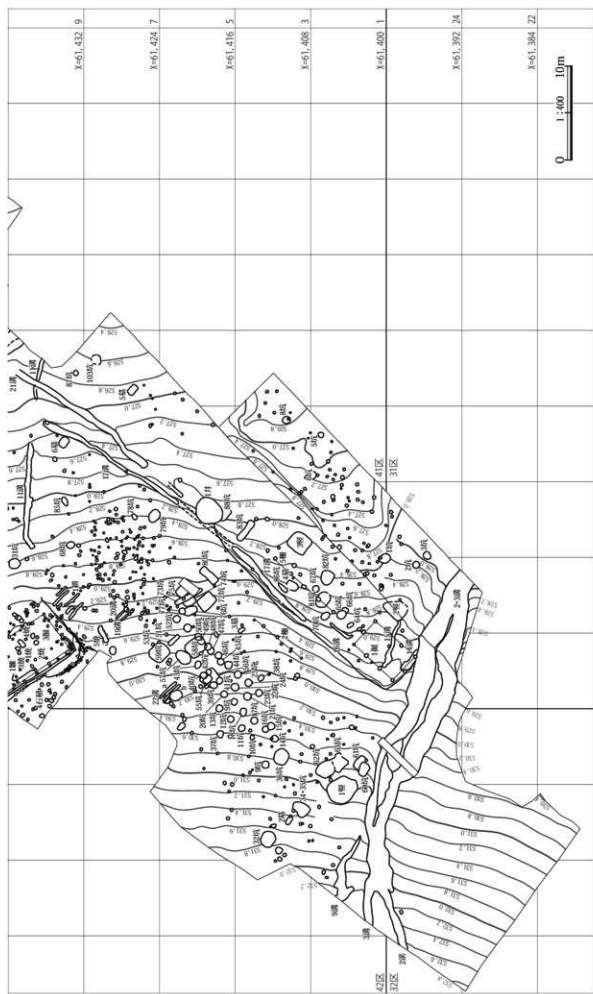
第3圖 V区第1面全体図(1)



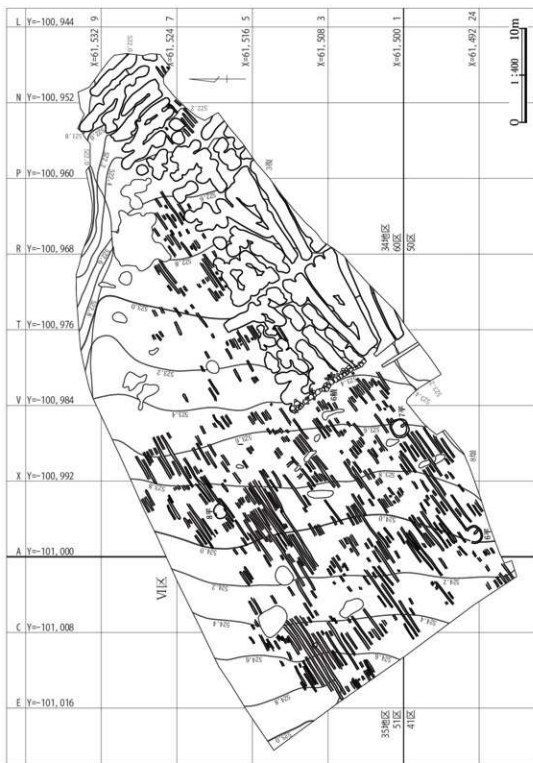
第4图 V区第1面全体图(2)



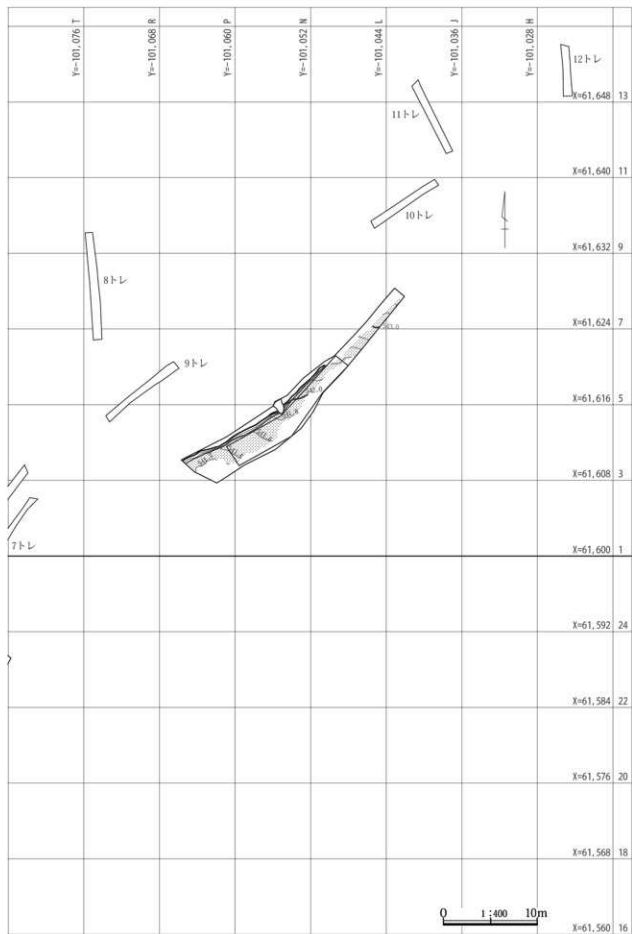
第5圖 V区第2面全体圖(1)



第6图 V区第2面全体图(2)



第7图 VI-XI区第1面全体图



第10図 Ⅵ区第1面全体図(2)

第2章 遺跡の環境

第1節 地理的環境

東宮遺跡の所在する長野原町は群馬県西北部、吾妻郡の南西隅に位置する。町域の北部を吾妻川が東流し、川を挟んで北西には草津白根山、南西には浅間山が位置する。また東部には、吾妻川より北側に高間山(1,342m)や王城山(1,123m)、南側に丸岩(1,124m)や菅峰(1,474m)、浅間隠山(1,757m)、鼻曲山などが南北に連なる。長野原町は、その地形の特徴から、高間及び白根の両山系と菅峰に挟まれた吾妻川流域地帯の北部と浅間高原地帯の南部とに大別される。

吾妻川は、長野県境の烏居峠(1,362m)付近に水源を発して東流し、町域のほぼ中央では川幅をやや広くするものの、東端では第3紀層を刻んで吾妻渓谷を形成している。その支流は、兩岸の山地から発する河川や溪流が多く、左岸には草津白根山麓から発する万座川や赤川、遅沢川、上信越国境の白砂山麓から発する白砂川などが南流する。また右岸には、浅間山麓から発する小宿川や、鼻曲山麓から発する熊川などが北流する。流長76.2kmの吾妻川は、渋川市街地付近で、全長322kmの利根川に合流する。

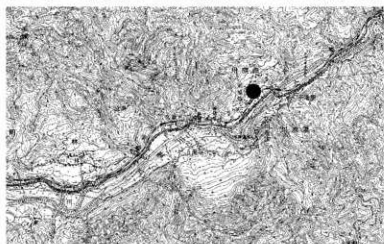
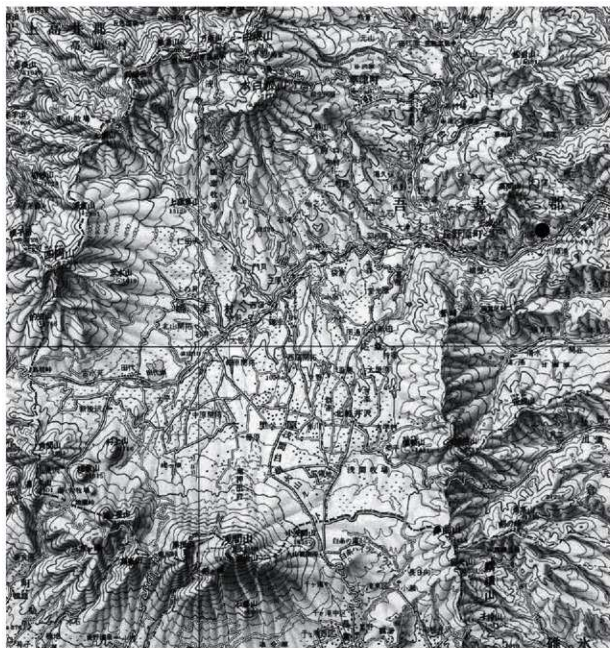
長野原町は、地質構造上では那須火山帯と富士火山帯が接する付近にあるため、周囲の山地は火山活動により形成された火山性山地が多く、浅間山や白根山は現在も活動を続ける。高間山や王城山、菅峰も約100～90万年前頃活動していた火山であるが、現在は浸食が進みほとんど原形を止めていない。菅峰火山から流出した溶岩が断層によって独立したものが「丸岩」である。丸岩は南側を除いた三方が100mにも達する垂直の崖に囲まれ、吾妻川方面から望むと巨大な円柱状に見える特徴的な岩峰である。それは、長野原・横壁・林・川原湯・川原畑のハッダム関連の5地区どこからでも望むことができるランドマークとなっている。

吾妻川兩岸には、吾妻川からの比高差を基準に、最上位・上位・中位・下位の4段階の河岸段丘面が形成されている。現在の吾妻川からの平均的な比高差は、最上位

段丘で約80～90m、上位段丘で約60～65m、中位段丘で約30～50m、下位段丘で約10～15mを測る。

長野原町の地質形成に大きな影響を与えた火山が浅間山である。町域の南西部、長野県境に位置し、古い方から黒斑山・仏岩・前掛山・釜山の4つの火山体で構成される標高2,568mの成層火山である。約2.1万年前の黒斑火山の噴火では、山体崩壊によって「応桑泥流」が発生した。この泥流堆積物は、当時の河床を数十mの厚さで埋めており、その後の浸食によって吾妻川兩岸に最上位と上位の河岸段丘面が形成されたといわれる。浅間山はその後も多くの火山噴出物を堆積させているが、特に町域では浅間草津黄色軽石(As-YPK:1.3～1.4万年前)の堆積が顕著である。また、浅間Bテフラ(As-B:天仁元(1108)年)や浅間柏川テフラ(As-kk:大治3(1128)年)も平安時代の黒色土中に数cmの厚さで確認できる。さらに天明3(1783)年の噴火により発生した泥流(天明泥流)は、下位段丘面や中位段丘面を平均約1mの厚さで覆っている。

東宮遺跡は、主に標高約530～540mの吾妻川左岸中位河岸段丘面上の大字川原畑字東宮に所在し、高間山の南東麓に位置する。高間山頂から吾妻川左岸に露出する川原湯岩脈(国指定天然記念物)の方向へは、南に延びる細長い尾根が張り出しており、尾根の東、川原畑地区内を流れる戸倉沢・ミョウガ沢・境沢・松葉沢・ハッ場沢・穴山沢、その支流の鈴沢と温井沢等の溪流は、すべて高間山及びこの尾根に源を発している。従って、川原畑地区内の溪流は、源流付近では東流し、中・下流から吾妻川へ流れ込む付近にかけて、次第に南流する傾向がある。本遺跡は、西側の境沢、東側の松葉沢に区画された中位河岸段丘上の平坦地に主として立地している。



第11図 遺跡位置図(国土地理院1/20000地勢図「長野」平成18年11月1日発行・1/50000地形図「草津」平成11年1月1日発行を使用)

第2節 歴史的環境

1 周辺の遺跡

(1) 旧石器時代

長野原町域においては、旧石器時代の遺跡は確認されていない。

(2) 縄文時代

吾妻川およびその支流沿岸の段丘面、特に中位・上位・最上位河岸段丘、丘陵部に遺跡が多く分布し、集落が展開する。早期の燃糸文土器や押型文土器などが楡木Ⅱ遺跡(第12図範囲外)・立馬Ⅱ遺跡(第12図19)等で出土している。前記の遺構数は少なく、上原Ⅰ遺跡(第12図25)で竪穴住居が確認されている。中期になると遺跡数・遺構量とも大幅に増加する。大規模な集落遺跡として上ノ平Ⅰ遺跡(第12図5)・林中原Ⅱ遺跡(第12図27)・長野原一本松遺跡(第12図範囲外)・横壁中村遺跡(第12図範囲外)等がある。後期になると遺跡数・遺構量ともやや減少する。主な遺跡としては、中期から引き続き林中原Ⅱ遺跡(第12図27)・長野原一本松遺跡(第12図範囲外)・横壁中村遺跡(第12図範囲外)等がある。晩期になると遺跡数・遺構量はさらに減少する。川原湯勝沼遺跡(第12図36)からは水Ⅱ式土器による再葬墓と考えられる土坑が確認されている。

(3) 弥生時代

長野原町域においては、弥生時代の遺跡は少ない。尾坂遺跡(第12図範囲外)からは前期の再葬墓や土坑、立馬Ⅰ遺跡(第12図18)からは中期の竪穴住居と費棺墓が確認されている。

(4) 古墳時代

長野原町域においては、古墳時代の遺跡は少なく、古墳は確認されていない。上原Ⅰ遺跡(第12図25)からは前期と推定される竪穴住居、下原遺跡(第12図範囲外)・上原Ⅳ遺跡(第12図範囲外)からは5～6世紀の竪穴住居が確認されている。

(5) 奈良・平安時代

長野原町域においては、奈良時代の遺跡は確認されていない。平安時代の9世紀中頃になると大きな集落が造られるようになる。上ノ平Ⅰ遺跡(第12図5)からは、皇朝十二銭の「貞観永宝」や多くの灰釉陶器等が出土している。その他、横壁中村遺跡(第12図範囲外)・楡木Ⅱ遺跡(第12図範囲外)等から集落が確認されている。

(6) 中世

長野原町域における中世城館は、金花山砦跡(第12図30)・丸岩城跡(第12図範囲外)・長野原城跡(第12図範囲外)等がある。城館以外では、三平Ⅰ遺跡(第12図7)・三平Ⅱ遺跡(第12図8)・東原Ⅰ遺跡(第12図21)・東原Ⅱ遺跡(第12図22)・東原Ⅲ遺跡(第12図23)・楡木Ⅱ遺跡(第12図範囲外)から土坑・畑等が確認されている。

(7) 近世

長野原町域においては、天明泥流で埋没した多くの遺跡がバツ場ダム建設工事に伴い発掘調査されている。これらの遺跡は吾妻川流域の比較的標高の低い段丘面に位置し、多くは畑が確認されている。集落は東宮遺跡のほか西宮遺跡(第12図2)・石川原遺跡(第12図31)・尾坂遺跡(第12図範囲外)・町遺跡(第12図範囲外)・下田遺跡(第12図範囲外)・横壁中村遺跡(第12図範囲外)等で確認されている。

東宮遺跡を含む川原畑村の概要については、次項に記す。

2 川原畑村の概要・変遷

長野原町大字川原畑は、群馬県北西部の高間山南東麓に位置し、その大部分は山林である。集落は吾妻川左岸の河岸段丘面上(中位及び最上位河岸段丘)に存在し、中位段丘面上の集落部を川原畑下村、最上位段丘面上の集落部を上村と一般に称する。

「河原畑村」の地名は、天正12(1584)年と推定される12月25日付の真田昌幸朱印状に見える「渡文書」『群馬県史』資料編7(中世3)所収。天正18(1590)年より真田氏(沼田藩)領となり、天和元(1681)年の真田氏改易後、幕府領となった。江戸時代における川原畑村の石高の推



- ①東宮②三ツ堂岩陰③西宮④西宮岩陰⑤上ノ平Ⅰ⑥上ノ平Ⅱ⑦三平Ⅰ⑧三平Ⅱ⑨温井Ⅰ⑩温井Ⅱ⑪二社平⑫二社平岩陰
 ⑬石畑⑭石畑Ⅰ岩陰⑮石畑Ⅱ岩陰⑯久森Ⅰ岩陰⑰久森Ⅱ岩陰⑱立馬Ⅰ⑲立馬Ⅱ⑳立馬Ⅲ㉑東原Ⅰ㉒東原Ⅱ
 ㉓東原Ⅲ㉔花畑㉕上原Ⅰ㉖林の御塚㉗林中原Ⅱ㉘下湯原㉙西ノ上㉚金花山岩跡㉛石川原㉜前原㉝川原湯中原Ⅰ
 ㉞川原湯中原Ⅱ㉟川原湯中原Ⅲ㊱川原湯勝沼

第12図 周辺遊跡図(国土地理院1/25000地形図「長野原」平成21年4月1日発行を使用)

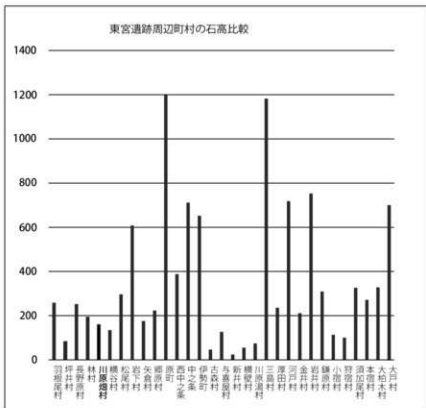
第3表 周辺道跡一覧表

道跡名	道跡番号	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈・平	中世	近世	種別・概要	文献
1 東宮道跡	0208		○					○	散布地、集落、その他	1、10、13
2 ツツ堂岩陰	0021							○	その他	
3 西宮道跡	0007		○					○	散布地、その他	
4 西宮岩陰	0013								その他	
5 上ノ平Ⅰ道跡	0005		○	○					散布地、集落、その他	7
6 上ノ平Ⅱ道跡	0006								不明 その他	
7 三平Ⅰ道跡	0003		○	○					散布地、集落、その他	6、21
8 三平Ⅱ道跡	0004		○						散布地、集落、その他	6
9 温井Ⅰ道跡	0001		○						散布地	
10 温井Ⅱ道跡	0002		○						散布地	
11 二社平道跡	0209		○						散布地	1
12 二社平岩陰	0011								不明 その他	
13 石畑道跡	0210		○	○					散布地、生産道跡	23
14 石畑Ⅰ岩陰	0009		○						墓その他、その他	23
15 石畑Ⅱ岩陰	0010								不明 その他	
16 久森沢Ⅰ岩陰群	0053								不明 その他	
17 久森沢Ⅱ岩陰	0054								不明 その他	
18 立馬Ⅰ道跡	0037		○	○					散布地、集落、その他	4
19 立馬Ⅱ道跡	0213		○	○				○	散布地、集落	5
20 立馬道跡	0215		○	○					散布地	8
21 東原Ⅰ道跡	0038		○	○				○	散布地、集落、その他	9、16、17
22 東原Ⅱ道跡	0039		○						散布地、集落、その他	9
23 東原道跡	0040		○	○				○	散布地、集落、その他	9、16、17
24 花畑道跡	0205		○						散布地、集落、その他	1
25 上原Ⅰ道跡	0041		○	○					散布地、集落	11、17、20、22
26 林の御塚	0059									24
27 林中原Ⅱ道跡	0046		○	○					散布地、集落	12、14～19
28 下湖原道跡	0217								その他	
29 西ノ上道跡	0212								○ 生産道跡	2
30 金花山岩跡	0207								○ 郡城	
31 石川原道跡	0017		○						○ 集落、その他	
32 前原道跡	0221								○ その他	
33 川原岡中原Ⅰ道跡	0016		○						散布地	
34 川原岡中原Ⅱ道跡	0018								○ 散布地	
35 川原岡中原道跡	0019		○						○ 散布地	
36 川原岡勝沼道跡	0206		○						○ 散布地、その他	1、3
文献										
1 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2002「ハツ場ダム発掘調査集成(1)」										
2 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2004「久々戸道跡(2)・中郷Ⅱ道跡(2)・西ノ上道跡・土野A道跡」										
3 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2005「川原岡勝沼道跡(2)」										
4 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2006「立馬Ⅰ道跡」										
5 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2006「立馬Ⅱ道跡」										
6 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2007「三平Ⅰ・Ⅱ道跡」										
7 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2008「上ノ平Ⅰ道跡(1)」、(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2017「上ノ平Ⅰ道跡(2)」										
8 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2009「立馬道跡」										
9 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2010「東原Ⅰ道跡・東原Ⅱ道跡・東原Ⅲ道跡」										
10 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2011「東宮道跡(1)」、2012「東宮道跡(2)」、(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2017「東宮道跡(3)」、本報告書										
11 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2015「上原Ⅰ道跡・上原Ⅱ道跡・林宮原道跡」										
12 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2016「林中原Ⅱ道跡(1)」										
13 長野県町教育委員会2002「町内道跡Ⅰ」										
14 長野県町教育委員会2004「町内道跡Ⅳ」										
15 長野県町教育委員会2005「町内道跡Ⅴ」										
16 長野県町教育委員会2006「町内道跡Ⅵ」										
17 長野県町教育委員会2007「町内道跡Ⅶ」										
18 長野県町教育委員会2009「町内道跡Ⅷ」										
19 長野県町教育委員会2011「町内道跡Ⅹ」										
20 長野県町教育委員会2013「町内道跡Ⅺ」										
21 長野県町教育委員会2013「三平Ⅰ道跡」										
22 長野県町教育委員会2015「林地区道跡群」										
23 長野県町教育委員会・高崎鉄道管理局1979「石畑道跡概報」、1996「石畑道跡略報」										
24 吾妻教育会1929「群馬県吾妻郡誌」										

第4表 川原畑村周辺における元禄16(1703年)の石高一覧表(第628集『東宮遺跡(3)』第2表引用)

区域	町村名	石高	
吾妻川左岸	羽根尾村	258.278	
	坪井村	84.315	
	長野原町	252.479	
	林村	195.415	
	川原畑村	159.913	
	横谷村	134.357	
	松尾村	296.733	
	岩下村	607.95	
	矢倉村	175.513	
	郷原村	223.082	
	原町	1198.732	
	西中之条	387.862	
	中之条	711.508	
	伊勢町	652.227	
	吾妻川右岸	古森村	46.304
		与喜屋村	126.321
		新井村	24.049
横壁村		55.272	
川原湯村		73.705	
三島村		1181.89	
厚田村		235.466	
河戸村		717.732	
金井村		210.377	
岩井村		752.884	
信州街道		鎌原村	309.154
	小宿村	113.294	
	狩宿村	99.919	
	須加尾村	325.782	
	本宿村	271.243	
	大柏木村	327.401	
	大戸村	699.55	

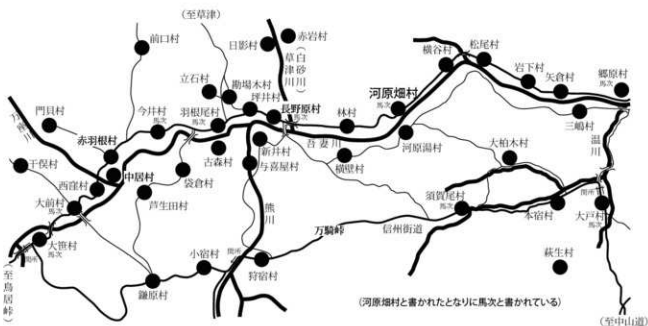
上記村平均石高 352 石



『群馬県史』資料編11付録郷村変遷の元禄16年の資料により作成

県内平均石高 404石

(上野国絵図(元禄十五年)目録部分 群馬県立文書館所蔵文書P 8710、No 1より計算)



第13図 吾妻郡河原畑村(川原畑村)周辺の道と村(天保国絵図「上野国」より作成、第593集『町道跡』第76図加筆修正)

第5表 川原畑石高表(第628集『東宮遺跡(3)』第3表加筆修正)

年号	石高
万治二年(1659)	75石9斗1升6合
寛文三年(1663)	341石7斗2升1合
貞享二年(1685)	159石9斗1升3合
元禄十五年(1702)	159石9斗1升3合5勺

移は第5表の通りである。

なお、寛文3(1663)年の石高については、当時の沼田藩主真田信利が、真田氏松代本家の10万石に対抗するため、表石3万石に対して14万4000石を強引に打ち出し幕府に報告した検地(古検)によるもので、農民の難澁は並大抵のものではなかったとされている。

ここで、寛文検地帳に見える川原畑村の記述を挙げておく。

(表書)

寛文三年
川原畑村 御検地帳
卯ノ九月廿三日

田畑 合三拾六町五反三畝拾五歩

内

上田 七反五畝貳拾歩

白米拾壹石三斗五升

中田 九畝拾四歩

白米壹石貳斗三升壹合

下田 三畝七歩

白米三斗五升六合

下々田 貳畝貳拾六歩

白米貳斗五升八合

上畠 拾貳町六反三畝貳拾七歩

白米百五拾壹石六斗六升八合

中畠 五町五反八畝貳拾九歩

白米五拾五石八斗九升七合

下畠 五町五反九畝八歩

白米四拾四石七斗四升壹合

屋敷 九反六歩

白米拾石八斗貳升四合

高合 三百四拾壹石七斗貳升壹合

内 拾三石壹斗九升五合 田方
三百貳拾八石五斗貳升六合 高方
石の外落地

中畠 壹畝七歩

貳筆

寛文三年

卯九月廿三日

検地役人 小幡四郎兵衛

外三人

一方、貞享2(1685)年の石高については、前橋藩家老高須単人が、天和元(1681)年の真田信利の領地没収後、再検地(新検)を実施したことによるもので、寛文検地(古検)と比較すると、石高はおおよそ半減されている。村々では、これを「貞享の御助け繩」と呼んだという。

明治時代に入ると、明治5(1872)年の大小区制期には第20大区第10小区に属し、明治11(1878)年の郡区町村制に移行すると、林村、横壁村、川原畑村、川原湯村が組み合わされて林村に戸長役場が置かれた。その後、明治17(1884)年には、戸長配置区域の改正があり、川原畑村外3ヵ村戸長役場として、川原畑村に連合戸長役場が置かれることとなった。さらに、明治22(1889)年の市町村制の施行により、10ヵ村が合併して長野原町になると、旧来の町村は大字となり、長野原町大字川原畑村と称したが、大正6(1917)年からはその呼称がとれ、長野原町大字川原畑となった。

第6表 川原畑人口推移表(第628集『東宮遺跡(3)』第4表加筆修正)

年号	世帯数	人口	備考
明治11年(1878)	37	172	
明治22年(1889)	35	206	長野原町成立
昭和19年(1944)	64	287	うち疎開戸数4
昭和26年(1951)	75	359	
昭和30年(1955)	69	315	
昭和35年(1960)	66	296	
昭和45年(1970)	75	316	
昭和50年(1975)	78	299	
昭和55年(1980)	79	290	
昭和60年(1985)	80	261	
平成2年(1990)	82	242	
平成7年(1995)	83	239	
平成12年(2000)	80	211	
平成17年(2005)	30	83	
平成22年(2010)	20	58	
平成27年(2015)	23	68	

人口・戸数(世帯数)について、明治時代の大字別の明細が分かるものとしては、明治11年と明治22年の二つの記録しかない。それ以後は、5年毎の国勢調査の結果をもとにして、集約すると第6表の通りである。

3 川原畑村と交通

鎌倉時代の建久4(1193)年、源頼朝三原野狩の往路は、碓氷峠を越え、軽井沢、中軽井沢を経て六里ヶ原を通り、帰路は、狩宿村から万騎峠を越え、関屋(本宿村)に向かったと伝承されている。

また、戦国時代になり、永禄6(1563)年、長野原合戦の際の、岩櫃軍の長野原城への侵攻路をみても、天険を越え大城山(王城山)へ駆け上った道や暮坂峠を越え湯窪(湯久保)へ、または火打花を経て長野原へと入る道があったとされている。

さらに、この時代からは、草津温泉への入湯客の往来も始まり、江戸時代初期には川原湯温泉に浴するものも数多くなったことから、長野原町を通過する中山道裏街

道は、相当の交通量があったものと想像できる。

川原畑村の旧道は、天保14(1843)年の絵図によれば、川原畑上村・下村を分ける段丘層の中腹から麓に当たる部分を東西に走行し、東は旧三ツ堂(三ツ堂岩陰)の石段下を通過して吾妻溪谷(道陸神峠)へ、西は旧諏訪神社の石段下を通過して久森峠へと抜けている(第13図参照)。当時の川原畑村の集落はこの旧道に沿って東西に細長く形成され、その南側になだらかに広がる日当たりの良い河岸段丘平坦面は畑を中心とした耕作地として利用されていたことが推測できる。

参考文献(第3表本文以外)
群馬県文化事業振興会1985『上野国郡村誌』11
群馬県史編さん委員会1986『群馬県史』資料編7(中世3)
藤原正洋2008『天明記流に呑まれた屋敷の謎』『理文群馬』No.47 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
上毛民俗学会1987『長野原町の民俗』
関俊明2006『天明記流はどう流下したか?』『ぐんま史料研究』第24号 群馬県立文書館
長野原町誌編纂委員会1976『長野原町誌』上
萩原進1963『富永加部安盛資記』『あがつま史帖』西毛新聞社
萩原進1986『浅間山天明噴火史料集成』II 群馬県文化事業振興会
山崎一1972『群馬県古城址の研究』下 群馬県文化事業振興会
山崎一・山口武夫1972『吾妻郡城泉史』西毛新聞社
マッピングぐんま
<http://mapping-gunma.pref-gunma.jp/pref-gunma/top>

第3章 発見された遺構と遺物

第1節 V～VII区第1面から 発見された遺構と遺物

第1面(天明泥流下)からは、V区から畑7区画・平坦面5箇所・復旧溝群2区画・道路3条・石積遺構4基・溝4条、VI区から畑1区画・平坦面3箇所・復旧溝群1区画・石積遺構1基、VII区から道路2条・石積遺構3基が確認された。畑の畝方向は7号畑をのぞき等高線にほぼ平行している。遺物は極めて少ない。

1 V区第1面から発見された遺構と遺物

1号畑(第14図、PL. 2)

位置 32区A-25、B-24・25、C-23～25、D-22～25、E・F-21～25、G-22～25、H-23・24、42区B・C-1、D-1・2、E・F-1グリッド。

重複 1号復旧溝群と重複。本遺構が古い。

主軸方位(畝方向) N-38°-E。等高線にほぼ平行する。

規模 長軸(22.70)m、短軸(16.70)m。畝サク間0.30～0.80m。

遺物 なし。

所見 北東側を1号道路により3・4号畑と隔てられている。重複する1号復旧溝群がa・bの2群に分けられ、bと重複する東方が断片的であることから、2区画に分けられると考えられる。

1号復旧溝群(第14図、PL. 2・28)

位置 32区B-24・25、C-23～25、D～F-21～25、G-22～25、H-23・24、42区B・C-1、D-1・2、E-1～3、F-1・2、G-1グリッド。

重複 1号畑、1号道路、1号石積遺構と重複。本遺構が新しい。

主軸方位 N-43°-E。

規模(群) a：長軸(7.30)m、短軸(19.20)m。b：長軸16.10m、短軸(15.50)m。

規模(溝) a：長軸5.20～(7.20)m、短軸1.00～1.40m、深さ0.08～0.41m。b：長軸12.70～16.20m、短軸0.80

～1.20m、深さ0.08～0.36m。

遺物 陶器碗2点(1・2)、染付碗(3)、すり鉢(4)を図示した。

所見 西よりa・bの2群に分けられ、1号畑の区画に対応すると考えられる。南東部が1号道路側に数十cmはみ出しており、復旧作業時に境界を見誤ったと考えられる。

2号畑(第15～17図、PL. 4)

位置 31区U-25、V・W-23～25、X-24・25、41区N-6～8、O-5～8、P-4～10、Q-3～10、R-2～8、S-1～6、T-1～5、U-1～4、V-1～3、W-2グリッド。

重複 なし。

主軸方位(畝方向) N-47°-E。等高線にほぼ平行する。

規模 a：長軸(9.10)m、短軸(6.50)m。畝サク間0.40～0.80m。b：長軸12.90m、短軸(12.10)m。畝サク間0.30～0.50m。c：長軸27.80m、短軸(15.80)m。畝サク間0.40～0.50m。

遺物 なし。

所見 北西側を2・3号道路により3・7号畑と、北東側を2号道路、1号溝により5号畑と隔てられている。西よりa～cの3区画に分けられる。aの残存状態は不良である。本遺跡の畑のうち最多の4つの平坦面がある。

1号平坦面(第18図)

位置 41区O-6グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-6°-W。

規模 長軸0.94m、短軸0.91m。

遺物 なし。

所見 2号畑cに付属する。

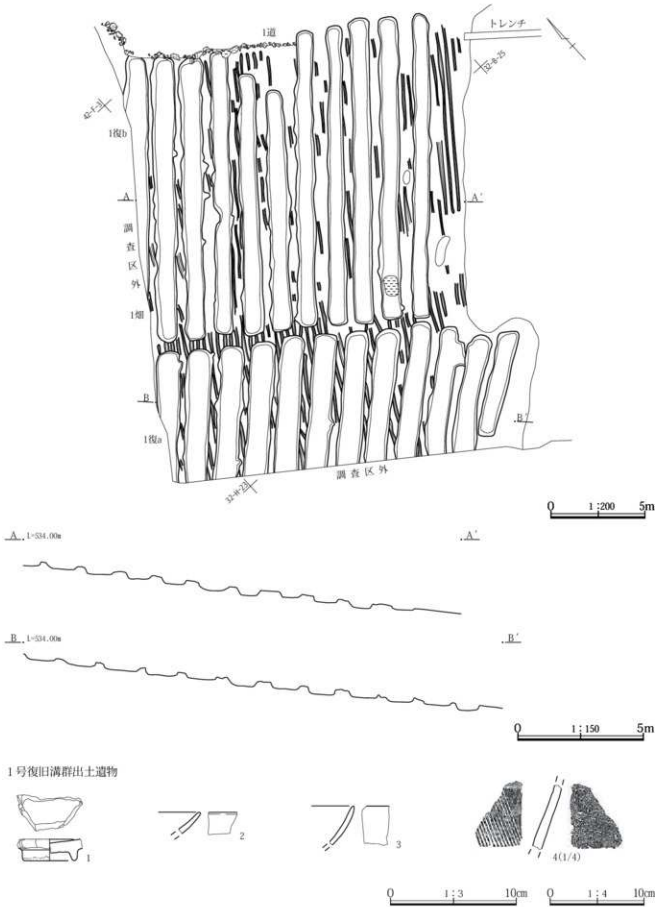
2号平坦面(第18図)

位置 41区Q-4グリッド。

重複 なし。

平面形状 円形。

主軸方位 計測不能。



第14図 1号畑、1号復旧溝群

規模 直径1.12m。

遺物 なし。

所見 2号畑cに付属する。

3号平坦面(第19図)

位置 41区S-2グリッド。

重複 なし。

平面形状 円形。

主軸方位 計測不能。

規模 直径0.96m。

遺物 なし。

所見 2号畑bに付属する。

4号平坦面(第19図)

位置 41区T・U-1グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-1°-E。

規模 長軸0.96m、短軸0.92m。

遺物 なし。

所見 2号畑bに付属する。

3号畑(第15～17図、PL.3・4)

位置 31区Y-25、32区A-25、41区Q-9～11、R-8～13、S-6～14、T-5～15、U・V-4～16、W5～9・12～15、X-1～3・5～8、Y-1～8、42区A-1～7、B-1～6、C-2～6、D-2～4、E-3グリッド。

重複 なし。

主軸方位(畝方向) N-43°-E、N-34°-E。等高線にほぼ平行する。

規模 a：長軸25.3m、短軸21.7m。畝サク間0.30～0.50m。b：長軸20.6m、短軸12.70m。畝サク間0.30～0.70m。c：長軸20.50m、短軸(29.40)m。畝サク間0.10～0.50m。

遺物 なし。

所見 南西側を1号道路により1号畑と、南東側を2・3号道路により2号畑と、北東側を2号道路・1号溝により5号畑と、北西側を3号石積遺構により4号畑と隔てられている(3号石積遺構は4号畑に付属すると考えられる)。7号畑と隣接する。西よりa～cの3区画に分けられ、a・bと2・3号道路で7号畑を囲っている。

4号畑(第15～17図、PL.3)

位置 41区V-10・11、W・X-10～12、Y-10・11、42区A-7～10、B・C-6・7、D-6グリッド。

重複 2号復旧溝群と重複。本遺構が古い。

主軸方位(畝方向) N-38°-E、N-49°-E。

規模 a：長軸22.30m、短軸(9.30)m。畝サク間0.30～0.80m。b：長軸16.50m、短軸(12.50)m。畝サク間0.30～0.90m。

遺物 なし。

所見 南西側を1号道路により1号畑と、南東～北東側を3号石積遺構により3号畑と隔てられている。3号石積遺構は本遺構に隣接し境界をなしている。西よりa・bの2区画に分けられ、aには2号復旧溝群a・b群、bには4号復旧溝群c群が対応する。

3号石積遺構(第15～17図)

位置 41区V-10～12、W-9・10・12・13、X-8・9・13、Y-7・8、42区A-7、B-6、C-5・6、D-4・5グリッド。

重複 なし。

平面形状 L字状。

主軸方位 N-49°-E、N-43°-W。

規模 長軸38.80m、短軸(13.10)m、高さ0.60m。

遺物 なし。

所見 4号畑に隣接し、境界をなしている。

2号復旧溝群(第15～17図、PL.3)

位置 41区V-10・11、W-9～13、X-8～13、Y-7～12、42区A-7～10、B-6～9、C-5～7、D-5・6グリッド。

重複 4号畑と重複。本遺構が新しい。

主軸方位 N-41°-E、N-19°-E。同心円部計測不能。

規模(群) a：長軸11.70m、短軸(5.00)m。b：長軸9.30m、短軸(8.40)m。c：長軸16.50m、短軸(12.80)m。

規模(溝) a：長軸(3.20)～(10.20)m、短軸0.90～1.20m、深さ0.10～0.81m。b：長軸(3.30)～(8.80)m、短軸0.90～1.10m、深さ0.09～0.22m。c：長軸(0.30)～(0.88)m、短軸0.80～1.20m、深さ0.20～0.37m。同心円部長軸計測不能。

遺物 なし。

所見 a～cの3群に分けられる。cは区画内で同心円状を呈すc1と空隙を埋めるc2にさらに分けられる。

a・bは4号畑a、cは4号畑bの区画に対応すると考えられる。

5号畑(第20～21図、PL.28)

位置 41区J13・14、K-12～15、L-11～16、M-8・9・11～17、N-8・9・11～19、O-11～19、P-11～18、Q-11～17、R-13～16、S-14～16グリッド。

重複 なし。

主軸方位(歛方向) N-46°-E。等高線にほぼ平行する。

規模 長軸27.50m、短軸(30.50)m。畝サク間0.30～0.70m。

遺物 陶器碗1点(1)を図示した。他に梅の種子1点が出土しているが、混入の可能性があり、非掲載とした。

所見 南西側を1号溝により2号畑と、2号道路、北東側を1号溝により3号畑と隔てられている。6号畑と隣接する。V区の畑のうち1号溝以東のものは復旧溝群と重複しない。

6号畑(第20～21図)

位置 41区E-20、F・G-18～21、H-15～17・19・20、I-14～20、J-13～22、K-14～23、L-15～25、M-17～25、N-18～25、O-19～24、P-20～23、Q-21・22グリッド。

重複 なし。

主軸方位(歛方向) N-47°-E。等高線にほぼ平行する。

規模 長軸(31.80)m、短軸(43.60)m。畝サク間0.30～0.70m。

遺物 なし。

所見 5号畑と隣接する。V区の畑のうち1号溝以東のものは復旧溝群と重複しない。

5号平坦面(第23図)

位置 41区G-19グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-1°-W。

規模 長軸1.90m、短軸1.80m。

遺物 なし。

所見 6号畑に付属する。

7号畑(第15～17図)

位置 41区U-3～5、W・X-2～6、Y-3～5、42区A-4グリッド。

重複 2号道路と重複。本遺構が新しい。

主軸方位(歛方向) N-48°-W。等高線にほぼ直交する。

規模 長軸11.30m、短軸11.60m。畝サク間0.40～0.60m。

遺物 なし。

所見 3号道路により2号畑と隔てられている。南東側以外の3辺は3号畑に囲まれており、主軸方位が他の畑と約90°異なる。残存状態は良好とはいえない。

1号道路(第24図、PL.2)

位置 42区C-1・2、D-2、E-2グリッド。

重複 1号復旧溝群と重複。本遺構が古い。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-51°-W。

規模 全長(10.30)m、幅1.20m。

遺物 なし。

所見 1号畑、1号復旧溝群と3・4号畑の間に位置する。1号畑側に1号石積遺構が隣接し境界をなすが、1号復旧溝群により南半が破壊されており、復旧作業時に境界を見誤ったと考えられる。

1号石積遺構(第24図、PL.2)

位置 42区C-1・2、D-2、E-2・3グリッド。

重複 1号復旧溝群と重複。本遺構が古い。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-51°-W。

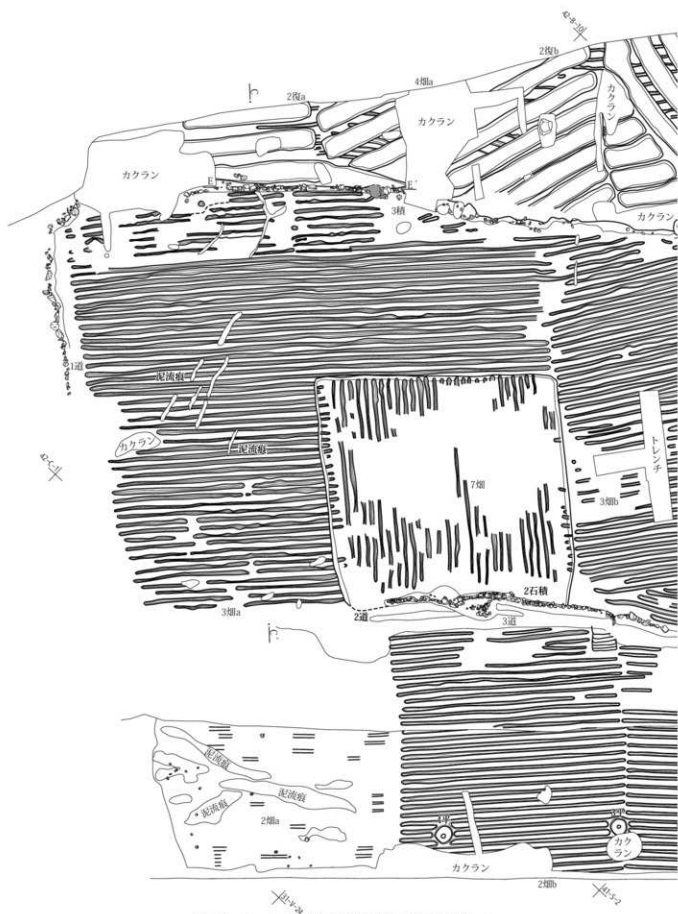
規模 長軸(10.30)m、短軸0.60m、高さ0.20m。

遺物 なし。

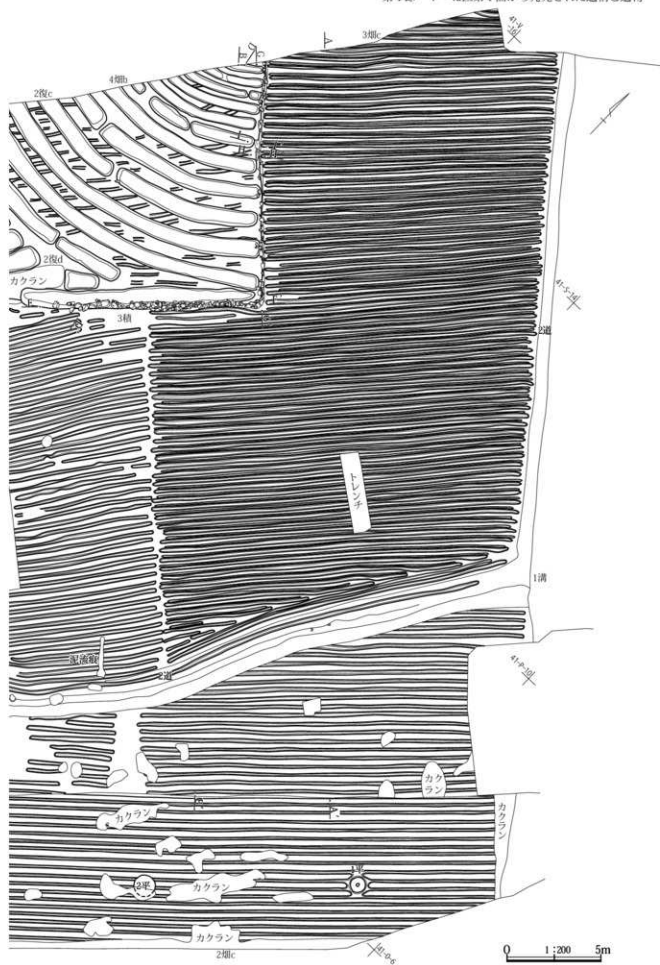
所見 1号道路に隣接し、境界をなしている。

2号道路(第25・26図、PL.4)

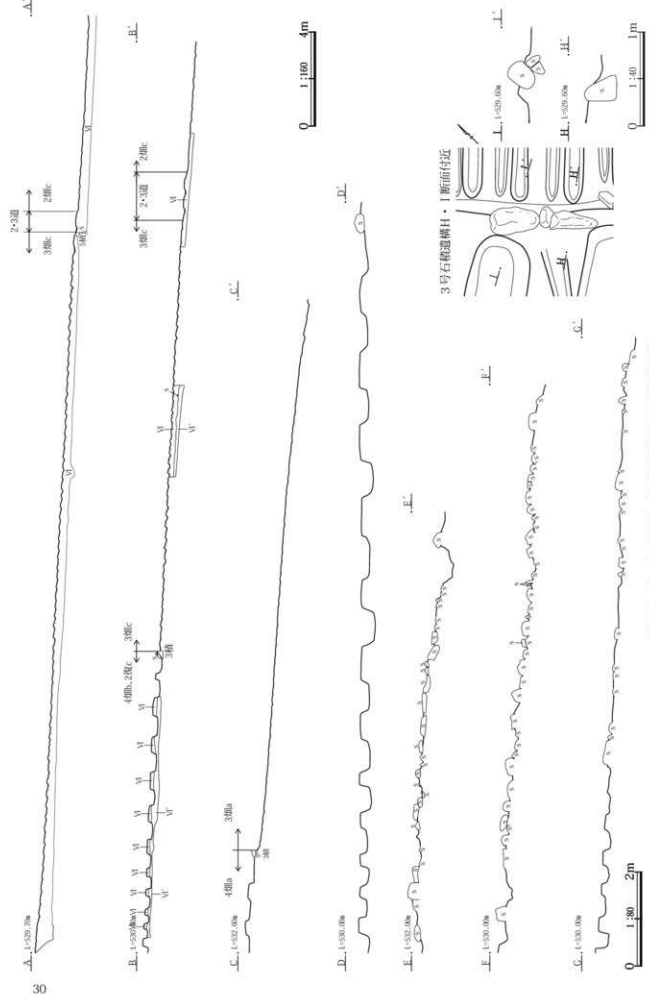
位置 41区P-10、Q-9～12、R-7～9・12・13、S-5～7・13・14、T-4・5・14～16、U-4・15・16、V-3・4、W-2・3グリッド。



第15図 2～4・7号畑、2号復旧溝群、3号石積遺構(1)



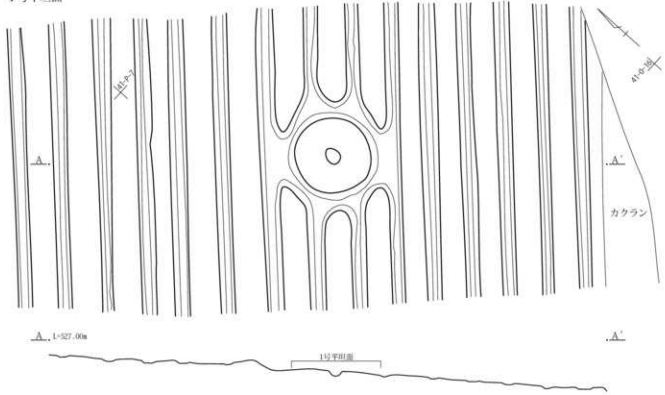
第16図 2～4・7号畑、2号復旧溝群、3号石積道構(2)



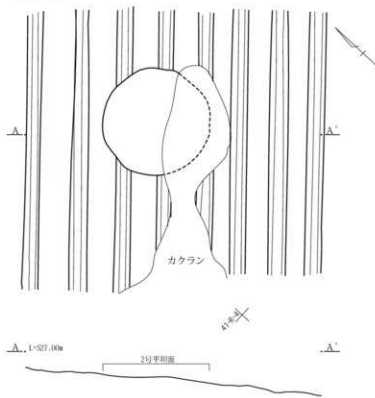
3号石橋遺構H・I断面付近

第17図 2~4・7号畑、2号復旧溝群、3号石橋遺構(3)

1号平坦面

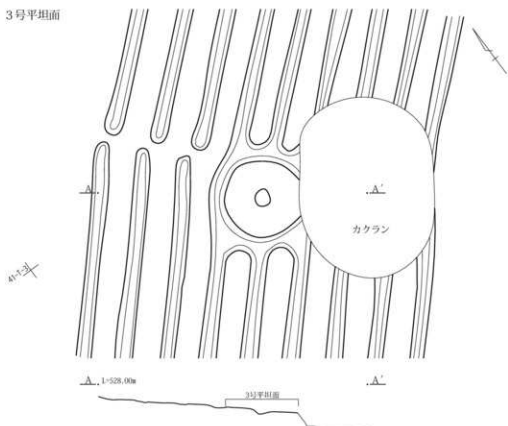


2号平坦面

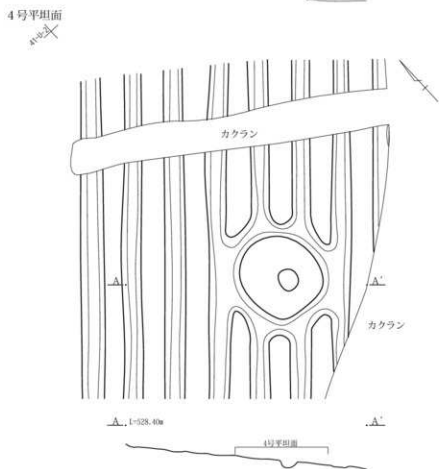


第18図 1・2号平坦面

3号平坦面



4号平坦面



0 1:40 1m

第19図 3・4号平坦面

重複 3・7号畑、3号道路、2号石積遺構と重複。本遺構が古い。

平面形状 L字状。

主軸方位 N-38°-W、N-32°-E、N-48°-E。

規模 全長(71.50)m、幅0.50～1.40m。

遺物 なし。

所見 2号畑と3号畑との間、3号畑と1号溝の間に位置する。本遺構の下位には5号石積遺構が存在し、本遺構および3号畑造成時の境界をなしていたと考えられる。3号道路は7号畑方向に延長するが、本遺構は前項の重複関係により東西両端部が一部断片的である。このことから、本遺構は3号道路に一部作り替えられたものと考えられる。

3号道路(第25・26図、PL. 4)

位置 41区P-10、Q-8～10、R-7～9、S-5～7、T-4・5、U-4、V-3・4、W-1～3、X-1・2グリッド。

重複 2号道路と重複。本遺構が新しい。1号溝と接する。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-32°-E、N-48°-E。

規模 全長(48.50)m、幅0.40～0.60m。

遺物 なし。

所見 2号畑と3・7号畑との間に位置する。2号道路側に2号石積遺構が隣接し境界をなしている。2号道路との関係から、本遺構は2号道路を作り替えたものと考えられるが、1号溝沿いには延びておらず、全面的な作り替えではない可能性がある。

2号石積遺構(第25・26図)

位置 41区T-4・5、U-4、V-3・4、W-2・3グリッド。

重複 2号道路と重複。本遺構が新しい。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-50°-E。

規模 長軸15.20m、短軸0.40～1.50m、高さ0.25m。

遺物 なし。

所見 3号道路に隣接し、境界をなしている。

5号石積遺構(第27・28図)

位置 31区X・Y-25グリッド。41区Q-9・10、R-7～9、S-5～7、T-5、U-4・5、V-3・4、W-2・3、X-1・2、Y-1グリッド。

重複 なし。

平面形状 L字状。

主軸方位 N-31°-E、N-45°-E、N-46°-W。

規模 長軸54.80m、短軸1.15m、高さ0.60m。

遺物 なし。

所見 2号道路下位にあり、2号道路および3号畑造成時の境界をなしていたと考えられる。

1号溝(第29図)

位置 41区N-7～9、P-10・11、Q-11・12、R-12・13、S-13～15、T-14～16、U-16グリッド。

重複 3号道路と接する。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-38°-W。

規模 全長(44.8)m、幅0.60～2.70m、深さ0.16～0.33m。

遺物 国産磁器1点が出土したが、小破片のため非掲載とした。

所見 2号道路と一部並行し、2・3号畑と5号畑の間に位置する。

4号溝(第30図、PL. 4)

位置 31区Y-24、32区A-23・24、B-22・23、C-22グリッド。

重複 6号溝と重複。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-50°-E。

規模 全長(13.9)m、幅0.30m、深さ0.04～0.16m。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、詳細は不明である。

5号溝(第30図、PL. 4)

位置 31区Y-23～25グリッド。

重複 なし。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-14°-W。



第20図 5・6号畑(1)



第21図 5・6号畑(2)

A, 1-526.00m

A'

B, 1-527.30m

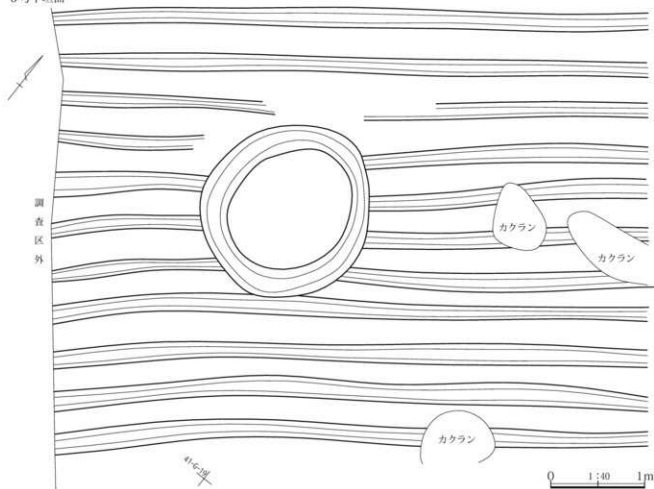
B'



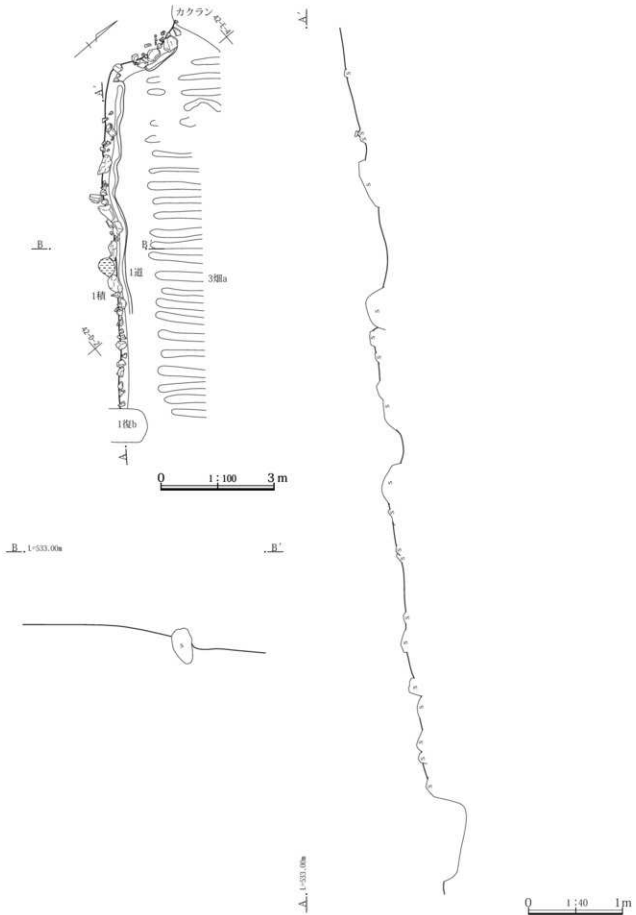
0 1:160 4m

第22図 5・6号畑(3)

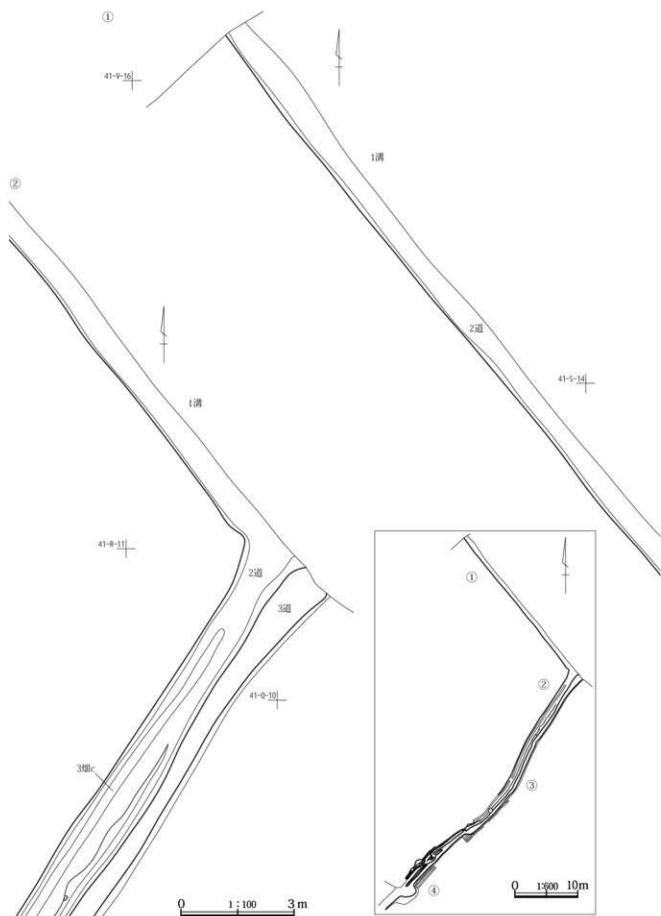
5号平坦面



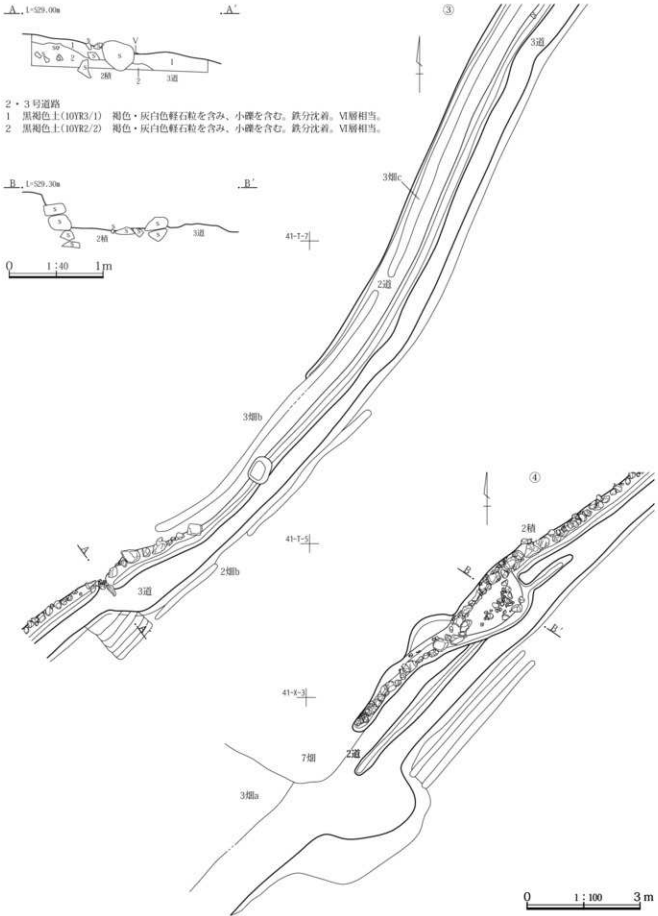
第23図 5号平坦面



第24図 1号道路、1号石積遺構

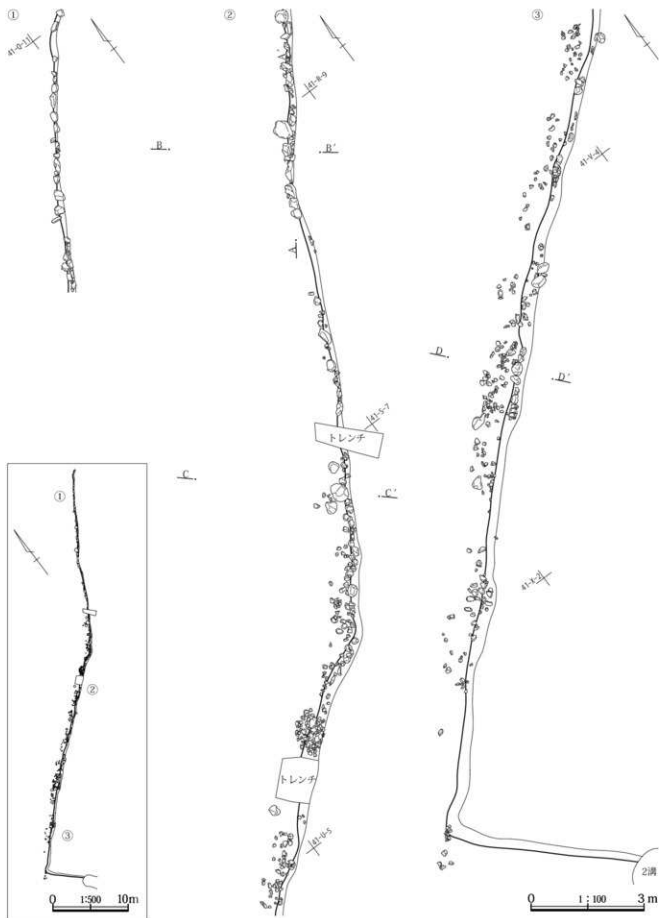


第25図 2・3号道路、2号石積遺構(1)



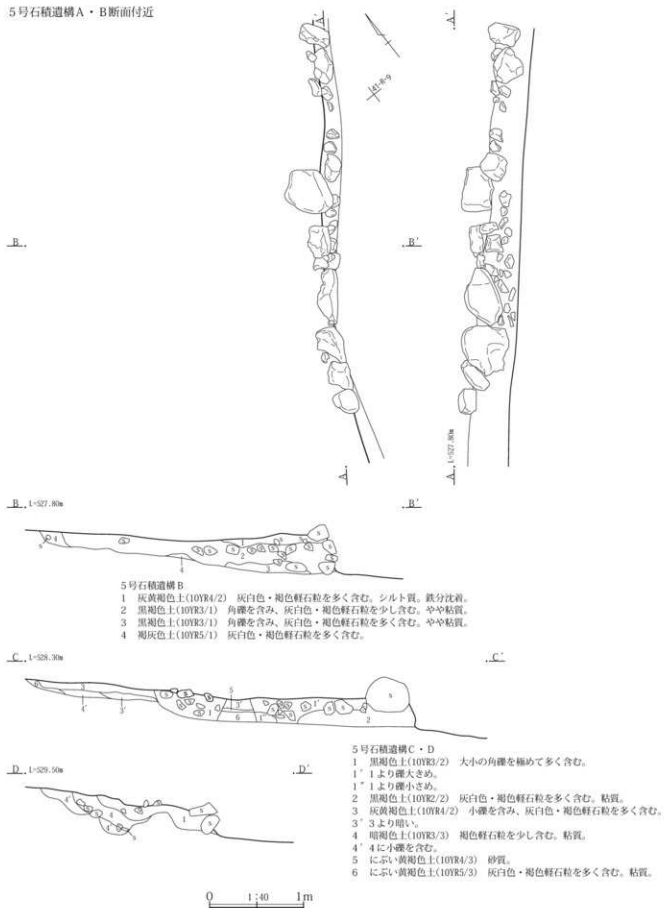
第26図 2・3号道路、2号石積遺構(2)

第3章 発見された遺構と遺物

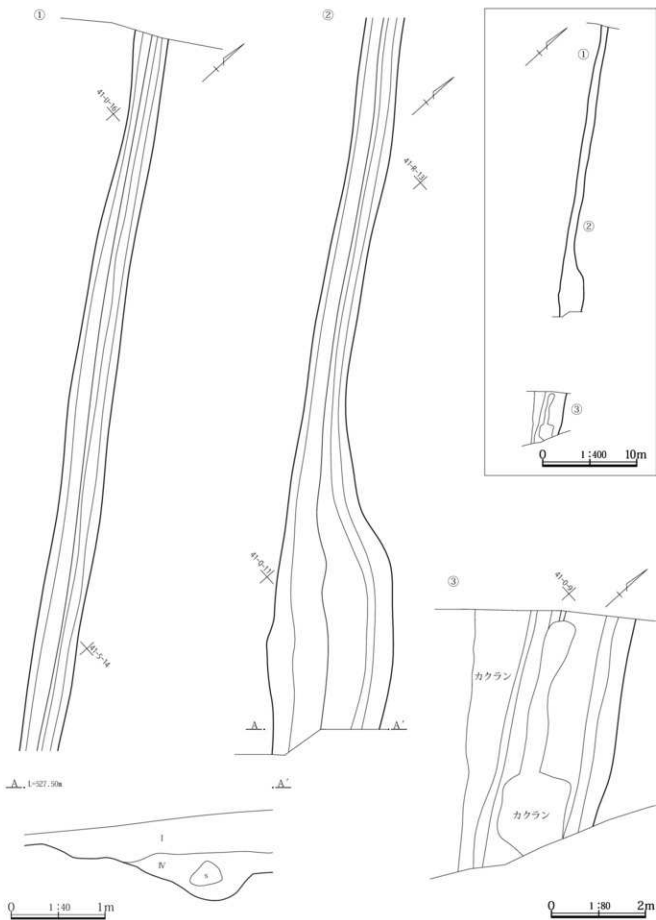


第27図 5号石積遺構(1)

5号石積遺構A・B断面付近



第28図 5号石積遺構(2)



第298図 1号溝

2 VI区第1面から発見された遺構と遺物

8号畑(第31～33図、PL. 5)

位置 34地区60区M-7、N-6・7、O-7、P・Q-6・7、R-5～7、S・T-4～7、U-1～6、V-1～7、W-1～8、X-1～7、Y-1～6、35地区41区A-23～25、B-24・25、C-25、50区V・W-24・25、X・Y-23～25、51区A～C-1～5、D-1～3グリッド。

重複 3号復旧溝群、6号石積遺構と重複する。本遺構が古い。

主軸方位(畝方向) N-56°-E。等高線にほぼ平行する。

規模 長軸(66.00)m、短軸(28.80)m。畝サク間0.30～0.60m。

遺物 陶器皿1点(1)を図示した。他に国産磁器2点、国産陶器4点が出土したが、小破片のため非掲載とした。

所見 6号石積遺構以東が3号復旧溝群と重複しており、ここに何らかの境界が存在したと考えられる。本遺構を被覆するIV層が削平されており、残存状態は不良である。

6号平坦面(第34図)

位置 50区Y-23・24グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-48°-E。

規模 長軸1.86m、短軸1.65m。

遺物 なし。

所見 8号畑に付属する。

7号平坦面(第34図)

位置 50区V-25、60区V-1グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-64°-E。

規模 長軸2.00m、短軸1.84m。

遺物 なし。

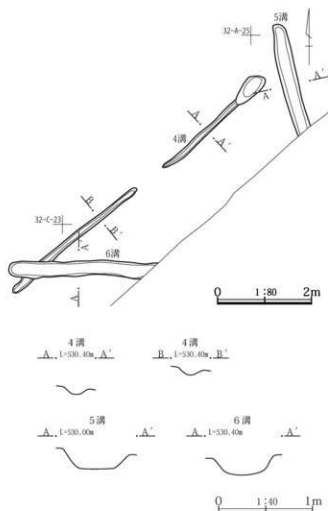
所見 8号畑に付属する。

8号平坦面(第34図)

位置 60区X-5グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。



第30図 4～6号溝

規模 全長(5.20)m、幅0.70m、深さ0.35m。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、詳細は不明である。

6号溝(第30図、PL. 4)

位置 32区B・C-22グリッド。

重複 4号溝と重複。

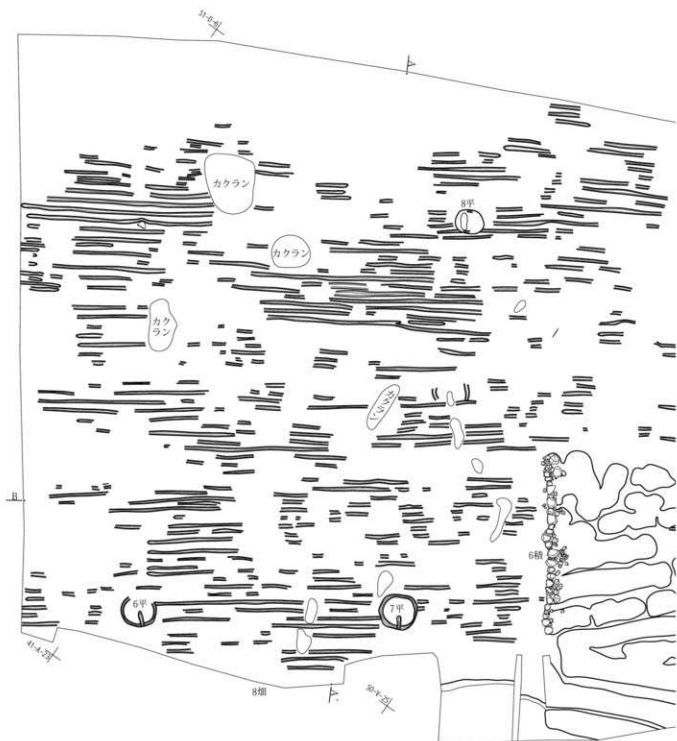
平面形状 直線状。

主軸方位 N-89°-W。

規模 全長(0.63)m、幅1.10m、深さ0.17m。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、詳細は不明である。



8号畑出土遺物

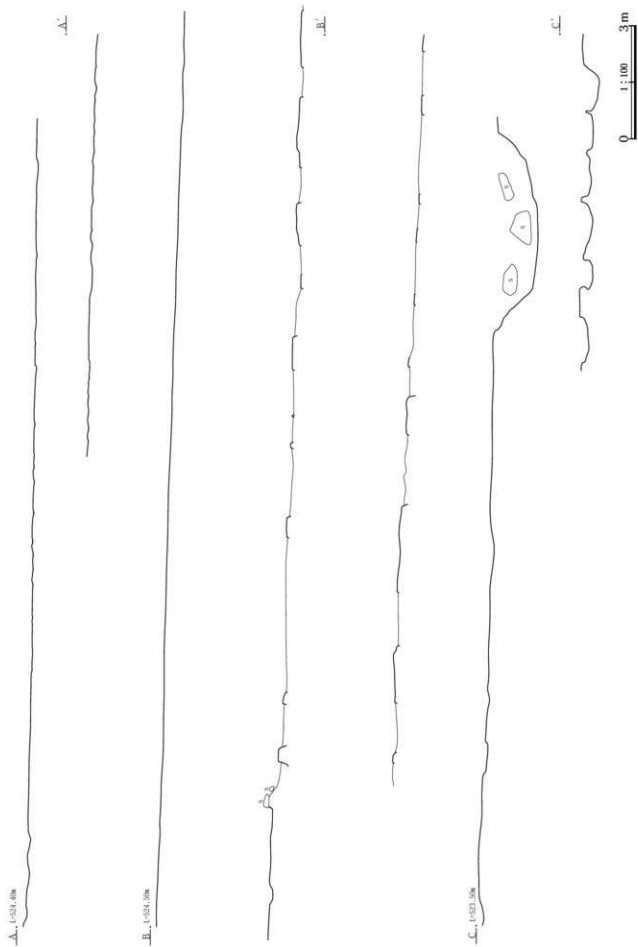


0 1:3 10cm 1

第31図 8号畑、6号石積遺構、3号復旧溝群(1)

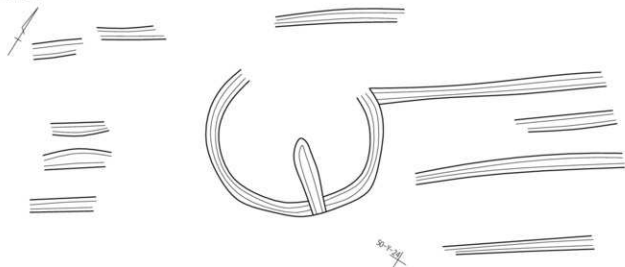


第32図 8号畑、6号石積遺構、3号復旧溝群(2)

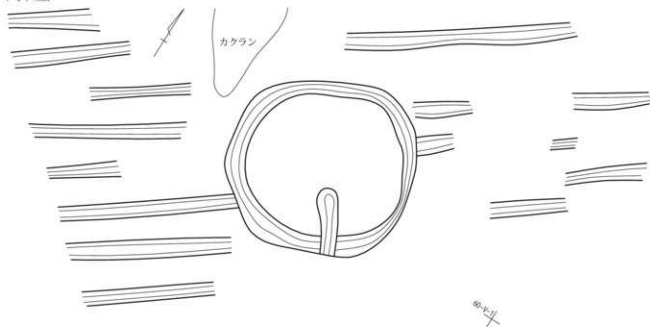


第33図 8号畑、6号石積遺構、3号復旧溝群(3)

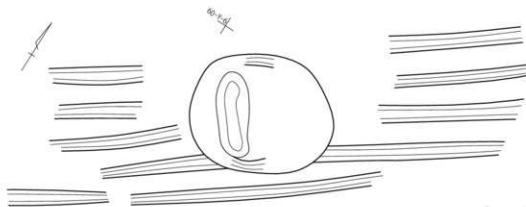
6号平坦面



7号平坦面



8号平坦面



0 1:40 1m

第34図 6～8号平坦面

主軸方位 N-58°-E。

規模 長軸1.52m、短軸1.25m。

遺物 なし。

所見 8号畑に付属する。

3号復旧溝群(第31～33図、PL. 5)

位置 60区L-7～8、M-7～9、N-5～9、O-4～8、P-3～7、Q-2～6、R-1～6、S・T-1～5、U-2～4グリッド。

重複 8号畑、6号石積遺構と重複する。本遺構が6号石積遺構より古く、8号畑より新しい。

主軸方位(畝方向) N-50°-E、N-60°-E、N-43°-W。

規模(群) a：長軸14.20m、短軸(12.10)m。b：長軸12.00m、短軸(11.60)m。c：長軸(17.50)m、短軸(11.50)m。

規模(溝) a：長軸2.9～11.3m、短軸1.1～1.4m、深さ(0.17)～(0.29)m。b：長軸2.90～12.0m、短軸1.00～1.40m、深さ計測不能。c：長軸2.7～9.8m、短軸0.70～1.20m、深さ計測不能。

遺物 なし。

所見 8号畑に対応するが、6号石積遺構以西に復旧溝群は展開しておらず、ここに何らかの境界が存在したと考えられる。

6号石積遺構(第31～33図、PL. 6)

位置 60区T-2、U-2・3、V-3グリッド。

重複 8号畑、3号復旧溝群と重複。本遺構が新しい。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-35°-W。

規模 長軸9.50m、短軸1.50m、高さ0.25m。

遺物 なし。

所見 3号復旧溝群西端に隣接し、境界をなしている。

3 VII区第1面から発見された遺構と遺物

4号道路(第35～37図、PL. 6)

位置 51区V-22・23、W-22、X-20・21、Y-19・20、52区A-18・19、B-17・18、C-16・17、D-16、61区M-5・6、N-4・5、O-4、P-3・4、Q-3グリッド。

重複 なし。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-51°-E、N-38°-E。

規模 全長(62.40)m、幅2.60m。

遺物 なし。

所見 東側から西側へ等高線を斜めに上り、5号道路と連続する可能性がある。斜面上側に7・8号石積遺構、下側に9号石積遺構が隣接し境界をなしている。

7号石積遺構(第35～37図、PL. 6)

位置 51区V-22・23、Y-22グリッド。

重複 なし。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-38°-E。

規模 長軸6.50m、短軸0.50m、高さ1.10m。

遺物 なし。

所見 4号道路斜面上側に隣接し、境界をなしている。8号石積遺構と連続する可能性がある。

8号石積遺構(第35～37図)

位置 51区W-22、X-20・21、Y-20、52区A-18・19、B-18、C-17、D-16グリッド。

重複 なし。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-39°-E、N-50°-E。

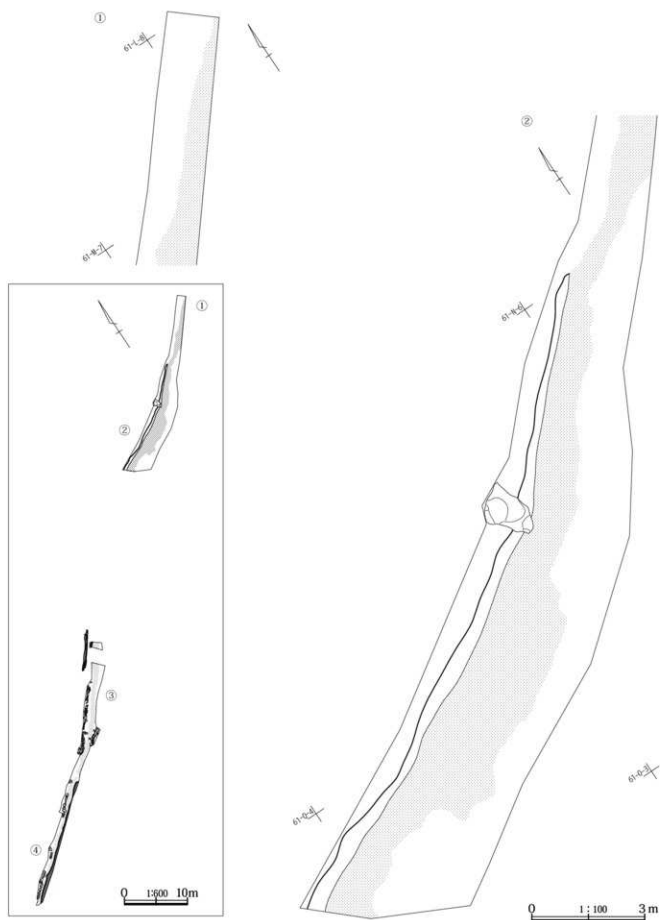
規模 長軸35.50m、短軸0.90m、高さ0.60m。

遺物 なし。

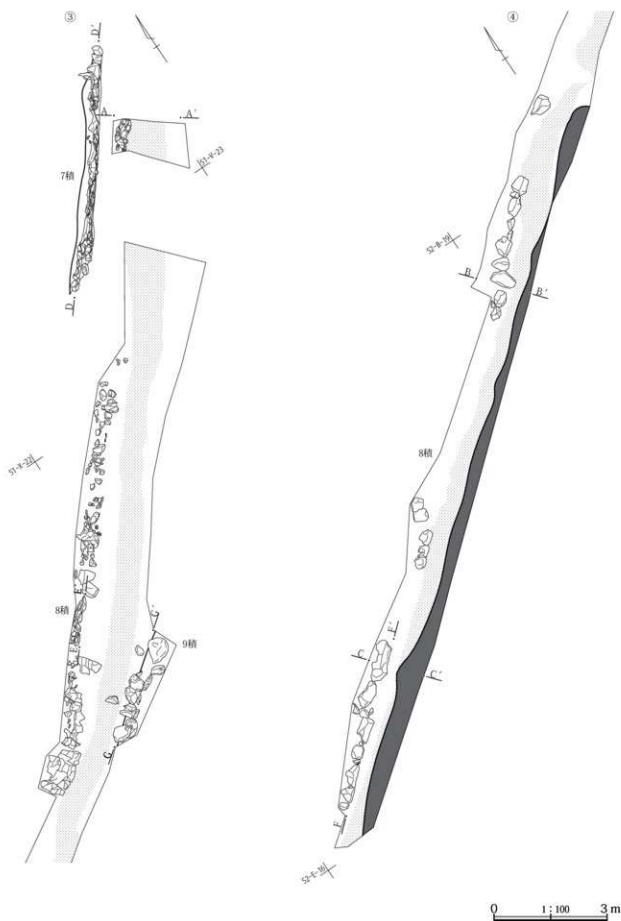
所見 4号道路斜面上側に隣接し、境界をなしている。西側は断片的であり、東側は7号石積遺構と連続する可能性がある。

9号石積遺構(第35～37図)

位置 51区W・X-20グリッド。



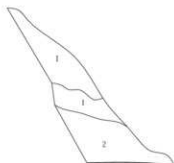
第35図 4号道路、7～9号石積遺構(1)



第36図 4号道路、7～9号石積遺構(2)

第1節 V～Ⅶ区第1面から発見された遺構と遺物

A, 1=52.20m



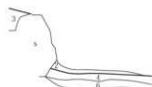
A'

B, 1=51.50m



B'

C, 1=51.80m

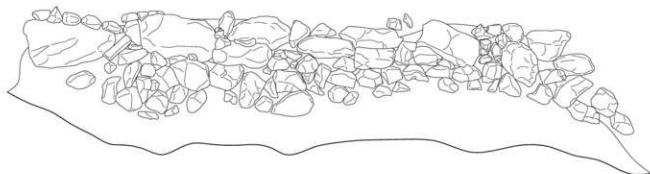


C'

4号道路

- 1 褐色土(10YR4/4) 上からの崩落土。しまり弱し。
 2 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含む。粘性あり。シルト質。天明淀流。IV層相当。
 3 暗褐色土(10YR3/3) 大礫を含む。上からの崩落土。
 4 黒褐色土(10YR2/2) 小礫を含む。砂質。上からの崩落土。
 5 灰黄褐色砂(10YR4/2)。
 6 黒褐色土(10YR2/3) 大礫を含む。上からの崩落土。

D, 1=53.80m



D'

E, 1=51.80m



E'

G, 1=51.00m



G'

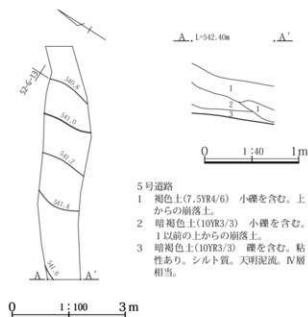
F, 1=51.80m



F'

0 1:40 1m

第37図 4号道路、7～9号石積遺構(3)



第38図 5号道路

重複 なし。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-57°-E。

規模 長軸3.00m、短軸0.60m、高さ1.00m。

遺物 国産磁器2点が出土したが、小破片のため非掲載とした。

所見 4号道路斜面下側に隣接し、境界をなしている。

5号道路(第38図)

位置 52区F-12・13、G・H-12グリッド。

重複 なし。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-60°-E。

規模 全長(6.16)m、幅1.10m。

遺物 なし。

所見 4号道路と連続する可能性があり、東側から西側へ等高線を斜めに乗っている。

第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物

第2面(中近世)からは、V区から屋敷1軒(竈壇状遺構1基・掘立柱建物1棟・溝2条、石積遺構1基・土坑1基・ピット84基・焼土4基)・竪穴状遺構3基・掘立柱建物2棟・柵2基・耕作痕群1区画・溝21条・井戸3基・墓坑6基・土坑104基・ピット622基、VI区から土坑1基・ピット37基が確認された。遺物については、第1面ほどではないが少ない。

1 V区第2面から発見された遺構と遺物

1号屋敷(第39～47図、PL.7・29)

1号屋敷は1号竈壇状遺構、3号掘立柱建物、12・13号溝、4号石積遺構、26号土坑、92～97・99・100・102・105・116・117・119・120・122～129・146～151・153～167・168a～168d・169・172～174・187・188・190～196・198～200・222～232・234～237・239・241～243・246・249号ピット、1～4号焼土で構成される。1号竈壇状遺構は、12号溝以東の下段、12号溝・4号石積遺構間の中段、4号石積遺構以西の上段に分けられ、屋敷の中心をなす3号掘立柱建物は下段に位置する。囲炉裏と考えられる1～4号焼土の分布から、下段において掘立柱建物の数度の建て替えの可能性が指摘される。上段のピット群は調査区外まで展開するようで内容を把握することは困難である。段の構成および遺構配置から、3号掘立柱建物の北東辺が屋敷の正面側と考えられ、26号土坑付近が馬廄と考えられる。本遺構は時間的には近世のものであるが、出土遺物も少なく、詳しくは判別できなかった。なお、位置的に第1面の4号畑と2号復旧痕群の直下にあたるが、直接の影響は受けていないようである。

以下、1号屋敷を構成する各遺構の概要を記す。

① 1号屋敷造成面・1号竈壇状遺構(第39図)

位置 41区W-9～11、X-9～11、Y-9～11、42区A-10グリッド。

重複 下段に3号掘立柱建物、26号土坑、13号溝、92～97・99・100・102・105・116・117・119・120・122



第39図 1号屋敷

～129・146～167・168a～168d・169・172～174・187・188・190～196・198～200・222～232・234～237・239・241～243・246・249号ピット、1～4号焼土を配置し、上段に146～151・153～167号ピットを配置する。

平面形状 北東側から南西側へ上る雁壇状(3段)の造成面。12号溝以東の下段、12号溝・4号石積遺構間の中段、4号石積遺構以西の上段に分けられる。

主軸方位(段方向) N-57°-E。

規模 長軸(11.90)m、短軸(11.50)m。

遺物 国産陶器1点が出土したが、小破片のため非掲載とした。

所見 12号溝以東の下段、12号溝・4号石積遺構間の中段、4号石積遺構以西の上段に分けられる。下段には屋敷の中心をなす3号掘立柱建物が存在する。下段には4つの焼土が付属し、3号掘立柱建物の囲炉裏と考えられる。上段のピット群は調査区外まで展開するようで全容を把握することは困難である。

②1号屋敷母屋・3号掘立柱建物(第40・41図、PL.29)

位置 41区W-Y-9～11グリッド。

重複 13号溝、91～96・105・116・117・119・120・169・172・187・191～193・198・222・223・231・232・234～237・242・243号ピットと重複。

平面形状 2・4間×7間。

主軸方位(棟方向) N-33°-W。

規模 長軸8.85m、短軸4.74m。

柱穴 22基が確認された。形状および規模は以下のとおり(柱穴名：平面形状-長軸-短軸-深さ(単位m))。

P1：不整形-0.54-0.47-0.56。

P2：円形-直径0.23-0.27。

P3：楕円形-0.28-0.25-0.47。

P4：楕円形-0.46-0.40-0.44。

P5：楕円形-0.21-0.17-0.33。

P6：長方形-0.18-0.16-0.18。

P7：楕円形-0.22-0.20-0.14。

P8：楕円形-0.33-0.26-0.57。

P9：楕円形-0.23-0.20-0.28。

P10：楕円形-0.32-0.25-0.21。

P11：楕円形-0.28-0.24-0.31。

P12：楕円形-0.19-0.17-0.23。

P13：楕円形-0.27-0.25-0.27。

P14：楕円形-0.27-0.25-0.17。

P15：楕円形-0.24-0.21-0.15。

P16：円形-直径0.20-0.03。

P17：楕円形-0.23-0.18-0.08。

P18：楕円形-0.35-0.26-0.29。

P19：楕円形-0.29-0.22-0.18。

P20：楕円形-0.30-0.22-0.31。

P21：楕円形-0.22-0.20-0.18。

P22：(方形)-0.28-(0.24)-0.08。

柱間 柱間距離は以下のとおり(柱穴名-柱穴名：距離(単位m))。

P1・22-P2：3.04。P2-P3：1.70。

P3-P4：1.76。P4-P5～7：1.10。

P5～7-P8：1.15。P8-P9：1.81。

P9-P10：1.00。P10-P11：1.60。

P11-P12：0.85。P12-P13：1.26。

P13-P14：0.75。P14-P15：1.85。

P15-P16：0.78。P16-P17：1.06。

P17-P18：1.04。P18-P19：1.64。

P19-P20：1.52。P20-P21：1.44。

P21-P1・22：1.65。

遺物 磁石1点(1)を図示した。

所見 1号雁壇状遺構下段に構築された1号屋敷の中心をなす建物である。13号溝と重複する部分が北東隅と考えられるが、北側は調査区外に延びる可能性もある。1～4号焼土は本建物の囲炉裏と考えられる。

③1号屋敷土台跡・13号溝(第41図)

位置 41区X-11グリッド。

重複 3号掘立柱建物と重複。

平面形状 L字状。

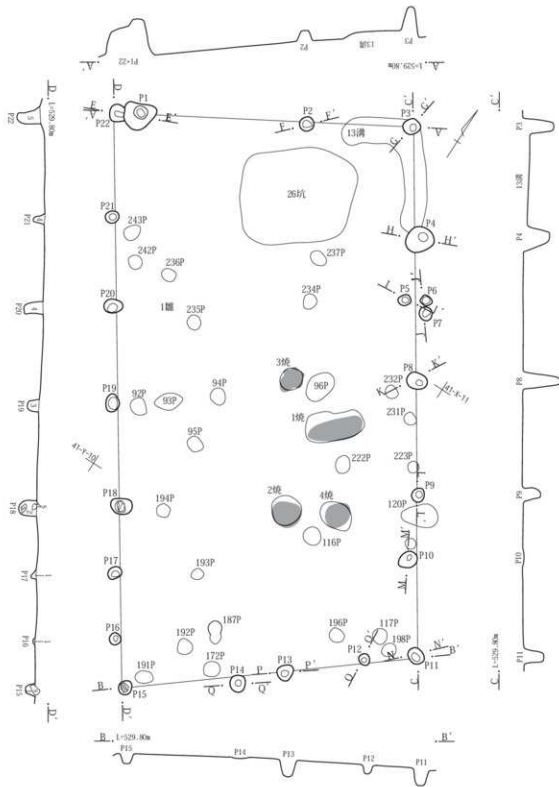
主軸方位 N-33°-W、N-60°-E。

規模 全長(2.75)m、幅0.35～0.42m、深さ0.07～0.13m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 3号掘立柱建物の北側隅に共存する。



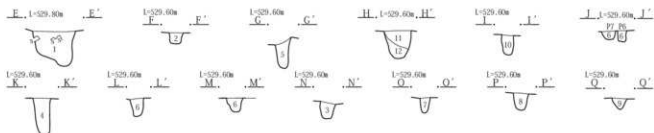
3号掘立柱建物D (P15～22)

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 赤褐色・黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含み、澱を少し含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 赤褐色・黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) 澱を多く含み、赤褐色・黄褐色軽石粒を含む。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物塊を含み、浅黄褐色軽石粒を含む。
- 5 暗褐色土(10YR3/3)。

0 1:60 2m

第40図 1号屋敷母屋・3号掘立柱建物(1)

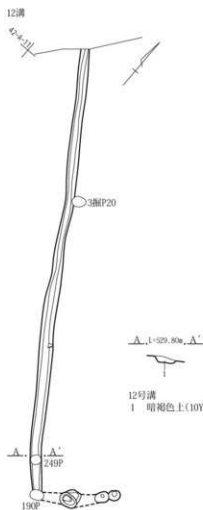
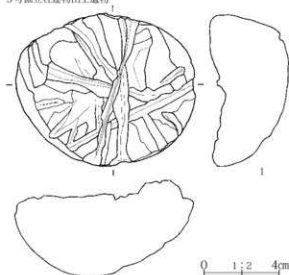
第3章 発見された遺構と遺物



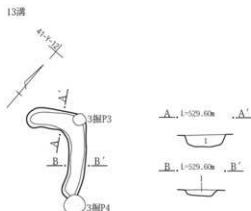
3号掘立柱建物E～Q (1～14)

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 角礫を多く含む、褐色軽石を含む、粘質。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 小礫を含む、褐色軽石を含む、炭化物粒を含む、粘質。
- 3 黒褐色土(10YR2/2) 角礫を少し含む、褐色・灰白色軽石粒を少し含む、粘質。
- 4 暗褐色土(10YR3/1) 角礫を含む、褐色軽石粒を含む、粘質。
- 5 黒褐色土(10YR3/1) 褐色・灰白色軽石粒を含む、炭化物粒を含む、粘質。
- 6 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色軽石粒を含む、炭化物粒を含む。
- 7 暗褐色土(10YR3/3) 褐色・黄褐色・灰白色軽石粒を含む。
- 8 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含む、赤褐色・黄褐色軽石粒を含む、炭化物粒を含む。
- 9 暗褐色土(10YR3/3) 赤褐色・黄褐色軽石粒を含む、炭化物粒を含む。
- 10 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色軽石粒を含む。
- 11 暗褐色土(10YR3/4) 礫を含む、明黄褐色・黄褐色軽石粒を含む、炭化物粒を含む。
- 12 褐色土(10YR4/4) 礫を含む、黄褐色軽石粒を含む、炭化物粒を含む。

3号掘立柱建物出土遺物

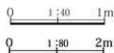


12号溝
1 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物粒を含む、黄褐色軽石粒を含む。

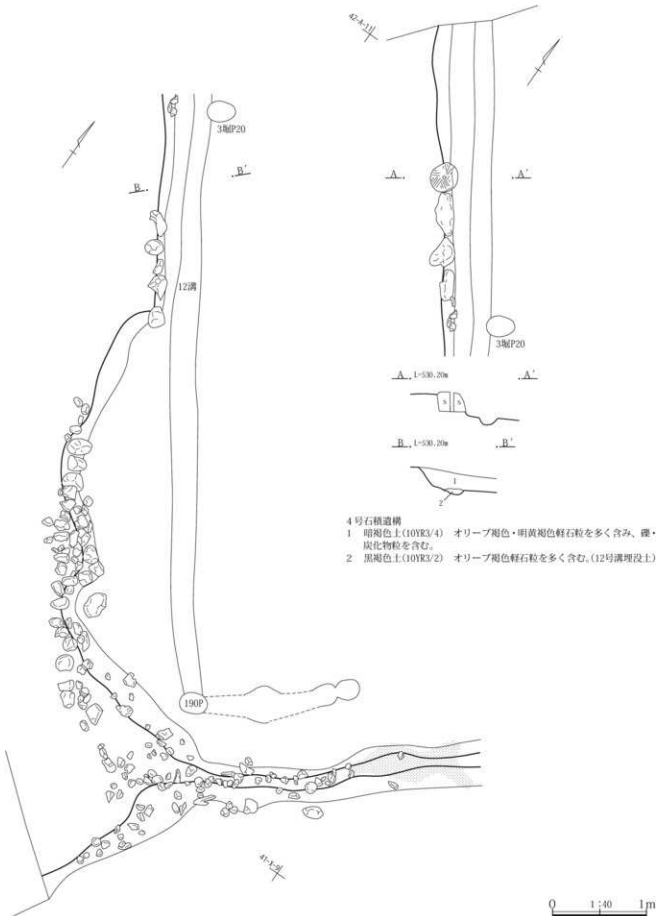


13号溝

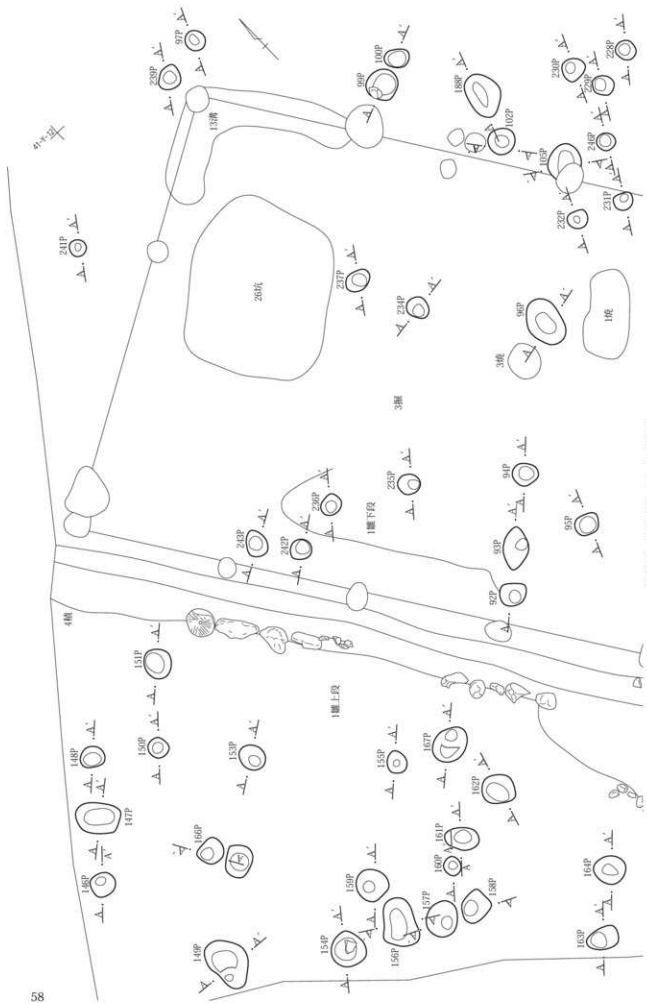
1 暗褐色土(10YR3/3) 褐色・灰白色軽石粒を含む、小礫を少し含む、粘質。



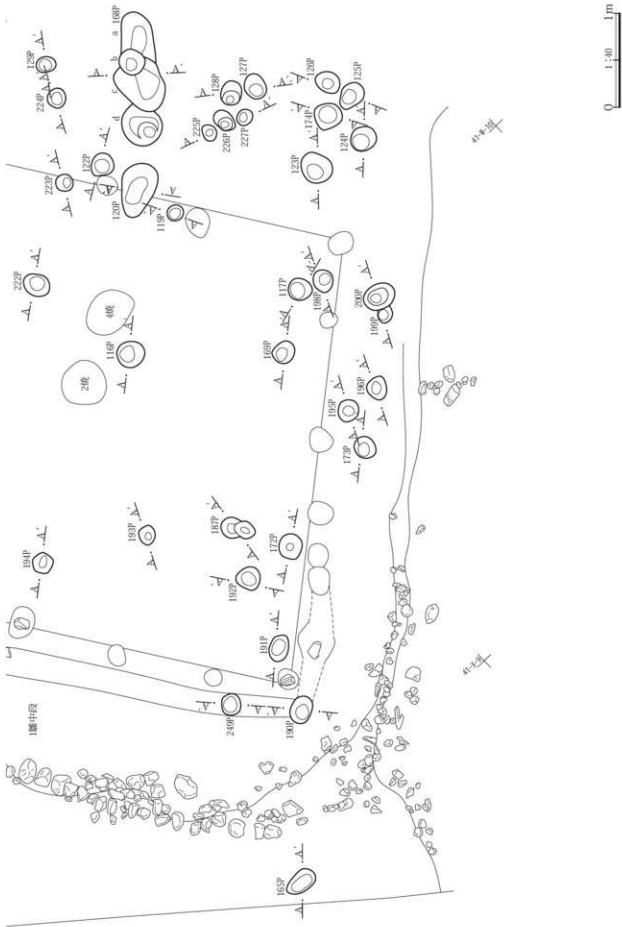
第41図 1号屋敷・3号掘立柱建物(2)、12・13号溝



第42図 1号屋敷石垣・4号石積道構



第43図 1 羽屋敷・ピット群(1)



第44図 1号屋敷・ピット群(2)

④ 1号屋敷雨落ち溝・12号溝(第41図)

位置 41区X-9~10、Y-9~11グリッド。

重複 190・249号ピットと重複。

平面形状 L字状。

主軸方位 N-33°-W、N-51°-E。

規模 全長(11.25)m、幅0.18~0.30m、深さ0.06~0.15m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 1号階段状遺構の下・中段の境界をなしている。3号掘立柱建物との位置関係から、雨落ち溝と考えられるが、下・中段の段差および調査区外に延びることから、他の性格も考えられる。

⑤ 1号屋敷馬屋・26号土坑(第47図、PL.7)

位置 41区X・Y-11グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-55°-E。

規模 長軸1.85m、短軸1.50m、深さ0.15m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 3号掘立柱建物の北側隅に位置し、馬屋部分に相当すると考えられる。

⑥ 1号屋敷囲炉裏

(1) 1号焼土(第47図)

位置 41区X-10グリッド。

重複 なし。

主軸方位 N-44°-E。

規模 長軸0.90m、短軸0.35m、深さ0.13m。

遺物 なし。

所見 3号掘立柱建物との位置関係から、囲炉裏と考えられる。

(2) 2号焼土(第47図)

位置 41区X-10グリッド。

重複 なし。

主軸方位 N-35°-E。

規模 長軸0.46m、短軸0.44m、深さ0.10m。

遺物 なし。

所見 3号掘立柱建物との位置関係から、囲炉裏と考えられる。

(3) 3号焼土(第47図)

位置 41区X-10グリッド。

重複 なし。

主軸方位 N-13°-E。

規模 長軸0.45m、短軸0.37m、深さ0.05m。

遺物 なし。

所見 3号掘立柱建物との位置関係から、囲炉裏と考えられる。

(4) 4号焼土(第47図)

位置 41区X-10グリッド。

重複 なし。

主軸方位 N-8°-E。

規模 長軸0.44m、短軸0.37m、深さ0.11m。

遺物 なし。

所見 3号掘立柱建物との位置関係から、囲炉裏と考えられる。

⑦ 1号屋敷石垣・4号石積遺構(第42図、PL.7)

位置 41区W-9、X-8・9、Y-9~11グリッド。

重複 なし。

平面形状 L字状。

主軸方位 N-33°-W、N-51°-E。

規模 長軸(15.20)m、短軸0.20~0.58m、高さ0.25m。

遺物 石白1点が出土したが、非掲載とした。

所見 1号階段状遺構の中・上段の境界をなしている。

⑧ 1号屋敷・ピット

1号屋敷には多数のピットが分布している。前記の囲炉裏の数を考えると、数度の建て替えの可能性がある。なお、ピットについては一覧表にまとめた。

1号壁穴遺構(第48図、PL.9)

位置 42区B・C-1・2グリッド。

重複 なし。

平面形状 不整形。

主軸方位 N-40°-W。

規模 長軸3.30m、短軸2.70m、深さ0.28m。

柱穴 5基が確認された。形状および規模は以下のとお

第7表 V区第2面1号屋敷・ピット一覧表

棟号	写真	号	区	面	位置 (グリッド)	平面形状	規模(cm)			重複(旧<当該遺構(●)<新)	備考 (▲=非掲載遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第43・45区	PL.7	92	V	2	41区X-10	長方形	28	24	64	1層下段, 3層。	
第43・45区		93	V	2	41区X-10	楕円形	46	27	60	1層下段, 3層。	
第43・45区	PL.7	94	V	2	41区X-10	楕円形	28	24	14	1層下段, 3層。	
第43・45区	PL.8	95	V	2	41区X-10	長方形	26	22	16	1層下段, 3層。	
第43・45区		96	V	2	41区X-10	楕円形	52	37	32	1層下段, 3層。	
第43・45区	PL.8	97	V	2	41区X-11	円形	直径22		42	1層下段。	
第43・45区	PL.8	99	V	2	41区X-11	方形	一辺33		51	1層下段。	
第43・45区		100	V	2	41区X-11	楕円形	26	20	14	1層下段。	
第43・45区	PL.8	102	V	2	41区X-11	楕円形	30	28	29	1層下段。	
第43・45区	PL.8	105	V	2	41区X-10・11	(楕円形)	(38)	35	50	1層下段, 3層。	
第44・45区	PL.8	116	V	2	41区X-10	円形	直径29		20	1層下段, 3層。	
第44・45区	PL.8	117	V	2	41区W-10	楕円形	26	23	27	1層下段, 3層。	
第44・45区	PL.8	119	V	2	41区W-10	円形	直径18		10	1層下段, 3層。	
第44・45区		120	V	2	41区W-10	楕円形	58	37	48	1層下段, 3層。	
第44・45区	PL.8	122	V	2	41区W-10	楕円形	25	23	14	1層下段。	
第44・45区	PL.8	123	V	2	41区W-10	楕円形	35	30	59	1層下段。	
第44・45区	PL.8	124	V	2	41区W-10	楕円形	28	25	29	1層下段。	
第44・45区	PL.8	125	V	2	41区W-10	楕円形	31	24	20	1層下段。	
第44・45区	PL.8	126	V	2	41区W-10	楕円形	27	22	20	1層下段。	
第44・45区	PL.8	127	V	2	41区W-10	楕円形	26	22	21	1層下段。	
第44・45区	PL.8	128	V	2	41区W-10	楕円形	26	22	13	1層下段。	
第44・45区	PL.8	129	V	2	41区W-10	楕円形	21	17	10	1層下段。	
第43・45区		146	V	2	42区A-10	長方形	27	25	26	1層上段。	
第43・45区		147	V	2	42区A-10	長方形	47	32	24	1層上段。	
第43・45区		148	V	2	42区A-10	楕円形	26	22	16	1層上段。	
第43・45区		149	V	2	42区A-10	不整形	57	40	24	1層上段。	
第43・45区		150	V	2	41区Y-10	長方形	22	20	17	1層上段。	
第43・45区		151	V	2	41区Y-10	楕円形	32	30	18	1層上段。	
第43・45区		153	V	2	41区Y-10	楕円形	29	25	29	1層上段。	
第43・45区		154	V	2	41区Y-9	楕円形	37	35	10	1層上段。	
第43・45区		155	V	2	41区Y-10	楕円形	24	21	32	1層上段。	
第43・45区		156	V	2	41区Y-9	長方形	52	38	30	1層上段。	
第43・45区		157	V	2	41区Y-9	楕円形	38	33	33	1層上段。	
第43・45区		158	V	2	41区Y-9	長方形	33	27	23	1層上段。	
第43・45区		159	V	2	41区Y-9・10	楕円形	35	34	33	1層上段。	
第43・45区		160	V	2	41区Y-9	楕円形	20	18	18	1層上段。	
第43・45区		161	V	2	41区Y-9	楕円形	37	24	32	1層上段。	
第43・45区		162	V	2	41区Y-9	長方形	35	30	18	1層上段。	
第43・45区		163	V	2	41区Y-9	楕円形	34	23	21	1層上段。	
第43・45区		164	V	2	41区Y-9	楕円形	34	30	26	1層上段。	
第44・45区		165	V	2	41区X-8	楕円形	34	20	19	1層上段。	
第43・46区		166	V	2	42区A-10	長方形	27	24	29	1層上段。	
第43・46区		167	V	2	41区Y-10	楕円形	42	33	30	1層上段。	
第44・46区	168a	V	2	41区W-10	(長方形)	(53)	35	14	1層下段, 168Pb, 168Pc。		
第44・46区	168b	V	2	41区W-10	円形	直径27		38	1層下段, 168Pa, 168Pc。		
第44・46区	168c	V	2	41区W-10	(不整形)	(58)	48	28	1層下段, 168Pa, 168Pb, 168Pc。	▲剥片1点。	
第44・46区	168d	V	2	41区W-10	(楕円形)	44	40	43	1層下段, 168Pc。		
第44・46区	169	V	2	41区W-9	楕円形	24	21	26	1層下段, 3層。		
第44・46区	172	V	2	41区X-9	長方形	26	24	22	1層下段, 3層。		
第44・46区	173	V	2	41区W-9	楕円形	24	22	10	1層下段。		
第44・46区	174	V	2	41区W-10	長方形	28	26	28	1層下段。		
第44・46区	187	V	2	41区X-9	不整形	37	22	16	1層下段, 3層。		
第43・46区	188	V	2	41区X-11	楕円形	49	35	13	1層下段。		
第44・46区	190	V	2	41区X-9	楕円形	30	22	11	1層下段, 12溝。		
第44・46区	191	V	2	41区X-9	楕円形	29	20	17	1層下段, 3層。		
第44・46区	192	V	2	41区X-9	楕円形	25	24	18	1層下段, 3層。		
第44・46区	193	V	2	41区X-9	楕円形	20	18	26	1層下段, 3層。		
第44・46区	194	V	2	41区X-10・11	方形	一辺22		19	1層下段。		
第44・46区	195	V	2	41区W-9	楕円形	24	22	18	1層下段。		
第44・46区	196	V	2	41区W-9	楕円形	25	21	12	1層下段。		
第44・46区	198	V	2	41区W-10	楕円形	24	21	41	1層下段, 3層。		
第44・46区	199	V	2	41区W-9	(楕円形)	(18)	15	16	1層下段, 200P(●<200P)。		
第44・46区	200	V	2	41区W-9	楕円形	34	26	41	1層下段, 199P(199P<●)。		
第44・46区	222	V	2	41区X-10	楕円形	29	24	25	1層下段, 3層。		
第44・46区	223	V	2	41区W-10	円形	直径19		27	1層下段, 3層。		
第44・46区	224	V	2	41区W-10	楕円形	21	19	28	1層下段。		
第44・46区	225	V	2	41区W-10	楕円形	19	15	15	1層下段。		

第3章 発見された遺構と遺物

棟図	写真	号	区	面	位置 (グリッド)	平面形状	規模(cm)			重複(旧<当該遺構(●)<新)	備考 (▲=非相対遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第44・46図		226	V	2	41区W-10	楕円形	24	18	13	1層下段。	
第44・46図		227	V	2	41区W-10	楕円形	18	16	12	1層下段。	
第43・46図		228	V	2	41区W-11	楕円形	21	19	21	1層下段。	
第43・46図		229	V	2	41区W-11	楕円形	23	21	28	1層下段。	
第43・46図		230	V	2	41区W-11	楕円形	25	24	27	1層下段。	
第43・46図		231	V	2	41区X-10	楕円形	21	20	42	1層下段、3層。	
第43・46図		232	V	2	41区X-10	楕円形	22	19	20	1層下段、3層。	
第43・46図		234	V	2	41区X-10・11	楕円形	25	22	27	1層下段、3層。	
第43・47図		235	V	2	41区X-10	楕円形	24	22	36	1層下段、3層。	
第43・47図		236	V	2	41区Y-10	楕円形	23	22	27	1層下段、3層。	
第43・47図		237	V	2	41区X-11	楕円形	28	21	24	1層下段、3層。	
第43・47図		239	V	2	41区X-11	不整形	27	24	20	1層下段。	
第43・47図		241	V	2	41区Y-11	円形	直径19		12	1層下段。	
第43・47図		242	V	2	41区Y-10	方形	一辺22		25	1層下段、3層。	
第43・47図		243	V	2	41区Y-10	楕円形	30	22	37	1層下段、3層。	
第43・47図		246	V	2	41区W-10	円形	直径20		17	1層下段。	
第44・47図		249	V	2	41区X-9	楕円形	24	20	9	1層下段、12溝。	

り(柱六名：平面形状-長軸-短軸-深さ(単位m))。

P 1：楕円形-0.24-0.19-0.05。

P 2：楕円形-0.26-0.24-0.15。

P 3：楕円形-0.34-0.30-0.27。

P 4：楕円形-0.47-0.36-0.23。

P 5：楕円形-0.27-0.21-0.15。

埋没土層 灰黄褐色土・黒褐色土主体、5層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

2号竪穴状遺構(第48図)

位置 31区W-25グリッド。

重複 なし。

平面形状 不整形。

主軸方位 N-46°-E。

規模 長軸2.43m、短軸(1.90)m、深さ0.11m。

柱穴 なし。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 剥片1点が出土した。剥片は混入と考えられる。

所見 出土遺物も混入のみであり、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

3号竪穴状遺構(第48図、Pl. 9)

位置 41区U-3グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-37°-E。

規模 長軸2.20m、短軸2.05m、深さ0.12m。

柱穴 なし。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

1号掘立柱建物(第49・50図)

位置 31区W-Y-25、41区W-Y-1グリッド。

重複 2・14・15号溝、565号ピットと重複。本遺構が2・14号溝より古い。

平面形状 2間×3間。

主軸方位(棟方向) N-42°-E。

規模 長軸5.62m、短軸3.48m。

柱穴 10基が確認された。形状および規模は以下のとおり(柱六名：平面形状-長軸-短軸-深さ(単位m))。

P 1：円形-直径0.25-0.46。

P 2：長方形-0.42-0.32-0.44。

P 3：楕円形-0.34-0.30-0.35。

P 4：楕円形-0.25-0.21-0.34。

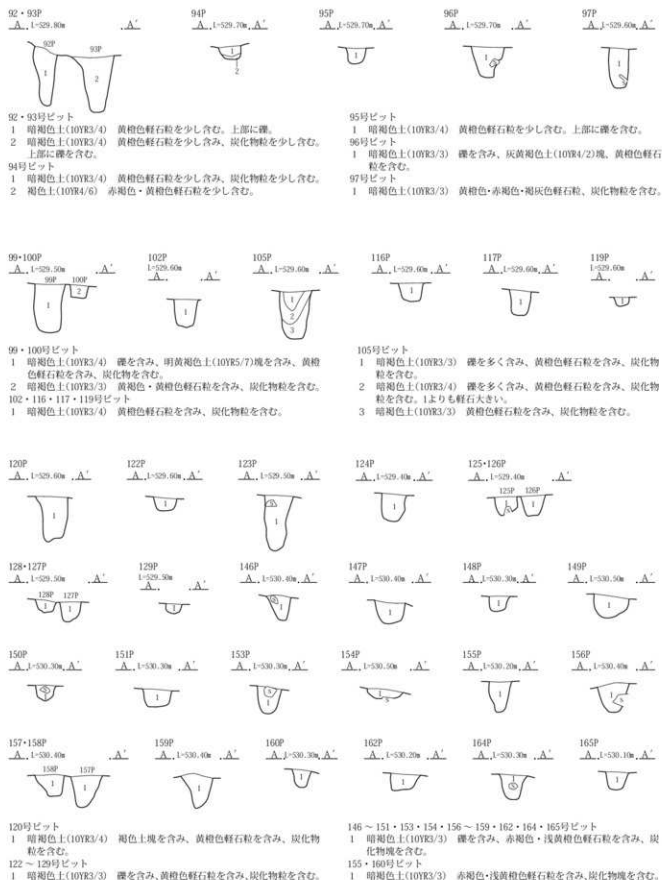
P 5：楕円形-0.41-0.27-0.41。

P 6：楕円形-0.37-0.31-0.38。

P 7：楕円形-0.42-0.31-0.60。

P 8：楕円形-0.34-0.32-0.56。

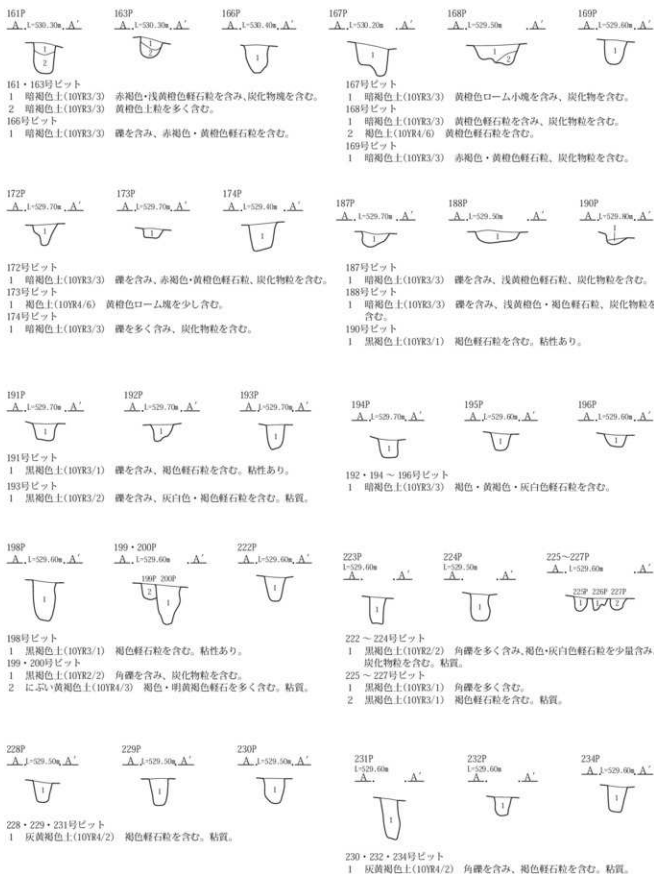
P 9：長方形-0.43-0.32-0.43。



0 1:40 1m

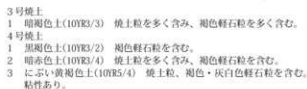
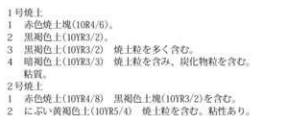
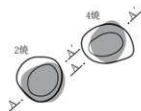
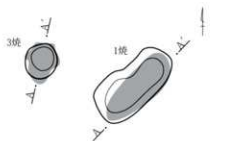
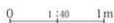
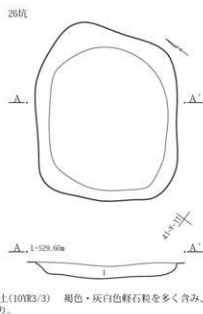
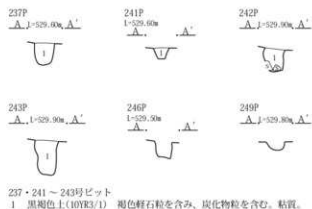
第45図 1号屋敷・ビット群(3)

第3章 発見された遺構と遺物



0 1:40 1m

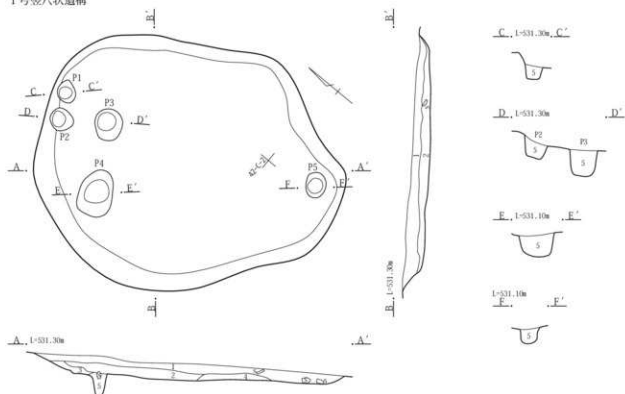
第46図 1号屋敷・ピット群(4)



第47図 1号屋敷・ピット群(5)、26号土坑、1～4号焼土

第3章 発見された遺構と遺物

1号竪穴状遺構



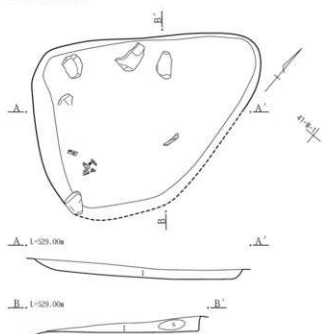
1号竪穴状遺構

- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) 角礫、炭化物粒を多く含み、灰白色・褐色軽石粒を含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 褐色・灰白色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。

- 3 黒褐色土(10YR3/1) 炭化物(Φ3~7mm)を多く含み、褐色軽石粒を少し含む。

- 4 に赤い黄褐色土(10YR5/3) 褐色軽石粒を含む。粘性あり。
- 5 黒褐色土(10YR3/1) 灰白色軽石粒を含む。ビット埋没上。

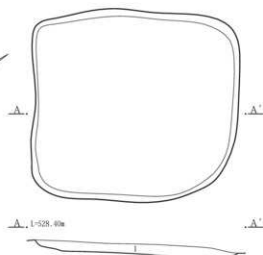
2号竪穴状遺構



2号竪穴状遺構

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 褐色・灰白色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。

3号竪穴状遺構



3号竪穴状遺構

- 1 黒褐色土(10YR3/1) 炭化物粒を多く含み、灰白色・褐色軽石粒を含む。粘質。

0 1:40 1m

第48図 1~3号竪穴状遺構

P10：楕円形—0.42—0.38—0.60。

柱間 柱間距離は以下のとおり(柱穴名—柱穴名：距離(単位m))。

P1—P2：1.68。P2—P3：1.68。

P3—P4：1.95。P4—P5：1.75。

P5—P6：1.98。P6—P7：1.86。

P7—P8：1.62。P8—P9：1.90。

P9—P10：1.94。P10—P1：1.75。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が2・5号櫓、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

2号掘立柱建物(第50図)

位置 41区L・M—15・16グリッド。

重複 なし。

平面形状 2間×2間。

主軸方位(棟方向) N—45°—W。

規模 長軸3.95m、短軸3.55m。

柱穴 9基が確認された。形状および規模は以下のとおり(柱穴名：平面形状—長軸—短軸—深さ(単位m))。

P1：円形—直径0.28—0.19。

P2：楕円形—0.19—0.16—0.20。

P3：円形—直径0.29—0.15。

P4：円形—直径0.25—0.15。

P5：楕円形—0.27—0.25—0.16。

P6：楕円形—0.25—0.21—0.20。

P7：楕円形—0.26—0.23—0.11。

P8：円形—直径0.30—0.15。

P9：楕円形—0.25—0.22—0.16。

柱間 柱間距離は以下のとおり(柱穴名—柱穴名：距離(単位m))。

P1—P3：3.55。P3—P6：1.87。

P6—P9：2.10。P9—P7：3.35。

P7—P4：1.98。P4—P1：2.00。

P2—P5：1.90。P5—P8：1.70。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

2号櫓(第51図)

位置 41区W・X—3・4グリッド。

重複 なし。

平面形状 4間。

主軸方位 N—41°—E。

規模 長軸6.63m。

柱穴 5基が確認された。形状および規模は以下のとおり(柱穴名：平面形状—長軸—短軸—深さ(単位m))。

P1：楕円形—0.23—0.20—0.21。

P2：長方形—0.22—0.20—0.05。

P3：長方形—0.30—0.25—0.23。

P4：長方形—0.30—0.26—0.09。

P5：円形—直径0.19—0.21。

柱間 柱間距離は以下のとおり(柱穴名—柱穴名：距離(単位m))。

P1—P2：1.47。P2—P3：1.90。

P3—P4：1.88。P4—P5：1.70。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、5号櫓、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

5号櫓(第51図、PL. 9・29)

位置 41区V—2・3、W—3グリッド。

重複 81号土坑と重複。

平面形状 4間。

主軸方位 N—43°—E。

規模 長軸8.70m。

柱穴 5基が確認された。形状および規模は以下のとおり(柱穴名：平面形状—長軸—短軸—深さ(単位m))。

P1：円形—直径0.34—0.28。

P2：楕円形—0.53—0.37—0.35。

P3：楕円形—0.50—0.36—0.32。

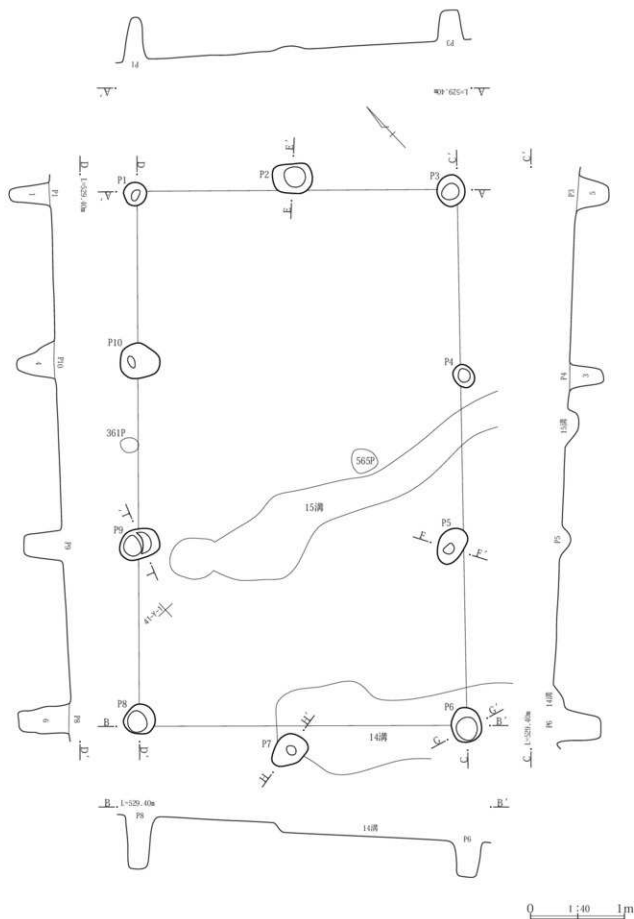
P4：楕円形—0.36—0.31—0.48。

P5：円形—直径0.34—0.53。

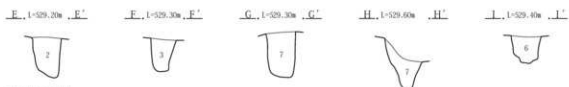
柱間 柱間距離は以下のとおり(柱穴名—柱穴名：距離(単位m))。

P1—P2：2.10。P2—P3：2.00。

P3—P4：1.95。P4—P5：2.30。



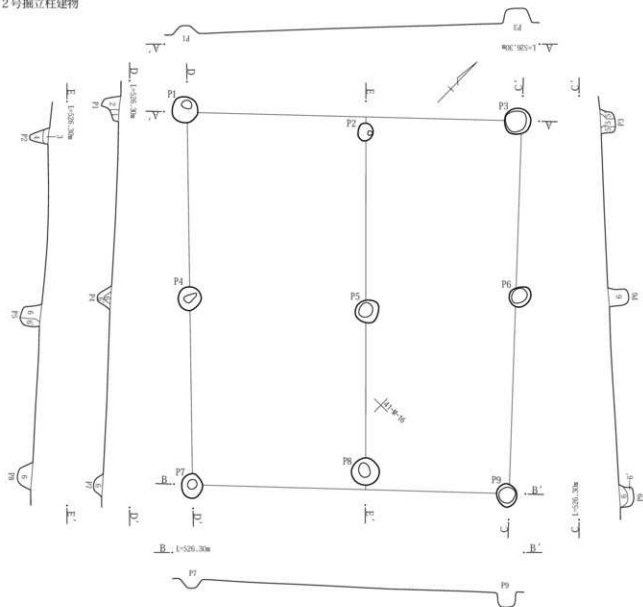
第49図 1号掘立柱建物(1)



1号掘立柱建物

- | | |
|--|--|
| 1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を含む。上部および底部付近に炭化物塊を含む。 | 4 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色・赤褐色軽石粒、炭化物塊を含む。 |
| 2 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を含む。底部付近に炭化物塊を含む。 | 5 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色軽石粒を含み、礫、炭化物塊を少し含む。 |
| 3 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒、炭化物塊を含む。鉄分凝集。 | 6 黄褐色土(10YR5/6) 礫を含み、灰白色軽石粒を含む。 |
| | 7 暗褐色土(10YR3/4) 灰白色・赤褐色軽石粒、炭化物粒を含む。 |

2号掘立柱建物

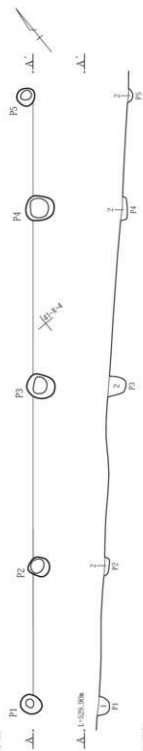


2号掘立柱建物

- | | |
|--|--|
| 1 暗緑灰色土(5G4/1) 小礫を含み、灰白色軽石粒を含む。粘質。グライ化。 | 4 暗オリーブ灰色土(2.5G4/1) 灰白色軽石粒を含む。粘質。グライ化。 |
| 2 オリーブ灰色土(2.5G) 小礫を含み、灰白色軽石粒を含む。粘質。グライ化。鉄分凝集 | 5 暗灰色土(3G) 褐色軽石粒を含む。粘質。 |
| 3 灰色土(3G) 灰白色軽石粒を含む。粘質。グライ化。 | 5' 5よりややや青色味強い。 |
| | 6 黒褐色土(10YR3/2) 褐色軽石粒を含む。粘質。 |
| | 6' 6よりやや褐色味強い。 |

第50図 1号掘立柱建物(2)、2号掘立柱建物

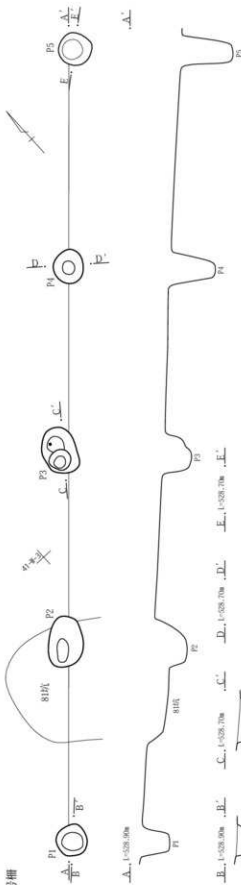
2号櫓



2号櫓

- 1 明褐色土(107R3/3) 灰白色・赤褐色石灰石を含む。
- 2 明褐色土(107R3/3) 灰褐色鮮石灰石を含む。

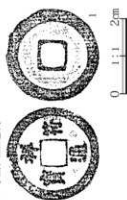
5号櫓



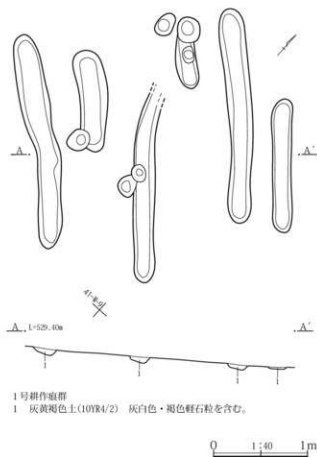
5号櫓

- 1 明褐色土(107R3/4) 黄褐色鮮石灰石を含む。礫・炭化物層を少し含む。
- 2 明褐色土(107R3/4) 黄褐色・黄褐色鮮石灰石を含む。
- 3 明褐色土(107R3/4) 黄褐色鮮石灰石を含む。炭化物層を少し含む。

5号櫓出土遺物



第51図 2・5号櫓



第52図 1号耕作痕群

遺物 古銭1点(1)を図示した。

所見 出土遺物から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。主軸方位が1号掘立柱建物、2号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

1号耕作痕群(第52図)

位置 41区V・W-9グリッド。

重複 なし。

主軸方位(軸方向) N-41°-W。

規模 長軸(2.90)m、短軸(2.80)m。畝サク間0.44～0.60m。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

2号溝(第53・54図)

位置 31区V・W-23・24、X・Y-24・25、32区A-

25、D～G-25、42区A～F-1グリッド。

重複 1号掘立柱建物、3・9・14号溝と重複。本遺構が3・9号溝より古く、1号掘立柱建物、14号溝より新しい。

平面形状 蛇行状。

主軸方位 N-68°-W、N-73°-E。

規模 全長(41.00)m、幅0.50～2.30m、深さ0.10～1.00m。

埋没土層 灰黄褐色土・にぶい黄褐色土主体、4層が確認された。

遺物 なし。

所見 東半部は3号溝と並行し、西半部は重複し交叉する。流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

3号溝(第53・54図)

位置 31区V・X-23～24、Y-24、32区A・B-24・25、C-25、42区C～F-1グリッド。

重複 2・9号溝と重複。本遺構が新しい。

平面形状 蛇行状。

主軸方位 N-65°-W、N-85°-W。

規模 全長(38.20)m、幅0.80～2.35m、深さ0.35～0.95m。

埋没土層 黒褐色土・褐色土主体、6層が確認された。

遺物 なし。

所見 東半部は2号溝と並行し、西半部は重複し交叉する。流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

9号溝(第53～55図、PL.29)

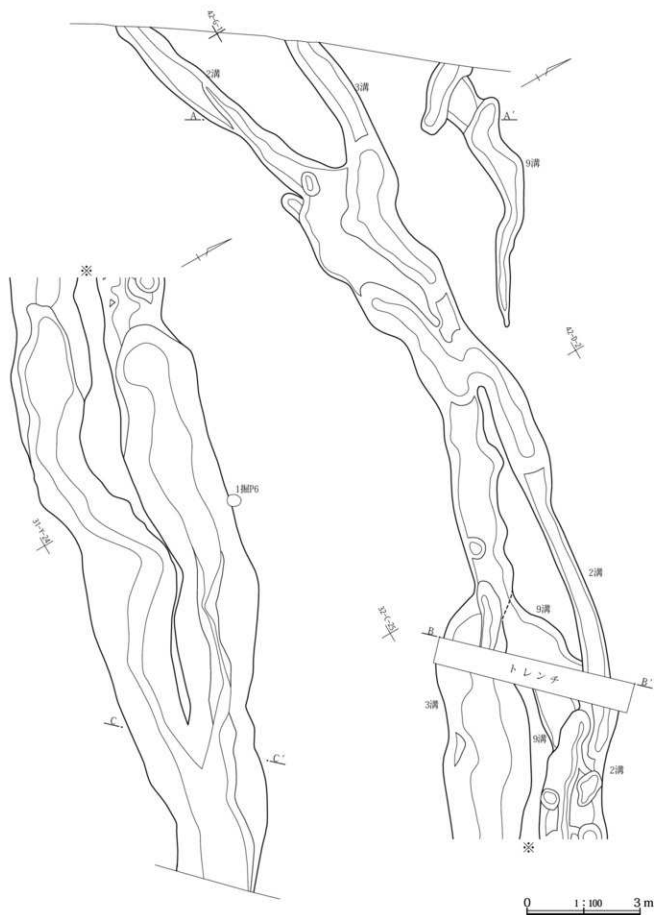
位置 32区A・B-25、42区D・E-1・2、F-2グリッド。

重複 2・3号溝と重複。本遺構が2号溝より新しく、3号溝より古い。

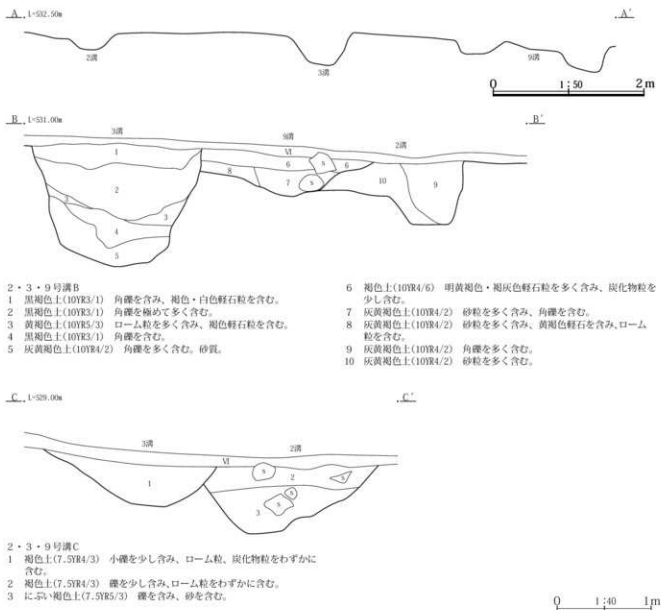
平面形状 (蛇行状)。

主軸方位 N-60°-W、N-88°-E。

規模 全長(11.40)m、幅0.30～1.90m、深さ0.10～0.30m。



第53図 2・3・9号溝(1)



第54図 2・3・9号溝(2)

埋没土層 灰黄褐色土主体、3層が確認された。

遺物 茶臼1点(1)、石臼2点(2・3)、石鉢1点(4)を図示した。他に、茶臼1点、石臼3点、石鉢1点が出土した。

所見 流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物から、本遺構の時期は近世と考えられる。

10号溝(第56図、PL. 9)

位置 41区T-14、U-13・14、V-13グリッド。

重複 なし。

平面形状 直線状。東端が分岐する。

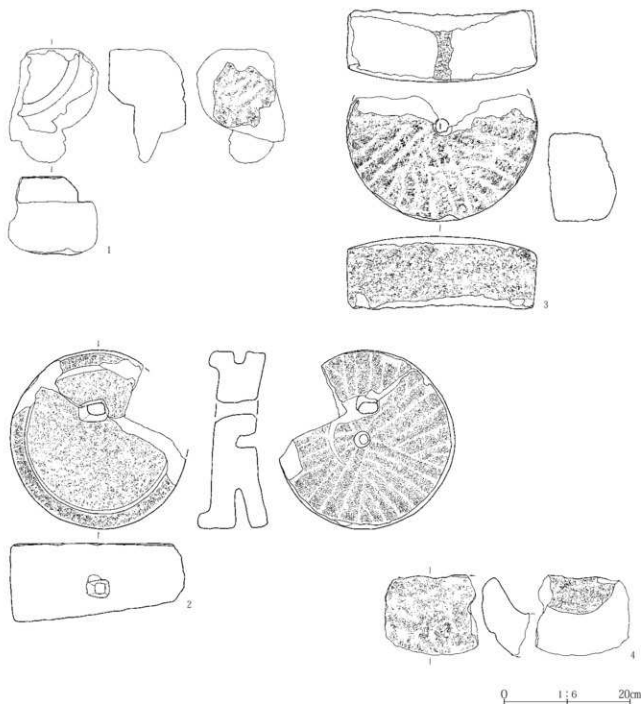
主軸方位 N-72°-E、N-82°-E。

規模 全長12.70m、幅0.22～0.47m、深さ0.03～0.10m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。



第55図 9号溝出土遺物

11号溝(第56図、PL. 9)

位置 41区P～U-10グリッド。

重複 21号溝と重複。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-87°-W。

規模 全長(20.30)m、幅0.28～0.68m、深さ0.05～0.35m。

埋没土層 黒褐色土主体、3層が確認された。

遺物 なし。

所見 流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

14号溝(第57図)

位置 31区X-25グリッド。

重複 1号掘立柱建物、2号溝と重複。本遺構が2号溝

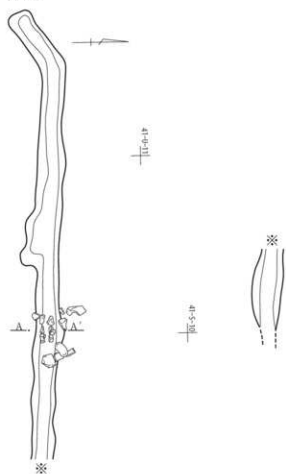
10号溝



10号溝

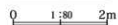
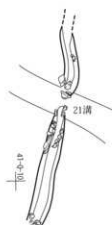
1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・褐色軽石粒を含み、小礫を少量含む。粘質。

11号溝



11号溝

- 1 黒褐色土(10YR3/1) 小礫を多く含む。砂質。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) 褐色・灰白色軽石粒を少し含む。シルト質。
- 3 黒褐色土(10YR3/1) 角礫を多く含む。褐色・灰白色軽石粒を少し含む。シルト質。



第56図 10・11号溝

第3章 発見された遺構と遺物

より古く、1号掘立柱建物より新しい。

平面形状 蛇行状。

主軸方位 N-53°-W。

規模 全長(2.80)m、幅0.65m、深さ0.15m。

埋没土層 黒褐色土主体、2層が確認された。

遺物 二次加工ある剥片1点が出土した。二次加工ある剥片は混入と考えられる。

所見 流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物も混入のみであり、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

15号溝(第57図)

位置 31区W・X-25、41区X-1グリッド。

重複 2号竪穴状遺構と重複。本遺構が古い。

平面形状 蛇行状。

主軸方位 N-73°-W。

規模 全長(5.30)m、幅0.25～0.70m、深さ0.12～0.25m。

埋没土層 にぶい黄褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

16号溝(第57図)

位置 41区W-2、X-2・3グリッド。

重複 なし。

平面形状 ほぼ直線状。西端が鉤手状。

主軸方位 N-38°-E。

規模 全長2.90m、幅0.21～0.35m、深さ0.12m。

埋没土層 灰黄褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

17号溝(第57図)

位置 41区R-8～10、S-7～9、T-6・7、U-4・5、V-3・4、W-3グリッド。

重複 597・600号ピットと重複。本遺構が597号ピット

より新しい。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-32°-E、N-46°-E。

規模 全長(35.00)m、幅0.27～0.84m、深さ0.07～0.16m。

埋没土層 灰黄褐色土・にぶい黄褐色土主体、2層が確認された。

遺物 剥片4点が出土した。剥片は混入と考えられる。

所見 流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物も混入のみであり、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

18号溝(第58図)

位置 41区R-12、S-12・13、T-13グリッド。

重複 3号井戸と重複。本遺構が新しい。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-46°-W。

規模 全長8.48m、幅0.58～0.77m、深さ0.10～0.15m。

埋没土層 褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 調査時の所見により溝としたが、土坑(俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑)である可能性も考えられる。流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

19号溝(第58図、PL.10)

位置 41区W-7・8グリッド。

重複 405号ピットと重複。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-41°-W。

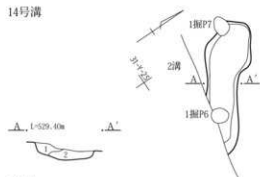
規模 全長(1.10)m、幅0.20m、深さ0.03m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 20号溝と並行する。流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号櫓、20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

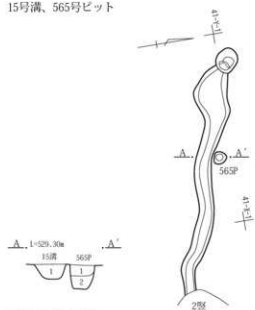
14号溝



14号溝

- 1 黒褐色土(10YR3/1) 褐色・灰白色軽石粒を含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) 褐色土塊を含み、礫を含む。

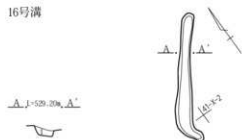
15号溝、565号ピット



15号溝・565号ピット

- 1 にぶい・黄褐色土(10YR4/3) 灰白色・褐色軽石粒を多く含み、炭化物粒を含む。
- 2 にぶい・黄褐色土(10YR6/4) 灰白色軽石粒を含む。

16号溝



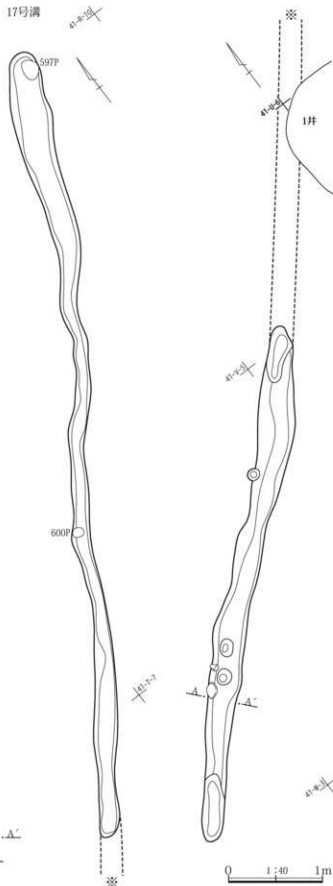
16号溝

- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) 褐色軽石粒を多く含み、炭化物粒を含む。

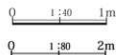
17号溝

- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) 角礫を多く含み、白色・褐色軽石粒を含む。
- 2 にぶい・黄褐色土(10YR5/3) 褐色軽石粒を含む。

17号溝



第57図 14～17号溝、565号ピット



20号溝(第58図、PL.10)

位置 41区W-7・8グリッド。

重複 449号ピットと重複。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-41°-W。

規模 全長(1.30)m、幅0.22m、深さ0.12m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 19号溝と並行する。流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号櫓、19・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

21号溝(第58図)

位置 41区Q-9・10、R-7～9、S-7・8、T-6グリッド。

重複 なし。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-35°-E。

規模 全長(22.00)m、幅0.34～0.84m、深さ0.05～0.15m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 第3章第3節に磨製石斧1点(遺構外36)を図示した。磨製石斧は混入と考えられる。

所見 流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物も混入のみであり、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

22号溝a(第58図、PL.10)

位置 41区Y-6グリッド。

重複 54号土坑、302・303号ピットと重複。本遺構が古い。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-43°-W。

規模 全長2.48m、幅0.26m、深さ0.09m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 22溝bと並行する。流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建

物、2・5号櫓、19・20・22b・25～28号溝、土坑列①～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

22号溝b(第58図、PL.10)

位置 41区Y-6グリッド。

重複 なし。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-43°-W。

規模 全長2.45m、幅0.30m、深さ0.06m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 22溝aと並行する。流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号櫓、19・20・22a・25～28号溝、土坑列①～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

25号溝(第59図、PL.10・29)

位置 41区P-10・11、Q-11～13、R-12～14、S-13～15、T-14～16、U-15・16グリッド。

重複 26号溝、866号ピットと重複。本遺構が26号溝より新しい。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-43°-W。

規模 全長(29.80)m、幅0.26～1.40m、深さ0.03～0.34m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 在地系土器内耳鍋1点(1)、金属製品鉛玉1点(2)を図示した。また、第3章第3節に石鏝1点(遺構外34)、石鏝1点を(遺構外35)図示した。他に、剥片15点が出土した。石鏝、石鏝、剥片は混入と考えられる。

所見 26号溝と並行し、一部重複する。流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物から、本遺構の時期は中世以降と考えられる。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号櫓、19・20・22a・22b・26～28号溝、土坑列①～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

26号溝(第59図、PL.10)

位置 41区P-11・12、Q-12・13、R-13・14、S-

18号溝



△, 1=527.60m △'

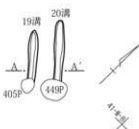


18号溝

1 褐灰色土(10YR4/1) 灰白色軽石粒を多く含む。粘質。

19・20号溝

△, 1=259.50m △'

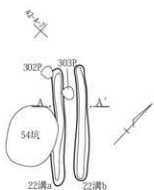


19・20号溝

1 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色軽石粒を含む。

22号溝

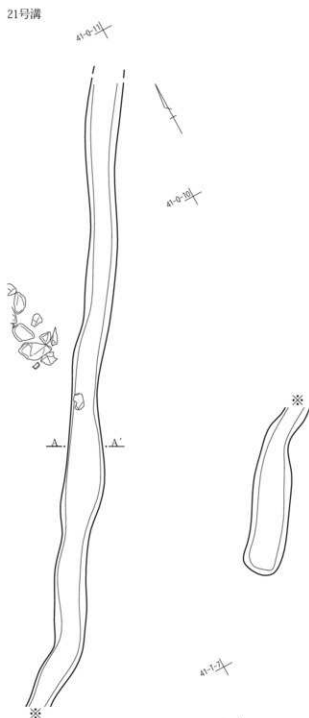
△, 1=530.30m △'



22号溝

1 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含む。鉄分凝集。

21号溝



△, 1=527.30m △'



21号溝

1 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色・灰白色軽石を含む。

0 1:40 1m

0 1:80 2m

第58図 18～22号溝

14・15、T-15・16グリッド。

重複 25号溝、865号ピットと重複。本遺構が25号溝より古い。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-43°-W。

規模 全長(26.90)m、幅0.22～1.50m、深さ0.04～0.13m。

埋没土層 黒色土主体、1層が確認された。

遺物 二次加工ある剥片2点、剥片2点、国産陶器1点が出土した。国産陶器1点は破片のため非掲載とした。二次加工ある剥片、剥片は混入と考えられる。

所見 25号溝と並行し、一部重複する。流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。25号溝との重複関係から、本遺構の時期は中世以降と考えられるが、詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25・27・28号溝、土坑列①～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

27号溝(第60図、PL.10)

位置 41区N・O-23・24グリッド。

重複 なし。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-41°-E、N-50°-E。

規模 全長8.35m、幅0.31～0.78m、深さ0.03～0.15m。

埋没土層 灰黄褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 28号溝と並行する。流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25・26・28号溝、土坑列①～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

28号溝(第60図、PL.10)

位置 41区N-23・24、O-22・23グリッド。

重複 なし。

平面形状 直線状。

主軸方位 N-41°-E、N-50°-E。

規模 全長9.25m、幅0.45～0.92m、深さ0.05～0.10

m。

埋没土層 黒褐色土・褐灰色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 27号溝と並行する。流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～27号溝、土坑列①～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

29号溝(第60図)

位置 41区L～N-25グリッド。

重複 なし。

平面形状 蛇行状。

主軸方位 N-80°-W、N-87°-E。

規模 全長(5.80)m、幅0.50～0.70m、深さ0.25～0.60m。

埋没土層 褐灰色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

30号溝(第60図、PL.10)

位置 41区Q・R-16・17、S-16～19グリッド。

重複 なし。

平面形状 不整。蛇行状、2か所で分岐。

主軸方位 N-28°-W、N-78°-W。

規模 全長(12.65)m、幅0.78～1.30m、深さ0.02～0.10m。

埋没土層 不明。

遺物 なし。

所見 流水の形跡は見られず、本遺構は区画溝と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

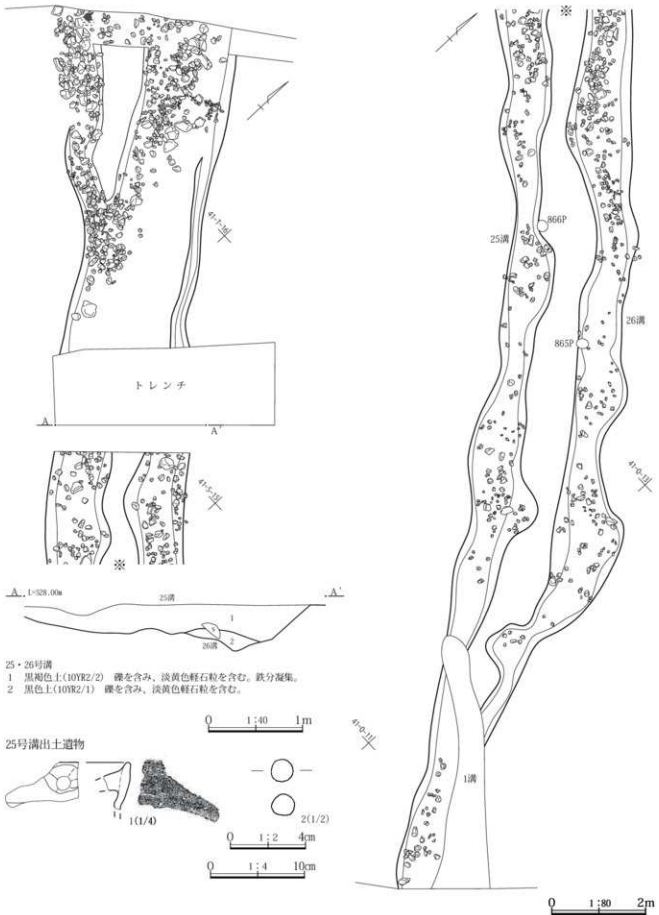
1号井戸(第61図、PL.11・29)

位置 41区T・U-5グリッド。

重複 88号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 楕円形。方形の枠あり。

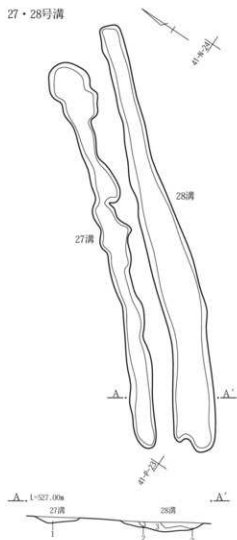
主軸方位 N-48°-E。



第59図 25・26号溝

第3章 発見された遺構と遺物

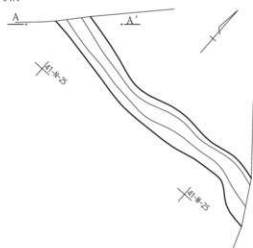
27・28号溝



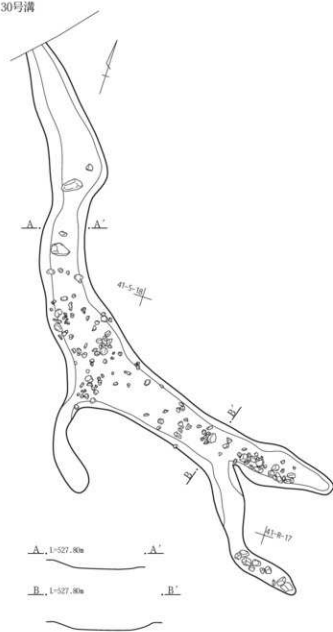
27・28号溝

- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) 褐色軽石粒を含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) 褐色・灰白色軽石粒を含む。
- 3 褐灰色土(10YR5/1) 粘質。鉄分凝集。

29号溝



30号溝



A-A', 1:527.80m

B-B', 1:527.80m

A-A', 1:527.00m

29号溝

- 1 褐灰色土(10YR5/1) 大小の角礫を極めて多く含む。鉄分凝集。

0 1:40 1m

0 1:80 2m

第60図 27～30号溝

規模 長軸3.03m、短軸2.55m、深さ2.10m。

埋没土層 暗褐色土・角礫主体、2層が確認された。2は井戸枠の裏込め。

遺物 茶白1点(1)、石白2点(2・3)、石鉢1点(4)を図示した。他に、石白4点、剥片5点が出土したが、小破片のため非掲載とした。剥片は混入と考えられる。

所見 下部に井戸枠が残存する(第4章第1節参照)。出土遺物から、本遺構の時期は近世と考えられる。

2号井戸(第62図)

位置 41区Q-11・12グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-84°-E。

規模 長軸1.45m、短軸1.35m、深さ0.95m。

埋没土層 黒褐色土・黒色土主体、8層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

3号井戸(第62図、PL.11)

位置 41区S・T-13グリッド。

重複 18号溝と重複。本遺構が古い。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-43°-E。

規模 長軸1.41m、短軸1.37m、深さ1.40m。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土・褐色土主体、4層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

1号墓坑(第63図、PL.11)

位置 41区V-14グリッド。

重複 なし。

平面形状 長楕円形。

主軸方位 N-63°-W。

規模 長軸1.00m、短軸0.60m、深さ0.21m。

埋没土層 不明。

遺物 1号人骨が出土しており、詳細は第4章第2節を

参照。他に、剥片1点が出土した。剥片は混入と考えられる。

所見 人骨のほか出土遺物は混入のみであり、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

2号墓坑(第63図、PL.11)

位置 42区C-3グリッド。

重複 255号ピットと重複。

平面形状 長楕円形。

主軸方位 N-58°-W。

規模 長軸1.02m、短軸0.51m、深さ0.15m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 2号人骨が出土しており、詳細は第4章第2節を参照。

所見 人骨のほか出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

3号墓坑(第63図、PL.11・29)

位置 41区W-4グリッド。

重複 なし。

平面形状 不整形。

主軸方位 N-30°-W。

規模 長軸0.76m、短軸0.46m、深さ0.05m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 古銭3点(1~3)、銅製品1点(4)を図示した。3号人骨が出土したが脆く崩れており、金属器に一部附着している。

所見 出土遺物から、本遺構の時期は中世以降と推定される。

4号墓坑(第63・64図、PL.12・30)

位置 41区V-3グリッド。

重複 なし。

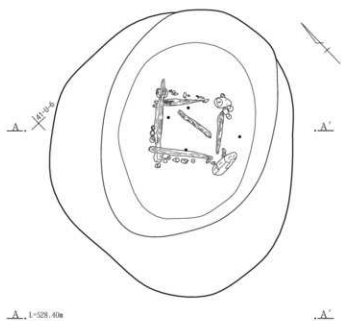
平面形状 長方形。

主軸方位 N-30°-E。

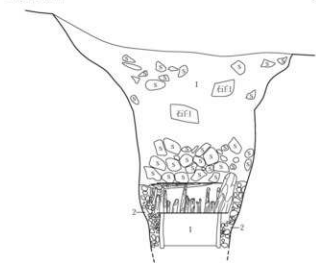
規模 長軸1.30m、短軸0.90m、深さ0.45m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 陶器碗1点(1)、古銭2点(2~6)、銅製品煙管2点(7・8)、鉄製品火打金1点(9)を図示した。他に、二次加工ある剥片2点が出土した。二次加工ある剥片は



A. 1:528.40m



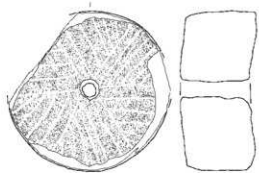
1号井戸
 1 暗褐色土(10YR3/3) 大小の角礫を極めて多く含む。井戸枠内の礫は小さめ。
 2 大小の角礫。井戸枠の裏込め。

0 1:40 1m

1号井戸出土遺物



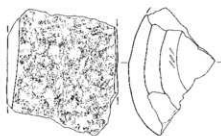
1(1/4)



2(1/8)



3(1/8)



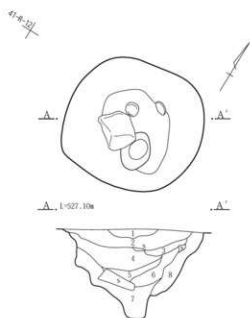
4(1/4)

0 1:4 10cm

0 1:8 20cm

第61図 1号井戸

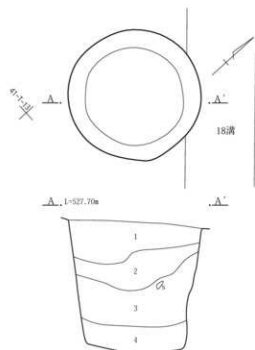
2号井戸



2号井戸

- 1 黒褐色土(10YR3/2) 小礫を含み、褐色軽石粒を含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 灰白色軽石粒を含む。粘性あり。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) 灰白色軽石粒を含む。粘性あり。鉄分凝集。
- 4 黒褐色土(10YR3/1) 灰白色軽石粒を含む。粘性あり。
- 5 黒褐色土(10YR3/1) 灰白色軽石粒を少し含む。粘質。
- 6 黒褐色土(10YR3/2) 小礫を含み、細砂粒を含む。粘性あり。
- 7 黒色土(10YR2/1) 細砂粒を少し含む。褐色粒子を少し含む。粘質。
- 8 黒色土(10YR2/1) 褐色粒子を少し含む。粘質。

3号井戸



3号井戸

- 1 黒褐色土(10YR3/1) 小礫を含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 小礫を含み、褐色軽石粒を含む。
- 3 黒褐色土(10YR3/1) 小礫を含み、褐色軽石粒を含む。
- 4 褐灰色土(10YR4/1) 同色の砂質土と粘質土の塊状混土。

0 1:40 1m

第62図 2・3号井戸

混入と考えられる。4号人骨が出土しており、詳細は第4章第2節を参照。

所見 出土遺物から、本遺構の時期は近世と推定される。

5号墓坑(第64図、PL.12・30)

位置 41区Q-7グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-47°-W。

規模 長軸1.18m、短軸0.74m、深さ0.13m。

埋没土層 暗褐色土・黒褐色土主体、2層が確認された。

1は木棺の腐植土。

遺物 古銭4点(1~4)を図示した。5号人骨が出土しており、詳細は第4章第2節を参照。

所見 出土遺物から、本遺構の時期は中世以降と推定さ

れる。

6号墓坑(第64図、P.L.12)

位置 41区S・T-9グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-55°-W。

規模 長軸1.18m、短軸0.90m、深さ0.32m。

埋没土層 暗褐色土主体、2層が確認された。

遺物 6号人骨が出土しており、詳細は第4章第2節を参照。

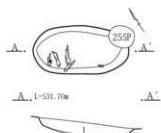
所見 人骨のほか出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

第3章 発見された遺構と遺物

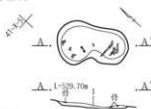
1号墓坑



2号墓坑



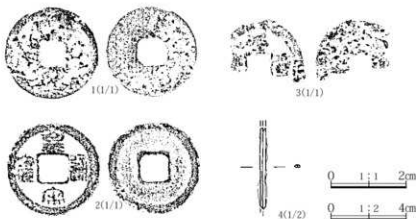
3号墓坑



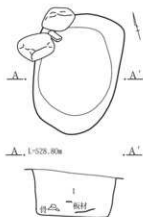
3号墓坑

1 黒褐色土(10YR3/1)。

3号墓坑出土遺物

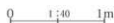


4号墓坑



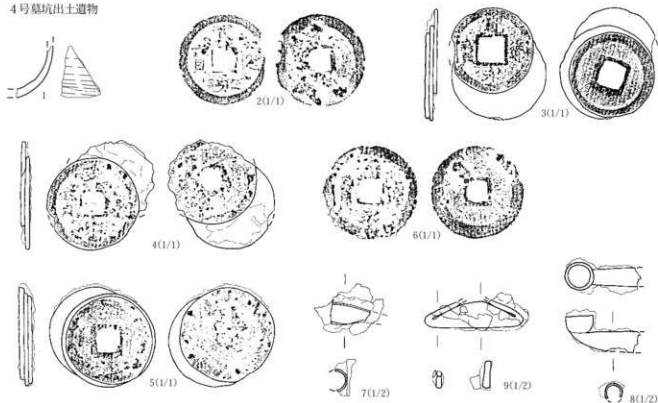
4号墓坑

1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・褐色軽石粒を多く含み、礫を含み、炭化物粒を少し含む。

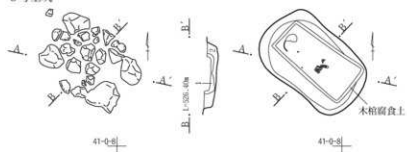


第63図 1～3号墓坑、4号墓坑(1)

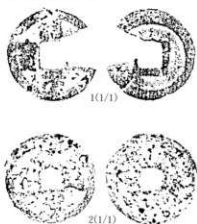
4号墓坑出土遺物



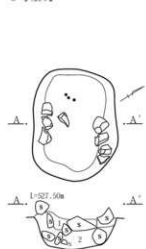
5号墓坑



5号墓坑出土遺物



6号墓坑



6号墓坑

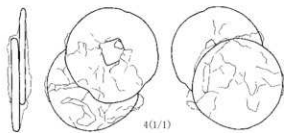
- 1 暗褐色土(10YR3/4) 小礫を含み、灰白色・黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を少し含む。鉄分凝集。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を含む。粘性あり。

0 1:40 1m

0 1:1 2m

0 1:2 4m

0 1:3 10m



第64図 4号墓坑(2)、5・6号墓坑

1号土坑(第66図、PL.12)

位置 31区U・V-25、41区U・V-1グリッド。

重複 25号ピットと重複。本遺構が新しい。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-3°-W。

規模 長軸1.29m、短軸1.00m、深さ0.12m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

2号土坑(第66図、PL.12)

位置 31区V-25グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-39°-W。

規模 長軸0.76m、短軸0.69m、深さ0.15m。

埋没土層 黒褐色土・褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

3号土坑(第66図、PL.12)

位置 31区U・V-24・25グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-34°-E。

規模 長軸0.87m、短軸0.76m、深さ0.13m。

埋没土層 黒褐色土・褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

5号土坑(第67図、PL.12)

位置 41区R-2グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-48°-E。

規模 長軸0.61m、短軸0.59m、深さ0.15m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

6号土坑(第67図)

位置 41区S-2グリッド。

重複 なし。

平面形状 (円形)。

主軸方位 N-89°-W。

規模 長軸0.78m、短軸(0.33)m、深さ0.12m。

埋没土層 褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

8号土坑(第69図、PL.12)

位置 41区R-3グリッド。

重複 36号ピットと重複。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-6°-W。

規模 長軸0.86m、短軸0.76m、深さ0.13m。

埋没土層 褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

9号土坑(第72・73図、PL.13)

位置 42区B-4グリッド。

重複 なし。

平面形状 円形。

主軸方位 N-47°-W。

規模 直径0.78m、深さ0.12m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

10号土坑(第72・73図、PL.13)

位置 42区A-4グリッド。

重複 なし。

平面形状 ほぼ円形。10～13号土坑で列をなすか(土坑列①)。

軸方位 N-65°-E(土坑列①N-43°-E)。

規模 長軸0.49m、短軸0.47m、深さ0.05m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列②～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

11号土坑(第72・73図、PL.13)

位置 42区A-4グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。10～13号土坑で列をなすか(土坑列①)。

軸方位 N-46°-W(土坑列①N-43°-E)。

規模 長軸0.75m、短軸0.65m、深さ0.14m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列②～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

12号土坑(第72・73図、PL.13)

位置 42区A-5グリッド。

重複 なし。

平面形状 円形。10～13号土坑で列をなすか(土坑列①)。

軸方位 N-5°-W(土坑列①N-43°-E)。

規模 直径0.69m、深さ0.13m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列②～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

13号土坑(第72・73図、PL.13)

位置 41区Y-5、42区A-5グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。10～13号土坑で列をなすか(土坑列①)。

軸方位 N-34°-W(土坑列①N-43°-E)。

規模 長軸0.77m、短軸0.71m、深さ0.14m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列②～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

14号土坑(第72・73図、PL.13)

位置 42区A-3・4グリッド。

重複 264号ピットと重複。本遺構が新しい。

平面形状 楕円形。

軸方位 N-6°-W。

規模 長軸0.86m、短軸0.71m、深さ0.09m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

15号土坑(第72・73図、PL.13)

位置 42区A-3・4グリッド。

重複 16号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 楕円形。

軸方位 N-83°-E。

規模 長軸0.76m、短軸0.74m、深さ0.20m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

16号土坑(第72・73図)

位置 42区A-4グリッド。

重複 15号土坑と重複。本遺構が古い。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-21°-W。

規模 長軸(0.66)m、短軸0.65m、深さ0.09m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

17号土坑(第74図、PL.13)

位置 42区A-4グリッド。

重複 なし。

平面形状 円形。17～20・39・40号土坑で列をなすか(土坑列②)。

主軸方位 N-42°-E(土坑列②N-42°-E)。

規模 直径0.75m、深さ0.14m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①・③～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

18号土坑(第74図、PL.14)

位置 42区A-4グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。17～20・39・40号土坑で列をなすか(土坑列②)。

主軸方位 N-80°-W(土坑列②N-42°-E)。

規模 長軸0.87m、短軸0.66m、深さ0.12m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①・③～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

19号土坑(第74図、PL.14)

位置 41区Y-4・5グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。17～20・39・40号土坑で列をなすか(土坑列②)。

主軸方位 N-61°-W(土坑列②N-42°-E)。

規模 長軸0.67m、短軸0.63m、深さ0.12m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①・③～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

20号土坑(第74図、PL.14)

位置 41区Y-5グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。17～20・39・40号土坑で列をなすか(土坑列②)。

主軸方位 N-16°-E(土坑列②N-42°-E)。

規模 長軸0.73m、短軸0.69m、深さ0.13m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①・③～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

21号土坑(第74図、PL.14)

位置 41区Y-4グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。21・22号土坑で列をなすか(土坑列③)。

主軸方位 N-23°-E(土坑列③N-41°-E)。

規模 長軸0.82m、短軸0.78m、深さ0.17m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①・②・④・⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

22号土坑(第74図、PL.14)

位置 41区Y-4・5グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。21・22号土坑で列をなすか(土坑列③)。

主軸方位 N-7°-E(土坑列③N-41°-E)。

規模 長軸0.85m、短軸0.79m、深さ0.15m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号櫓、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①・②・④・⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

23号土坑(第74図、PL.14)

位置 41区Y-4グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。23～25・44・46・48・50～52号土坑で列をなすか(土坑列④)。

主軸方位 N-57°-W(土坑列④N-43°-E)。

規模 長軸0.74m、短軸0.70m、深さ0.12m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号櫓、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～③・⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

24号土坑(第74図、PL.14)

位置 41区Y-4グリッド。

重複 なし。

平面形状 方形。23～25・44・46・48・50～52号土坑で列をなすか(土坑列④)。

主軸方位 N-41°-E(土坑列④N-43°-E)。

規模 一辺0.76m、深さ0.15m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号櫓、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～③・⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

25号土坑(第74図、PL.14)

位置 41区Y-4・5グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。23～25・44・46・48・50～52号土坑で列をなすか(土坑列④)。

主軸方位 N-49°-W(土坑列④N-43°-E)。

規模 長軸0.77m、短軸0.73m、深さ0.14m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号櫓、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～③・⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

27号土坑(第75図、PL.15)

位置 41区W-11グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-45°-W。

規模 長軸1.56m、短軸1.04m、深さ0.32m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 石白1点(1)を図示した。

所見 出土遺物から、本遺構の時期は近世と推定される。

28号土坑(第76図、PL.15)

位置 41区V・W-12・13グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-74°-E。

規模 長軸0.96m、短軸0.73m、深さ0.39m。

埋没土層 暗褐色土・褐色土主体、3層が確認された。

遺物 剥片3点が出土した。剥片は混入と考えられる。

所見 出土遺物も混入のみであり、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

30号土坑(第78図、PL.15)

位置 41区U・V-11グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-51°-E。

規模 長軸1.89m、短軸1.54m、深さ0.21m。

埋没土層 灰黄褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

31号土坑(第78図、PL.15)

位置 41区V-10グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-10°-W。

規模 長軸1.21m、短軸1.05m、深さ0.35m。

埋没土層 黒褐色土・褐灰色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

32号土坑(第79図、PL.15)

位置 42区D-3・4グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-60°-W。

規模 長軸1.69m、短軸1.49m、深さ0.26m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

34号土坑(第79図)

位置 42区C-3グリッド。

重複 35号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-46°-W。

規模 長軸1.44m、短軸1.05m、深さ0.22m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

35号土坑(第79図)

位置 42区C-3グリッド。

重複 34号土坑と重複。本遺構が古い。

平面形状 (不整形)。

主軸方位 N-43°-E。

規模 長軸1.15m、短軸(0.95)m、深さ0.19m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

36号土坑(第72・73図、PL.15)

位置 42区B-3グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-47°-W。

規模 長軸1.70m、短軸1.55m、深さ0.25m。

埋没土層 褐灰色土・灰黄褐色土・にぶい黄褐色土主体、3層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

37号土坑(第72・73図、PL.15)

位置 42区A-5グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-71°-E。

規模 長軸0.77m、短軸0.70m、深さ0.25m。

埋没土層 黒褐色土・灰黄褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

38号土坑(第74図、PL.15)

位置 41区Y-4グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-51°-W。

規模 長軸0.69m、短軸0.53m、深さ0.13m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

39号土坑(第80図、PL.16)

位置 41区Y-5グリッド。

重複 56号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 楕円形。17～20・39・40号土坑で列をなすか(土坑列②)。

主軸方位 N-9°-E(土坑列②N-42°-E)。

規模 長軸0.82m、短軸0.68m、深さ0.10m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①・③～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

40号土坑(第80図、PL.16)

位置 41区Y-5グリッド。

重複 55・56号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 楕円形。17～20・39・40号土坑で列をなすか(土坑列②)。

主軸方位 N-35°-E(土坑列②N-42°-E)。

規模 長軸0.72m、短軸0.65m、深さ0.10m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①・③～⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

41号土坑(第80図、PL.16)

位置 41区Y-5グリッド。

重複 56号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-54°-W。

規模 長軸0.69m、短軸0.63m、深さ0.09m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

42号土坑(第80図、PL.16)

位置 41区X・Y-5グリッド。

重複 56号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-67°-E。

規模 長軸0.66m、短軸0.50m、深さ0.07m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

43号土坑(第80図、PL.16)

位置 41区X-5・6グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-62°-W。

規模 長軸0.82m、短軸0.62m、深さ0.08m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

44号土坑(第80図、PL.16)

位置 41区X-5グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。23～25・44・46・48・50～52号土坑で列をなすか(土坑列④)。

主軸方位 N-38°-W(土坑列④N-43°-E)。

規模 長軸0.85m、短軸0.81m、深さ0.12m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～③・⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

45号土坑(第80図、PL.16)

位置 41区X-5グリッド。

重複 なし。

平面形状 円形。45・47・49号土坑で列をなすか(土坑列⑤)。

主軸方位 N-17°-W(土坑列⑤N-43°-E)。

規模 直径0.68m、深さ0.08m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～④と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

46号土坑(第80図、PL.16)

位置 41区X-5グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。23～25・44・46・48・50～52号土坑で列をなすか(土坑列④)。

主軸方位 N-18°-W(土坑列④N-43°-E)。

規模 長軸0.70m、短軸0.68m、深さ0.10m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～③・⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

47号土坑(第81・82図、PL.16)

位置 41区X-5グリッド。

重複 48号土坑と重複。本遺構が古い。

平面形状 (円形)。45・47・49号土坑で列をなすか(土坑列⑤)。

主軸方位 N-36°-W(土坑列⑤N-43°-E)。

規模 長軸0.70m、短軸(0.60)m、深さ0.10m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～④と一致

することから、ほぼ同時期と推定される。

48号土坑(第81・82図、PL.16)

位置 41区X-5グリッド。

重複 47・58号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 楕円形。23～25・44・46・48・50～52号土坑で列をなすか(土坑列④)。

主軸方位 N-39°-W(土坑列④N-43°-E)。

規模 長軸0.76m、短軸0.71m、深さ0.13m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～③・⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

49号土坑(第81・82図、PL.16)

位置 41区X-5グリッド。

重複 50・58号土坑と重複。本遺構が50号土坑より古く、58号土坑より新しい。

平面形状 (楕円形)。45・47・49号土坑で列をなすか(土坑列⑤)。

主軸方位 N-43°-E(土坑列⑤N-43°-E)。

規模 長軸(0.77)m、短軸0.72m、深さ0.13m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～④と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

50号土坑(第81・82図、PL.16)

位置 41区X-5・6グリッド。

重複 49・58号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 楕円形。23～25・44・46・48・50～52号土坑で列をなすか(土坑列④)。

主軸方位 N-43°-E(土坑列④N-43°-E)。

規模 長軸0.74m、短軸0.72m、深さ0.11m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～③・⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

51号土坑(第81・82図)

位置 41区W-6グリッド。

重複 なし。

平面形状 円形。23～25・44・46・48・50～52号土坑で列をなすか(土坑列④)。

主軸方位 N-15°-W(土坑列④N-43°-E)。

規模 直径0.83m、深さ0.11m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～③・⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

52号土坑(第81・82図)

位置 41区W-6グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。23～25・44・46・48・50～52号土坑で列をなすか(土坑列④)。

主軸方位 N-11°-W(土坑列④N-43°-E)。

規模 長軸0.79m、短軸0.75m、深さ0.10m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。主軸方位が1号掘立柱建物、2・5号柵、19・20・22a・22b・25～28号溝、土坑列①～③・⑤と一致することから、ほぼ同時期と推定される。

53号土坑(第81・82図、PL.17)

位置 41区X-6グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-40°-W。

規模 長軸1.44m、短軸0.46m、深さ0.41m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

54号土坑(第83図、PL.17)

位置 41区Y-6グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-27°-W。

規模 長軸1.30m、短軸1.04m、深さ0.53m。

埋没土層 褐灰色土・黒褐色土主体、4層が確認された。底面付近に礫多い。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

55号土坑(第80図)

位置 41区Y-5グリッド。

重複 40・56号土坑と重複。本遺構が40号土坑より古く、56号土坑より新しい。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-44°-W。

規模 長軸0.97m、短軸0.67m、深さ0.33m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

56号土坑(第80図)

位置 41区X・Y-5グリッド。

重複 39～42・55号土坑、293号ピットと重複。本遺構が39～42・55号土坑より古い。

平面形状 (方形)。

主軸方位 N-44°-W。

規模 長軸1.88m、短軸1.74m、深さ0.05m。

埋没土層 褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別でき

なかった。

57号土坑(第81・82図)

位置 41区X-6グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-45°-E。

規模 長軸1.74m、短軸1.28m、深さ0.32m。

埋没土層 暗褐色土主体、3層が確認された。

遺物 石核1点が出土した。石核は混入と考えられる。

所見 出土遺物も混入のみであり、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

58号土坑(第81・82図)

位置 41区X-5・6グリッド。

重複 48～50号土坑、298号ピットと重複。本遺構が48～50号土坑より古い。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-37°-W。

規模 長軸2.05m、短軸1.78m、深さ0.20m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

59号土坑(第81・82図、PL.17)

位置 41区X-6・7グリッド。

重複 309号ピットと重複。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-44°-W。

規模 長軸2.00m、短軸1.75m、深さ0.37m。

埋没土層 暗褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

60号土坑(第84図)

位置 42区B-1グリッド。

重複 61号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-60°-W。

規模 長軸1.41m、短軸1.06m、深さ0.17m。

埋没土層 暗褐色土主体、3層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

61号土坑(第84図)

位置 42区B-1グリッド。

重複 60号土坑、317号ピットと重複。本遺構が60号土坑より古い。

平面形状 (長方形)。

主軸方位 N-55°-W。

規模 長軸1.53m、短軸(0.94)m、深さ0.13m。

埋没土層 暗褐色土主体、3層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

62号土坑(第84図)

位置 42区B-2グリッド。

重複 63号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 不整形。

主軸方位 N-40°-W。

規模 長軸2.08m、短軸1.81m、深さ0.40m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

63号土坑(第84図)

位置 42区B-2グリッド。

重複 62号土坑と重複。本遺構が古い。

平面形状 (不整形)。

主軸方位 N-48°-W。

規模 長軸1.63m、短軸1.60m、深さ0.20m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

64号土坑(第86図)

位置 41区W-1・2グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-29°-W。

規模 長軸0.75m、短軸0.41m、深さ0.25m。

埋没土層 不明。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

65号土坑(第86図、PL.17)

位置 41区W-2グリッド。

重複 66号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-35°-W。

規模 長軸1.02m、短軸0.86m、深さ0.28m。

埋没土層 不明。

遺物 第3章第3節に凹石1点(遺構外42)を図示した。凹石は混入と考えられる。

所見 出土遺物も混入のみであり、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

66号土坑(第86図、PL.17)

位置 41区W-2グリッド。

重複 65号土坑と重複。本遺構が古い。

平面形状 (楕円形)。

主軸方位 N-35°-E。

規模 長軸0.67m、短軸(0.50)m、深さ0.23m。

埋没土層 不明。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

67号土坑(第87図、PL.17)

位置 41区V-2グリッド。

重複 なし。

平面形状 方形。

主軸方位 N-75°-E。

規模 一辺0.67m、深さ0.20m。

埋没土層 不明。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

68号土坑(第88図、PL.18)

位置 41区U-9グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-6°-W。

規模 長軸0.88m、短軸0.70m、深さ0.14m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

69号土坑(第78図、PL.18)

位置 41区U・V-11・12グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-45°-W。

規模 長軸1.04m、短軸1.02m、深さ0.23m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

70号土坑(第86図)

位置 41区W-2グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-33°-W。

規模 長軸0.98m、短軸0.71m、深さ0.25m。

埋没土層 灰黄褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

71号土坑(第89図、PL.18)

位置 41区T-12グリッド。

重複 582号ピットと重複。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-15°-W。

規模 長軸1.25m、短軸0.83m、深さ0.16m。

埋没土層 黒褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

72号土坑(第91・92図、PL.18)

位置 41区V・W-5グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-45°-W。

規模 長軸1.91m、短軸1.44m、深さ0.15m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

73号土坑(第91・92図)

位置 41区V・W-5・6グリッド。

重複 74・75号土坑と重複。本遺構が74号土坑より新しい。

平面形状 長楕円形。

主軸方位 N-28°-W。

規模 長軸3.23m、短軸0.55m、深さ0.25m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

74号土坑(第91・92図)

位置 41区W-6グリッド。

重複 73号土坑と重複。本遺構が古い。

平面形状 (長方形)。

主軸方位 N-45°-W。

規模 長軸1.32m、短軸(0.84)m、深さ0.12m。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

75号土坑(第91・92図)

位置 41区V・W-6グリッド。

重複 73号土坑と重複。

平面形状 (方形)。

主軸方位 N-47°-W。

規模 長軸(1.00)m、短軸1.03m、深さ0.36m。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体、5層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

76号土坑(第91・92図)

位置 41区W-6グリッド。

重複 77号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 (長楕円形)。

主軸方位 N-15°-W。

規模 長軸(1.60)m、短軸0.90m、深さ1.00m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

77号土坑(第91・92図)

位置 41区W-6グリッド。

重複 76号土坑と重複。本遺構が古い。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-35°-E。

規模 長軸0.70m、短軸0.68m、深さ0.28m。

埋没土層 灰黄褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別でき

なかった。

78号土坑(第93・94図、PL.18)

位置 41区T-7グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-50°-E。

規模 長軸0.67m、短軸0.45m、深さ0.12m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

79号土坑(第93・94図、PL.18)

位置 41区T・U-7グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-50°-W。

規模 長軸1.40m、短軸1.05m、深さ0.15m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

80号土坑(第91・92図、PL.18)

位置 41区V-5グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-43°-E。

規模 長軸2.12m、短軸0.82m、深さ0.16m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

81号土坑(第87図、PL.18)

位置 41区V・W-2グリッド。

重複 5号柵と重複。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-50°-W。

規模 長軸1.77m、短軸1.33m、深さ0.21m。

埋没土層 黒褐色土・明黄褐色土・にぶい黄褐色土主体、3層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

82号土坑(第87図、PL.19)

位置 41区V-2グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-65°-W。

規模 長軸1.51m、短軸1.33m、深さ0.15m。

埋没土層 にぶい黄褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

83号土坑(第95図、PL.19)

位置 41区U-4グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-53°-W。

規模 長軸2.54m、短軸0.70m、深さ0.19m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 二次加工ある剥片1点が出土した。二次加工ある剥片は混入と考えられる。

所見 出土遺物も混入のみであり、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

85号土坑(第96図)

位置 41区T-9グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-63°-E。

規模 長軸0.99m、短軸0.53m、深さ0.09m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別でき

なかった。

86号土坑(第87図、PL.19・30)

位置 41区V-3グリッド。

重複 なし。

平面形状 不整形。

主軸方位 N-41°-E。

規模 長軸1.29m、短軸0.44m、深さ0.16m。

埋没土層 褐灰色土主体、1層が確認された。

遺物 青磁碗1点(1)を図示した。

所見 出土遺物から、本遺構の時期は中世以降と推定される。

87号土坑(第97図)

位置 41区Q-9グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-43°-E。

規模 長軸0.53m、短軸0.51m、深さ0.14m。

埋没土層 オリーブ灰色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

88号土坑(第95図)

位置 41区T・U-5グリッド。

重複 1号井戸と重複。本遺構が古い。

平面形状 (長方形)。

主軸方位 N-47°-W。

規模 長軸1.48m、短軸(0.30)m、深さ0.40m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

96号土坑(第97図、PL.19)

位置 41区T-18グリッド。

重複 なし。

平面形状 (長方形)。

主軸方位 N-48°-E。

規模 長軸(1.00)m、短軸0.65m、深さ0.25m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。礫多い。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

97号土坑(第97図、PL.19)

位置 41区S・T-19グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-35°-E。

規模 長軸2.76m、短軸0.87m、深さ0.26m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。礫多い。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

98号土坑(第98図)

位置 41区P・Q-20・21グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-89°-W。

規模 長軸4.27m、短軸0.65m、深さ0.12m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

99号土坑(第98図、PL.19)

位置 41区Q-17グリッド。

重複 100号土坑と重複。本遺構が古い。

平面形状 (楕円形)。

主軸方位 N-64°-W。

規模 長軸1.33m、短軸(1.28)m、深さ0.16m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

100号土坑(第98図)

位置 41区Q-17グリッド。

重複 99号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-3°-E。

規模 長軸1.06m、短軸0.73m、深さ0.15m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

101号土坑(第98図、PL.19)

位置 41区Q・R-17・18グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-89°-E。

規模 長軸1.69m、短軸1.07m、深さ0.25m。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

102号土坑(第99図)

位置 41区O-17・18グリッド。

重複 なし。

平面形状 長楕円形。

主軸方位 N-1°-W。

規模 長軸4.65m、短軸0.50m、深さ0.33m。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 調査時の所見により土坑としたが、溝である可能性も考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

103号土坑(第97図、PL.20)

位置 41区P-8グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-55°-E。

規模 長軸1.15m、短軸0.97m、深さ0.54m。

埋没土層 灰黄褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

104号土坑(第100図、PL.20)

位置 41区N・O-15・16グリッド。

重複 114・115号土坑と重複。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-11°-E。

規模 長軸5.30m、短軸0.60m、深さ0.39m。

埋没土層 暗褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

105号土坑(第101図、PL.20)

位置 41区M・N-16・17グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-23°-W。

規模 長軸4.95m、短軸0.64m、深さ0.30m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

106号土坑(第100図、PL.20)

位置 41区M・N-14・15グリッド。

重複 115号土坑と重複。本遺構が新しい。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-31°-W。

規模 長軸3.95m、短軸0.56m、深さ0.36m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

107号土坑(第102図、PL.21)

位置 41区M-13グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-53°-W。

規模 長軸3.45m、短軸0.49m、深さ0.53m。

埋没土層 褐灰色土・黒褐色土・灰黄褐色土主体、3層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

108号土坑(第103図、PL.21)

位置 41区M・N-24グリッド。

重複 なし。

平面形状 長楕円形。

主軸方位 N-43°-W。

規模 長軸2.48m、短軸0.51m、深さ0.17m。

埋没土層 にぶい黄褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

109号土坑(第89・90図、PL.21)

位置 41区S・T-13グリッド。

重複 18号溝と重複。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-44°-W。

規模 長軸1.43m、短軸0.86m、深さ0.38m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 第3章第3節に磨石1点(遺構外37)を図示した。磨石は混入と考えられる。

所見 出土遺物も混入のみであり、本遺構の時期は詳しく

判別できなかった。

112号土坑(第89・90図、PL.21)

位置 41区T-12グリッド。

重複 872号ピットと重複。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-51°-E。

規模 長軸1.84m、短軸1.38m、深さ0.35m。

埋没土層 褐灰色土・灰黄褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

113号土坑(第105図、PL.21)

位置 41区T-16・17グリッド。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

主軸方位 N-55°-W。

規模 長軸0.74m、短軸0.61m、深さ0.20m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

114号土坑(第100図)

位置 41区N・O-15グリッド。

重複 104号土坑と重複。

平面形状 (長方形)。

主軸方位 N-47°-W。

規模 長軸2.40m、短軸0.62m、深さ0.08m。

埋没土層 褐灰色土・にぶい黄褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

115号土坑(第100図、PL.20)

位置 41区M・N-14～16グリッド。

重複 104・106号土坑と重複。本遺構が106号土坑より古い。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-54°-W。

規模 長軸(7.37)m、短軸0.58m、深さ0.15m。

埋没土層 灰黄褐色土主体、2層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

116号土坑(第100図、PL.21)

位置 41区N-15グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-65°-W。

規模 長軸0.90m、短軸0.62m、深さ0.21m。

埋没土層 灰黄褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

117号土坑(第105図)

位置 41区L-12グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-39°-W。

規模 長軸2.17m、短軸0.55m、深さ0.19m。

埋没土層 褐灰色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

118号土坑(第105図)

位置 41区K-12グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-56°-W。

規模 長軸1.05m、短軸0.70m、深さ0.05m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

119号土坑(第97図)

位置 41区S-19・20グリッド。

重複 なし。

平面形状 長楕円形。

主軸方位 N-15°-W。

規模 長軸(1.20)m、短軸0.68m、深さ0.40m。

埋没土層 黒褐色土主体、1層が確認された。

遺物 なし。

所見 形状から、俗称「イモ穴」の耕作物貯蔵用土坑と考えられる。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

ビット

ビットについては一覧表にまとめた。

第3章 発見された遺構と遺物

第8表 V区第2面ビット一覧表

棟号	写真	号	区	面	位置(グリッド)	平面形状	規模(m)			重複(旧<当該遺構(●)<新)	備考(▲=非掲載遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第700	PL.22	1	V	2	31KU-25	楕円形	31	29	14		
第700	PL.22	2	V	2	31KU-25	楕円形	36	33	14		
第700	PL.22	3	V	2	31KT-25	楕円形	30	27	17		
第700	PL.22	4	V	2	31KT-25	不整形	35	32	25		
第700	PL.22	5	V	2	41KT-1	楕円形	37	34	28		
第700		6	V	2	41KT-1	楕円形	36	30	41		
第670		7	V	2	41KT-1	楕円形	34	30	20		
第670		8	V	2	41KT-1	楕円形	34	32	34		
第700	PL.22	9	V	2	41KT-2	楕円形	35	34	52		
第700	PL.22	10	V	2	41KT-1	楕円形	26	18	17		
第67・680	PL.22	11	V	2	41KT-2	楕円形	20	16	37		
第67・680	PL.22	12	V	2	41KS-2	長方形	40	38	41		
第67・680	PL.22	13	V	2	41KS-2	楕円形	29	24	18		
第67・680	PL.22	14	V	2	41KS-2	長方形	29	21	34		
第67・680	PL.22	15	V	2	41KS-2	楕円形	36	33	34		
第700	PL.22	16	V	2	41KT-2	楕円形	49	39	23		
第67・680		17	V	2	41KS-3	楕円形	27	26	11		
第67・680	PL.22	18	V	2	41KS-2	方形	一辺27		22		
第710		19	V	2	41KT-2	楕円形	29	17	10		
第710		20	V	2	41KU-2	(楕円形)	19	(13)	20		
第710	PL.22	21	V	2	41KU-2	楕円形	36	32	41		
第710	PL.23	22	V	2	41KU-2	(楕円形)	(49)	40	45		
第660	PL.23	23	V	2	41KV-2	(楕円形)	(27)	25	23		
第660	PL.23	24	V	2	41KV-2	楕円形	33	28	21		
第660	PL.23	25	V	2	41KV-2	長方形	30	24	30	1坑(●<1坑)	
第67・680	PL.23	26	V	2	41KS-2	円形	直径27		31		
第67・680	PL.23	27	V	2	41KS-2	楕円形	36	28	34		
第67・680	PL.23	28	V	2	41KT-3	楕円形	31	18	38		
第67・680	PL.23	29	V	2	41KS-3・4	楕円形	24	21	41		
第690	PL.23	30	V	2	41KS-4	楕円形	26	24	32		
第67・680	PL.23	31	V	2	41KS-2	楕円形	27	23	12		
第67・680	PL.23	32	V	2	41KS-2	楕円形	32	25	31		
第67・680	PL.23	33	V	2	41KS-3	長方形	24	22	27		
第67・680	PL.23	34	V	2	41KR-3	楕円形	18	17	12		
第67・680	PL.23	35	V	2	41KR-2・3	楕円形	23	18	37		
第690	PL.23	36	V	2	41KR-3	楕円形	26	22	20	8坑	
第690		37	V	2	41KR-3	楕円形	19	17	25		
第690	PL.24	38	V	2	41KR-3	楕円形	28	26	12		
第690	PL.24	39	V	2	41KU-4	楕円形	29	26	26		
第690		40	V	2	41KU-4	楕円形	29	27	40		
第690		41	V	2	41KU-4	楕円形	35	27	24		
第700	PL.24	42	V	2	41KT-1・2	楕円形	22	21	10		
第710	PL.24	43	V	2	41KU-2	楕円形	27	23	26		
第710	PL.24	44	V	2	41KU-2	楕円形	28	24	25		
第67・680	PL.24	45	V	2	41KU-2	方形	一辺31		22		
第700	PL.24	46	V	2	41KT-2	楕円形	29	21	28		
第660	PL.24	47	V	2	31KV-25	楕円形	32	30	32		
第710		48	V	2	41KU-1	長方形	25	23	27		
第660		49	V	2	41KV-1	(楕円形)	(43)	27	46	55・56P(55・56P<●)	
第700		50	V	2	41KT-1	楕円形	30	26	9		
第67・680		51	V	2	41KT-3	楕円形	36	27	20		
第67・680		52	V	2	41KT-3	楕円形	31	30	20		
第67・680	PL.24	53	V	2	41KT-3	楕円形	31	25	17		
第67・680	PL.24	54	V	2	41KV-1	楕円形	24	20	39		
第660	PL.24	55	V	2	41KV-1	(楕円形)	(39)	(32)	36	49・56P(●<49P)	
第660	PL.24	56	V	2	41KV-1	楕円形	44	38	47	49・55P(●<49P)	
第660	PL.24	57	V	2	41KV-1	円形	直径34		36	58P(●<58P)	
第660	PL.24	58	V	2	41KV-1	(楕円形)	(39)	38	44	57P(57P<●)	
第710	PL.24	59	V	2	41KU-1	楕円形	34	26	68		
第700	PL.24	60	V	2	41KT-1	楕円形	38	32	40		
第710	PL.24	61	V	2	41KU-1	楕円形	32	30	16		
第660	PL.25	62	V	2	31KW-25	楕円形	27	26	33		
第700	PL.25	63	V	2	41KT-2	楕円形	33	30	29		
第700		64	V	2	41KT-2	楕円形	35	21	28		
第660		65	V	2	41KV-1	楕円形	33	30	18		
第710		66	V	2	41KU-1	(長方形)	30	(24)	30	66P	
第710	PL.25	67	V	2	41KU-1	不整形	32	31	48	67P	

第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物

検出	写真	号	区	面	位置(グリッド)	平面形状	規模 (cm)			重複(旧<当該遺構(●)<新)	備考(▲=非掲載遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第71図		68	V	2	41K-2	楕円形	25	23	28		
第71図	PL.25	69	V	2	41K-2	楕円形	26	24	25		
第71図	PL.25	70	V	2	41K-2	円形		直径26	31		
第66図	PL.25	71	V	2	41K-1	円形		直径26	14		
第71図	PL.25	72	V	2	41K-1	楕円形	25	22	33		
第67・68図	PL.25	73	V	2	41K-2	円形		直径29	8		
第67・68図	PL.25	74	V	2	41K-2	楕円形	23	20	32		
第69図	PL.25	75	V	2	41K-4	楕円形	35	25	27		
第107図		76	V	2	42K-B-5	長方形	38	28	21		
第83図		77	V	2	42K-B-5	楕円形	25	22	12		
第107図		78	V	2	42K-B-4	円形		直径27	15		
第107図		79	V	2	42K-B-4	楕円形	30	26	14		
第107図		80	V	2	42K-B-4	楕円形	20	15	17		
第72・73図		81	V	2	42K-B-5	楕円形	29	25	28		
第83図		82	V	2	42K-B-5	楕円形	34	28	39		
第72・73図		83	V	2	42K-B-4	長方形	32	22	14		
第72・73図		84	V	2	42K-A-4	楕円形	29	26	17		
第72・73図		85	V	2	42K-A-4	長方形	32	30	5		
第72・73図		86	V	2	42K-A-3	長方形	24	22	16		
第72・73図		87	V	2	42K-A-3	楕円形	24	23	20		
第72・73図		88	V	2	42K-A-3	楕円形	28	25	18		
第85図		89	V	2	42K-A-2	楕円形	25	20	20		
第107図		90	V	2	42K-B・C-5	楕円形	40	30	27		
第75図	PL.25	106	V	2	41KX-11	楕円形	28	27	53		
第78図		107	V	2	41K-12	円形		直径22	18		
第76・77図	PL.25	108	V	2	41K-12	楕円形	52	43	58		
第76・77図	PL.25	109	V	2	41K-12・13	(不整形)	56	(53)	40	110P	▲測片1点。
第76・77図	PL.25	110	V	2	41K-13	楕円形	57	50	53	109P	
第76・77図	PL.25	111	V	2	41K-13	楕円形	50	43	43		▲測片1点。
第76・77図	PL.26	112	V	2	41K-13・14	楕円形	32	30	27		
第76・77図	PL.26	113	V	2	41K-13・14	楕円形	59	42	39		
第76・77図	PL.26	114	V	2	41K-14	楕円形	38	35	48		
第106図	PL.26	115	V	2	32K-F-25	長方形	40	32	17		
第75図	PL.26	130	V	2	41K-10	楕円形	29	28	24		
第78図		131	V	2	41K-11	楕円形	24	19	41		
第78図		132	V	2	41K-11	長方形	26	23	32		
第78図		133	V	2	41K-11	楕円形	34	26	34		
第78図		134	V	2	41K-11	楕円形	20	17	10		
第78図		135	V	2	41K-11	楕円形	23	17	14		
第78図		136	V	2	41K-11	方形		一辺20	12		
第78図		137	V	2	41K-11	円形		直径21	21		
第76・77図		138	V	2	41K-12	円形		直径36	43		
第76・77図		139	V	2	41K-12	楕円形	26	22	12		
第78図		140	V	2	41K-12	楕円形	25	21	27		
第78図		141	V	2	41K-11	楕円形	22	20	14	416P (416P<●)	
第89・90図		142	V	2	41K-13	楕円形	27	25	32		
第89・90図		143	V	2	41K-13	楕円形	36	29	30		
第76・77図		144	V	2	41K-14	楕円形	45	40	42		
第76・77図		145	V	2	41K-14	楕円形	27	24	18		
第78図		175	V	2	41K-12	楕円形	33	25	32		
第76・77図		176	V	2	41K-12	楕円形	33	24	60		
第76・77図		177	V	2	41K-12	楕円形	32	30	53		
第76・77図		178	V	2	41K-12	長方形	40	31	49		
第76・77図		179	V	2	41K-12	楕円形	33	21	41		
第76・77図		180	V	2	41K-12	楕円形	47	30	25		
第76・77図		181	V	2	41K-12	方形		一辺23	15		
第76・77図		182	V	2	41K-12	(楕円形)	27	(25)	12	183P	
第76・77図		183	V	2	41K-12	楕円形	29	28	43	182P	
第76・77図		184	V	2	41K-12	楕円形	48	31	50	185P (●<185P)	▲測片1点。
第76・77図		185	V	2	41K-12	(楕円形)	(29)	(28)	18	184P (184P<●)	▲骨片1点。
第76・77図	PL.26	186	V	2	41K-12	長方形	17	15	16		▲馬面1点。
第75図		189	V	2	41K-12	楕円形	73	57	8		
第106図		201	V	2	42K-E-2	楕円形	33	22	10		
第106図		202	V	2	42K-E-2	楕円形	46	35	11		
第106図	PL.26	203	V	2	42K-E-2	円形		直径32	12		
第106図	PL.26	204	V	2	42K-D-2	楕円形	33	27	12		
第106図	PL.26	205	V	2	42K-D-3	長方形	23	21	15		
第106図	PL.26	206	V	2	42K-D-2	長方形	23	17	27		

第3章 発見された遺構と遺物

棟号	写真	号	区	面	位置(グリッド)	平面形状	規模 (cm)			重積(旧<当該遺構(●)<新)	備考(▲=非掲載遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第799区	PL.26	207	V	2	42KD-2・3	楕円形	34	33	32		
第799区	PL.26	208	V	2	42KE-3	円形	直径25			28	
第799区	PL.26	209	V	2	42KD・E-3	楕円形	49	39	57		
第799区	PL.26	210	V	2	42KD-3	楕円形	38	32	44		
第799区	PL.26	211	V	2	42KD-3	楕円形	75	71	20		
第799区	PL.26	212	V	2	42KD-3	楕円形	20	17	14		
第799区	PL.26	213	V	2	42KD-3	楕円形	31	28	17		
第799区	PL.27	214a	V	2	42KD-3・4	(楕円形)	(58)	36	12	214P b	
第799区	PL.27	214b	V	2	42KD-4	円形	直径20			14	214P a
第799区		215	V	2	42KE-4	楕円形	34	25	20		
第1079区	PL.27	216	V	2	42KE-5	楕円形	35	32	29		
第1079区	PL.27	217	V	2	42KE-5	楕円形	35	30	25		
第1079区	PL.27	218	V	2	42KE-5	円形	直径26			33	
第1079区	PL.27	219	V	2	42EB-4	楕円形	28	24	17		
第1079区	PL.27	220	V	2	42KE-4	楕円形	22	20	21		
第759区		245	V	2	41EW-11	円形	直径23			25	
第759区		247	V	2	41EW-12	円形	直径19			17	
第759区		248	V	2	41EW-12	楕円形	28	22	16		
第1069区		251	V	2	42KE-2	楕円形	33	31	35		
第799区		252	V	2	42KE-3	楕円形	35	30	16	35坑	
第1079区		253	V	2	42KE-3	楕円形	35	29	10		
第1079区		254	V	2	42KE-3	楕円形	28	24	16		
第799区		255	V	2	42KE-3	楕円形	27	23	28	2 墓	
第1089区		256	V	2	41EX-8・9	長方形	43	24	26		
第1079区		257	V	2	42EB・C-3	楕円形	24	20	18		
第1079区		258	V	2	42KE-3	楕円形	21	18	12		
第1079区		259	V	2	42EB-3	楕円形	32	27	37		
第849区		260	V	2	42EB-2	円形	直径24			30	
第849区		261	V	2	42EB-2・3	楕円形	30	28	27		
第72・739区		262	V	2	42EB-3	楕円形	34	27	36		
第72・739区		263	V	2	42EA・B-4	楕円形	22	20	14		
第72・739区		264	V	2	42EA-4	楕円形	21	20	24	14土(●<14土)	
第859区		265	V	2	42EA・B-2	楕円形	46	40	25		
第72・739区		266	V	2	42EA-3	円形	直径29			25	
第859区		267	V	2	42EA-2	楕円形	30	29	12		
第859区		268	V	2	42EA-2	楕円形	34	26	21	307 P	
第859区		269	V	2	42EA-2	楕円形	28	26	13		
第859区		270	V	2	42EA-2	方形	一辺34			13	
第859区		271	V	2	42EA-1	楕円形	25	23	17		
第859区		272	V	2	42EA-1	楕円形	23	20	16		
第859区		273	V	2	42EA-1	楕円形	55	48	21		
第859区		274	V	2	42EA-1	楕円形	24	20	11		
第859区		275	V	2	42EA-2	楕円形	24	21	18		
第859区		276	V	2	42EA-2	楕円形	31	27	17		
第72・739区		277	V	2	42EA-5	長方形	45	37	12		
第749区		278	V	2	41EX-3	楕円形	27	25	14	279 P	
第749区		279	V	2	41EX-3・4	長方形	42	39	16	278 P	
第749区		280	V	2	41EX-4	楕円形	28	23	40		
第1109区		281	V	2	41EX-3	楕円形	40	35	10	282 P (282 P < ●)	
第1109区		282	V	2	41EX-3	(楕円形)	(52)	47	11	281 P (● < 281 P)	
第1109区		283	V	2	41EX-3	楕円形	26	24	23		
第809区		284	V	2	41EX-5	楕円形	19	17	14		
第809区		285	V	2	41EX-4	楕円形	21	19	25		
第809区		286	V	2	41EX-4	楕円形	29	23	43		
第1109区		287	V	2	41EX-4	円形	直径29			28	
第809区		288	V	2	41EX-4	円形	直径21			23	
第809区		289	V	2	41EX-4	楕円形	25	23	18		
第1109区		290	V	2	41EW-4	円形	直径26			16	
第1109区		291	V	2	41EW-5	楕円形	27	26	22		
第749区	PL.30	292	V	2	41EX-5	楕円形	24	22	12		
第809区		293	V	2	41EX-5	長方形	45	32	23	56坑	
第809区		294	V	2	41EX-5	長方形	40	35	14		
第809区		295	V	2	41EX-6	円形	直径30			15	
第809区		296	V	2	41EX-6	楕円形	30	28	24		
第839区		297	V	2	42EA-6	円形	直径34			38	
第81・829区		298	V	2	41EX-5	楕円形	34	40	18	58坑	
第839区		299	V	2	42EA-6	楕円形	49	39	43		
第839区		300	V	2	42EA-6	楕円形	94	60	20		

第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物

棟号	写真	号	区	面	位置(グリッド)	平面形状	規模(m)			重複(旧<当該遺構(●)<新)	備考(▲=非掲載遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第83回		301	V	2	42区A-6	楕円形	32	30	52		
第83回		302	V	2	41区V-6	方形	一辺25	34	22溝a、403P(22溝a<●)		
第83回		303	V	2	41区V-6	長方形	27	24	31(22溝a(22溝a<●))		
第81・82回		304	V	2	41区V-7	長方形	26	22	12		
第81・82回		305	V	2	41区V-7	楕円形	32	28	19		
第81・82回		306	V	2	41区V-6	長方形	31	27	30		
第85回		307	V	2	42区A-2	(楕円形)	(24)	(18)	18	268P	
第85回		308	V	2	42区A-2	楕円形	22	17	12		
第81・82回		309	V	2	41区V-6・7	楕円形	30	25	41	59坑	
第81・82回		310	V	2	41区V-6	楕円形	24	22	12		
第91・92回		311	V	2	41区V-6	楕円形	19	17	17		
第110回		312	V	2	41区V-3	楕円形	29	25	17		
第110回		313	V	2	41区V-3	楕円形	22	19	18		
第84回		314	V	2	42区B-2	円形	直径29	27			
第84回		315	V	2	42区B-2	楕円形	28	24	19		
第72・73回		316	V	2	42区B-3	楕円形	30	27	27		
第84回		317	V	2	42区B-1	楕円形	28	26	31	61坑	
第81・82回		318	V	2	41区V-6	楕円形	44	40	38		
第81・82回		319	V	2	41区V-6	楕円形	53	28	53		
第108回		320	V	2	41区V-7	楕円形	18	15	20		
第108回		321	V	2	41区V-7	円形	直径25	31			
第108回		322	V	2	41区V-7	長方形	34	31	38		
第108回		323	V	2	41区V-7	楕円形	19	17	12		
第108回		324	V	2	41区V-7	楕円形	43	35	33		
第108回		325	V	2	41区V-7	(長方形)	35	22	22	326P(●<326P)	
第108回		326	V	2	41区V-7	長方形	33	24	32	325P(325P<●)	
第108・109回		327	V	2	41区V-7	長方形	24	18	35		
第108・109回		328	V	2	41区V-7	楕円形	32	31	38	329P(●<329P)	
第108・109回		329	V	2	41区V-7	(楕円形)	25	(23)	9	328P(329P<●)	
第108・109回		330	V	2	41区V-7	楕円形	25	22	10		
第108・109回		331	V	2	41区V-7	楕円形	22	20	20		
第108・109回		332	V	2	41区V-7	楕円形	24	20	16		
第108・109回		333	V	2	41区V-7	楕円形	21	18	22		
第108・109回		334a	V	2	41区V-7	(楕円形)	24	(21)	23	334Pb	
第108・109回		334b	V	2	41区V-7	楕円形	24	20	25	334Pa	
第108・109回		335	V	2	41区V-7	楕円形	40	31	26		
第108・109回		336	V	2	41区V-7	円形	直径25	19			
第108・109回		337	V	2	41区V-7	楕円形	46	38	44		
第108・109回		338	V	2	41区V-7	楕円形	34	26	21		
第108・109回		339	V	2	41区V-7	楕円形	23	20	16		
第108・109回		340	V	2	41区V・Ⅷ-8	楕円形	36	31	18		
第108・109回		341	V	2	41区V-8	方形	一辺29	23			
第108・109回		342	V	2	41区V-8	円形	直径30	48			
第112回		343	V	2	41区V-7	楕円形	27	19	20		
第110回		344	V	2	41区V-4	長方形	26	23	18		
第87回		346	V	2	41区V-3	楕円形	46	42	21		
第87回		347	V	2	41区V-3	楕円形	22	17	27		
第111回		350	V	2	41区V-2	楕円形	31	29	12		
第86回		351	V	2	41区V-1	円形	直径30	18			
第86回		352	V	2	41区V-1	楕円形	30	28	32		
第86回		354	V	2	41区V-1	長方形	29	24	30		
第86回		355	V	2	41区V-1	楕円形	48	32	16		
第86回		358	V	2	41区V-1	楕円形	22	18	15		
第86回		360	V	2	41区V-1	楕円形	27	24	12		
第86回		361	V	2	41区V-1	楕円形	20	16	21		
第108・109回		364	V	2	41区V・Ⅷ-8	楕円形	35	28	18		
第108・109回		365	V	2	41区V-8	円形	直径31	23			
第112回		366	V	2	41区V-8	楕円形	36	33	30		
第112回		367	V	2	41区V-8	楕円形	24	22	20		
第112回		368	V	2	41区V-8	楕円形	28	26	40		
第112回		369	V	2	41区V-8	方形	一辺23	14			
第112・113回		370	V	2	41区V-8	楕円形	32	26	29		
第112・113回		371	V	2	41区V-8	円形	直径27	22			
第112・113回		372	V	2	41区V-8	楕円形	26	21	24		
第112・113回		373	V	2	41区V-8	楕円形	23	22	20		
第112・113回		374	V	2	41区V-8	楕円形	32	27	15		
第112・113回		375	V	2	41区V-8	楕円形	39	24	23		
第112・113回		376	V	2	41区V-8	楕円形	27	24	22		

第3章 発見された遺構と遺物

棟号	写真	号	区	面	位置(グリッド)	平面形状	規模 (cm)			重複(旧<当該遺構(●)<新)	備考(▲=非掲載遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第112・113区		377	V	2	41KV-8	楕円形	28	26	30		
第112・113区		378	V	2	41KV-8	楕円形	21	19	25		
第112・113区		379	V	2	41KV-8	楕円形	18	15	17		
第112・113区		380	V	2	41KV-8	楕円形	25	20	15		
第112・113区		381	V	2	41KV-8	楕円形	30	26	16		
第112・113区		382	V	2	41KV・V-8	長方形	29	25	18		
第108・109区		383	V	2	41KV-8	楕円形	30	27	32		
第108・109区		384	V	2	41KV-8	楕円形	30	29	40		
第108・109区		385	V	2	41KV-8	楕円形	41	37	23		
第108・109区		386	V	2	41KV-9	長方形	24	21	29		
第108・109区		387	V	2	41KV-8	楕円形	26	22	18		
第108・109区		388	V	2	41KV-8	楕円形	38	24	15		
第88区		389	V	2	41KV-8・9	楕円形	20	18	23		
第112・113区		390	V	2	41KV-8	円形	直径16	10			
第112・113区		391	V	2	41KV-8	楕円形	22	20	20		
第112・113区		392	V	2	41KV-8	楕円形	26	22	18		
第88区		393	V	2	41KV-9	楕円形	28	21	20		
第88区		394	V	2	41KV-9	楕円形	33	28	23		
第88区		395	V	2	41KV-9	楕円形	26	23	28		
第88区		396	V	2	41KV-9	長方形	22	19	20		
第88区		397	V	2	41KV-9	楕円形	36	23	23		
第88区		398	V	2	41KV-9	楕円形	43	33	23		
第88区		399	V	2	41KV-9	円形	直径23	16			
第79区	PL.27	400	V	2	42KV-C-2	長方形	36	28	26		
第83区		401	V	2	41KV-6	(楕円形)	(31)	30	17	402 P (402 P < ●)	
第83区		402	V	2	41KV-6	方形	一辺37	33	401 P (● < 401 P)		
第83区		403	V	2	41KV-6	楕円形	62	35	32	302 P	
第108・109区		404a	V	2	41KV-7	楕円形	32	28	33	404 P b	
第108・109区		404b	V	2	41KV-7	(楕円形)	27	(20)	18	404 P a	
第108・109区		405	V	2	41KV-7	楕円形	30	27	25	19溝	
第86区		406	V	2	41KV-9	楕円形	26	21	22		
第86区		407	V	2	41KV-9	楕円形	25	20	12		
第108・109区		408	V	2	41KV-7	円形	直径24	21			
第112・113区		409	V	2	41KV-8	楕円形	24	21	19		
第86区		410	V	2	41KV-9	楕円形	41	36	16		
第86区		411	V	2	41KV-10	楕円形	40	31	20		
第86区		412	V	2	41KV-9	楕円形	30	26	14		
第115区		413	V	2	41KV-10	楕円形	22	20	10		
第115区		414	V	2	41KV・U-10	楕円形	32	30	21		
第115区		415	V	2	41KV・U-10	楕円形	25	22	31		
第78区		416	V	2	41KV-11	(楕円形)	25	(18)	18	141 P (● < 141 P)	
第115区		417	V	2	41KV-10	楕円形	21	18	19		
第115区		418	V	2	41KV-11	楕円形	27	23	15		
第115区		419	V	2	41KV-11	長方形	34	30	20		
第115区		420	V	2	41KV-11	楕円形	29	23	11		
第115区		421	V	2	41KV-11	長方形	33	20	22		
第89・90区		422	V	2	41KV・U-12	円形	直径21	23			
第89・90区		423	V	2	41KV-12	楕円形	24	22	25		
第89・90区		424	V	2	41KV-13	楕円形	20	17	23		
第89・90区		425	V	2	41KV-13	楕円形	24	19	11		
第89・90区		426	V	2	41KV-13	楕円形	30	29	15		
第89・90区		427	V	2	41KV-12・13	円形	直径27	23			
第89・90区		428	V	2	41KV-12	楕円形	27	24	15		
第89・90区		429	V	2	41KV-12	楕円形	30	26	34		
第89・90区		430	V	2	41KV-12	楕円形	27	22	39		
第115区		431	V	2	41KV-11・12	長方形	28	22	16		
第115区		432	V	2	41KV-11	楕円形	70	54	27		
第115区		433	V	2	41KV-11	楕円形	22	20	19		
第115区		434	V	2	41KV-11	長方形	22	17	13		
第116区		435	V	2	41KV-11	楕円形	40	29	18		
第116区		436	V	2	41KV-11	円形	直径21	15			
第116区		437	V	2	41KV-11	楕円形	33	23	25		
第117区		438	V	2	41KV-12	楕円形	30	23	24		
第117区		439	V	2	41KV-12	長方形	36	30	16		
第117区		440	V	2	41KV-12	楕円形	25	24	17		
第117区		441	V	2	41KV-12	楕円形	21	17	12		
第117区		442	V	2	41KV-12	楕円形	38	30	12		
第117区		443	V	2	41KV-12	楕円形	29	22	15		

第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物

種別	写真	号	区	面	位置(グリッド)	平面形状	規模(m)			重複(旧<当該遺構(●)<新)	備考(▲=非掲載遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第1179区		444	V	2	418E-12	楕円形	31	25	18		
第1179区		445	V	2	418E-12	楕円形	31	26	17		
第1179区		446	V	2	418S-12	楕円形	31	28	12		
第89・90区		447	V	2	418T-13	楕円形	23	21	18		
第89・90区		448	V	2	418T-14	円形	直径27		29		
第108・109区		449	V	2	418W-7	楕円形	56	44	29	20溝	
第108・109区		450	V	2	418V-7	円形	直径32		20		
第108・109区		451	V	2	418V-7	楕円形	41	33	24		
第108・109区		452	V	2	418V-7	楕円形	23	20	16		
第91・92区		453	V	2	418W-6	楕円形	25	23	46		
第91・92区		454	V	2	418W-6	円形	直径24		18		
第91・92区		455	V	2	418W-6	楕円形	20	18	15		
第91・92区		456	V	2	418W-6	円形	直径25		25		
第91・92区		457	V	2	418W-6	楕円形	27	25	39		
第91・92区		458	V	2	418V-6	楕円形	24	22	20		
第91・92区		459	V	2	418W-5	円形	直径24		12		
第91・92区		460	V	2	418V-5	楕円形	26	22	19		
第108・109区		461	V	2	418V-9	楕円形	20	18	14		
第108・109区	PL.30	462	V	2	418V-8・9	楕円形	27	24	16		在地系土器内耳鍬1点。
第112・113区		463	V	2	418V-8	楕円形	24	16	11		
第112・113区		464	V	2	418V-8	長方形	29	26	22		
第112・113区		465	V	2	418V-8	方形	一辺22		16		
第112・113区		466	V	2	418V-8	楕円形	42	27	38		
第112・113区		467	V	2	418U-8	楕円形	21	19	15		
第112・113区		468	V	2	418U-8	楕円形	19	17	13		
第112・113区		469	V	2	418U-8	楕円形	29	25	26		
第112・113区		470	V	2	418U-8	不整形	47	35	34		
第112・113区		471	V	2	418U-8	長方形	25	23	21		
第112・113区		472	V	2	418U-8	方形	一辺23		11		
第112・113区		473	V	2	418U-8	楕円形	20	16	12		
第112・113区		474	V	2	418U-8	楕円形	36	35	13		
第112・113区		479	V	2	418V-7	楕円形	20	17	17		
第112・113区		480	V	2	418V-7	楕円形	20	16	9		
第112・113区		481	V	2	418V-7	楕円形	18	17	16		
第112・113区		482	V	2	418V-7	楕円形	26	20	8		
第112・113区		483	V	2	418V-7	楕円形	24	22	24		
第112・113区		484	V	2	418V-7	楕円形	30	28	26		
第112・113区		485	V	2	418V-7	長方形	27	20	28		
第112・113区		486	V	2	418V-7	楕円形	22	18	30		
第112・114区		487	V	2	418V-7	楕円形	35	33	26		
第112・114区		488	V	2	418V-7	楕円形	25	20	36		
第112・114区		489a	V	2	418U・V-7	楕円形	42	34	28	489 P a	
第112・114区		489b	V	2	418U-7	(楕円形)	23	(19)	10	489 P b	
第112・114区		490	V	2	418U-7	長方形	22	15	12		
第112・114区		491	V	2	418V-7	楕円形	21	20	12		
第112・114区		492	V	2	418U-7	楕円形	26	25	22		
第112・114区		493	V	2	418U-7	楕円形	22	18	16		
第112・114区		494	V	2	418U-7	楕円形	26	25	27		
第112・114区		495	V	2	418U-7	楕円形	28	26	20		
第112・114区		496	V	2	418U-7	楕円形	29	27	27		
第112・114区		497	V	2	418U-7	楕円形	24	22	30		
第112・114区		498	V	2	418U-7	円形	直径22		14		
第112・114区		499	V	2	418U-7	楕円形	25	20	37		
第112・114区		500	V	2	418U-7	長方形	37	26	33		
第112・114区		501	V	2	418U-7	円形	直径29		24		
第112・114区		502	V	2	418U-7	長方形	26	21	15		
第112・114区		503	V	2	418U-7	楕円形	16	14	14		
第112・114区		504	V	2	418U-7	楕円形	20	19	23		
第112・114区		505	V	2	418U-7	方形	一辺17		12		
第112・114区		506	V	2	418U-7	楕円形	24	16	18		
第112・114区		507	V	2	418U-7	楕円形	28	22	26		
第112・114区		508	V	2	418U-7	不整形	54	42	23		2基重複か。
第112・114区		509	V	2	418U-7・8	円形	直径21		15		
第112・114区		510	V	2	418U-7・8	方形	一辺23		19		
第112・114区		511	V	2	418U-8	楕円形	21	19	12		
第112・114区		512	V	2	418U-7	円形	直径26		28		
第93・94区		513	V	2	418U-7	円形	直径24		13		
第93・94区		514	V	2	418T-7・8	楕円形	21	20	14	515 P (●<515 P)	

第3章 発見された遺構と遺物

種別	写真	号	区	面	位置(グリッド)	平面形状	規模 (cm)			重複(旧<当該遺構(●)<新)	備考(▲=非掲載遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第93-94区		515	V	2	41KT-7	(楕円形)	24	22	39	514P(514P<●)	
第93-94区		516	V	2	41KT-8	楕円形	28	26	14		
第93-94区		517	V	2	41KT-8	楕円形	40	38	18		
第93-94区		518	V	2	41KT-8	円形		直径24	16		
第93-94区		519	V	2	41KU-8	楕円形	30	26	25		
第93-94区		520	V	2	41KU-8	楕円形	24	21	17		
第93-94区		521	V	2	41KT・U-8	楕円形	30	28	32		
第93-94区		522	V	2	41KU-8	楕円形	22	19	17		
第93-94区		523	V	2	41KT・U-8	円形		直径32	33		
第93-94区		524	V	2	41KU-8	楕円形	24	22	23		
第93-94区		525	V	2	41KU-8	楕円形	24	22	22		
第112・114区		526	V	2	41KU-8	円形		直径21	28		
第112・114区		527	V	2	41KU-8	円形		直径21	19		
第112・114区		528	V	2	41KU-8	楕円形	22	17	9		
第112・114区		529	V	2	41KT-7	楕円形	27	25	9		
第112・114区		530	V	2	41KT-7	楕円形	23	21	12		
第112・114区		531	V	2	41KU-7	楕円形	20	19	16		
第112・114区		532	V	2	41KT-7	楕円形	30	19	16		
第112・114区		534	V	2	41KU-7	楕円形	29	25	17		
第112・114区		535	V	2	41KU-6・7	楕円形	35	27	16		
第112・114区		536	V	2	41KU-6	楕円形	22	20	21		
第91・92区		537	V	2	41KU・V-6	楕円形	26	22	10		
第91・92区		538	V	2	41KV-6	楕円形	39	31	19		
第93-94区		539	V	2	41KT-7	円形		直径26	31		
第93-94区		540	V	2	41KT-7	楕円形	33	28	32		
第93-94区		541	V	2	41KT-7	長方形	29	26	17		
第93-94区		542	V	2	41KT-7	円形		直径28	34		
第88区		543	V	2	41KV-9	円形		直径25	16		
第112・114区		544	V	2	41KU-7	円形		直径20	18		
第95区		545	V	2	41KU-4	楕円形	41	31	29		
第95区		547	V	2	41KU-3	円形		直径28	41		
第86区		548	V	2	31KV-25	楕円形	33	31	28		
第110区		549	V	2	41KV-4	楕円形	31	28	17		
第91・92区		550	V	2	41KV-4・5	円形		直径19	17		
第91・92区		551	V	2	41KV-5	楕円形	20	16	12		
第91・92区		552	V	2	41KV-5	長方形	26	20	11		
第91・92区		553	V	2	41KV-5	楕円形	22	20	12		
第91・92区		554	V	2	41KV-5	楕円形	23	20	14		
第95区		555	V	2	41KU-5	楕円形	33	28	12		
第95区		556	V	2	41KT・U-4	楕円形	32	30	40		
第95区		557	V	2	41KT・U-4	楕円形	49	37	24		
第111区		558	V	2	41KT-3	楕円形	29	26	12		
第111区		559	V	2	41KU-2	円形		直径27	16	560P(560P<●)	
第111区		560	V	2	41KU-2	(円形)		直径(25)	14	559P(●<559P)	
第111区		561	V	2	41KU-2	円形		直径33	35		
第111区		562	V	2	41KV-2	長方形	26	22	10		
第111区		563	V	2	41KV-2	楕円形	29	27	24		
第111区		564	V	2	41KV-1	楕円形	30	28	21		
第57区		565	V	2	31KV-25	楕円形	26	25	28	1掘	
第93-94区		566	V	2	41KT-8	楕円形	26	23	27		
第96区		567	V	2	41KT-8	円形		直径21	10		
第96区		568	V	2	41KT-8	楕円形	27	23	21		
第96区		569	V	2	41KT-8	楕円形	19	17	11		
第96区		570	V	2	41KT-9	円形		直径18	12		
第96区		571	V	2	41KS-9	楕円形	24	22	13		
第91・92区		572	V	2	41KV-4	楕円形	24	23	16		
第81・82区		573	V	2	41KV・X-5	楕円形	64	31	23		
第110区		574	V	2	41KV-3	楕円形	24	22	28		
第87区		575	V	2	41KV-3	楕円形	34	30	59		
第87区		576	V	2	41KV-2・3	楕円形	23	21	38		
第96区		577	V	2	41KT-9	楕円形	29	22	28		
第89・90区		578	V	2	41KT-11	楕円形	20	18	11		
第89・90区		579	V	2	41KT-13	楕円形	21	19	10		
第110区		580	V	2	41KS-10	円形		直径23	11		
第96区		581	V	2	41KS-9	楕円形	40	35	12		
第89・90区		582	V	2	41KT-12	長方形	25	19	26	7坑	
第96区		583	V	2	41KS-9	楕円形	37	29	12		
第93-94区		584	V	2	41KS-6	楕円形	41	36	26		

第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物

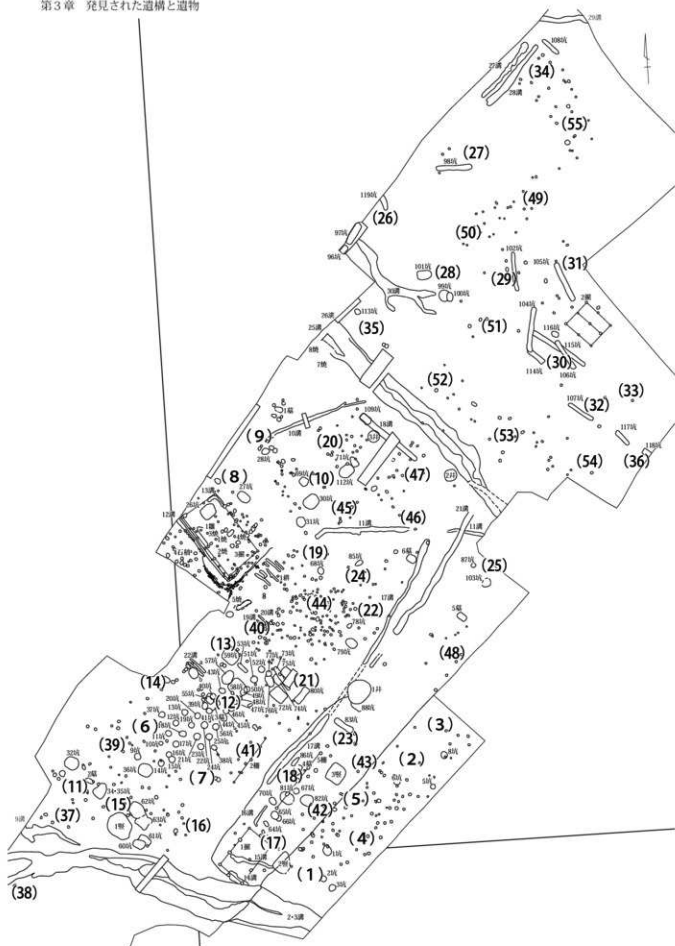
挿図	写真	号	区	面	位置(グリッド)	平面形状	規模(m)			重複(旧<当該遺構(●)<新)	備考(▲=非掲載遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第118図		585	V	2	41KR-5	楕円形	37	33	24		
第118図		586	V	2	41KR-6	長方形	25	23	8		
第118図		587	V	2	41KR-5・6	楕円形	31	27	25		
第118図		588	V	2	41KR-7	楕円形	42	27	38		
第118図		589	V	2	41KR-7	楕円形	24	20	27		
第118図		590	V	2	41KR-6	楕円形	31	29	23		
第118図		591	V	2	41KR-6	楕円形	30	27	17		
第118図		592	V	2	41KR-7	方形		一辺18	9		
第118図		593	V	2	41KR-7	円形		直径17	20		
第118図		594	V	2	41KR-7	楕円形	20	19	14		
第118図		595	V	2	41KR-7	楕円形	18	16	18		
第116図		596	V	2	41KR-10	楕円形	32	23	16		
第116図		597	V	2	41KR-9・10	楕円形	44	36	20	17溝(●<17溝)	
第96図		598	V	2	41KS-8	楕円形	29	27	15		
第116図		599	V	2	41KR-9	楕円形	26	23	19		
第93・94図		600	V	2	41KS-7	長方形	24	20	14	17溝	
第98図		763	V	2	41KR-20	楕円形	23	20	48		
第98図		764	V	2	41KR-21	長方形	28	24	42		
第98図		765	V	2	41KR-21	長方形	29	22	28		
第119図		766	V	2	41KR-20	楕円形	25	23	26		
第119図		767	V	2	41KR-19	楕円形	20	16	19		
第119図		768	V	2	41KR-19	楕円形	27	23	28		
第119図		769	V	2	41KR-19	円形		直径22	15		
第120図		770	V	2	41KR-19	長方形	38	20	15		
第120図		771	V	2	41KR-19	楕円形	22	18	27		
第120図		772	V	2	41KR-19	楕円形	21	20	31		
第120図		773	V	2	41KR-19	楕円形	26	22	18		
第120図		774	V	2	41KR-19	円形		直径20	24		
第120図		775	V	2	41KR-18	方形		一辺20	22		
第120図		776	V	2	41KR-18	長方形	21	18	16		
第120図		777	V	2	41KR-19	楕円形	25	17	25		
第120図		778	V	2	41KR-19	楕円形	24	22	22		
第119図		779	V	2	41KR-19	方形		一辺17	17		
第119図		780	V	2	41KR-19	長方形	18	16	16		
第119図		781	V	2	41KR-19	円形		直径26	18		
第119図		782	V	2	41KR-19	長方形	24	21	27		
第119図		783	V	2	41KR-19	楕円形	25	23	19		
第119図		784	V	2	41KR-18・19	楕円形	23	21	22		
第120図		785	V	2	41KR-18・19	楕円形	18	17	20		
第120図		786	V	2	41KR-18	長方形	21	18	25		
第99図		787	V	2	41KR-18	楕円形	26	25	16		
第99図		788	V	2	41KR-18	楕円形	31	26	15		
第99図		789	V	2	41KR-17	楕円形	50	32	12		
第99図		790	V	2	41KR-17	楕円形	25	21	23		
第98図		791	V	2	41KR-Q-17	楕円形	27	25	10		
第120図		792	V	2	41KR-16	楕円形	42	36	9		
第120図		793	V	2	41KR-16	長方形	40	29	12		
第120図		794	V	2	41KR-16	楕円形	36	32	14		
第120図		795	V	2	41KR-16	楕円形	31	29	16		
第120図		796	V	2	41KR-15・16	円形		直径21	18		
第121図		797	V	2	41KR-15	楕円形	19	17	12		
第121図		798	V	2	41KR-14	楕円形	43	38	14		
第121図		799	V	2	41KR-14	楕円形	22	21	15		
第121図		800	V	2	41KR-14	楕円形	24	20	15		
第121図		801	V	2	41KR-13	楕円形	20	17	14		
第121図		802	V	2	41KR-13	長方形	23	19	14		
第122図		803	V	2	41KR-13	楕円形	40	36	15		
第122図		804	V	2	41KR-13	楕円形	38	27	13		
第122図		805	V	2	41KR-12	楕円形	25	21	18		
第122図		806	V	2	41KR-13	楕円形	46	28	26		
第123図		807	V	2	41KR-13	長方形	25	20	17		
第122図		808	V	2	41KR-13	楕円形	23	21	11		
第122図		809	V	2	41KR-12	楕円形	25	20	23		
第122図		810	V	2	41KR-12	楕円形	29	25	14		
第105図		811	V	2	41KS-15 (長方形)	40	34	20	812P(●<812P)	▲削片1点。	
第105図		812	V	2	41KS-15 円形		直径47	22	811P(811P<●)		
第99図		813	V	2	41KR-17	楕円形	30	24	18		
第99図		814	V	2	41KR-Q-18	長方形	40	35	10		

第3章 発見された遺構と遺物

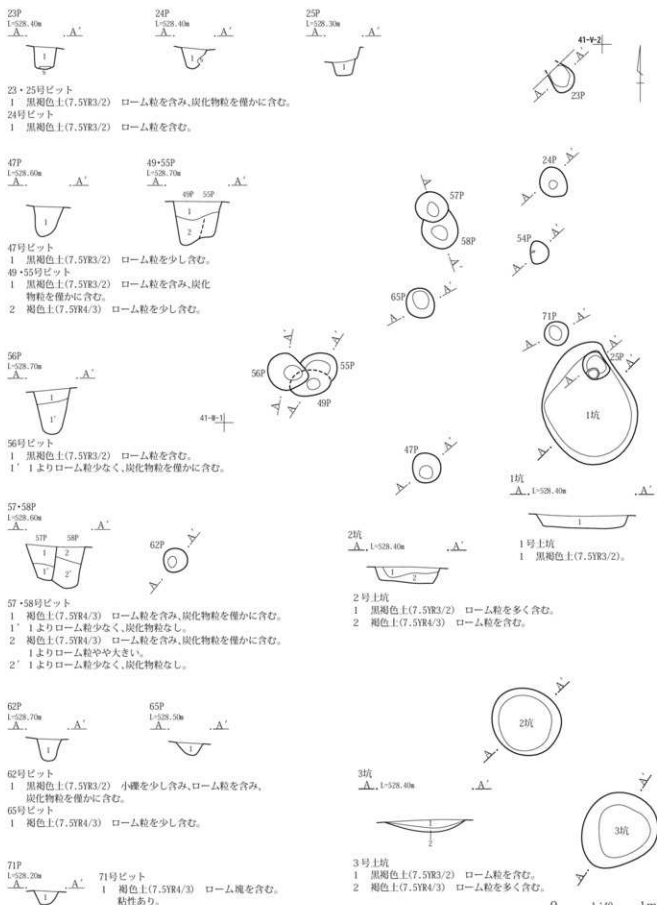
棟号	写真	号	区	面	位置(グリッド)	平面形状	規模(m)			重複(旧<当該遺構(●)<新)	備考(▲=非掲載遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第89・90区		815	V	2	41DK-12	楕円形	27	25	17		
第89・90区		816	V	2	41DK-12	楕円形	35	30	33		
第103・104区		817	V	2	41DK-23	長方形	22	20	25		
第103・104区		818	V	2	41DK-23	長方形	32	23	37		
第103・104区		819	V	2	41DK-23	楕円形	30	23	29		
第103・104区		820	V	2	41DK-24	楕円形	27	25	42		
第103・104区		821	V	2	41DK-24	長方形	33	32	44		
第103・104区		822	V	2	41DK-23・24	楕円形	30	27	37		
第103・104区		923	V	2	41DK-23	楕円形	25	23	32		
第103・104区		824	V	2	41DK-23	楕円形	29	27	26		
第103・104区		825	V	2	41DK-22・23	楕円形	27	23	22		
第103・104区		826	V	2	41DK-22	楕円形	25	23	33		
第103・104区		827	V	2	41DK-23	楕円形	26	22	30		
第103・104区		828	V	2	41DK-23	円形		直径31	25		
第103・104区		829	V	2	41DK-23	楕円形	36	32	41		
第103・104区		830	V	2	41DK-23	円形		直径24	23		
第103・104区		831	V	2	41DK-22	楕円形	27	22	21		
第124区		832	V	2	41DK-22	楕円形	26	24	21		
第124区		833	V	2	41DK-22	楕円形	35	27	24		
第103・104区		834	V	2	41DK-22	円形		直径26	23		
第103・104区		835	V	2	41DK-22	楕円形	43	40	17		
第103・104区		836	V	2	41DK-22	楕円形	25	23	24		
第124区		837	V	2	41DK-22	楕円形	22	20	27		
第124区		838	V	2	41DK-22	楕円形	25	23	29		
第124区		839	V	2	41DK-21	楕円形	27	23	28	840 P (840 P < ●)	
第124区		840	V	2	41DK-21	楕円形	22	19	29	839 P (● < 839 P)	
第124区		841	V	2	41DK-21	楕円形	65	62	37		
第124区		842	V	2	41DK-21	楕円形	24	21	33		
第124区		843	V	2	41DK-21	楕円形	22	19	41		
第124区		844	V	2	41DK-21	方形		一辺20	36		
第124区		845	V	2	41DK-21	楕円形	26	21	34		
第124区		846	V	2	41DK-20	楕円形	23	20	18		
第119区		847	V	2	41DK-20	楕円形	30	23	36		
第119区		848	V	2	41DK-20	円形		直径21	24		
第101区		849	V	2	41DK-18	円形		直径24	26		
第101区		850	V	2	41DK-16	円形		直径26	30		
第101区		851	V	2	41DK-18	楕円形	24	21	15		
第101区		852	V	2	41DK-18	楕円形	31	22	29		
第101区		853	V	2	41DK-17	長方形	51	35	31		
第101区		854	V	2	41DK-17	楕円形	28	24	18		
第101区		855	V	2	41DK-16	楕円形	25	23	21		
第101区		856	V	2	41DK-16	楕円形	30	25	28		
第101区		857	V	2	41DK-16	楕円形	43	34	20		
第102区		858	V	2	41DK-13	楕円形	32	28	20		
第102区		859	V	2	41DK-13	方形		一辺27	36		
第122区		860	V	2	41DKP-12	楕円形	35	31	30		
第122区		861	V	2	41DKP-12	円形		直径35	29		
第122区		862	V	2	41DKP-12	楕円形	28	26	23		
第121区		863	V	2	41DKP-13・14	長方形	69	37	15		
第121区		864	V	2	41DK-13	円形		直径25	10		
第121区		865	V	2	41DK-13	楕円形	25	20	18	26溝	
第121区		866	V	2	41DK-13	楕円形	25	22	12	25溝	
第117区		868	V	2	41DK-11	楕円形	25	21	15		
第89・90区		869	V	2	41DKT-14	円形		直径29	13		
第89・90区		870	V	2	41DKT-13	楕円形	20	18	14		
第89・90区		871	V	2	41DKT-13	楕円形	28	25	20		
第89・90区		872	V	2	41DKT-12	楕円形	32	30	55	112坑	
第89・90区		873	V	2	41DKT・U-12	楕円形	31	27	30		
第89・90区		874	V	2	41DKT-13	楕円形	25	20	25		
第117区		875	V	2	41DKS-11・12	楕円形	33	24	13		
第117区		876	V	2	41DKS-11・12	(円形)		直径(32)	15	877 P	
第117区		877	V	2	41DKS-11	円形		直径19	11	876 P	
第117区		878	V	2	41DKS-11・12	楕円形	29	26	21		
第117区		879	V	2	41DKS-11	楕円形	20	19	13		
第89・90区		880	V	2	41DKU-12	楕円形	30	28	40		
第101区		881	V	2	41DKN-15	楕円形	30	23	12		
第121区		882	V	2	41DKU-14	楕円形	24	21	11		
第121区		883	V	2	41DKR-14	楕円形	20	18	20		

第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物

種別	写真	号	区	面	位置(グリッド)	平面形状	規模 (cm)			重複(旧<当該遺構(●)<新)	備考(▲=非掲載遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第1239区		884	V	2	41IX-11	円形		直径30	18		
第1239区		885	V	2	41IX-12	楕円形	28	23	17		
第1239区		886	V	2	41IX-12	楕円形	31	24	17		
第1239区		887	V	2	41IX-11・12	楕円形	24	22	14		
第1239区		888	V	2	41IX-11	楕円形	22	20	15		
第1239区		889	V	2	41IX-11	楕円形	22	21	16		
第1239区		890	V	2	41IX-11	楕円形	34	29	26		
第1239区		891	V	2	41IX-12	円形		直径22	11		
第1029区		892	V	2	41IX-14	楕円形	30	28	9		
第1029区		893	V	2	41IX-13	楕円形	38	36	18		
第1229区		894	V	2	41IX-12	楕円形	22	18	11		

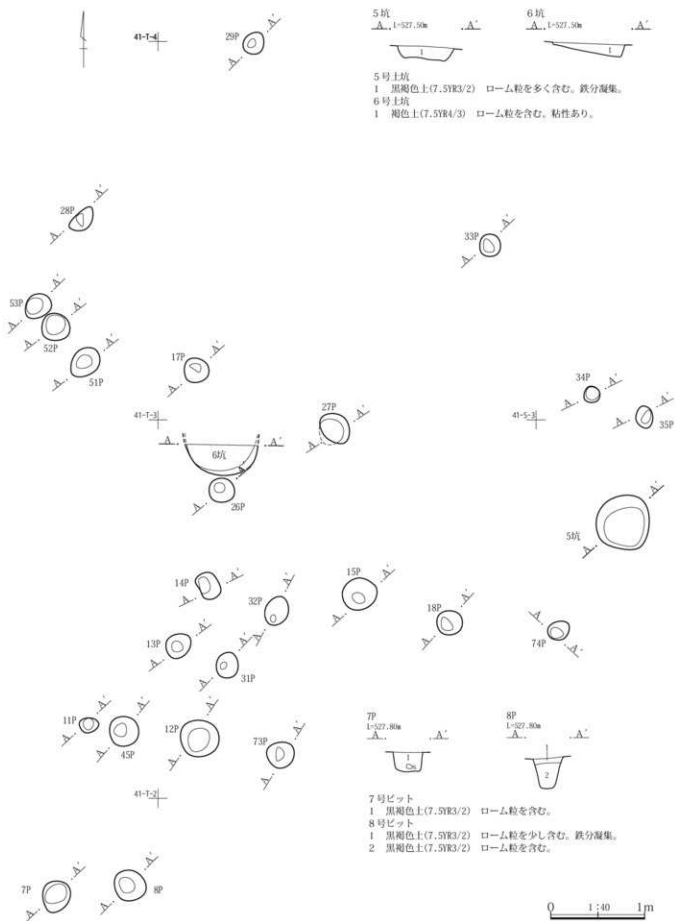


第65図 V区土坑・ピット群配置図



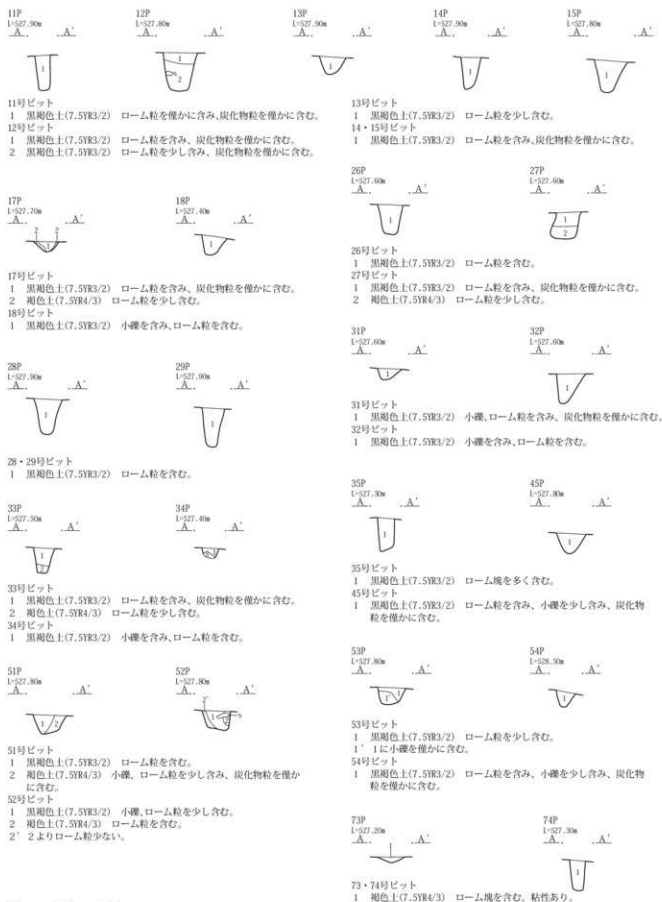
第66図 V区土坑・ピット群(1)

第3章 発見された遺構と遺物



第67図 V区土坑・ピット群(2)その1

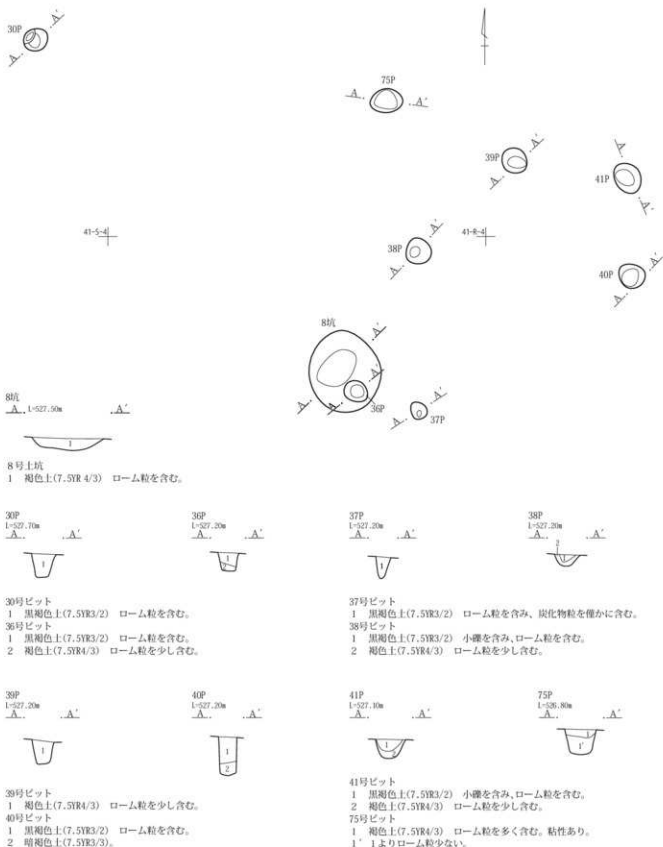
第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物



0 1:40 1m

第68図 V区土坑・ビット群(2)その2

第3章 発見された遺構と遺物



第69図 V区土坑・ビット群(3)



1・3号ビット

- 1 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム粒を少し含む、炭化物粒を僅かに含む。
2号ビット
1 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム粒を少し含む。



4号ビット

- 1 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム粒を少し含む、炭化物粒を僅かに含む。
鉄分凝集。
2 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム粒を少し含む、炭化物粒を僅かに含む。
5・6号ビット
1 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム粒を少し含む。鉄分凝集。
2 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム粒を少し含む。



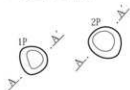
9号ビット

- 1 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム粒を含む。
2 褐色土(7.5YR4/3) ローム粒を少し含む。
10号ビット
1 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム粒を僅かに含む。
16号ビット
1 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム粒を含み、炭化物粒を僅かに含む。



42号ビット

- 1 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム粒を少し含む。
46号ビット
1 黒褐色土(7.5YR3/2) 小礫を少し含む、ローム粒を少し含む。
50号ビット
1 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム粒を含み、炭化物粒を僅かに含む。
2 褐色土(7.5YR4/3) ローム粒を少し含む。



41号



60・64号ビット

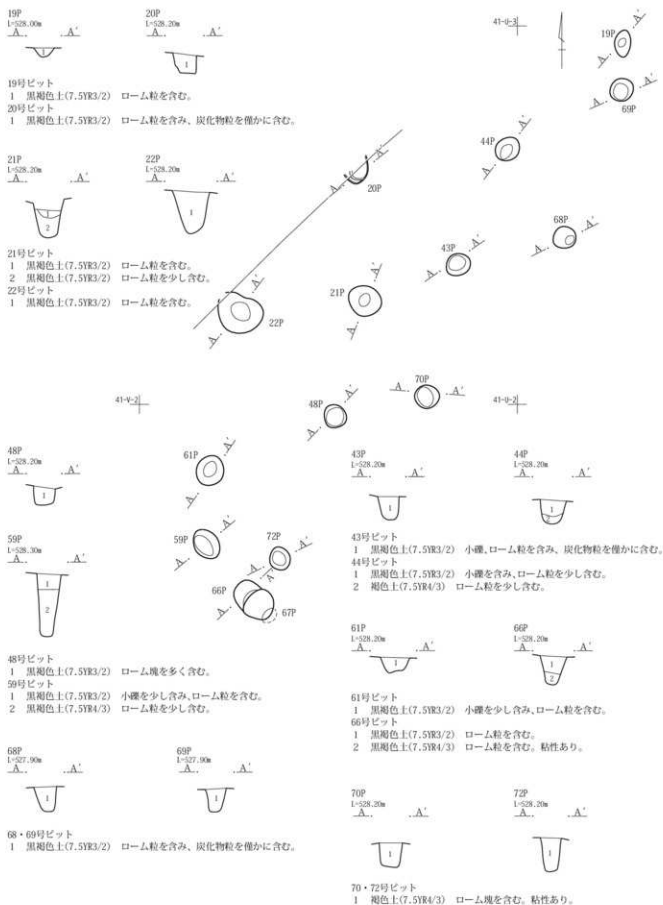
- 1 黒褐色土(7.5YR3/2) 小礫を少し含む、ローム粒を含む。
63号ビット
1 黒褐色土(7.5YR3/2) 小礫を少し含む、ローム粒を含み、炭化物粒を僅かに含む。



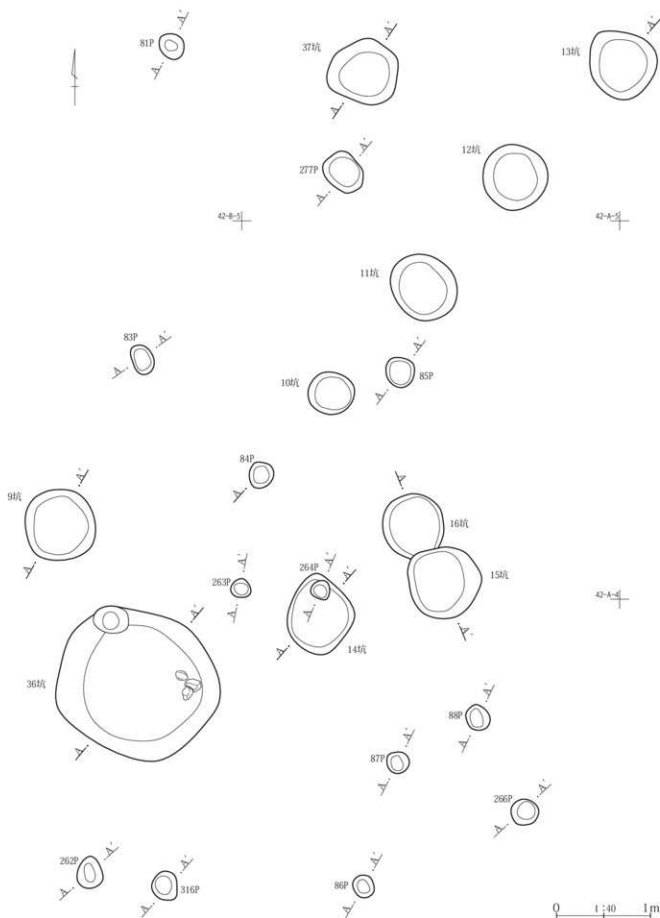
0 1:40 1m

第70図 V区土坑・ビット群(4)

第3章 発見された遺構と遺物



第71図 V区土坑・ビット群(5)



第72図 V区土坑・ピット群(6)その1

第3章 発見された遺構と遺物

9坑

△, L=531.10m

△



9号土坑

1 暗褐色土(10YR3/3) 礫、褐色・黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

14号土坑

1 暗褐色土(10YR3/3) 褐色・黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

14坑

△, L=530.80m

△



15・16坑

△, L=530.70m

△



15・16号土坑

1 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含み、褐色・黄褐色軽石粒を含む。

2 暗褐色土(10YR3/3) 褐色・黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

10～13坑・84P

△, L=531.80m

△



36坑

△, L=531.00m

△



36号土坑

1 褐色土(10YR4/1) 角礫を極めて多く含む。砂質。

2 灰黄褐色土(10YR5/2) 角礫、褐色・灰白色軽石粒を含む。粘性あり。

3 にぶい黄褐色土(10YR6/3) 褐色軽石粒を含む。粘質。

10～13号土坑・84号ピット

1 暗褐色土(10YR3/3) 礫、褐色・明黄褐色・黄褐色軽石粒を含む。

2 暗褐色土(10YR3/3) 褐色・黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

3 暗褐色土(10YR3/3) 礫、褐色・黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

37坑

△, L=530.80m

△



37号土坑

1 黒褐色土(10YR3/1) 扁平角礫、褐色・灰白色軽石粒を含む。砂質。

2 灰黄褐色土(10YR4/2) 小礫を含み、褐色・灰白色軽石粒を含む。

3 灰黄褐色土(10YR5/2) 褐色軽石粒を含む。粘性あり。

81P

L=531.00m

△



83P

L=531.00m

△



85P

L=530.70m

△



86P

L=530.70m

△



87P

L=530.70m

△



88P

L=530.60m

△



81・83・86～88号ピット

1 暗褐色土(10YR3/3) 礫、褐色・明黄褐色・黄褐色軽石粒を含む。

264P

L=530.70m

△



266P

L=530.50m

△



264・266号ピット

1 暗褐色土(10YR3/3) 礫、黄褐色軽石粒を含み、炭化物塊を含む。

277P

L=530.80m

△



316P

L=530.90m

△



277号ピット

1 褐色土(10YR4/4) 浅黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

316号ピット

1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・黄褐色軽石粒を含み、炭化物塊を僅かに含む。

262P

L=531.00m

△



263P

L=530.80m

△



262号ピット

1 暗褐色土(10YR3/3) 礫、黄褐色軽石粒を含み、炭化物塊を含む。

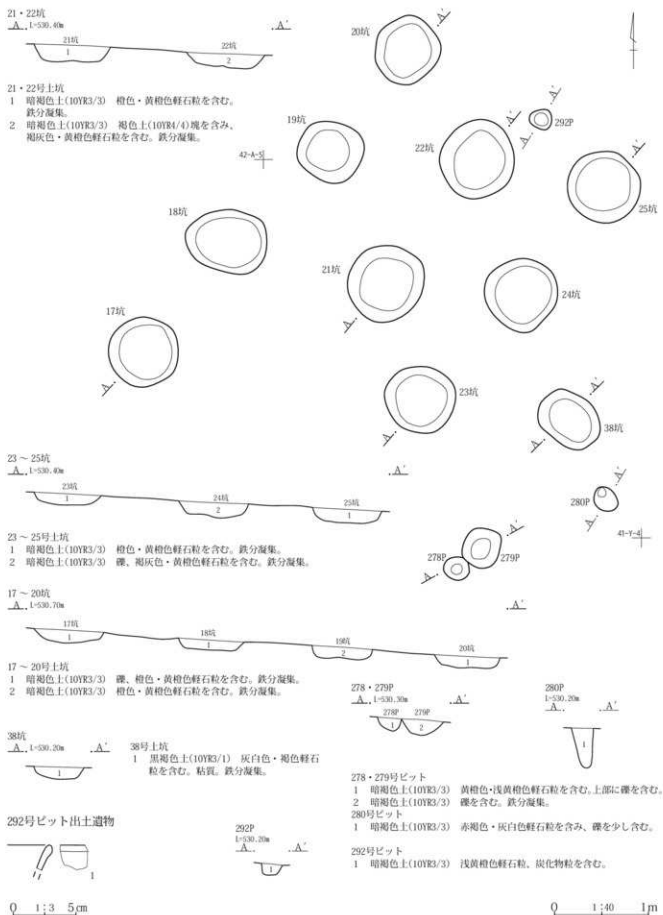
263号ピット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を含み、炭化物塊を含む。

0 1:40 1m

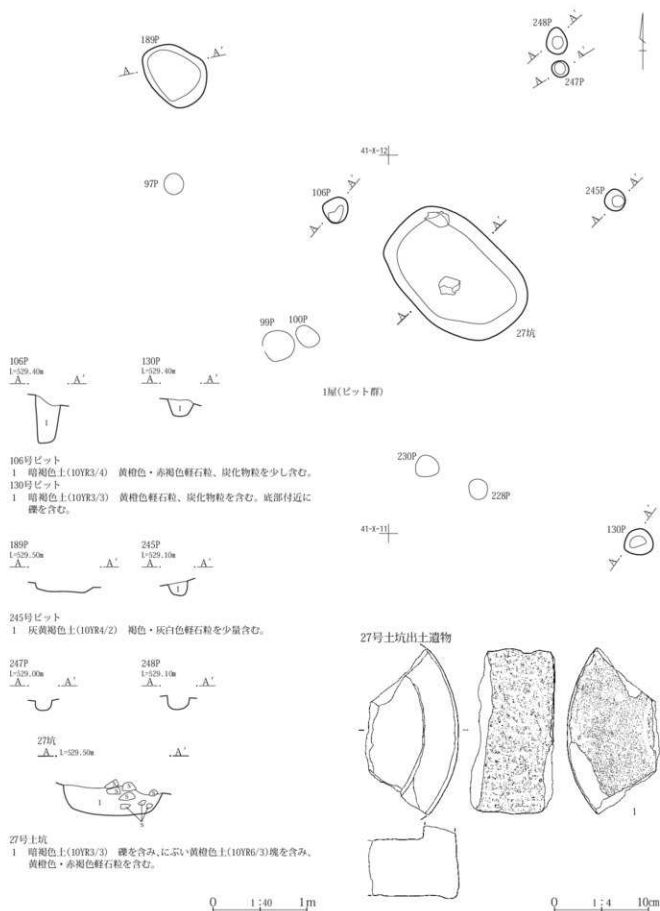
第73図 V区土坑・ピット群(6)その2

第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物

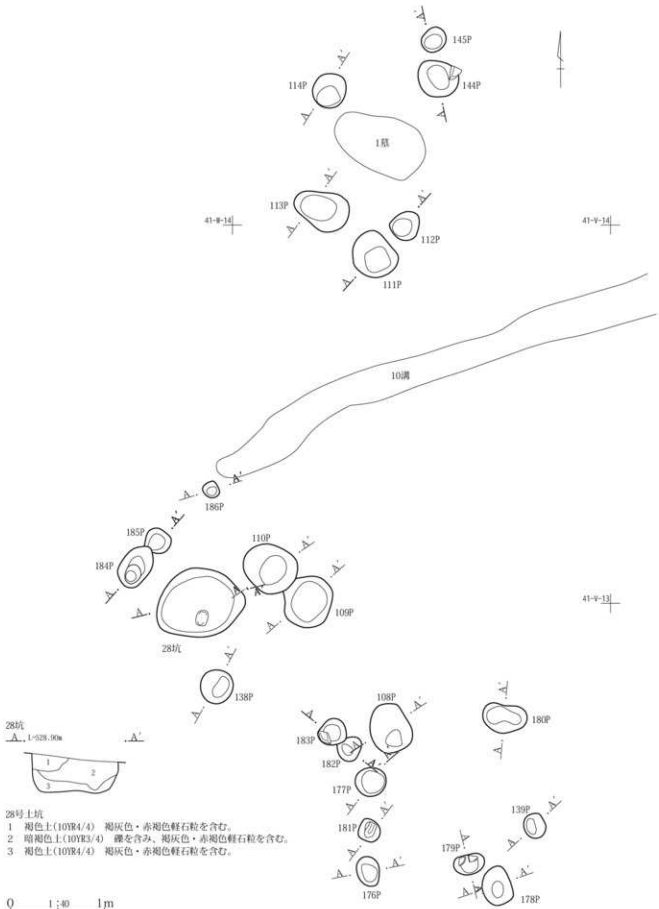


第74図 V区土坑・ビット群(7)

第3章 発見された遺構と遺物



第75図 V区土坑・ピット群(8)



第76図 V区土坑・ピット群(9)その1

第3章 発見された遺構と遺物

108P
L=528.80m



108号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 褐灰色軽石粒を含む。鉄分凝集。
- 2 明黄褐色土(10YR7/6) 黄褐色軽石を含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/4)。

109号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 褐灰色軽石粒を含む。
- 2 褐色土(10YR4/4) 扁平角礫を含む。黄褐色・赤褐色軽石粒を含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 褐灰色軽石粒を含む。
- 4 褐色土(10YR4/4) 扁平角礫を含む。黄褐色・赤褐色軽石粒を含む。底面付近礫多い。

109P
L=528.80m



110P
L=528.80m



110号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色軽石粒を含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/4)。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 砂質。

111・112P
L=528.80m



111・112号ピット

- 1 褐色土(10YR4/4) 礫を多く含む。炭化物粒を含む。
- 2 褐色土(10YR4/4) 赤褐色軽石粒を含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物粒を含む。黄褐色軽石粒を含む。

113P
L=528.80m



113号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 礫を含む。黄褐色・赤褐色軽石粒を含む。炭化物粒を少し含む。

114P
L=528.80m



114号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 礫を多く含む。黄褐色・赤褐色軽石粒を含む。炭化物粒を少し含む。

138P
L=528.90m



139P
L=528.70m



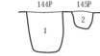
138号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含む。黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。

139号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。鉄分凝集。

144・145P
L=528.70m



144・145号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含む。黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。鉄分凝集。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含む。黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。

176P
L=528.80m



176・177号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 赤褐色・黄褐色軽石粒を含む。炭化物粒を含む。

177P
L=528.80m



178号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色・褐灰色軽石粒を含む。上部に扁平角礫を含む。

178P
L=528.80m



179P
L=528.80m



179号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色・褐灰色軽石粒を含む。上部に扁平角礫を含む。

180P
L=528.70m



180号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を含む。炭化物粒を含む。

181P
L=528.80m



181号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を含む。炭化物粒を含む。底部付近に礫を含む。

182・183P
L=528.80m



182・183号ピット

- 1 褐色土(10YR4/4) 黄褐色軽石粒を含む。炭化物粒を含む。底部付近に礫を含む。

184・185P
L=528.90m



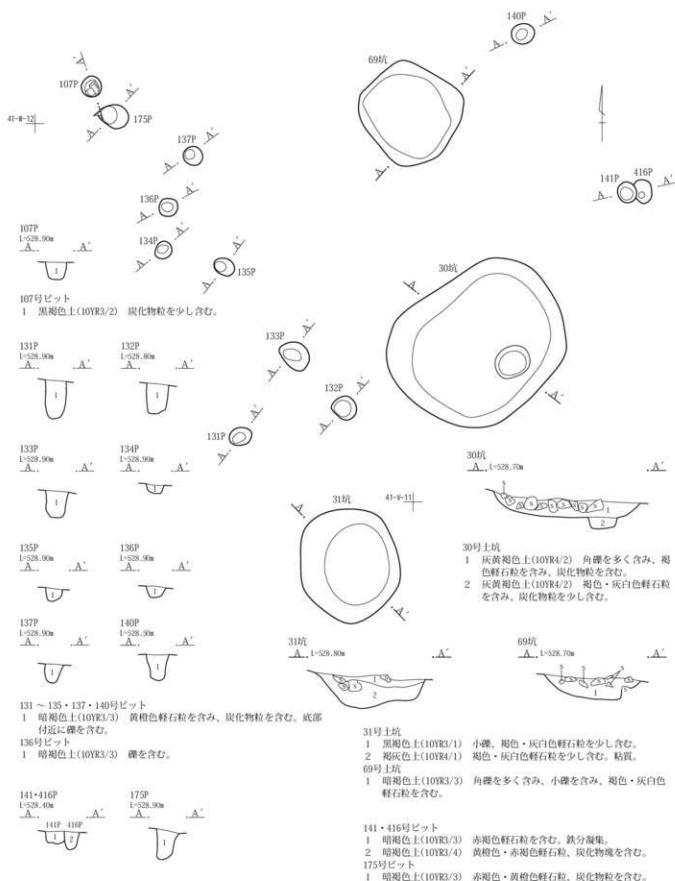
184・185号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 褐灰色軽石粒を含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 赤褐色・黄褐色軽石粒を含む。炭化物粒を含む。

186号ピット

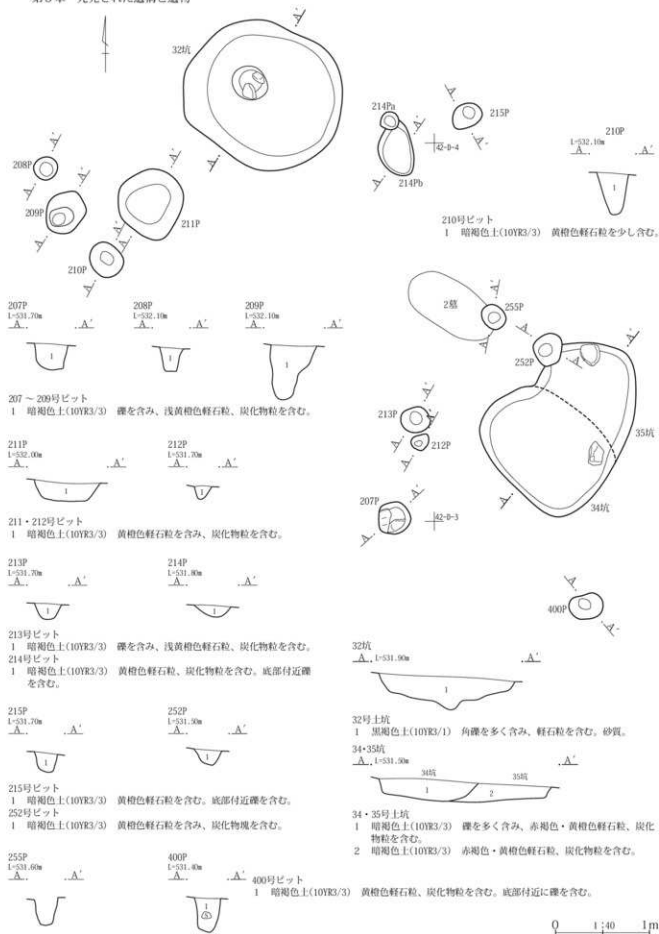
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 赤褐色・黄褐色軽石粒を含む。

0 1:40 1m

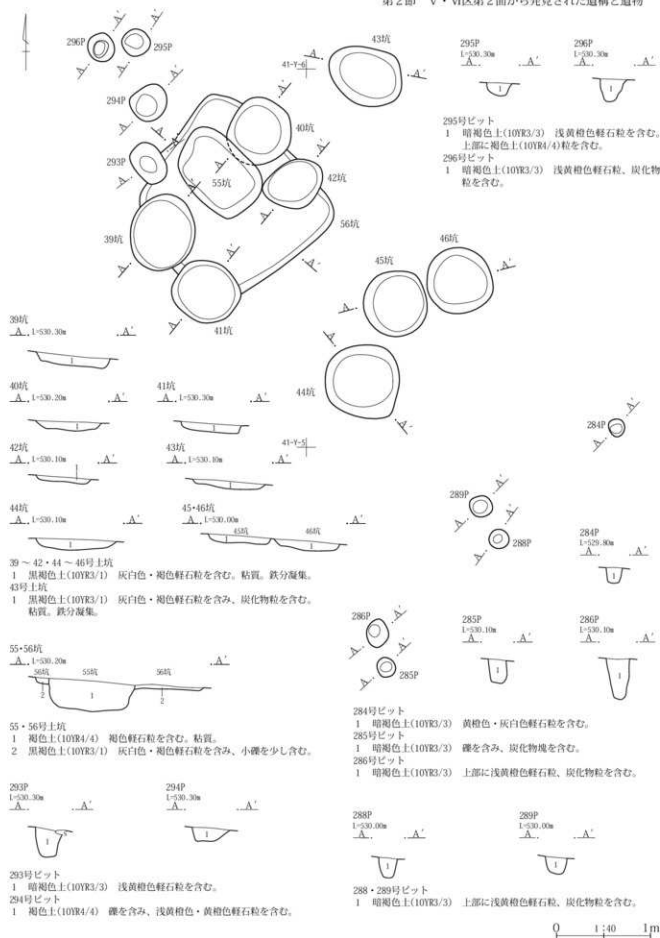


第78図 V区土坑・ピット群(10)

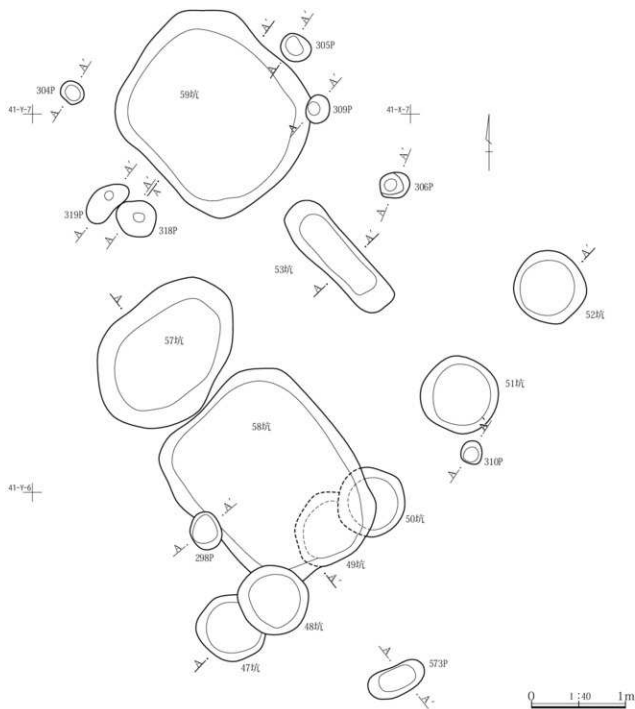
第3章 発見された遺構と遺物



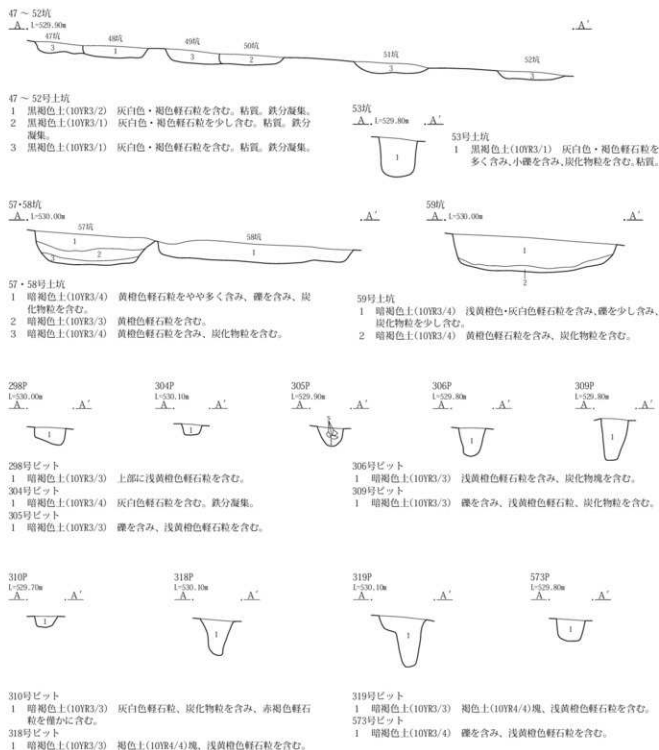
第79図 V区土坑・ピット群(11)



第80図 V区土坑・ピット群(12)



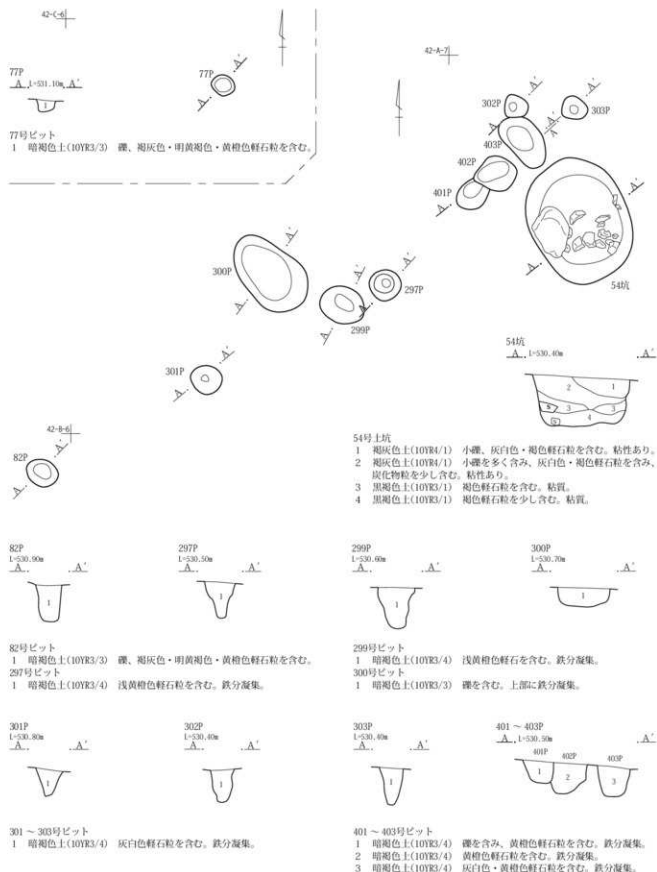
第81図 V区土坑・ピット群(13)その1



0 1:40 1m

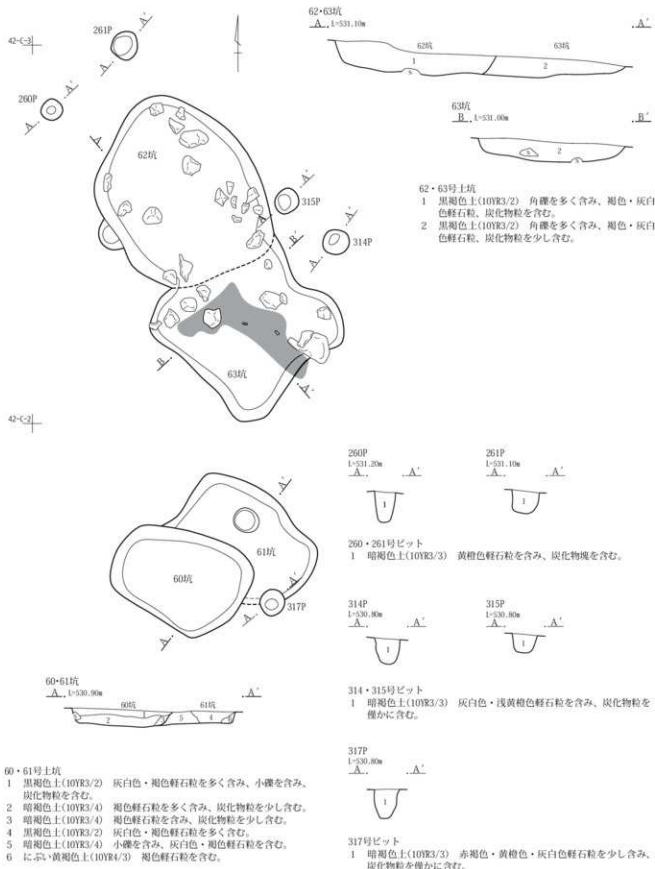
第82図 V区土坑・ビット群(13)その2

第3章 発見された遺構と遺物

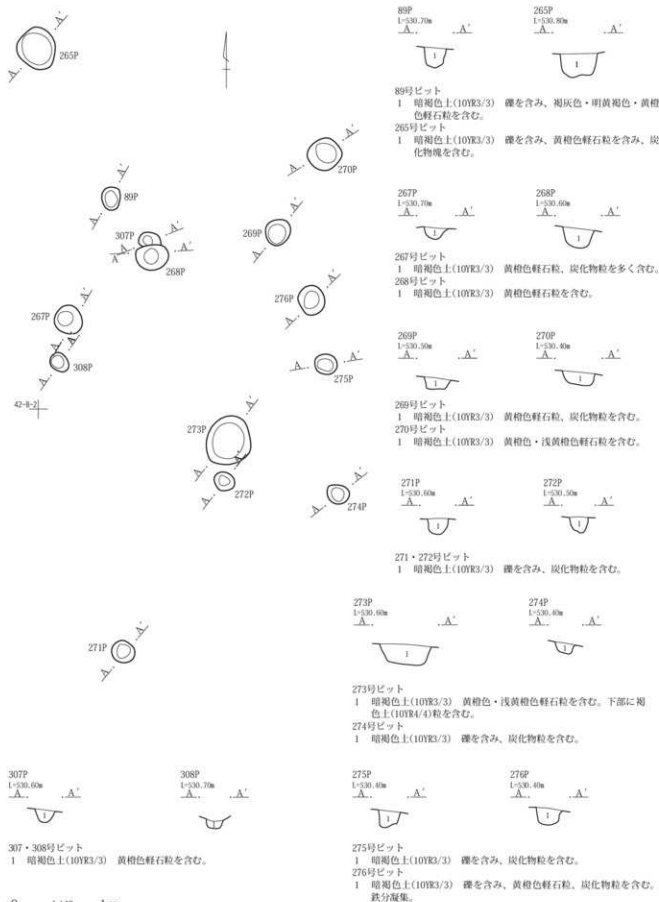


第83図 V区土坑・ピット群(14)

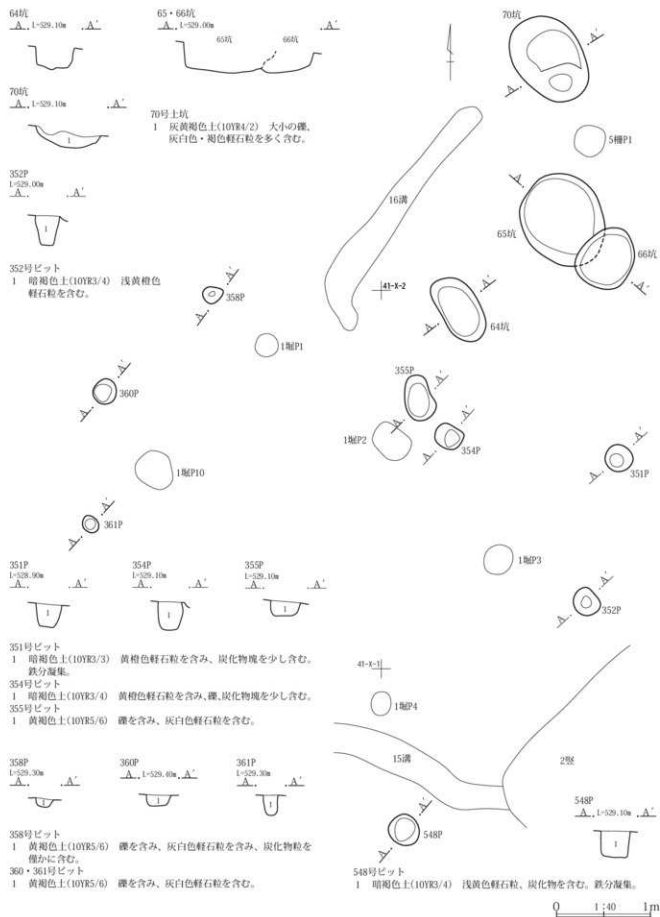
第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物



第84図 V区土坑・ピット群(15)

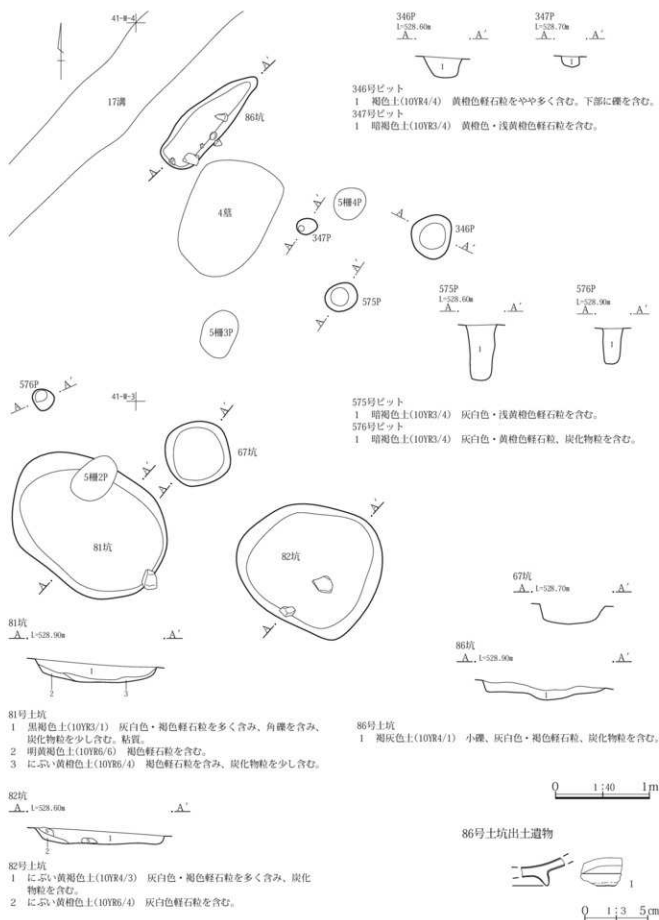


第85図 V区土坑・ピット群(16)



第86図 V区土坑・ピット群(17)

第3章 発見された遺構と遺物



- 346号ピット
1 褐色土(10YR4/4) 黄褐色軽石粒をやや多く含む。下部に礫を含む。
- 347号ピット
1 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色・浅黄褐色軽石粒を含む。

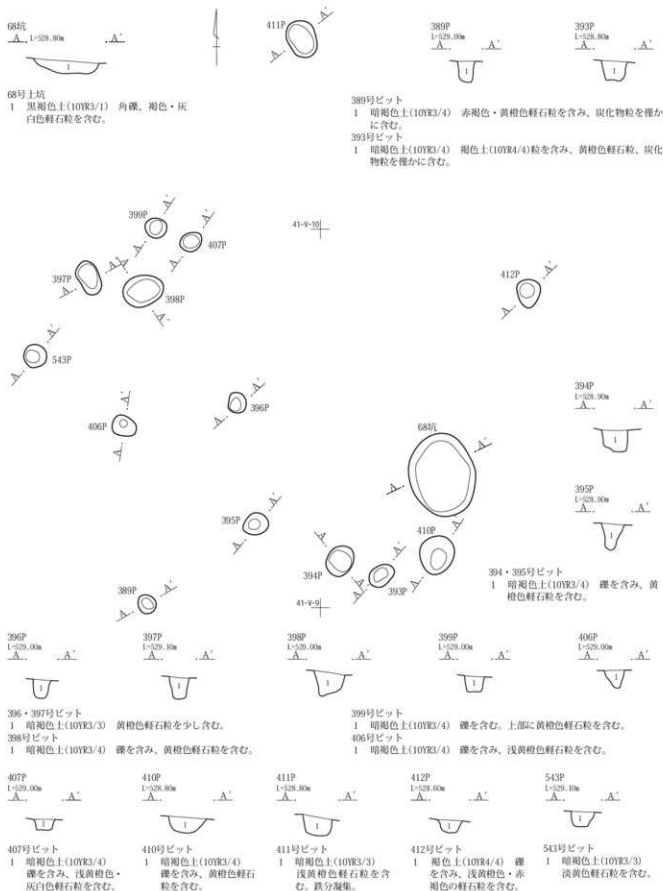
- 575号ピット
1 暗褐色土(10YR3/4) 灰白色・浅黄褐色軽石粒を含む。
- 576号ピット
1 暗褐色土(10YR3/4) 灰白色・黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。

- 81号土坑
- 1 黒褐色土(10YR3/1) 灰白色・褐色軽石粒を多く含む、角礫を含み、炭化物粒を少し含む。粘質。
 - 2 明黄褐色土(10YR6/6) 褐色軽石粒を含む。
 - 3 にぶい黄褐色土(10YR6/4) 褐色軽石粒を含み、炭化物粒を少し含む。

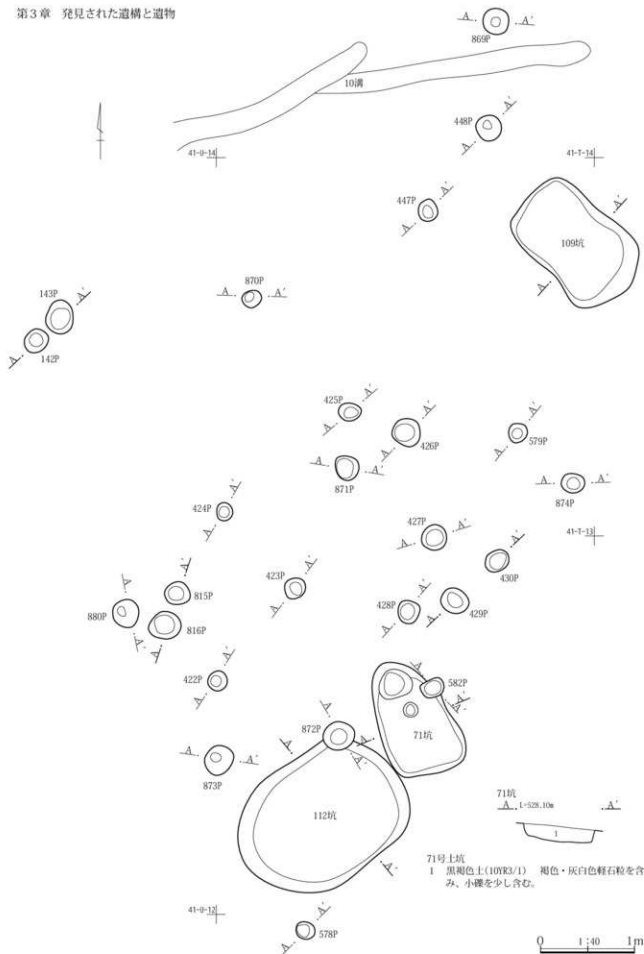
- 88号土坑
- 1 褐色土(10YR4/1) 小礫、灰白色・褐色軽石粒、炭化物粒を含む。

第87図 V区土坑・ピット群(18)

第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物



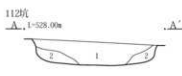
第88図 V区土坑・ビット群(19)





109号上坑

1 黒褐色土(10YR3/2) 小礫、褐色土(10YR4/6)塊、褐色・灰白色軽石粒、炭化物を含む。



112号上坑

1 褐灰色土(10YR4/1) 褐色軽石粒を含む。粘性あり。
2 灰黄褐色土(10YR4/2) 小礫、褐色・灰白色軽石粒を多く含み、炭化物粒を含む。粘質。



142・143号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 礫、黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。鉄分凝集。

422号ビット

1 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。



423・424号ビット

1 暗褐色土(10YR3/4) 赤褐色・黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。

425号ビット

1 暗褐色土(10YR3/4) 赤褐色・黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。底部付近に礫を含む。



426号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。

427号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

2 褐色土(10YR4/6) 黄褐色軽石を僅かに含む。



428号ビット

1 暗褐色土(10YR3/4) 褐色土(10YR4/4)粒、黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。

429・430号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色・灰白色軽石粒、炭化物粒を含む。

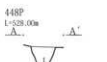


447・448号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・浅黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

578号ビット

1 暗褐色土(10YR3/4) 赤褐色・浅黄褐色軽石粒を含む。



579号ビット

1 暗褐色土(10YR3/4) 浅黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

582号ビット

1 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。鉄分凝集。



815・816号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。上部に礫を含む。

2 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。

869号ビット

1 黒褐色土(10YR2/2) 浅黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。鉄分凝集。



870号ビット

1 褐色土(10YR4/4) 暗褐色土(10YR3/3)塊、黄褐色軽石粒を含む。

871号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 褐色土(10YR4/4)を含み、褐灰色軽石粒、炭化物粒を含む。



872号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色・赤褐色軽石粒を含む。

873号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含み、黄褐色・赤褐色軽石粒を含む。



874号ビット

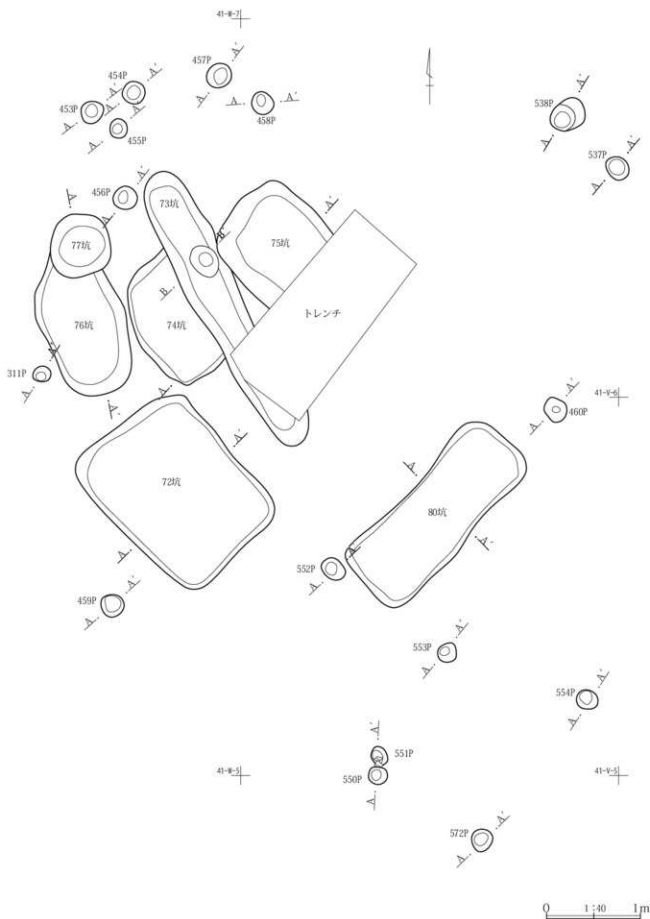
1 暗褐色土(10YR3/3) 褐色土(10YR4/4)、褐灰色軽石粒、炭化物粒を含む。

880号ビット

1 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色軽石粒を含む。上部に炭化物粒を含む。



0 1:40 1m

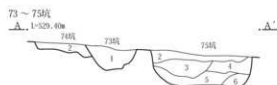


第91図 V区土坑・ピット群(21)その1

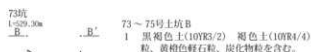
第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物



72号上坑
1 黒褐色土(10YR3/1) 小角礫を含み、褐色・灰白色軽石粒を含み、炭化物粒を少し含む。



73～75号上坑A
1 黒褐色土(10YR3/2) 角礫を含み、褐色・灰白色軽石粒を含む。
2 黒褐色土(10YR3/1) 大小礫、灰白色・褐色軽石粒を多く含む。粘質。
3 黒褐色土(10YR3/1) 角礫を含み、褐色軽石粒、炭化物粒を含む。
4 暗褐色土(10YR3/3) 褐色・灰白色軽石粒を含み、炭化物を含む。
5 黒褐色土(10YR2/3) 角礫を含み、褐色軽石粒を含む。
6 暗褐色土(10YR3/3) 灰白・褐色軽石粒を多く含む、礫を少し含む。



76・77号上坑
1 暗褐色土(10YR3/3) 角礫、灰白色・褐色軽石粒、炭化物粒を含む。
2 灰黄褐色土(10YR4/2) 角礫を多く含む、褐色軽石粒を含む。



80号上坑
1 黒褐色土(10YR3/1) 灰白色・褐色軽石粒を多く含む、炭化物粒を少し含む。粘質。



311号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 赤褐色・灰白色軽石粒を含む
453号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を含み、炭化物塊を含む。
455号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色・灰白色軽石粒を含む。



454・456号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色軽石粒を含み、炭化物粒を含み、礫を僅かに含む。

457号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色・灰白色軽石粒を含む。



458号ピット
1 暗褐色土(10YR3/2) 黄褐色・灰白色軽石粒を含む。
459・460号ピット
1 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色・灰白色軽石粒、炭化物粒を含む。



537号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。
538号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含み、赤褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。

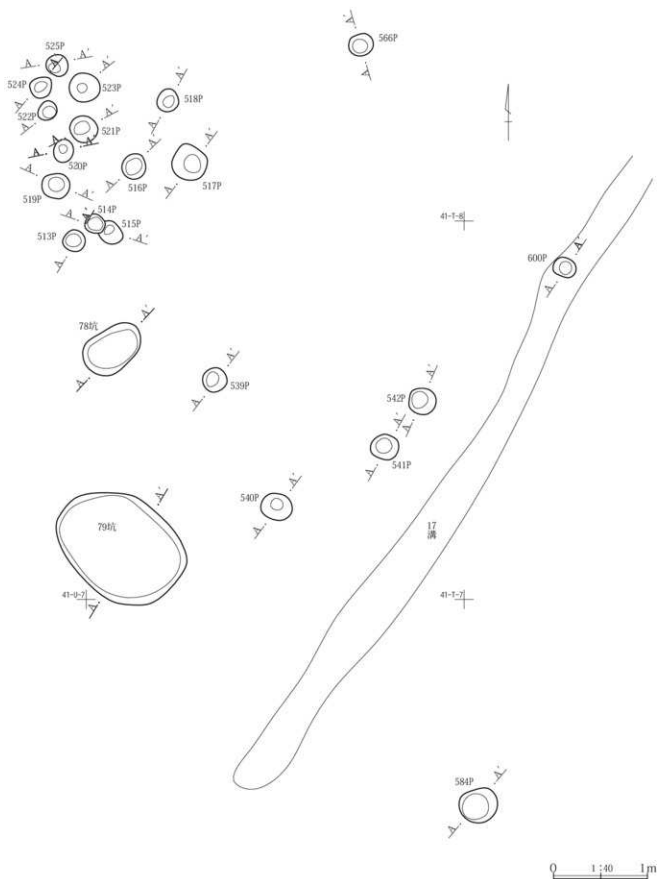


550・551号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色軽石粒を含む。
2 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。
552号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。



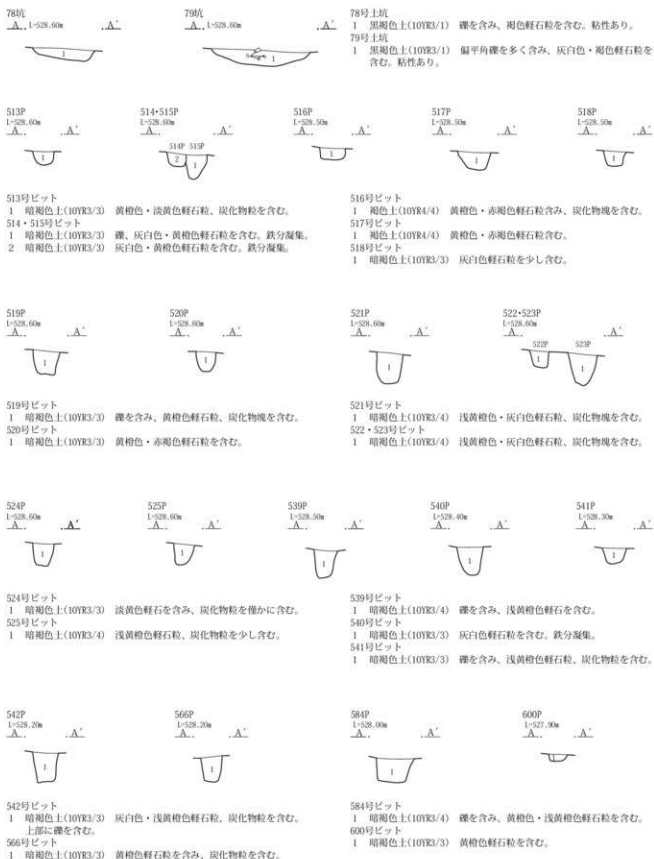
553・572号ピット
1 暗褐色土(10YR3/4) 礫を含み、浅黄褐色軽石粒を含む。
554号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。





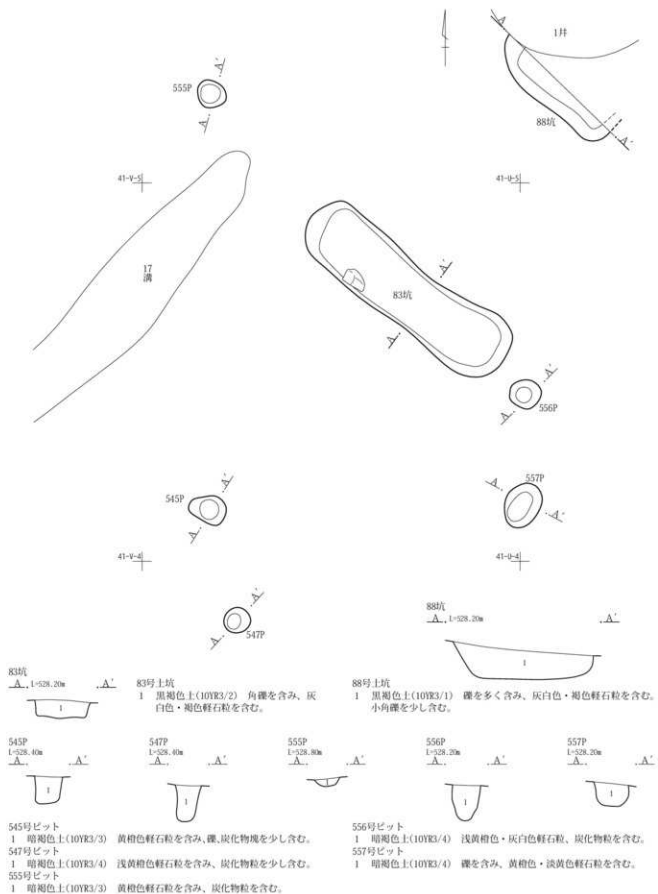
第93図 V区土坑・ピット群(22)その1

第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物

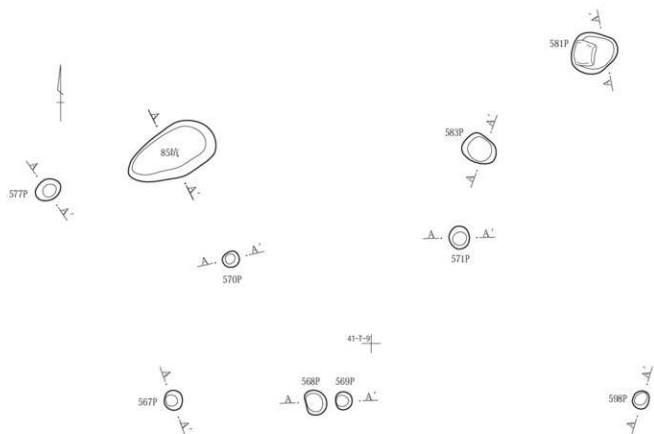


0 1:40 1m

第94図 V区土坑・ビット群(22)その2



第95図 V区土坑・ピット群(23)



85号土坑
1 暗褐色土(10YR3/4) 礫を多く含み、炭化物塊を多く含む。



567号ピット
1 暗褐色土(10YR3/4) 礫を含み、淡黄色軽石粒を含む。
568・569号ピット
1 暗褐色土(10YR3/4) 灰白色・浅黄棕色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。
2 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色軽石粒を含む。

570号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含み、灰白色軽石粒を含む。
571号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色軽石粒を含む。鉄分凝集。



577号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄棕色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。
581号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄棕色軽石粒を含み、灰白色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。

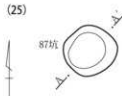
583号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 赤褐色・浅黄棕色軽石粒を含む。
598号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 灰色軽石粒を含み、炭化物粒を僅かに含む。鉄分凝集。

0 1:40 1m

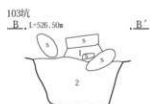
第96図 V区土坑・ピット群(24)

第3章 発見された遺構と遺物

(25)



41-Q-9



87号上坑

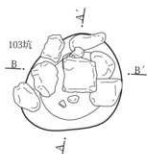
1 オリーブ灰色土(5Y5/2) 褐色軽石粒を含む。底部付近鉄分凝集。

103号上坑

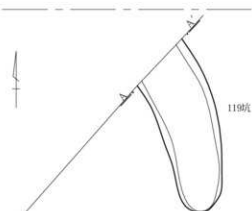
1 灰黄褐色土(10YR4/2) 褐色軽石粒を含む。粘質。

2 灰黄褐色土(10YR4/2) 小礫を含み、褐色軽石粒を含む。粘質。鉄分凝集。

(26)



41-T-20



119号上坑

1 黒褐色土(10YR3/1) 小角礫を含み、褐色軽石粒を含む。粘性あり。



41-T-19

96・97号上坑

1 黒褐色土(10YR3/1) 角礫を極めて多く含む。

2 黒褐色土(10YR3/2) 角礫を極めて多く含む。

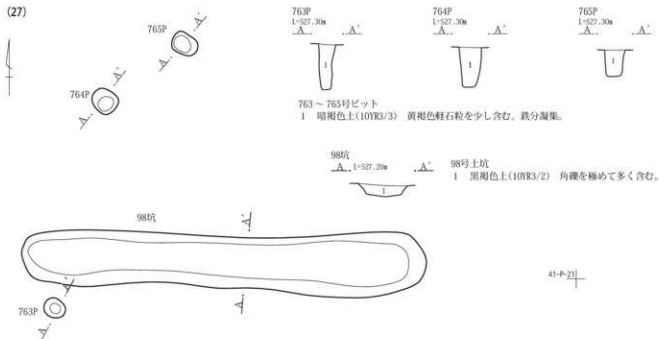


0 1:40 1m

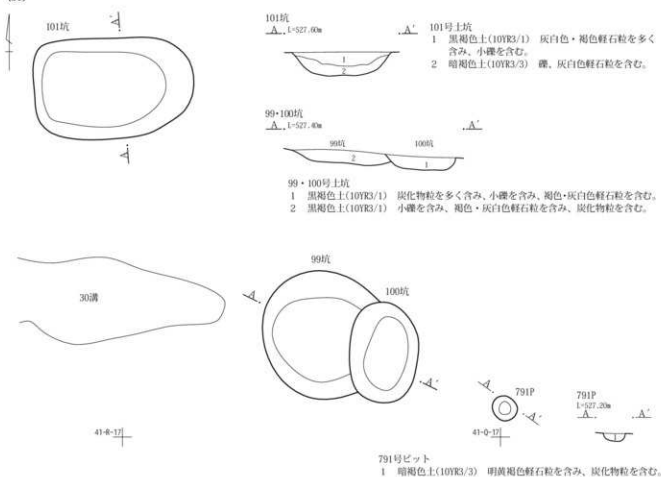
第97図 V区土坑・ピット群(25)・(26)

第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物

(27)

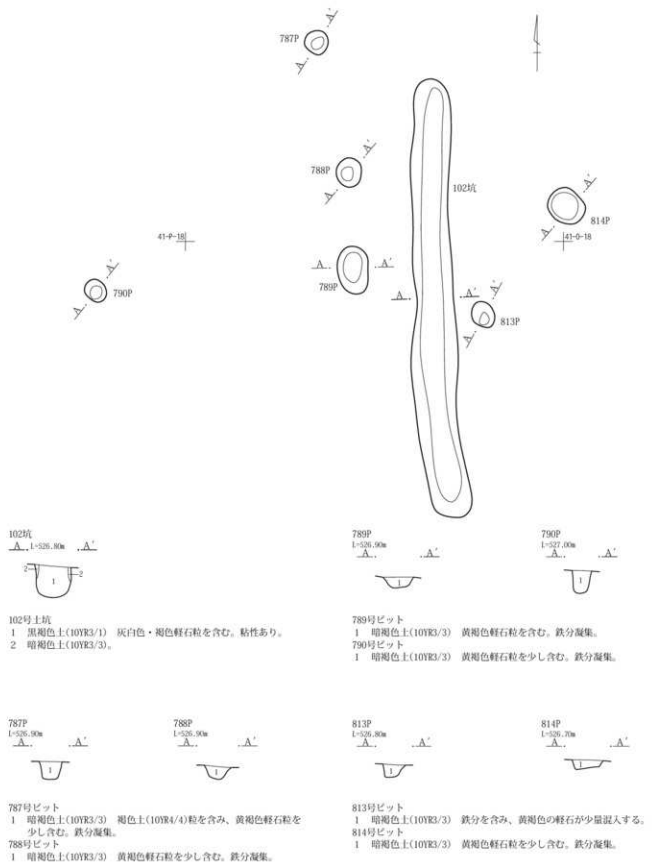


(28)

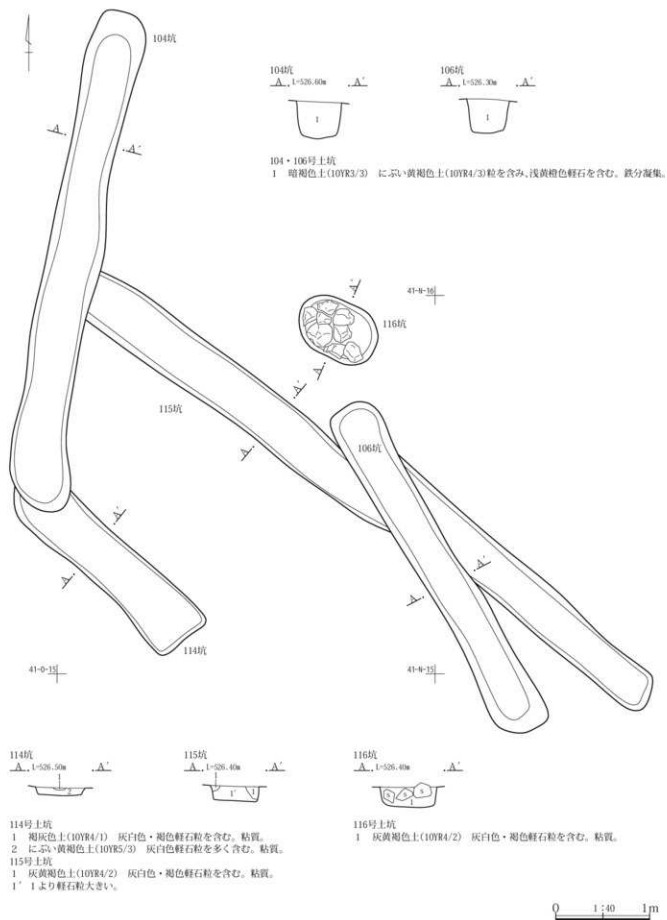


第98図 V区土坑・ピット群(27)・(28)

0 1:40 1m



第99図 V区土坑・ビット群(29)



第100図 V区土坑・ピット群(30)

第3章 発見された遺構と遺物

849P
A, L=526.50m, A'

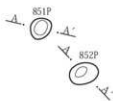


850P
A, L=526.60m, A'



849・850号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色・灰白色・赤褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。



851P
A, L=526.40m, A'



852P
A, L=526.30m, A'



851号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色・灰白色軽石粒を含む。鉄分凝集。

852号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。鉄分凝集。

853P
A, L=526.80m, A'



854・855P
A, L=526.40m, A'

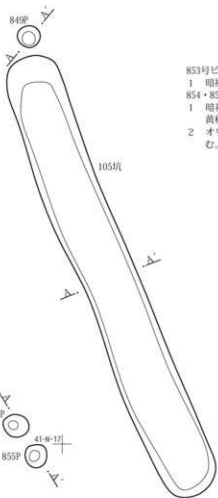


853号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色・灰白色・赤褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

854・855号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) にふい黄褐色土(10YR3/4)粒を極めて多く含み、黄褐色軽石粒を含む。
2 オリーブ黒色土(5Y3/2) 暗緑灰色土(10G4/1)塊、緑灰色軽石粒を含む。鉄分凝集。



856P
A, L=526.30m, A'



857P
A, L=526.20m, A'



856号ピット

- 1 オリーブ黒色土(5Y3/1) 緑灰色軽石粒を含む。

857号ピット

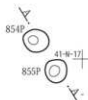
- 1 オリーブ黒色土(5Y3/2) 暗緑灰色土(10G4/1)塊、緑灰色軽石粒を含む。鉄分凝集。

881P
A, L=526.50m, A'



881号ピット

- 1 黒褐色土(10YR3/1) 灰白色軽石粒を含む。粘質。
2 1と灰黄褐色土(10YR4/1)塊の混土。



105A坑
A, L=526.40m, A'



105号上坑

- 1 黒褐色土(10YR3/1) 褐色軽石粒を含む。粘質。鉄分凝集。

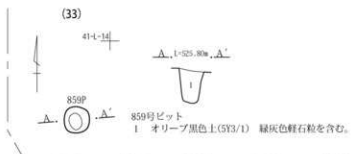
0 1:40 1m

第101図 V区土坑・ピット群(31)

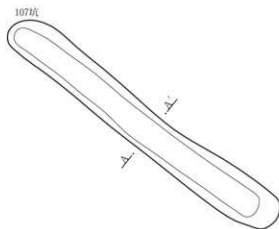
(32)



(33)



41-8-14



41-8-14



107号土坑

△, l=526.30m △, △



107号土坑

- 1 褐灰色土(10YR4/1) 褐色・灰白色軽石粒を含む。粘質。鉄分凝集。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 灰白色軽石粒を含む。粘質。
- 3 灰黄褐色土(10YR4/2) 灰白色軽石粒を含む。粘質。

858P

△, l=526.00m △, △



858号ピット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

892号ピット

- 1 褐灰色土(10YR4/1) 褐色・灰白色軽石粒を含む。粘質。鉄分凝集。

893号ピット

- 1 褐灰色土(10YR4/1) 褐色・灰白色軽石粒を含む。粘質。

892P

△, l=526.30m △, △



893P

△, l=526.10m △, △

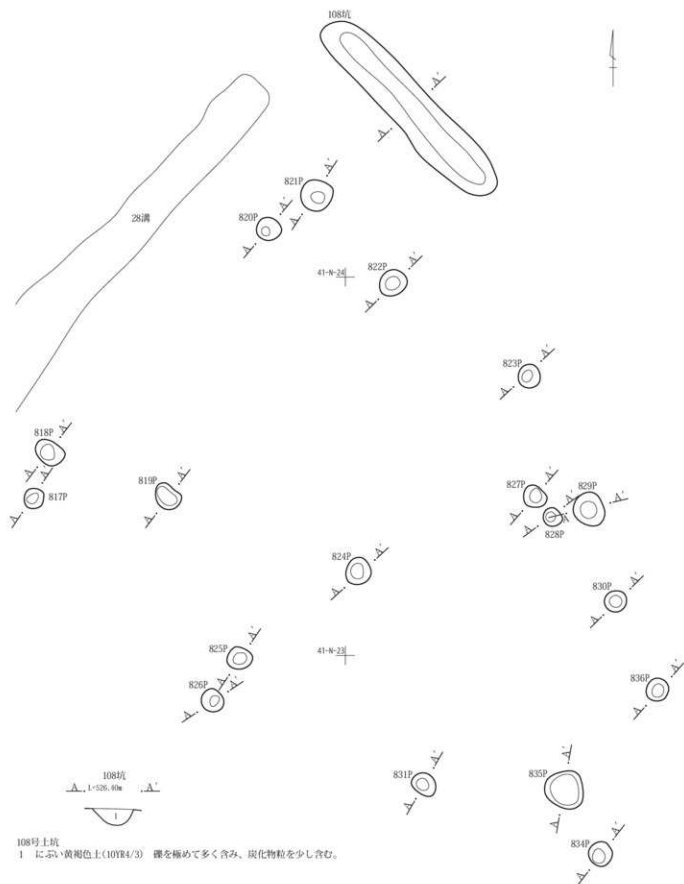


41-8-13



0 1:40 1m

第102図 V区土坑・ピット群(32)・(33)



108号土坑
1 濃い黄褐色土(10YR4/3) 礫を極めて多く含み、炭化物粒を少し含む。

第103図 V区土坑・ピット群(34)その1

第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物

817P
A, I-526.70m, A'



818P
A, I-526.70m, A'



819P
A, I-526.60m, A'



820P
A, I-526.90m, A'



821P
A, I-526.40m, A'



822P
A, I-526.40m, A'



817 ~ 822号ビット

I 暗褐色土(10YR3/3) 礫、炭化物粒を僅かに含む。鉄分凝集。

823P
A, I-526.30m, A'



824P
A, I-526.40m, A'



825P
A, I-526.50m, A'



826P
A, I-526.30m, A'



827P
A, I-526.30m, A'



828P
A, I-526.30m, A'



823 ~ 826・828号ビット

I 暗褐色土(10YR3/3) 礫、炭化物粒を僅かに含む。鉄分凝集。

827号ビット

I 暗褐色土(10YR3/3) 軽石粒を含み、礫、炭化物粒を僅かに含む。鉄分凝集。

829P
A, I-526.30m, A'



830P
A, I-526.30m, A'



831P
A, I-526.40m, A'



834P
A, I-526.20m, A'



835P
A, I-526.30m, A'



836P
A, I-526.30m, A'



829 ~ 831・834・836号ビット

I 暗褐色土(10YR3/3) 礫、炭化物粒を僅かに含む。鉄分凝集。

835号ビット

I 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色軽石粒を含む。底部付近に褐色土(10YR4/4)粒を含む。

0 1:40 1m

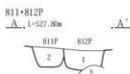
第104図 V区土坑・ビット群(34)その2

第3章 発見された遺構と遺物

(35)

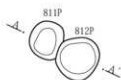


113号上坑
1 黒褐色土(10YR3/1) 向隅を極めて多く含む、褐色軽石粒を含む。粘質。



811・812号ピット
1 暗オリーブ色土(5Y4/3) 淡黄色軽石粒を含む。底部付近に礫を含む。
2 オリーブ褐色土(2.5Y4/3) 灰白色軽石粒を含む。鉄分凝集。

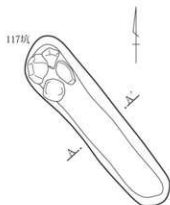
41-7-16



41-5-16

0 1:40 1m

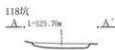
(36)



41-1-13

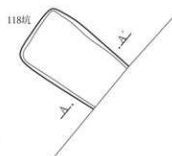


117号上坑
1 褐灰色土(10YR4/1) 褐色・灰白色軽石粒を含む。粘質。鉄分凝集。



118号上坑
1 黒褐色土(10YR3/1) 小礫を含み、灰白色・褐色軽石粒を含む。

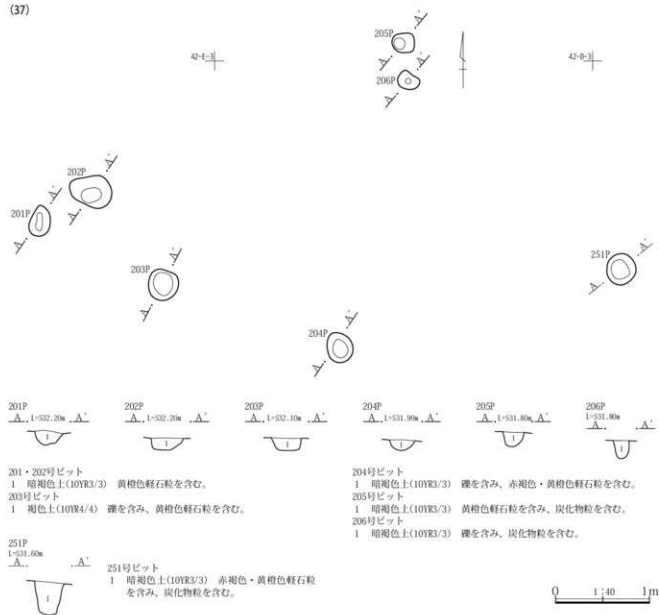
41-1-12



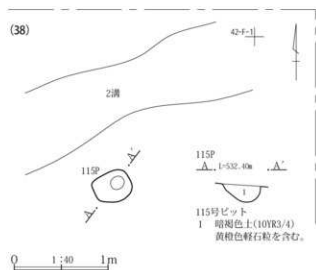
0 1:40 1m

第105図 V区土坑・ピット群(35)・(36)

(37)

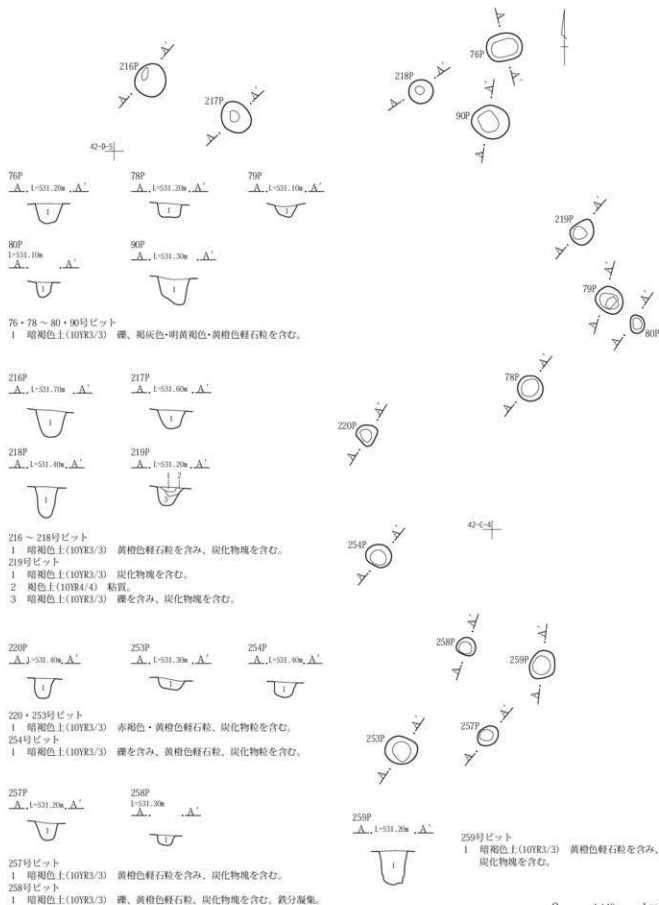


(38)



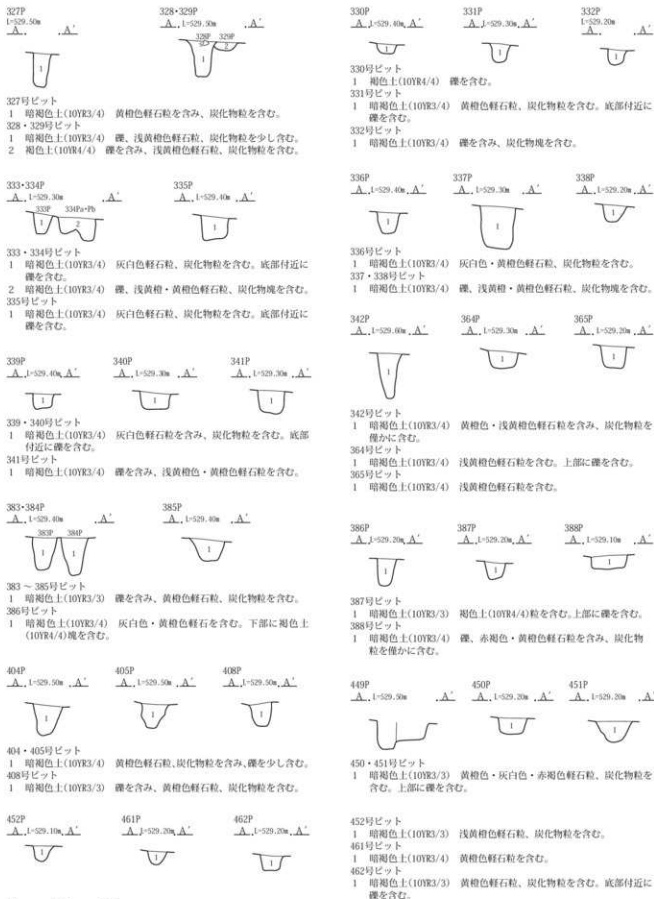
第106図 V区土坑・ビット群(37)・(38)

第3章 発見された遺構と遺物



第107図 V区土坑・ビット群(39)

第3章 発見された遺構と遺物



第109図 V区土坑・ビット群(40)その2

第2節 V・VI区第2面から発見された遺構と遺物

281・282P

A, l=500.20w, A'



281・282号ビット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 扁平角礫、赤褐色・灰白色軽石粒を含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 浅黄褐色軽石を含む。

283P

A, l=530.00w, A'



283号ビット

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 浅黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。鉄分凝集。

287号ビット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 上部に浅黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。

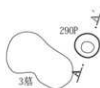
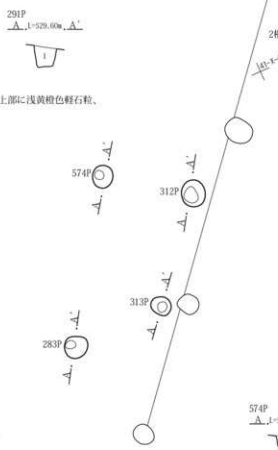
290P

A, l=529.70w, A'



290・291号ビット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 上部に浅黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。



291P

A, l=529.60w, A'



312P

A, l=529.80w, A'



312・313号ビット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を僅かに含む。

313P

A, l=529.90w, A'



344P

A, l=529.40w, A'



344号ビット

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を僅かに含む。

549P

A, l=529.30w, A'



549号ビット

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 浅黄褐色・灰白色軽石粒を含む。

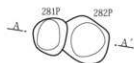
574P

A, l=529.90w, A'



574号ビット

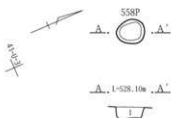
- 1 暗褐色土(10YR3/4) 浅黄褐色軽石粒を含む。



第110図 V区土坑・ビット群(41)

第3章 発見された遺構と遺物

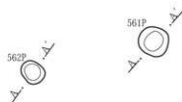
(43)



558号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・赤褐色・浅黄色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。

(42)



350P
A, l=528.60m, A'



559+560P
A, l=528.30m, A'



563P
A, l=528.90m, A'



564P
A, l=528.60m, A'



350号ビット

1 黄褐色土(10YR5/6) 灰白色・黄褐色軽石粒を含む。

559・560号ビット

1 暗褐色土(10YR3/4) 浅黄褐色・灰白色軽石粒を含む。

2 暗褐色土(10YR3/4) 礫、浅黄褐色・灰白色軽石粒、炭化物塊を含む。

563号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色・灰白色軽石粒、炭化物粒を含む。鉄分凝集。

564号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色・灰白色軽石粒を含む。

561P
A, l=528.30m, A'



562P
A, l=528.80m, A'



561号ビット

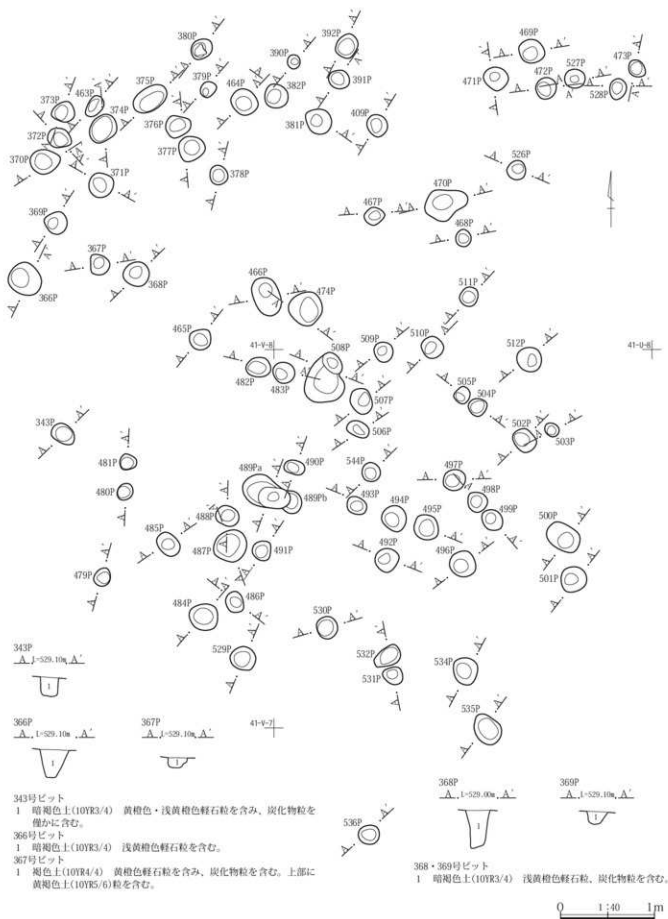
1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色軽石粒、炭化物粒を含む。鉄分凝集。

562号ビット

1 暗褐色土(10YR3/4) 礫を含み、浅黄褐色軽石粒を含む。







































第111図 V区土坑・ビット群(42)・(43)



第112図 V区土坑・ビット群(44)その1

第3章 発見された遺構と遺物

- 370P \underline{A}_1 -I-529.10w, \underline{A}'

- 371P \underline{A}_1 -I-529.10w, \underline{A}'

- 372P \underline{A}_1 -I-529.10w, \underline{A}'

- 467P \underline{A}_1 -I-528.80w, \underline{A}'

- 468P I-528.80w, \underline{A}'

- 469P \underline{A}_1 -I-528.70w, \underline{A}'

- 373P \underline{A}_1 -J-529.10w, \underline{A}'

- 374P \underline{A}_1 -I-529.00w, \underline{A}'

- 375P \underline{A}_1 -I-529.00w, \underline{A}'

- 467号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/4) 灰白色・黄褐色軽石粒を含む。上部に礫を含む。
 468号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/4) 赤褐色・黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。
 469号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/4) 明黄褐色・淡黄色軽石粒を含む。
- 370・371号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/4) 浅黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。上部に礫を含む。
 372～375号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/4) 浅黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。
- 376・377P \underline{A}_1 -I-528.00w, \underline{A}'

- 376・377号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 礫、炭化物塊を含む。
 2 暗褐色上(10YR3/3) 炭化物塊を含む。
- 378P \underline{A}_1 -J-529.00w, \underline{A}'

- 379P I-528.00w, \underline{A}'

- 380P \underline{A}_1 -J-529.00w, \underline{A}'

- 378～380号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/4) 浅黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。上部に礫を含む。
- 381・382P \underline{A}_1 -I-528.00w, \underline{A}'

- 381・382号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 礫を含み、灰白色・浅黄褐色軽石粒を含む。
 2 暗褐色上(10YR3/3) 礫を含み、黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。
 390・391号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 黄褐色・灰白色軽石粒、炭化物塊を含む。
- 390P I-528.00w, \underline{A}'

- 391P \underline{A}_1 -J-528.90w, \underline{A}'

- 381・382号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 礫を含み、灰白色・浅黄褐色軽石粒を含む。
 2 暗褐色上(10YR3/3) 礫を含み、黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。
 390・391号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 黄褐色・灰白色軽石粒、炭化物塊を含む。
- 392P \underline{A}_1 -I-528.90w, \underline{A}'

- 409P \underline{A}_1 -J-528.80w, \underline{A}'

- 463P \underline{A}_1 -I-529.10w, \underline{A}'

- 392号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/4) 褐色上(10YR4/4)粒を含み、黄褐色軽石粒、炭化物粒を裡かを含む。
 409号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 浅黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。鉄分凝集。
 463号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 礫を含み、灰白色軽石粒、炭化物粒を含む。
- 464P \underline{A}_1 -I-529.00w, \underline{A}'

- 465P \underline{A}_1 -I-529.00w, \underline{A}'

- 466P \underline{A}_1 -I-528.90w, \underline{A}'

- 464・465号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 礫を含み、浅黄褐色軽石粒、炭化物塊を含む。
 466号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 礫を含み、褐色上(10YR4/4)粒、炭化物粒を含む。鉄分凝集。
- 470P \underline{A}_1 -I-528.80w, \underline{A}'

- 471P \underline{A}_1 -J-528.70w, \underline{A}'

- 472P \underline{A}_1 -J-528.70w, \underline{A}'

- 470号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。鉄分凝集。
 471・472号ピット
 1 褐色上(10YR4/4) 灰白色・赤褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。
- 473P I-528.50w, \underline{A}'

- 474P \underline{A}_1 -I-528.90w, \underline{A}'

- 475P \underline{A}_1 -J-529.10w, \underline{A}'

- 473号ピット
 1 褐色上(10YR4/4) 礫、灰白色・赤褐色軽石粒、炭化物粒を含む。
 474号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/4) 灰白色・赤褐色軽石粒、炭化物粒を含む。
 479号ピット
 1 褐色上(10YR4/6) 礫を含み、黄褐色軽石粒、炭化物塊を含む。
- 480P \underline{A}_1 -I-529.10w, \underline{A}'

- 481P \underline{A}_1 -I-529.10w, \underline{A}'

- 482・483P \underline{A}_1 -I-528.90w, \underline{A}'

- 482P \underline{A}_1 -I-528.90w, \underline{A}'

- 483P \underline{A}_1 -I-528.90w, \underline{A}'

- 480・481号ピット
 1 褐色上(10YR4/4) 灰白色軽石粒を含む。
 2 暗褐色上(10YR3/4) 黄褐色・浅黄褐色軽石粒を含む。
 482・483号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/4) 淡黄色軽石粒、炭化物粒を含む。底部付近に礫を含む。
- 484P \underline{A}_1 -I-529.00w, \underline{A}'

- 485P \underline{A}_1 -J-529.00w, \underline{A}'

- 486P \underline{A}_1 -J-528.00w, \underline{A}'

- 484号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 黄褐色・淡黄色軽石粒、炭化物粒を含む。
 485号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 淡黄色軽石粒を含み、炭化物塊を含む。
 486号ピット
 1 暗褐色上(10YR3/3) 赤褐色・黄褐色軽石粒を含む。上部に礫を含む。

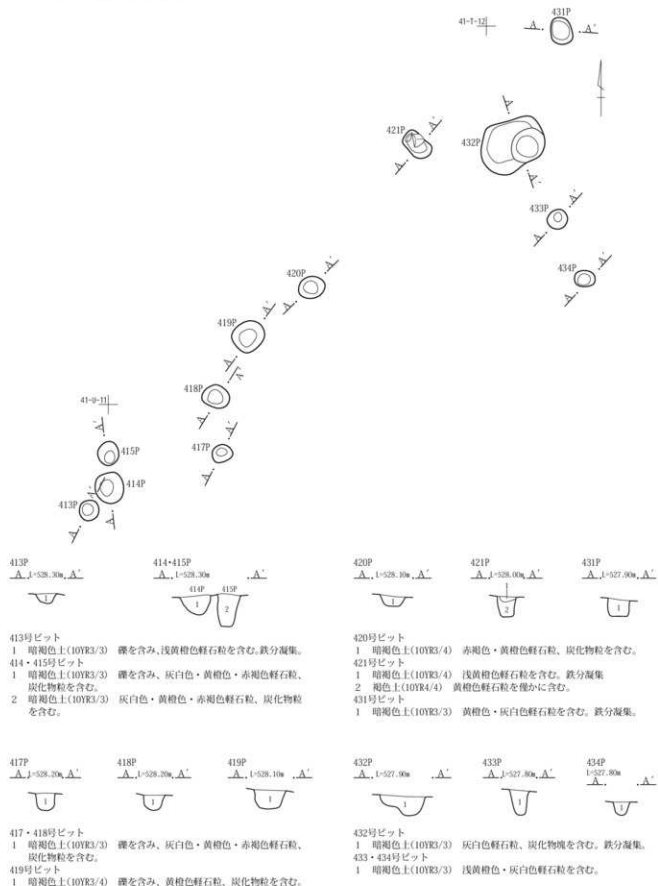
0 1:40 1m

第113図 V区土坑・ピット群(44)その2



0 1:40 1m

第114図 V区土坑・ピット群(44)その3



第115図 V区土坑・ビット群(45)



41-5-11

435P
A, L=527.70m, A'



436P
A, L=527.70m, A'



435号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色・灰白色軽石粒を含む。底部付近に褐色土(10YR4/4)粒を含む。鉄分凝集。

436号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色・灰白色軽石粒を含む。

437P
A, L=527.70m, A'



580P
A, L=527.60m, A'



437号ビット

1 暗褐色土(10YR3/4) 浅黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。

580号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を含む。



41-5-10

596P
A, L=527.50m, A'



597P
A, L=527.40m, A'



599P
A, L=527.60m, A'



596号ビット

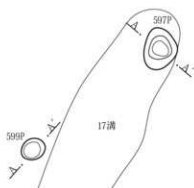
1 黒褐色土(10YR2/3) 黄褐色軽石粒を含む黄褐色土(10YR5/6)塊を含み、浅黄褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。

597号ビット

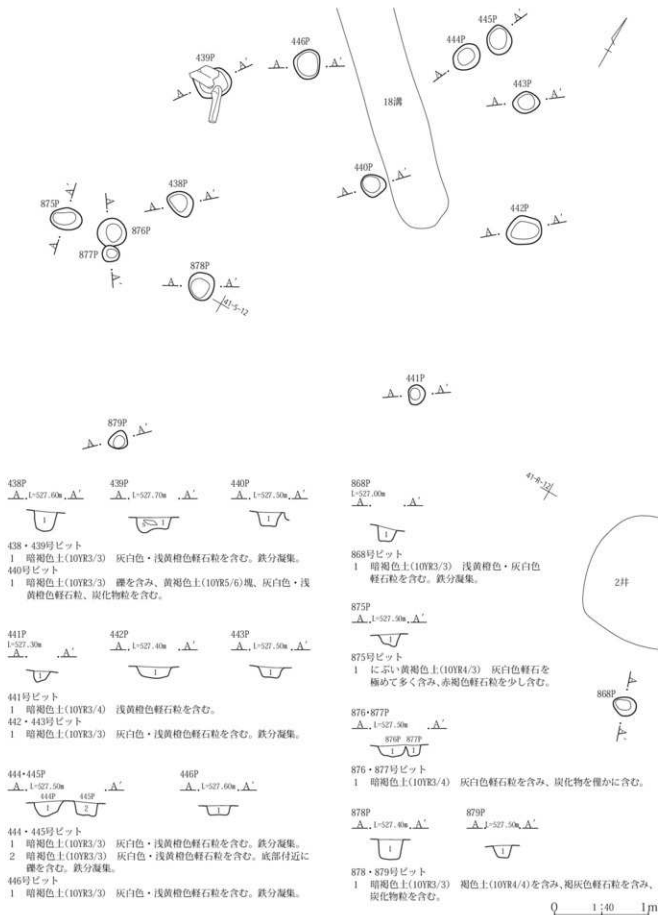
1 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含み、褐灰色軽石粒、炭化物粒を含む。

599号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 灰色軽石粒を含み、炭化物粒を僅かに含む。鉄分凝集。



0 1:40 1m



438P
A, l=527.00m, A'

439P
A, l=527.70m, A'

440P
A, l=527.50m, A'

438・439号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・浅黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。
440号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含み、黄褐色土(10YR5/6)塊、灰白色・浅黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。

441P
A, l=527.30m, A'

442P
A, l=527.40m, A'

443P
A, l=527.50m, A'

441号ピット
1 暗褐色土(10YR3/4) 浅黄褐色軽石粒を含む。
442・443号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・浅黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

444・445P
A, l=527.50m, A'

446P
A, l=527.60m, A'

444・445号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・浅黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。
2 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・浅黄褐色軽石粒を含む。底部付近に礫を含む。鉄分凝集。

446号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色・浅黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

868P
A, l=527.00m, A'

868号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色・灰白色軽石粒を含む。鉄分凝集。

875P
A, l=527.50m, A'

875号ピット
1 灰白・黄褐色土(10YR4/3) 灰白色軽石を極めて多く含み、赤褐色軽石粒を少し含む。

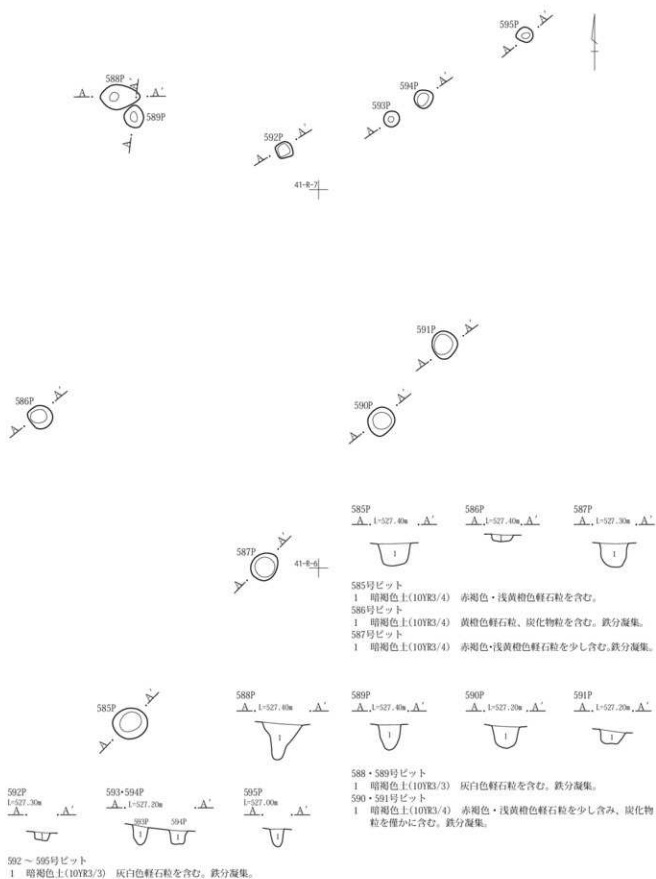
876・877P
A, l=527.50m, A'

876・877号ピット
1 暗褐色土(10YR3/4) 灰白色軽石粒を含み、炭化物を僅かに含む。

878P
A, l=527.40m, A'

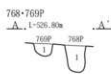
878・879号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 褐色土(10YR4/4)を含み、褐灰色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。

第117図 V区土坑・ピット群(47)



第118図 V区土坑・ビット群(48)

第3章 発見された遺構と遺物



766・767号ピット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒、炭化物粒を少し含む。鉄分凝集。

768・769号ピット

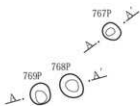
1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。



779・780号ピット

1 暗褐色土(10YR3/3) 褐色土(10YR4/4)塊を含む。

41-0-20



41-0-19

781号ピット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。

782号ピット

1 暗褐色土(10YR3/3) 褐色土(10YR4/4)粒を含み、黄褐色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。



847号ピット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

848号ピット

1 オリーブ黒色土(5Y3/2) 暗緑灰色土(10G4/1)塊を含み、緑灰色軽石粒を含む。鉄分凝集。

783・784号ピット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。

0 1:40 1m

第119図 V区土坑・ピット群(49)

770P
L=526.00m
A. A.



771P
L=526.90m
A. A.



772P
L=527.00m
A. A.



770 ~ 772号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。

773P
L=527.10m
A. A.



774P
L=527.10m
A. A.



773号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を僅かに含む。鉄分凝集。

774号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。

775P
L=527.20m
A. A.



776P
L=527.30m
A. A.



775・776号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色軽石を含む。

777P
L=527.00m
A. A.



778P
L=527.00m
A. A.



777号ビット

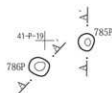
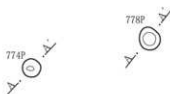
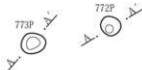
1 黒褐色土(10YR3/3) 淡黄色軽石粒を含む。粘質。

778号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 礫を含み、黄褐色軽石粒、炭化物粒を含む。

0 1:40 1m

(50)



785号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を僅かに含む。鉄分凝集。

786号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。

(51)



792P
L=527.10m
A. A.



793P
L=527.00m
A. A.



794P
L=527.00m
A. A.



792 ~ 794号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。



796P
L=527.10m
A. A.



795P
L=526.70m
A. A.



41-P-20

795号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) にふい、黄褐色土(10YR5/3)塊をやや多く含み、礫、淡黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

796号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒、炭化物粒を少し含む。鉄分凝集。

0 1:40 1m

第120図 V区土坑・ビット群(50)・(51)

第3章 発見された遺構と遺物

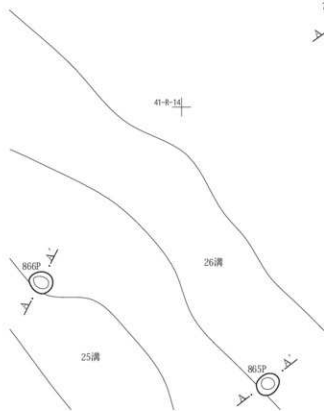
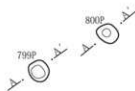


797号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。

41-Q-15

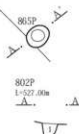


798・799号ピット
1 にぶら・黄褐色土(10YR4/3) 礫、灰白色軽石粒を含む。鉄分凝集。



41-Q-14

41-Q-14



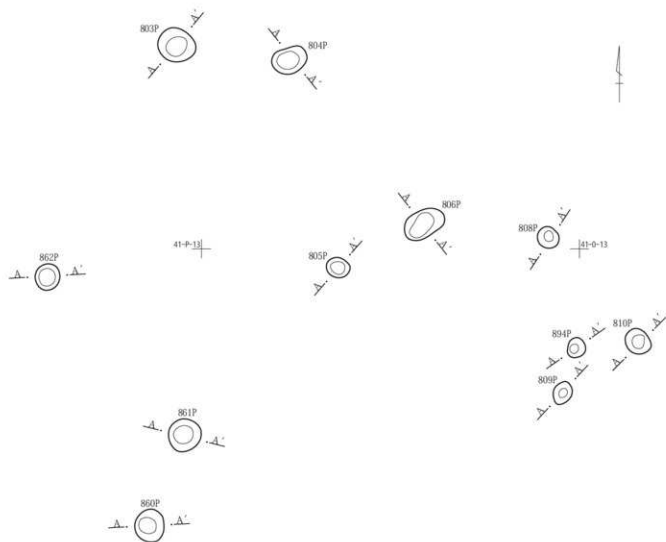
800号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色軽石粒、炭化物粒を少し含む。鉄分凝集。

801・802号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。

863～866号ピット
1 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色・灰白色軽石粒を含む。鉄分凝集。
882号ピット
1 黒褐色土(10YR3/1) 褐色・灰白色軽石粒を含む。粘質。
883号ピット
1 黒褐色土(10YR3/1) 灰白色軽石粒を含む。粘質。

0 1:40 1m

第121図 V区土坑・ピット群(52)



803P
A, l=526.80m, A'



804P
A, l=526.80m, A'



805P
A, l=526.80m, A'



806P
A, l=526.70m, A'



808P
A, l=526.70m, A'



809P
A, l=526.60m, A'



803・804号ビット

1 黒褐色土(10YR2/3) 礫を含み、赤褐色・灰白色軽石粒を含む。

805・806・808・809号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。

810P
A, l=526.60m, A'



860P
A, l=526.70m, A'



861P
A, l=526.70m, A'



862P
A, l=526.80m, A'



894P
A, l=526.60m, A'



810号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 灰白色軽石粒を少し含む。鉄分凝集。

860号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 鉄分凝集。上部に浅黄褐色軽石粒を含む。

861・862号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 浅黄褐色・灰白色軽石粒を含む。鉄分凝集。

894号ビット

1 褐色土(10YR4/1) 褐色・灰白色軽石粒を含む。粘質。

0 1:40 1m

第122図 V区土坑・ビット群(53)

第3章 発見された遺構と遺物



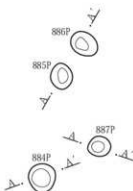
884号ビット

1 黒褐色土(10YR3/2) 小礫を含み、灰白色・褐色軽石粒を含む。

885・886号ビット

1 黒褐色土(10YR3/2) 小礫を含み、灰白色・褐色軽石粒を含む。

2 黒褐色土(10YR3/1) 灰白色軽石粒を含む。粘質。鉄分凝集。



887号ビット

1 黒褐色土(10YR3/1) 灰白色軽石粒を含む。粘質。鉄分凝集。

888号ビット

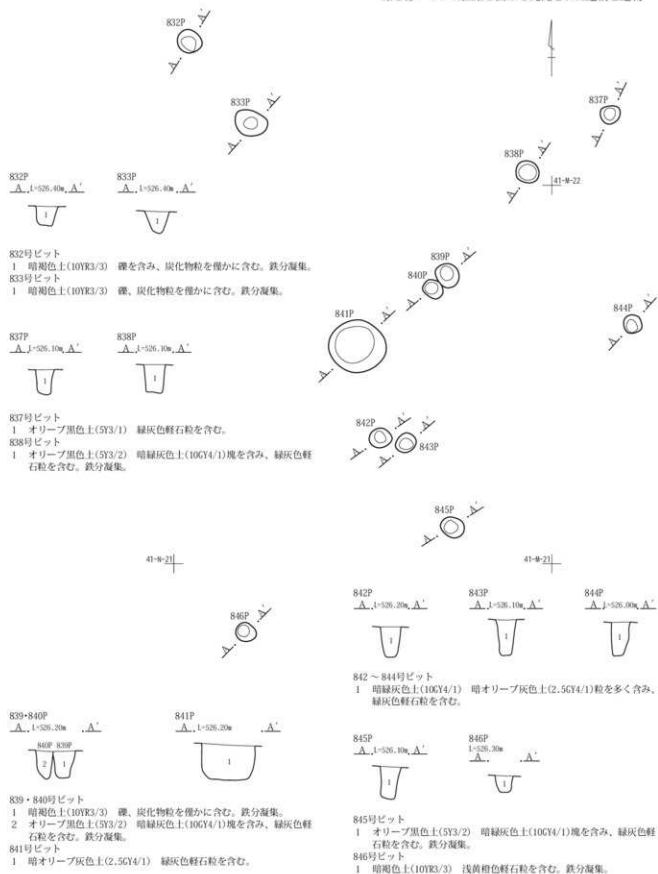
1 褐色土(10YR4/1) 褐色・灰白色軽石粒を含む。粘質。

889～891号ビット

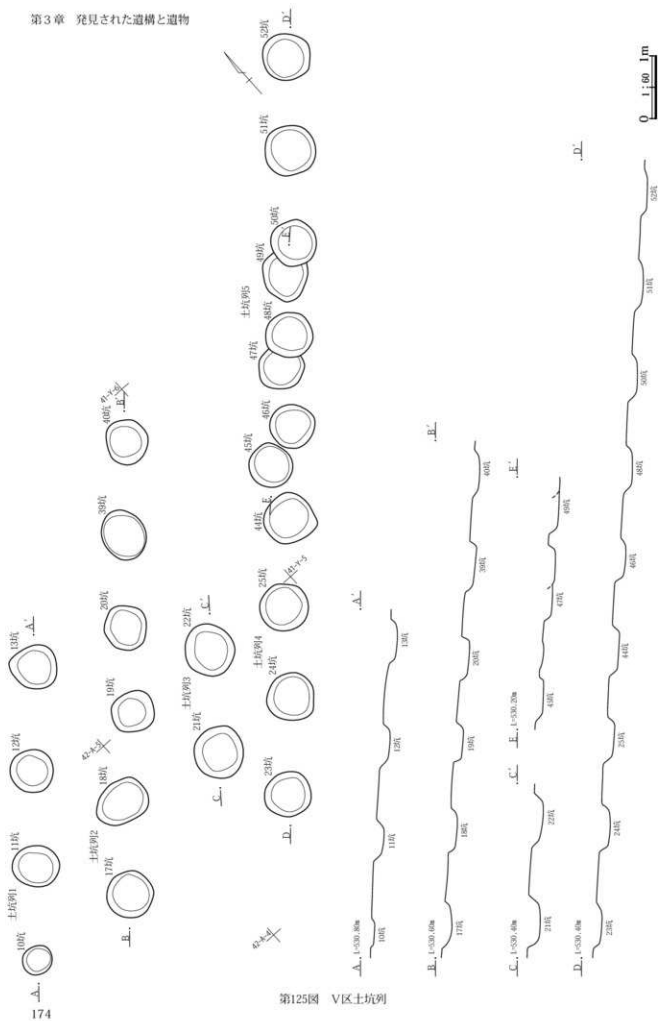
1 褐色土(10YR4/1) 褐色・灰白色軽石粒を含む。粘質。鉄分凝集。



第123図 V区土坑・ビット群(54)



第124図 V区土坑・ビット群(55)



第125図 V区土坑列

5号焼土(第126図)

位置 41区W・X-8グリッド。

重複 なし。

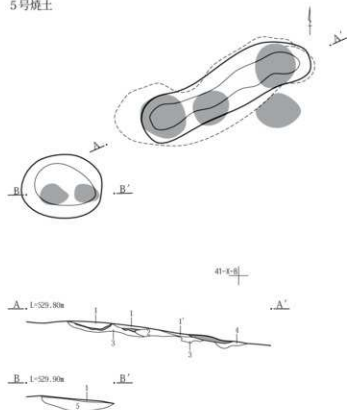
主軸方位 N-60°-E。

規模 長軸3.37m、短軸0.50m、深さ0.10m。

遺物 なし。

所見 焼土の下位に浅い囲り込みがある。出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

5号焼土



5号焼土

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 褐色軽石粒を含み、焼土塊を含む。
- 1' 1に炭化物粒を多く含む。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 褐色軽石粒を含む。
- 3 にぶい赤褐色土(2.5YR4/4) 焼土粒を多く含み、小礫を含む。
- 4 暗赤褐色土(2.5YR3/6) 焼土粒と焼土塊の混上。
- 5 黒褐色土(10YR3/2) 褐色粒子を含み、小角礫を含む。

7号焼土(第126図、PL.27・30)

位置 41区U-15グリッド。

重複 なし。

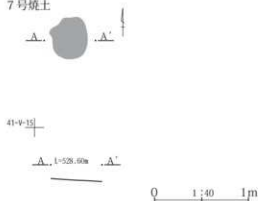
主軸方位 N-3°-W。

規模 長軸0.43m、短軸0.40m。

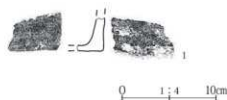
遺物 在地系土器内耳鍋1点(1)を図示した。

所見 出土遺物から、本遺構の時期は中世以降と推定される。周囲に他の遺構が存在せず、孤立している。

7号焼土



7号焼土出土遺物



2 VI区第2面から発見された遺構と遺物

124号土坑(第128図、Pl. 28)

位置 60区V・W-5グリッド。

重複 なし。

平面形状 長方形。

主軸方位 N-40°-W。

規模 長軸1.22m、短軸0.58m、深さ0.09m。

埋没土層 焼土塊・炭化物主体、2層が確認された。

遺物 なし。

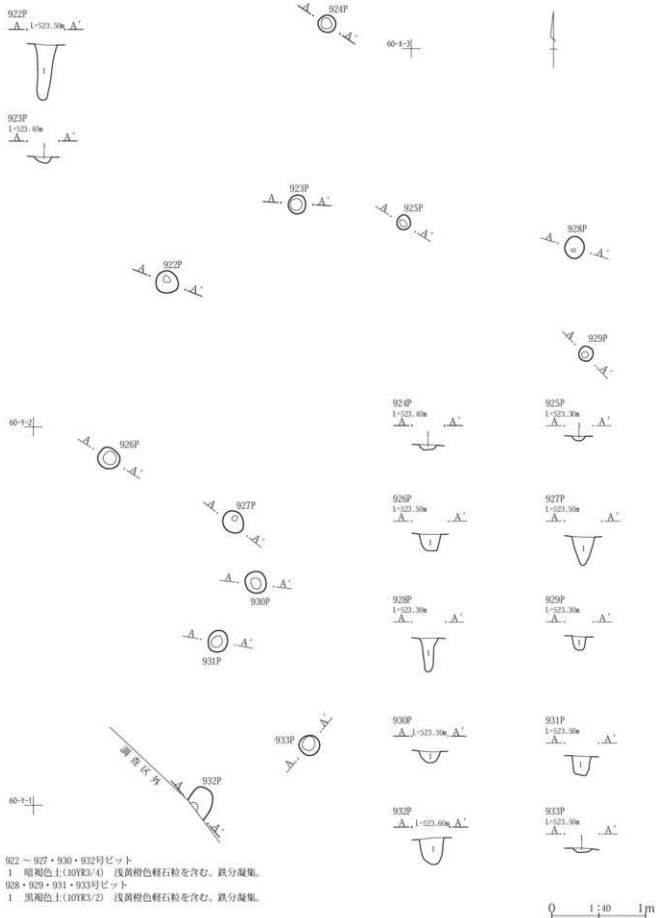
所見 出土遺物もなく、本遺構の時期は詳しく判別できなかった。

ビット

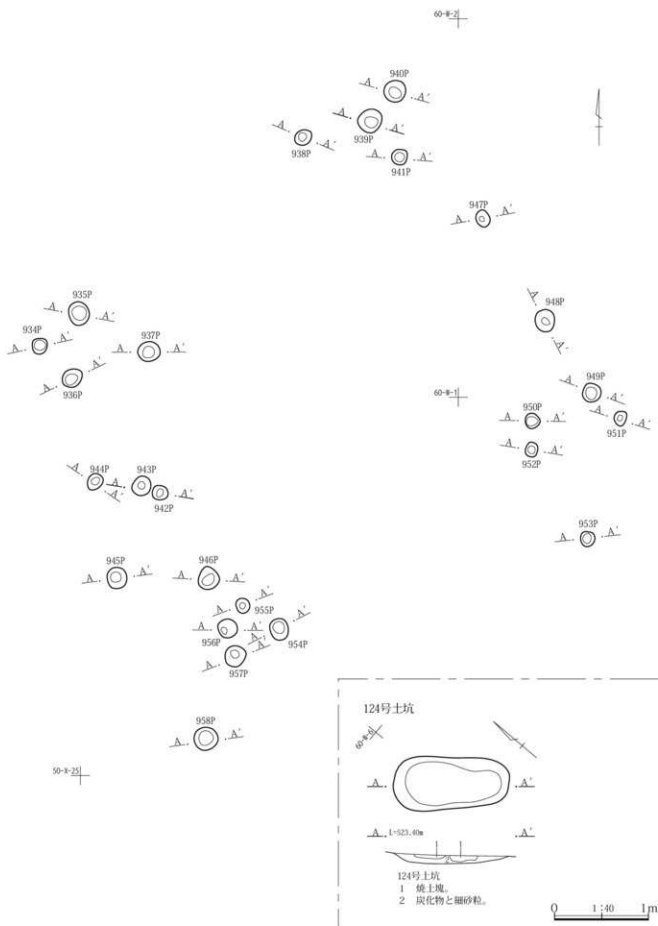
ビットについては一覧表にまとめた。

第9表 VI区第2面ビット一覧表

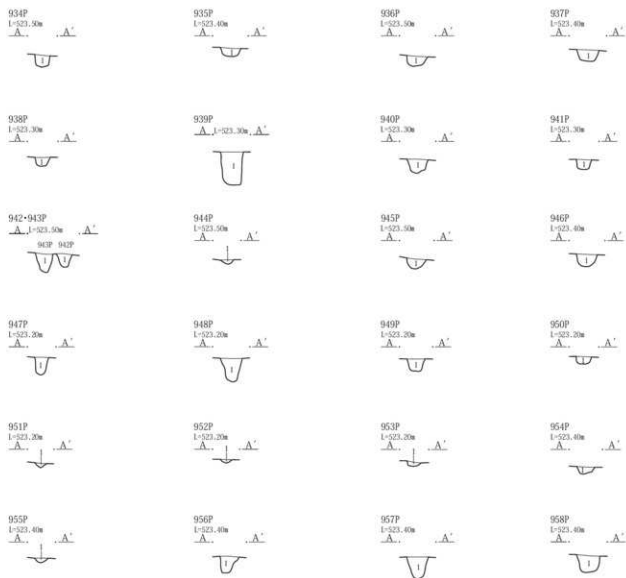
挿図	写真	号	区	面	位置(グリッド)	平面形状	規模(cm)			重複(旧<当該遺構(●)<新)	備考(▲=非掲載遺物)
							長軸	短軸	深さ		
第127図		922	VI	2	60CX-2	円形		直径25	58		
第127図		923	VI	2	60CX-2	円形		直径20	7		
第127図		924	VI	2	60CX-3	円形		直径19	6		
第127図		925	VI	2	60CX-2	円形		直径16	6		
第127図		926	VI	2	60CX-1	楕円形	23		21	18	
第127図		927	VI	2	60CX-1	楕円形	25		22	30	
第127図		928	VI	2	60CX-2	楕円形	23		20	35	
第127図		929	VI	2	60CX-2	円形		直径16	14		
第127図		930	VI	2	60CX-1	円形		直径23	11		
第127図		931	VI	2	60CX-1	楕円形	23		20	20	
第127図		932	VI	2	50CX-25・60CX-1	(長方形)	(30)		26	28	
第127図		933	VI	2	60CX-1	円形		直径22	5		
第128・129図		934	VI	2	60CX-1	方形		一辺16	12		
第128・129図		935	VI	2	60CX-X-1	楕円形	25		22	8	
第128・129図		936	VI	2	60CX-1	楕円形	23		19	10	
第128・129図		937	VI	2	60CX-1	楕円形	24		21	11	
第128・129図		938	VI	2	60CX-1	楕円形	19		16	9	
第128・129図		939	VI	2	60CX-1	楕円形	25		23	35	
第128・129図		940	VI	2	60CX-1	円形		直径24	15		
第128・129図		941	VI	2	60CX-1	円形		直径18	10		
第128・129図		942	VI	2	50CX-25	方形		一辺16	14		
第128・129図		943	VI	2	50CX-25	楕円形	21		19	20	
第128・129図		944	VI	2	50CX-25	楕円形	19		15	5	
第128・129図		945	VI	2	50CX-25	長方形	22		20	11	
第128・129図		946	VI	2	50CX-25	楕円形	25		22	14	
第128・129図		947	VI	2	60CX-1	楕円形	18		14	19	
第128・129図		948	VI	2	60CX-1	楕円形	23		21	24	
第128・129図		949	VI	2	60CX-1	円形		直径21	12		
第128・129図		950	VI	2	50CX-25	円形		直径16	8		
第128・129図		951	VI	2	50CX-25	楕円形	15		13	4	
第128・129図		952	VI	2	50CX-25	長方形	15		13	3	
第128・129図		953	VI	2	50CX-25	楕円形	16		15	5	
第128・129図		954	VI	2	50CX-25	楕円形	23		19	7	
第128・129図		955	VI	2	50CX-25	楕円形	16		14	5	
第128・129図		956	VI	2	50CX-25	円形		直径21	18		
第128・129図		957	VI	2	50CX-25	円形		直径22	23		
第128・129図		958	VI	2	50CX-25	円形		直径25	17		



第127図 VI区土坑・ピット群(1)



第128図 VI区土坑・ピット群(2)その1、124号土坑



934・947・954～956号ビット

1 黒褐色土(10YR3/2) 浅黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

935号ビット

1 暗褐色土(10YR3/4) 浅黄褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

936～944・948・950～952・958号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 赤褐色軽石粒を僅かに含み、炭化物粒を僅かに含む。

945号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色・赤褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

946号ビット

1 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色・赤褐色軽石粒を含む。鉄分凝集。

949号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色土(10YR5/6)粒を含み、赤褐色軽石粒を含み、炭化物粒を含む。

953・957号ビット

1 暗褐色土(10YR3/3) 褐色土(10YR4/4)粒を含む。

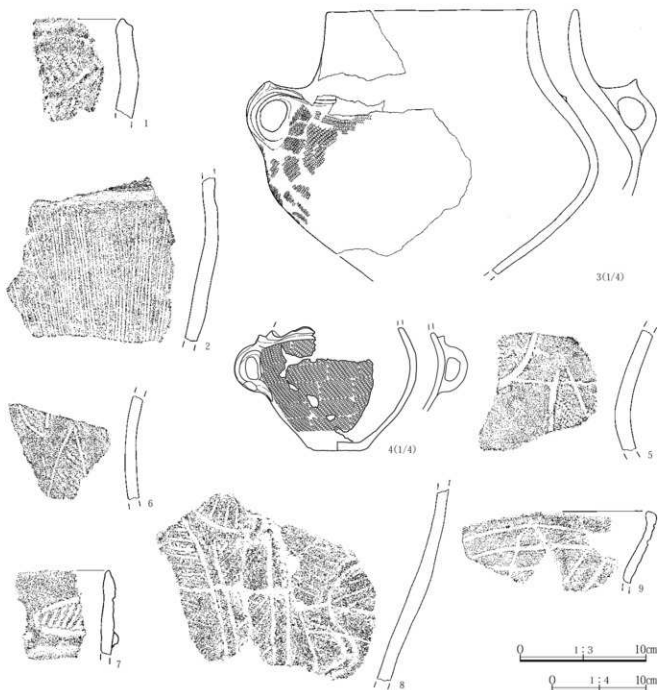
0 1:40 1m

第3節 遺構外から発見された遺物

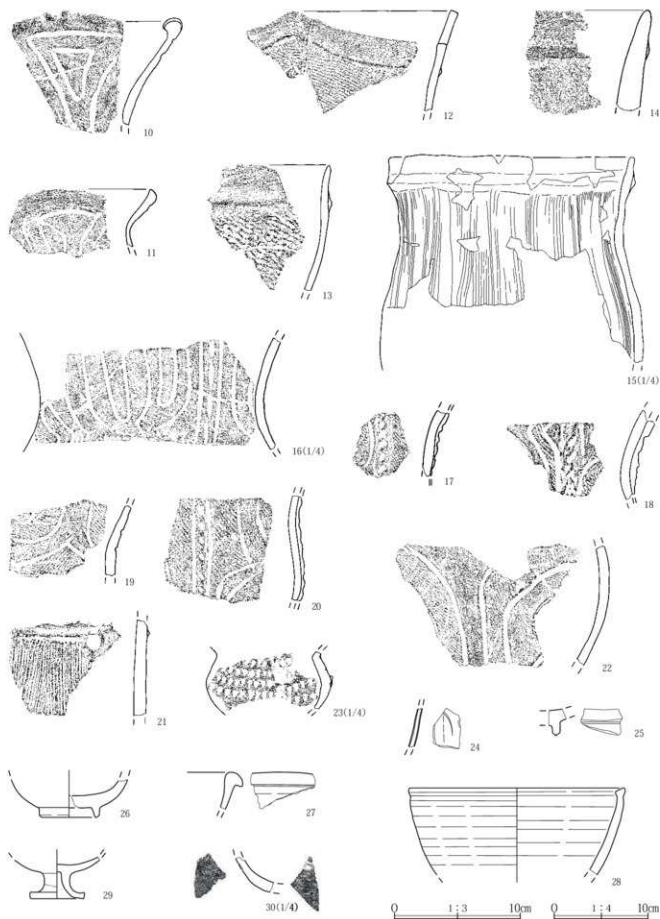
遺構外出土遺物として、縄文土器深鉢20点(1・5～23)・鉢1点(2)・両耳壺1点(3)・小形両耳壺1点(4)、青磁2点(24・25)、肥前陶器1点(26)、瀬戸・美濃陶器3点(27～29)、常滑陶器1点(30)、在地系土器3点(31～33)、石鏝1点(34)、石錐1点(35)、磨製石斧1点(36)、

磨石5点(37～41)、凹石1点(42)、茶臼1点(43)、石臼1点(44)、古銭1点(45)を図示した。

縄文土器はすべてV区(平成27年度調査分)から出土した。中期後半から後期初頭にかけてのものが中心である。郷土式や三十稲場式も、僅かながら出土している。縄文土器・石器に比べると、中世以降の遺物は少ない。図示したものでは、青磁碗2点、在地系土器内耳鍋3点が目立つ程度である。

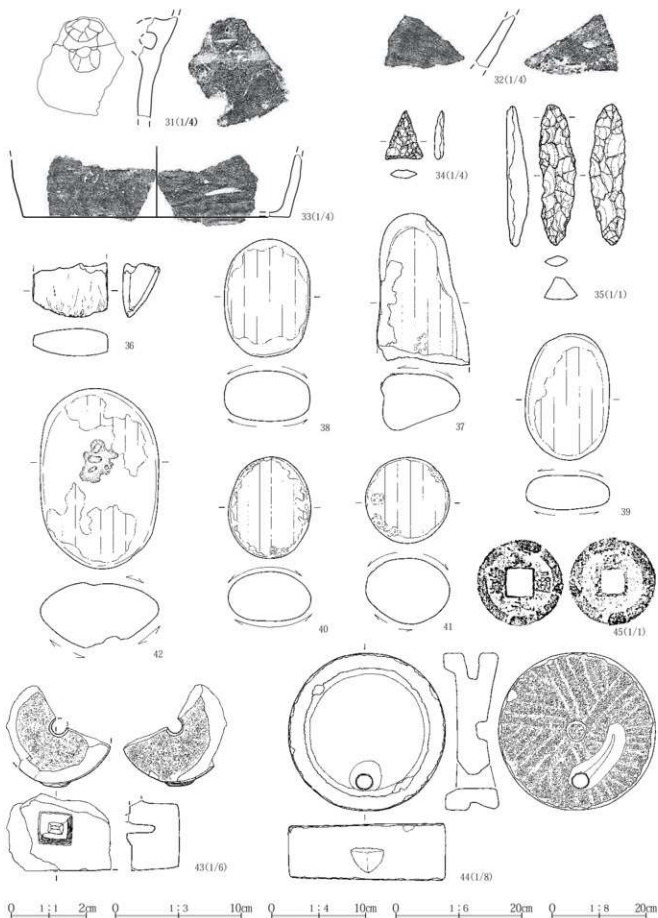


第130図 遺構外出土遺物(1)



第131図 遺構外出土遺物(2)

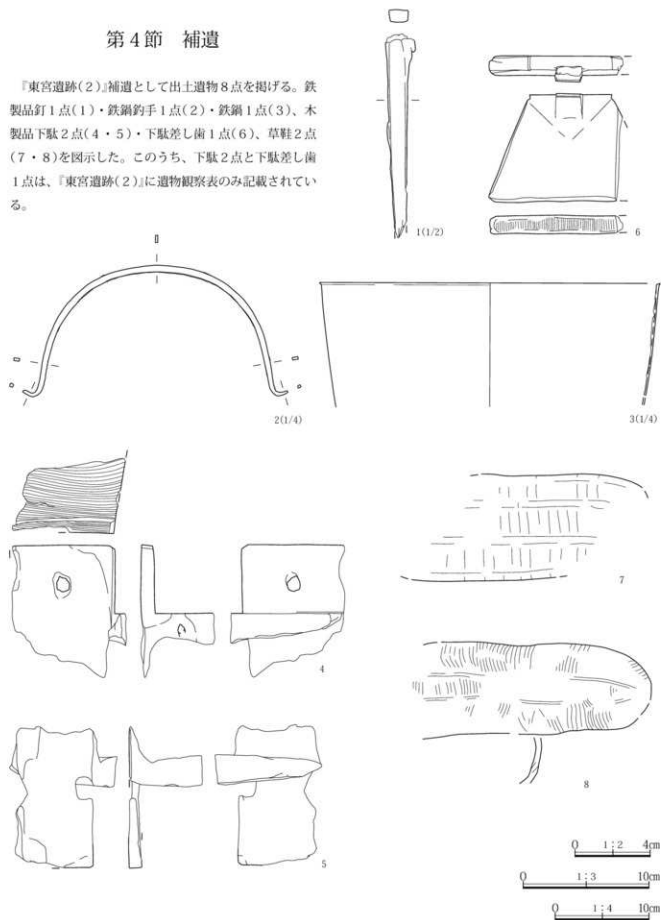
第3章 発見された遺構と遺物



第132図 遺構外出土遺物(3)

第4節 補遺

『東宮遺跡(2)』補遺として出土遺物8点を掲げる。鉄製品釘1点(1)・鉄鋼釣手1点(2)・鉄鋼1点(3)、木製品下駄2点(4・5)・下駄差し歯1点(6)、草鞋2点(7・8)を図示した。このうち、下駄2点と下駄差し歯1点は、『東宮遺跡(2)』に遺物観察表のみ記載されている。



第133図 補遺

第4章 自然科学分析

第1節 東宮遺跡V区1号井戸
樹種同定

東宮遺跡V区第2面1号井戸の井戸枠について、樹種同定を行った。井戸枠は、木材の加工状態や太さから、以下の3つに分けられる。

- ①上部の井桁に組まれた板状の加工材
②下部の四隅の太い柱

③下部の細い杭

同定を行うにあたり、残存状態のよいものを①から1点(1)・②から4点(2～5)・③から12点(6～17)を抽出した。同定の結果は、第11表の通りである。

柱にはクリのみが用いられており、部位ごとの樹種の選択性が明らかである。また、抽出した資料においては、杭にサクラ属が多く用いられていた。

第11表 1号井戸樹種観察表

種別写真	No.	種類器種	出土位置 残存率	計測値			成形・整形の特徴	備考	
				長さcm 幅cm	重量g				
写真1	1	木製品 加工材	一部欠損	長さcm 幅cm	72 8	厚さcm 重量g	72160	断面三角形に近い加工材の内端を斜めにそぎ落とすように加工する。	クリ
写真1	2	木製品柱	一部欠損	長さcm 幅cm	67 14	重量g	7209	皮付丸木の根本側を鈍角に二方向からカットする。上端は凹型に切り込み加工を施すが端部は劣化して詳細は不明。	クリ
写真1	3	木製品柱	一部欠損	長さcm 幅cm	57.5 13	重量g	6288	皮付丸木の根本側をほぼ直角に近い角度で切断。上端は凹型に切り込み加工を施すが端部は劣化して詳細は不明。	クリ
写真1	4	木製品柱	一部欠損	長さcm 幅cm	60.5 17	厚さcm 重量g	12.5 6684	皮付丸木の根本側を鈍角に二方向からカットする。上端部は劣化し加工痕跡は不明。	クリ
写真1	5	木製品柱	一部欠損	長さcm 幅cm	63 15	重量g	7723	皮付丸木の根本側を鈍角に二方向からカットする。上端は凹型に切り込み加工を施すが端部は劣化して詳細は不明。	クリ
	6	木製品杭	一部欠損	長さcm 幅cm	31.5 6.5	重量g	720	丸木の端部を二方向からカットする。樹皮は残存していない。	サクラ属
	7	木製品杭	一部欠損	長さcm 幅cm	68.5 6.5	重量g	1300	丸木の端部を二方向からカットする。樹皮は一部残存する。	サクラ属
	8	木製品杭	一部欠損	長さcm 幅cm	40 5.5	重量g	714	皮付の丸木端部を二方向からカットする。	ホノノキ
	9	木製品杭	一部欠損	長さcm 幅cm	50 6	重量g	1397	皮付の丸木端部を二方向から鈍角にカットする。	サクラ属
写真1	10	木製品杭	一部欠損	長さcm 幅cm	68 7	重量g	1706	皮付の丸木端部を二方向から鈍角にカットする。	クリ
	11	木製品杭	一部欠損	長さcm 幅cm	64 4.3	重量g	780	丸木の端部を斜めに一方向からカットする。樹皮は一部残存する。	サクラ属
	12	木製品杭	一部欠損	長さcm 幅cm	35 5	重量g	554	皮付の丸木端部を斜めに一方向からカットする。	サクラ属
	13	木製品杭	一部欠損	長さcm 幅cm	57.5 5	重量g	715	皮付の丸木端部を一方から斜めにカットしたのち、先端部のみ反対側から短くカットする。	サクラ属
写真1	14	木製品杭	一部欠損	長さcm 幅cm	71.5 4.5	重量g	814	皮付の丸木端部を斜めに一方向からカットする。	サクラ属
	15	木製品杭	一部欠損	長さcm 幅cm	50 5.3	重量g	909	皮付の丸木端部を斜めに一方向からカットする。	サクラ属
	16	木製品杭	一部欠損	長さcm 幅cm	50 4.8	重量g	643	皮付の丸木端部を斜めに一方向からカットする。	サクラ属
	17	木製品杭	一部欠損	長さcm 幅cm	54 4.5	重量g	735	皮付の丸木端部を斜めに一方向からカット、先端部は劣化破損する。	サクラ属



No. 1



No. 2



No. 3



No. 4



No. 5



No. 10



No. 14



写真1 1号井戸井戸棒

第2節 東宮遺跡V区出土人骨

はじめに

東宮遺跡は、群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑字東宮に所在する。(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団による発掘調査が平成28(2017)年4月1日～同年12月31日まで実施された。

本遺跡のV区の墓坑5基から人骨が出土したので以下に報告する。なお、3号墓坑は分析に供されていない。

1. 1号墓坑[時期不明：中世?]

(1)人骨の出土状況

人骨は、長軸100cm・短軸60cm・深さ21cmの規模の長楕円形土坑から出土している。



写真2 1号墓坑全景[南→]

(2)被葬者の頭位と埋葬状態

出土人骨が非常に少ないため、被葬者の頭位と埋葬状態は不明である。

(3)副葬品

本土坑に判出する副葬品は検出されていない。

(4)人骨の出土部位

人骨は、2つに分けて取り上げられている。歯と記載されたラベルがあり、歯の歯冠部破片のみである。他の四肢骨は出土していない。

(5)被葬者の個体数

おそらく、1個体であると推定される。

(6)被葬者の性別

被葬者の性別は不明である。

(7)被葬者の死亡年齢

歯冠部破片のみであるため、被葬者の死亡年齢は不

明である。しかしながら、経験則では、こういう場合は、新生児である可能性が高い。ところが、墓坑の大きさは長軸が100cmあり、成人を屈葬にした土坑墓と同様の規模である。1975年の日本人の統計では、1歳の身長は男児で79.7cm・女児で79.0cm、2歳の身長は男児で88.9cm・女児で88.1cmである。場合によっては、進展位で埋葬したのかも知れない。

2. 2号墓坑[時期不明：中世?]

(1)人骨の出土状況

人骨は、長軸102cm・短軸51cm・深さ15cmの規模の長楕円土坑から出土している。

(2)被葬者の頭位と埋葬状態



写真3 2号墓坑全景[南→]

人骨の出土位置から、被葬者の頭位は南であり横臥(側臥)屈葬で埋葬されたと推定される。

(3)副葬品

副葬品は、検出されていない。

(4)人骨の出土部位

人骨は、6つに分けて取り上げられている。頭蓋骨や歯は出土しておらず、すべて四肢骨である。

(5)被葬者の個体数

出土人骨には明らかな重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

(6)被葬者の性別

出土人骨の内、左大腿骨近位部の骨幹は大きく頑丈であるため、被葬者の性別は男性であると推定される。

(7)被葬者の死亡年齢

死亡年齢推定の指標となる部位が検出されていない。被葬者の死亡年齢は、成人であると推定される。



写真4 2号墓坑出土人骨：右大腿骨近位部

3. 4号墓坑〔時期：近世〕

(1) 人骨の出土状況 人骨は、長軸130cm・短軸90cm・深さ45cmの規模の長方形土坑から出土している。



写真5 4号墓坑出土人骨出土状態〔南→〕

(2) 被葬者の頭位と埋葬状態

人骨の出土位置から、被葬者の頭位は東であり、仰臥屈葬で埋葬されたと推定される。

(3) 副葬品

副葬品は、陶器碗1点・銭貨4点(新寛永通宝)、銅製品煙管2点・鉄製品火打金1点が検出されている。新寛永通宝から、少なくとも1665年以後である。

(4) 人骨の出土部位

人骨の出土部位は、ほぼ全身に及ぶ。今回の墓坑の中では最も保存状態が良い。

(5) 被葬者の個体数

出土人骨には、重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

(6) 被葬者の性別

出土骨の歯冠計測値は比較的大きく、四肢骨も比較的

大きく頑丈であるため、被葬者の性別は男性であると推定される。

(7) 被葬者の死亡年齢

歯の咬耗度を観察すると、象牙質が点状に露出する程度のマルティンの2度の状態である。被葬者の死亡年齢は、約30歳代～40歳代であると推定される。



写真6 4号墓坑出土人骨：左右大腿骨

4. 5号墓坑〔時期：中世〕

(1) 人骨の出土状況

人骨は、長軸118cm・短軸74cm・深さ13cmの長方形土坑から出土している。出土状況からは、内側に木棺を配したようにも見える。



写真7 5号墓坑全景〔南→〕

(2) 被葬者の頭位と埋葬状態

出土人骨の残存量が非常に悪いため、被葬者の頭位と埋葬状態は不明である。しかしながら、人骨は土坑の東側から出土しており、かつ歯が検出されているため、被葬者の頭位は東であると推定される。

(3) 副葬品

副葬品は、銭貨4点(治平元寶・洪武通寶・永樂通寶・

不説)が検出されている。

(4)人骨の出土部位

人骨は、2つに分けて取り上げられている。歯と記載されたラベルがあり、他の四肢骨は出土していない。しかしながら、歯の歯冠部破片のみである。

(5)被葬者の個体数

おそらく、1個体であると推定される。

(6)被葬者の性別

出土遊離歯の歯冠計測値が比較的小さいため、被葬者の性別は女性であると推定される。

(7)被葬者の死亡年齢

出土遊離歯の咬耗度を観察すると、象牙質が点状に露出する程度のマルティンの2度の状態である。被葬者の死亡年齢は、約30歳代であると推定される。しかしながら、成人にしては、あまりにも人骨の残存状態が悪い。



写真8 5号墓坑出土人骨：左P1(第1小白歯)

5. 6号墓坑

(1)人骨の出土状況

人骨は、長軸118cm、短軸90cm、深さ32cmの規模の長方形土坑から出土している。



写真9 6号墓坑全景[南→]

(2)人骨の出土部位

人骨は、5つに分けて取り上げられている。歯と記載されたラベルがあり、他の四肢骨は出土していない。

(3)被葬者の個体数

出土遊離歯には重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

(4)被葬者の性別

遊離歯の上顎左M1(第1大白歯)の歯冠計測値は大きいため、被葬者の性別は男性であると推定される。

(5)被葬者の死亡年齢

遊離歯の上顎左M1(第1大白歯)の咬耗度を観察すると、エナメル質のみのマルティンの1度の状態である。したがって、被葬者の死亡年齢は、約20歳代であると推定される。



写真10 6号墓出土人骨：上顎左M1(第1大白歯)

まとめ

群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑字東宮に所在する、東宮遺跡から人骨が出土した。以下に、まとめ表を示した。

第4章 自然科学分析

第12表 東宮遺跡出土人骨まとめ表

遺構名	時期	個体数	性別	死亡年齢	備考
1号墓坑	中世?	1個体?	不明	小児?	—
2号墓坑	中世?	1個体	男性	成人	—
4号墓坑	近世	1個体	男性	30歳代~40歳代	—
5号墓坑	中世	1個体	女性	30歳代	—
6号墓坑	中世?	1個体	男性	20歳代	—

第5章 調査の成果とまとめ

東宮遺跡は、標高約530～540mの吾妻川左岸中位河岸段丘面上の吾妻郡長野原町大字川原畑字東宮に所在し、高間山の南東麓に位置する。遺跡の西側を流れる吾妻川は、群馬・長野県境の鳥居峠(1362m)付近に水源を發して東流し、長野原町域のほぼ中央では川幅をやや広くするものの、東端では第3紀層を刻んで吾妻溪谷を形成している。また、高間山頂から吾妻川左岸に露出する川原湯岩脈(国指定天然記念物)の方向へは、南に延びる細長い尾根が張り出しており、尾根の東、川原畑地区内を流れる戸倉沢・ミョウガ沢・境沢・松葉沢・ハツ場沢・穴山沢、その支流の鈴沢と温井沢等の溪流は、すべて高間山及びこの尾根に源を發している。

東宮遺跡の所在する長野原町大字川原畑は、江戸時代の川原畑村である。川原畑村の集落は吾妻川左岸の河岸段丘面上(中位及び最上位河岸段丘)に位置し、中位段丘面上の集落を川原畑村下村、最上位段丘面上の集落を上村と一般に称する。「河原畑村(川原畑村)」の地名は、天正12(1584)年と推定される12月25日付の真田昌幸朱印状に見える(『渡文書』『群馬県史』資料編7(中世3)所収)。天正18(1590)年より真田氏(沼田藩)領となり、天和元(1681)年の真田氏改易後、幕府領となった。

東宮遺跡の遺構について見ると、平成27・28(2015・2016)年度調査区(V～Ⅶ区)においては、V～Ⅶ区から第1面(近世、天明泥流下)、V・Ⅵ区から第2面(中近世)、Ⅶ区からはさらに第3面(縄文時代後期)と第4面(縄文時代中期)が確認された。第3面以下については、平成29(2017)年度に調査継続となり、その成果は「東宮遺跡(5)」以降で報告予定である。

東宮遺跡の遺物について見ると、ローム二次堆積層(Ⅶ～Ⅹ層、第1章第3節3参照)の上(第2面)下(第3面)から土師器片(詳細時期不明)が出土していることが整理作業段階で確認されたことから、この頃に土砂災害に襲われたと考えられる。このことから、第3面は縄文時代後期から古代までもふくむ可能性も考えられる。なお、第2面から明確な古代の遺構は確認されていない。

1 V～Ⅶ区第1面

東宮遺跡第1面(天明泥流下)においては、Ⅶ区から畑7区画・平坦面5箇所・復旧溝群2区画・道路3条・石積遺構4基・溝4条、Ⅵ区から畑1区画・平坦面3箇所・復旧溝群1区画・石積遺構1基、Ⅶ区から道路2条・石積遺構3基が確認された。

V・Ⅵ区の遺構は、主に天明泥流で被災した畑8区画とその復旧溝群3区画である。V・Ⅵ区の上位の段丘には、『東宮遺跡(1)』～『東宮遺跡(3)』に掲載された屋敷群(集落)が存在する。位置関係から、V・Ⅵ区の畑は『ハツ場ダム発掘調査集成(1)』に掲載された畑と同様、これら屋敷群(集落)の生産域に相当すると思われる。

畑の畝方向は、Ⅶ区7号畑をのぞき、N-34～38°-E(Ⅶ区1号畑・3号畑b・4号畑a)、N-43～49°-E(Ⅶ区2号畑a～c・3号畑ac・4号畑b・5号畑・6号畑)およびN-56°-E(Ⅵ区8号畑)である。Ⅶ区7号畑のみ畝方向が他と約90°異なる(N-48°-W)ものの、比較的整然とした区画をなしていると言える。7号畑は南東辺以外の3辺を3号畑に囲まれており、耕作面も一段低く、残存状態も著しく不良である。一見して、3号畑から何らかの意図をもって切り離されたかの如き様相を呈しているが、今回の調査では判断するに足る十分な成果をえることができなかった。

復旧溝群はⅦ区1・4号畑とⅥ区8号畑の一部にのみ重複している。1号畑と1号復旧溝群、4号畑と2号復旧溝群の範囲はほぼ一致しており、土地区画にそって被災後の復旧活動が行われたことを示している。しかし、復旧された畑と復旧されなかった畑とが混在しており、区画により扱いに差があったことが確認された。

Ⅶ区の遺構は道路2条とそれに付随する石積遺構3基である。4・5号道路は断片的であるが、三ッ岩岩陰(旧三ッ堂)方向へと緩やかに斜面を登っている。調査時の所見によると、この道路は道隆神峠へと向かう幹線道路であり、地域の信仰の対象であった三ッ岩岩陰(旧三ッ堂)へ参拝するための道路としての役割をも担っていた

ものと考えられる。

東宮遺跡第1面出土の遺物は極めて少なく、その特徴を捉えることは困難である。これは、第1面の遺構が主に畑と道路であることによると考えられる。

2 V・Ⅵ区第2面

東宮遺跡第2面(中近世)においては、V区から屋敷1軒(竪壇状遺構1基・掘立柱建物1棟・溝2条、石積遺構1基・土坑1基・ピット84基・焼土4基)・竪穴状遺構3基・掘立柱建物2棟・柵2基・耕作痕群1区画・溝21条・井戸3基・墓坑6基・土坑104基・ピット622基、Ⅵ区から土坑1基・ピット37基が確認された。

V区1号屋敷は、造成された1号竪壇状遺構上の掘立柱建物1棟・溝2条・石積遺構1基・土坑1基・ピット84基・焼土4基で構成される。中心となるのは1号竪壇状遺構下段に位置する3号掘立柱建物である。1号竪壇状遺構は3段階構造で北東側の下段から南西側の中段・上段へと上がっていることから、3号掘立柱建物の北東辺側に出入口が存在し、26号土坑付近が馬屋であると考えられる。囲炉裏には焼土が該当するが、4基確認されていることから、建物の建て替えまたは改築が想定される。なお、1号竪壇状遺構の主軸方位(段方向)はN-57°-Eであり、V区第1面の土地区画とは若干のズレが存在する。1号屋敷の時期については、出土遺物から近世であることは間違いなく、『東宮遺跡(1)』～『東宮遺跡(3)』に掲載された天明泥流で埋没した屋敷群(第1面相当)より下段で確認されたことから、明らかにより古い段階のものであり、本遺跡において確認された最古の屋敷である可能性が高い。

1号屋敷以外の遺構に目を向けると、V区の土坑・ピットの多くは群をなしており、土坑には列をなすものも存在する。この土坑列①(10～13号土坑、長軸方位N-43°-E)、土坑列②(17～20・39・40号土坑、長軸方位N-42°-E)、土坑列③(21・22号土坑、長軸方位N-41°-E)土坑列④(23～25・44・46・48・50～52号土坑、長軸方位N-43°-E)、土坑列⑤(45・47・49号土坑、長軸方位N-43°-E)の5つの土坑列の長軸方位は第1面の畑に近いN-41～43°-Eであり、1号屋敷とは15°前後異なっている。1号掘立柱建物や2・5号柵、1号

耕作痕群、18～20・22a・22b・25～28号溝、109号土坑の長軸方位もほぼこの土坑列①～⑤の長軸方位に一致または直交し、中でも25・26号溝の位置・走行は第1面の1号溝の位置・走行と一致していることから、1号溝が25・26号溝の掘り直しである可能性が考えられる。これらのことを合わせて考えると、当該遺構に出土遺物がほぼ見られないことから、出土遺物による傍証がなく根拠薄弱なところではあるが、V区第1・2面の遺構については、近世において「第2面1号屋敷→第2面土坑列・柵・一部の溝等→第1面」の3段階の変遷を想定することが可能であり、それは屋敷から畑へと土地利用の転換を示すと考えられる。しかし、1号屋敷と第2面土坑列・柵・一部の溝等について、その長軸方位が異なるとはいえず前後であることから、小地形の影響を受けた遺構の立地条件が長軸方位に影響を与えすぎないと思われる。すなわち、第2面に2段階の変遷を想定せず、1号屋敷と土坑列・柵・一部の溝等を一体として同時期の屋敷と考えるものである。いずれにせよ、V区第2面から屋敷、第1面から畑が確認されていることは、屋敷から畑へと土地利用の転換を示すものであることは間違いなく。

Ⅵ区の遺構分布はV区に比べ疎である。124号土坑とピット群(37基、922～957号ピット)の長軸方位はN-38～40°-Eであり、第1面の8号畑の畝方向(N-56°-E)との関連性は見出せなかった。

東宮遺跡第2面出土の遺物についても、第1面ほどではないが、やはり少ないとせざるをえない。少ない中でも、陶磁器と石臼、古銭の出土が目立つ。石臼の普及は近世以降(16世紀後葉以降)であり、この傾向は前項で論じた遺構の時期を示すと考えられる。

V区(平成27年度調査分)第2面下からは、縄文土器が出土している。時期的には中期後半～後期前半が主であり、『東宮遺跡(5)』以降で報告予定のV区(平成28年度調査分)第3・4面の時期とほぼ同じである。

参考文献

- 石坂聡2017『東宮遺跡』年報』35 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 群馬県史編さん委員会1986『群馬県史』資料編7(中世3)
- 群馬県文化事業振興会1985『上野国郡村誌』11
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2002『八ッ場ダム発掘調査集成(1)』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2011『東宮遺跡(1)』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2012『東宮遺跡(2)』
- (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2017『東宮遺跡(3)』
- 長野県埋蔵文化財調査委員会1976『長野県史』上

採 掘 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考		
1号段(土溝)出土遺物観察表										
第14段	1	肥前陶器 陶胎付付焼	高台部片	口 底	- -	高 -	夾雑物含まない/ 灰黄褐色	高台部外面に2重の凹線が廻る。体部を打ち欠き、二次加工している。	江戸時代。	
第14段	2	肥前陶器 白	口縁部片	口 底	- -	高 -	夾雑物含まない/ 灰白	小破片。	江戸時代。	
第14段	3	肥前陶器 陶胎付付焼	口縁部片	口 底	- -	高 -	夾雑物含まない/ 灰白	外面に梅文の染付。	江戸時代。	
第14段 PL.28-3	4	瀬戸陶器 すり鉢	体部片	口 底	- -	高 -	夾雑物を少量含む/ にぶい黄褐色	内面にクシ目。器面は摩滅していない。内外面に磨蝕。	江戸時代。	
5号段出土遺物観察表										
第21段 PL.28-3	1	瀬戸・美濃 陶器	口縁部片	口 底	- -	高 -	夾雑物を少量含む/ にぶい黄褐色	口縁部は尖る。体部外面には回転ヘラズリが施される。灰蝕。	江戸時代。	
8号段出土遺物観察表										
第31段 PL.28-3	1	肥前陶器 皿か	口縁部片	口 底	(12.0)	器	-	夾雑物含まない/ 灰	焼成不良。外面に灰蝕。内面に磨蝕蝕。	17世紀後半~ 18世紀前半。
1号屋敷母屋・3号竪立柱建物出土遺物観察表										
第41段 PL.29	1	石製品 砥石	完形	長 幅	8.1 9.5	厚 重	4.7 212.7	粗粒輝石安山岩	表面に断面V字形の細条痕が累積し砥石と判断した。裏面全体は球形であるが自然面か判断できない。	
5号墳出土遺物観察表										
第51段 PL.29	1	古銭	完形	縦 横	2.475 2.477	厚 重	0.138 2.1		祥瑞通寶。面の彫が深く、字、部、輪ともに明瞭。背も彫はやや深く、輪と郭が明瞭。輪の一部が欠損している。	
9号墳出土遺物観察表										
第55段 PL.29	1	石製品 茶臼(下白)	1/4	長 幅	(18.3) 13.7	厚 重	12.4 2750.0	粗粒輝石安山岩	表面のすり合わせ面は非常に滑らかである。底面には棒状の工具痕が認められ加工痕と考えられる。	
第55段 PL.29	2	石製品 石臼(上白)	2/3	直 幅	28.8 -	厚 重	12.3 9300.0	粗粒輝石安山岩	底面のすり合わせ面には挽き目の痕跡がわずかに認められる。側面には形形の挽き手が認められる。供給孔は矩形である。軸穿孔の直径約3cm。	
第55段 PL.29	3	石製品 石臼(下白)	1/2	直 幅	30.5 -	厚 重	11.6 8125.0	粗粒輝石安山岩	表面のすり合わせ面には挽き目の痕跡が認められる。軸孔は中央がわずかに狭くなっており両面穿孔と考えられる。軸孔の直径約2.5cm。	
第55段 PL.29	4	石製品 石鉢	不明	長 幅	(12.7) (14.5)	厚 重	(7.6) 845.5	粗粒輝石安山岩	内面及び外面は比較的滑らかである。	
25号墳出土遺物観察表										
第59段 PL.29	1	在地系土器 内耳鍋	口縁部片	口 底	- -	高 -	-	白色灰土器粒含む/ にぶい褐色	口縁部は先路がやや湾り、断面は丸い。内面に内耳の上位部分が残存する。外面の調整はナデ。口縁部から4cmほど下位には横位のヘラズリ。外面に煙し、藍色味を帯びる。	中世。信濃型。
第59段 PL.29	2	金属製品 銅玉	完形	長 幅	1.1 1.1	厚 重	1.1 9.1		やや楕円形になる。一部表面にざらつきを生じており、劣化が見られる。つなぎ目などの生産に関わる痕跡は見られない。	
1号井戸出土遺物観察表										
第61段 PL.29	1	石製品 茶臼(下白)	1/2	長 幅	(19.4) (15.1)	厚 重	(12.1) 2943.4	粗粒輝石安山岩	表面のすり合わせ面は非常に滑らかであり挽き目の痕跡がわずかに認められる。軸孔は中央が狭くなっており両面穿孔と考えられる。	
第61段 PL.29	2	石製品 石臼(下白)	2/3	直 幅	33.8 -	厚 重	16.3 24180.0	粗粒輝石安山岩	表面のすり合わせ面には挽き目の痕跡が認められる。底面には棒状の工具痕が明瞭に認められ加工痕と考えられる。軸孔は中央が狭くなっており両面穿孔と考えられる。軸孔の直径約4cm。	
第61段 PL.29	3	石製品 石臼(下白)	1/2	直 幅	29.6 -	厚 重	14.6 11800.0	粗粒輝石安山岩	表面のすり合わせ面には挽き目の痕跡がわずかに認められる。側面には平ノミ状あるいは棒状の工具痕が認められる。底面には棒状の工具痕が認められる。軸孔は中央が狭くなっており両面穿孔と考えられる。軸孔の直径約3cm。	
第61段 PL.29	4	石製品 石鉢	1/8	長 幅	(13.5) (9.1)	厚 重	11.6 713.3	粗粒輝石安山岩	内面は比較的滑らかであり特に内面底部は非常に滑らかである。底面も非常に滑らかである。側面には棒状の工具痕がわずかに認められる。	
3号墓坑出土遺物観察表										
第63段 PL.29	1	古銭	ほぼ完形	縦 横	2.432 2.424	厚 重	0.224 2.5		熙寧元寶か。表面に骨片が一部付着し、状態が見えづらい。面の字はX線写真撮影で確認し、寧のハネのようなものが見える。背の彫は不明瞭。	
第63段 PL.29	2	古銭	完形	縦 横	2.470 2.472	厚 重	0.142 2.2		皇宋通寶。面の彫はやや浅く、字は摩滅によりやや不明瞭。背の彫がやや浅く、一部にのみ郭、輪が見られる。	
第63段 PL.29	3	古銭	1/3	縦 横	0.198 -	厚 重	1.1 -		銭様不明。面の彫は浅く、一部に輪が確認できるのみ。背の彫は及く、輪、郭は不明瞭。	
第63段 PL.29	4	銅製品 破片	破片	長 幅	4.4 0.5	厚 重	0.4 0.9		針か。2本が錆によって癒着しているような状況か。劣化が見られ、一部欠損している。	
4号墓坑出土遺物観察表										
第64段 PL.30	1	瀬戸・美濃 陶器	体部片	口 底	- -	高 -	-	夾雑物を少量含む/ 灰黄褐色	内外面に磨蝕。	江戸時代。
第64段 PL.30	2	古銭	ほぼ完形	縦 横	2.456 2.375	厚 重	0.213 2.0		新寛永。表面に錆が付着している。面の彫は深く、字、部、輪ともに明瞭。背は若干彫が見え、輪の一部が欠損している。	

遺物観察表

種 類 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第64回 PL.30	3	古銭	ほぼ完形	長 幅	3.0 2.5	厚 重	0.3 7.6	3枚施着しているが、銭種は1枚のみ判明。新貨水。面の 彫は浅く、字は摩滅が見られる。郭、輪はやや明瞭。輪の 一部が欠損。背徳が見えている1枚は彫はやや浅いが、輪 郭は明瞭。	3枚施着	
第64回 PL.40	4	古銭	ほぼ完形	長 幅	2.9 2.8	厚 重	0.3 4.3	2枚施着しており、1枚は新貨水。もう1枚は銭種不明。 面はやや彫が深い。劣化により字が一部不明。背が見 えている1枚も劣化が非常に激しく、輪が一部欠損。郭、 輪はやや明瞭。	2枚施着	
第64回 PL.30	5	古銭	完形	長 幅	2.8 2.8	厚 重	0.4 8.3	3枚施着し、両面とも背。内1枚は径2.5cmとやや大きい。 彫は浅く、郭、輪は不明瞭。他の1枚は径が2.3cmで彫は 一部深く、明瞭。やや郭が中心からずれる。	3枚施着	
第64回 PL.30	6	古銭	ほぼ完形	縦 横		厚 重		新貨水。表面に有機質が付着している。また、全体に劣化 が見られ、輪が一部欠損している。面の字の彫は浅く、や や不明瞭。輪と郭は比較的明瞭。背は彫が浅く、不明瞭。		
第64回 PL.30	7	銅製品 キセル	1/2	長 幅	3.7 2.7	厚 重	1.1 2.3	骨片が付着した煙管の吸口。裏面全体に骨片が付着し、上 と跡によって煙管が付着している。つなぎ目のようなもの も見えらるが、詳細は不明。		
第64回 PL.30	8	銅製品 キセル(煙 管)	一部欠損	長 幅	4.0 1.9	厚 重	1.8 5.1	裏面、有機物付着。表面の詳細は有機物に覆われている ため不明瞭。内部からの観察により、上部につなぎ目観察 できる。有機物は薄く、重なるように付着し、葉脈のよう なものも見られる。		
第64回 PL.30	9	鉄製品 火打金	一部欠損	長 幅	5.5 2.0	厚 重	1.4 10.4	骨片が付着した火打金。形状は山形か。持ち手部分が欠損 している。片面に骨片が残存している。		
5号墓出土遺物観察表										
第64回 PL.30	1	古銭	ほぼ完形	縦 横	2.513 1.9	厚 重	0.158 1.3	治平元寶。彫はやや浅いが、摩滅が見られやや字が不明瞭。 郭は彫が浅い。背の輪は中心からずれている。		
第64回 PL.30	2	古銭	ほぼ完形	縦 横	2.401 2.405	厚 重	0.253 2.3	洪武通寶か。面の全面に骨片が覆っており、又縮写真面影 により判読。彫は深く、輪がはっきりしている。背は彫が 浅く、輪、郭ともに不明瞭。		
PL.30	3	古銭	ほぼ完形	縦 横	2.438 2.464	厚 重	0.513 2.6	水滸通寶か。面、背ともに骨片が付着しており、詳細は不 明。面の輪の彫は深く明瞭。背の輪を観察すると、彫はや や浅い。		
第64回 PL.30	4	古銭	ほぼ完形	長 幅	3.3 3.0	厚 重	0.6 6.2	2枚とも劣化が激しく、骨片が付着しているため、銭種不 明。一部、観察可能なものもあるが、摩滅により詳細は不明。	2枚施着	
27号土坑出土遺物観察表										
第75回 PL.30	1	石製品 石臼(上白)	1/8	長 幅	(17.5) (9.8)	厚 重	(8.9) 1573.5	粗粒輝石安山岩	底部のすり合わせ面は非常に滑らかである。側面は平ノ ミ状あるいは棒状の工具痕がわずかに認められる。	
86号土坑出土遺物観察表										
第87回 PL.30	1	龍泉系青 磁 碗か皿か。	体部下位-高台 部片	口 底	-	高	-	黒色鉱物粒少量含 む/灰白	文様不明。高台端部は尖る。体部内外面とも高台内部に施 輪。輪は厚く、貫入が入る。	中世。
292号ピット出土遺物観察表										
第74回 PL.30	1	龍泉系青 磁 碗	口縁部片	口 底	-	高	-	白色鉱物粒を含む /灰白	無文。	中世。
462号ピット出土遺物観察表										
第108回 PL.30	1	在地系土器 内耳鍋	体部破片	口 底	-	高	-	白色・黒色鉱物粒 を含む/赤・黄 褐色	器面の調整は内外面ともナズ。外面に焼し。	中世。
7号焼土出土遺物観察表										
第126回 PL.30	1	在地系土器 内耳鍋	体部-底部片	口 底	-	高	-	白色鉱物粒少量含 む/灰褐色	体部は内外面ともナズ。底部は平底。砂底。外面に焼し。	中世。
遺構外出土遺物観察表										
第1300回 PL.31	1	縄文土器 深鉢	4I-U-2グリッド (V区) 口縁部片	口 底	-	高	-	D-1	R I 縄文を横位施文し、低平な隆部の楕円区画文を施す。 内外面共に著しい風化・摩滅。	加曾利 E 3 式
第1300回 PL.31	2	縄文土器 鉢	4I-T-2グリッド (V区) 口縁部-胴部片	口 底	-	高	-	B-3	口縁部に幅広い凹線文を横位施文し、胴部に縦帯状の条線 文を縦位施文。外面胴部中に煤状炭化物付着。内面横位 磨き。	加曾利 E 3 式
第1300回 PL.31	3	縄文土器 内耳歯	V区 口縁部-胴部下 位1/3	口 底	(22.3)	高	-	B-4	胴部に1対の橋状把手を持つ。胴部に把手に接続する横位 條線起部を施し、胴部にR I 縄文を多方向に施文。内外面 共に著しい風化・摩滅。	加曾利 E 4 式
第1300回 PL.31	4	縄文土器 小形内耳歯	V区 頸部-底部1/3	口 底	6.0	高	-	B-4	胴部に1対の橋状把手を持つ。胴部に把手に接続する横位 條線起部を施し、胴部にR I 縄文を横位・多段に施文。内 外面共に著しい風化・摩滅。	加曾利 E 4 式
第1300回 PL.31	5	縄文土器 深鉢	4I-U-2グリッド (V区) 胴部片	口 底	-	高	-	D-3	V・逆U字状の沈線区画文を施し、I R 縄文を充填施文。 内外面共に著しい風化・摩滅。	加曾利 E 4 式
第1300回 PL.31	6	縄文土器 深鉢	4I-V-1グリッド (V区) 胴部片	口 底	-	高	-	D-3	V・逆U字状の沈線区画文を施し、I R 縄文を充填施文。 外面やや風化。内面著しい風化・摩滅。	加曾利 E 4 式
第1300回 PL.31	7	縄文土器 深鉢	V区 口縁部片	口 底	-	高	-	E-1	口縁部に隆部の楕円区画文を施し、沈線文を斜位に充填施 文。内外面共に著しい風化・摩滅。	郷土式

採 掘 PL.No.	No.	種 類 種 別	出土位置 残 存 率	計 測 値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 形 状 の 特 徴	備 考	
第1308 PL.31	8	縄文土器 深鉢	4I-R-2-3グリッド (V区) 製部片	口 底	- 高	E 1	楕円形状区画文や直線・蛇行状態重文を施し、縞状の屈折 線文を施文。内外面に著しい風化・摩滅。	塚上式	
第1308 PL.31	9	縄文土器 深鉢	V区 口縁部片	口 底	- 高	A 2	沈線区画文を施し、やや密なL R縞文を充填施文。内外 面に著しい風化・摩滅。	称名寺I c式	
第1318 PL.31	10	縄文土器 深鉢	4I-T-1グリッド (V区) 口縁部片	口 底	- 高	D 1	沈線区画文内にL R縞文を充填施文。内外面に脱熱風化、 外面煤状炭化物付着。	称名寺I c式	
第1318 PL.31	11	縄文土器 深鉢	4I-U-2グリッド (V区) 口縁部片	口 底	- 高	D 1	沈線区画文を施し、L R縞文を充填施文。内外面に風化。	称名寺I c式	
第1318 PL.31	12	縄文土器 深鉢	4I-T-1, U-1グ リッド(V区) 口縁部片	口 底	- 高	B 1	波状口縁。口縁部に微隆起帯を横位施文し、以下にL R縞 文を縦位施文。内外面に著しい風化・摩滅。	称名寺I式併 行	
第1318 PL.31	13	縄文土器 深鉢	4I-V-2グリッド (V区) 口縁部片	口 底	- 高	D 4	口縁部に隆帯に近似した微隆起帯を横位施文し、以下にL 縞文を縦位施文。内外面に著しい風化・摩滅。	称名寺I式併 行	
第1318 PL.31	14	縄文土器 深鉢	4I-R-2グリッド (V区) 口縁部片	口 底	- 高	C 3	口縁部にやや幅広い微隆起帯を横位施文。同部文様不明。 内面横位磨き。	称名寺I～II 式併行	
第1318 PL.31	15	縄文土器 深鉢	4I-Y-1グリッド (V区) 口縁部・胴部中 位1/2	口 底	(26.1)	B 2	口縁部にやや幅広い隆帯に近似した微隆起帯を横位施文 し、胴部に帯状具の条線文を縦位・密集施文。内外面に著 しい風化・摩滅。	称名寺II式?	
第1318 PL.31	16	縄文土器 深鉢	4I-Y-1グリッド (V区) 胴部・胴部上位	口 底	- 高	B 4	L R縞文を充填施文したJ字状区画文や顔状降文の退 色化した列点充填区画文を施す。内外面に著しい風化・ 摩滅。	称名寺I c式	
第1318 PL.31	17	縄文土器 深鉢	4I-E-2グリッド (V区) 胴部片	口 底	- 高	D 1	L R縞文を沈線区画文内に充填施文し、縦位の顔状降文 を施す。内外面に風化。	称名寺I c式	
第1318 PL.31	18	縄文土器 深鉢	V区 胴部片	口 底	- 高	D 2	L R縞文を沈線区画文内に充填施文し、縦位の顔状降文 を施す。内外面に風化・摩滅。	称名寺I c式	
第1318 PL.32	19	縄文土器 深鉢	4I-Y-1グリッド (V区) 胴部片	口 底	- 高	D 3	J字状の沈線区画文を施し、L R縞文を充填施文。内外面 共に風化、外面一部に煤状炭化物付着。	称名寺I c式	
第1318 PL.32	20	縄文土器 深鉢	V区 胴部片	口 底	- 高	A 1	L R縞文を沈線区画文外に充填施文し、縦位の顔状降文 を施す。内外面に著しい風化・摩滅。	称名寺I式	
第1318 PL.32	21	縄文土器 深鉢	4I-S-4グリッド (V区) 胴部片	口 底	- 高	D 5	胴部に微隆起帯を横・縦位に施文し、その交点に同微隆 起帯で円筒状の意匠を施して、帯状具の条線文を縦位に施文。 内外面に著しい風化・摩滅。	称名寺I式	
第1318 PL.32	22	縄文土器 深鉢	4I-Y-1グリッド (V区) 胴部片	口 底	- 高	C 1	沈線区画文を施し、やや密なL R縞文を充填施文。外面 煤状炭化物付着。内面やや脱熱風化。	称名寺I式併 行	
第1318 PL.32	23	縄文土器 深鉢	4I-Y-1グリッド (V区) 胴部中位片	口 底	- 高	C 2	多岐竹管状具を下位斜め方向から刺突した刺突文を施す。 内外面に著しい風化・摩滅。	三十桶塚式	
第1318 PL.32	24	龍泉窯系青 磁	4I-E-13グリッド (V区) 体部片	口 底	- 高	-	夾雑物含まない/ 灰白	外面に鎔造弁文。買入が入る。	13世紀。
第1318 PL.32	25	龍泉窯系青 磁	4I-E-11グリッド (V区) 高台部片	口 底	- 高	-	夾雑物少量含む/ 灰	高台周辺の小破片。高台内側にも軌。	中世。
第1318 PL.32	26	肥前陶器 陶胎染付碗	V区 体部下位・高台 部片	口 底	- 高	-	黒色鉱物粒少量含 む/灰黄	外面の見込と高台境に明確。	18世紀前半～ 中頃。
第1318 PL.32	27	瀬戸・美濃 か 陶器 練鉢	V区 口縁部片	口 底	- 高	-	夾雑物含まない/ 灰黄	口唇端部は外面が肥厚する。灰焼。買入が入る。	19世紀。
第1318 PL.32	28	瀬戸・美濃 陶器 口	V区表採 口縁部片	口 底	17.0	-	夾雑物少ない/淺 黄	口唇端部は内外面に肥厚する。外面は口唇部直下に沈線が 通る。軸輪。一方の割れ口に漆黒の痕跡が認められる。	江戸時代。
第1318 PL.32	29	瀬戸・美濃 陶器 仏飯器	V区 脚台部	口 底	4.0	-	黒色鉱物粒少量含 む/灰白	脚柱部は裾端が反り返って収束している。受け部から脚柱 部上半に灰焼。買入が入る。	17世紀後半～ 18世紀前半。
第1318 PL.32	30	常滑陶器か 甕	V区表採 頸部片	口 底	- 高	-	夾雑物少量含む/ 黄灰	中位で屈曲する。外面に自然釉付着。	中世。
第1328 PL.32	31	在地系土器 内耳鍋	V区 口縁部・体部片	口 底	- 高	-	白色鉱物粒を含む /にぶい・粗	全体に器内が厚い。口縁部の立ち上がりは外傾の度合いが 強い。体部は内外面ともにナデ調整。内耳の装着部分が残 存する。外面に肥厚着。	中世。信濃型。
第1328 PL.32	32	在地系土器 すり鉢か	V区表採 体部片	口 底	- 高	-	白色・黒色鉱物粒 少量含む/にぶい・ 粗	外面の調整はナデ。内面は使用により摩滅。平滑になって いる。	中世。
第1328 PL.32	33	在地系土器 体部・底部片	V区表採 体部・底部片	口 底	(28.0)	- 高	白色・黒色鉱物粒 を含む/にぶい・粗	器面の調整は内外面とも横位のナデ。底部外面は砂底。	中世。
第1328 PL.32	34	割片石器 石鏝	25溝(V区) 完形	長 幅	1.3 1.0	厚 重	0.3 0.3	黒曜石 押圧割離による両面加工が認められる。	

遺物観察表

種 別 PL.No.	No.	種 類 種 別	出土位置 残 存 率	計 測 値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考	
				長	幅	厚				
第1329 PL.32	35	剥片石器 石鎌(フリル)	25溝(V区) 完形	長 幅	3.7 1.0	厚 重	0.6 2.1	珪質頁岩	押圧削離による両面加工が認められる。全体的に断面形は三角である。	
第1329 PL.32	36	剥片石器 磨製石斧	21溝(V区) 不明	長 幅	(4.2) 5.9	厚 重	(2.0) 103.6	変玄武岩	丁寧な研磨整形によって部形を整えている。先端部の表裏面には、対面方向からの微細な削離痕が認められ使用痕の可能性がある。	
第1329 PL.32	37	礫石器 磨石	109坑(V区) 1/2	長 幅	(12.0) (7.3)	厚 重	(5.0) 530.9	粗粒輝石安山岩	表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。表面に敲打痕の集中箇所が認められる。	
第1329 PL.32	38	礫石器 磨石	V区 完形	長 幅	9.3 6.8	厚 重	4.0 403.6	粗粒輝石安山岩	表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。表裏面では左右両側面との境界付近にわずかに稜が形成される。	
第1329 PL.32	39	礫石器 磨石	V区 完形	長 幅	10.0 6.7	厚 重	2.9 296.2	粗粒輝石安山岩	表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第1329 PL.32	40	礫石器 磨石	V区 完形	長 幅	8.0 6.5	厚 重	3.9 290.4	粗粒輝石安山岩	表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。側面に敲打痕が散在する。	
第1329 PL.32	41	礫石器 磨石	V区 完形	長 幅	6.7 6.6	厚 重	5.2 308.1	粗粒輝石安山岩	表裏面に磨面が認められる。表面の縁辺部及び側面に敲打痕が散在する。	
第1329 PL.32	42	礫石器 凹石	65坑(V区) 完形	長 幅	14.1 9.4	厚 重	5.2 1072.9	粗粒輝石安山岩	表面に凹みが1箇所認められる。表裏面に部分的な磨面が認められる。	
第1329 PL.32	43	石製品 茶臼	V区 1/2	長 幅	(16.4) (16.5)	厚 重	(12.5) 2350.0	粗粒輝石安山岩	底面のすり合わせ面は非常に滑らかであり挽き目の痕跡がわずかに認められる。側面には平ノミ状の工具痕がわずかに残り矩形の挽き手が認められる。供給孔は中央がわずかに狭くなっており両面穿孔と考えられる。軸受孔の直径約2.5cm。	
第1329 PL.32	44	石製品 石臼(上段)	VI区 完形	直 径	33.2	厚 重	12.0 17360.0	粗粒輝石安山岩	底面のすり合わせ面には挽き目の痕跡がわずかに認められる。側面には矩形の挽き手が認められる。軸受孔及び供給孔の直径約3cm。	
第1329 PL.32	45	古銭	VI区 完形	縦 横	2.354 2.328	厚 重	0.141 2.1	新寶永。背元。全体が劣化しており、字が一部不明。輪、郭はやや不明。背の元字は輪が浅く、見えづらい。郭の一部が不明。		
補遺遺物観察表										
第1339	1	鉄製品 釘	5建(1区) 一部欠損	長 幅	10.8 1.6	厚 重	1.3 16.9		脚部、頭部が一部欠損。頭部が大きくなっているが、状況は不明。断面は長方形となる。	未報告分
第1339	2	鉄製品 鉄鎖吊手	1建(1区) 完形	長 幅	28.1 14.0	厚 重	0.3 51.0		吊手は薄く、やや楕円形に湾曲している。両端部は少ずつ細くなり、端部から1.3cmで鎖を引っかけて吊り下げるように外側に折られている。	未報告分
第1339	3	鉄製品 鉄鎖	11建(N区) 破片	長 幅	18.1 11.5	厚 重	0.5 223.7		口縁部が残存する鎖の破片。口縁端部は外に張り出し、胴部に横向き鈍型成形痕が見られる。内面は鎖に覆われており、一部に有機質痕が見られる。	未報告分
第1339	4	木製品 下駄	5建(1区) 一部欠損	長 幅	10.5 9.2	厚 重	5.9 53.9		東宮(2)遺物観察表下駄・草履に「コ」として観察記録のみ記載。20025と同一個体か。	観察表のみ記載あり
第1339	5	木製品 下駄	5建(1区) 一部欠損	長 幅	11.2 8.4	厚 重	5.9 52.3		東宮(2)遺物観察表下駄・草履に「コ」として観察記録のみ記載。50024と同一個体か。	観察表のみ記載あり
第1339	6	木製品 下駄差し歯	11建(1区) 一部欠損	長 幅	8.6 10.2	厚 重	1.9 63.9		東宮(2)遺物観察表下駄・草履に「ク」として観察記録のみ記載。	観察表のみ記載あり
第1339	7	草履	I区 一部欠損	長 幅	19.8 8.5	厚 重	- -		はぎ取りをおこなった草履。状態はよくないが、一部芯縄が確認出来る。有機質の状態は白く残存し、やや確認できる。	未報告分
第1339	8	草履	I区 一部欠損	長 幅	18.8 7.5	厚 重	- -		はぎ取りをおこなった草履。状態はよくないが、一部芯縄が確認出来る。また、鼻緒が一部残存。有機質は黒く存続する。	未報告分

東京道砂 土器胎土分類一覧

分類	特徴	備考
A類	A.1 多量の円磨度の進んだ長石や角閃石と少量の雲母・灰白色・赤色岩片の粗・細砂を含む砂質でやや緻密な胎土。	主として雲母または結晶片岩を含有するグループ
	A.2 多量の円磨度の進んだ長石・灰白色岩片や中量の角閃石と微量の雲母の粗・細砂を含む緻密な胎土。	
B類	B.1 中量の円磨度の進んだ灰白色・黒色岩片の礫・粗砂や珪質乳白色岩片の粗・細砂と少量の輝石粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	主として灰白色・珪質乳白色岩片や輝石または石英・赤色岩片を含有するグループ
	B.2 中～多量の円磨度の進んだ灰白色・珪質乳白色岩片や少量の赤色岩片・輝石の粗・細砂を含む緻密な胎土。	
	B.3 中量の円磨度の進んだ灰白色・赤色岩片の礫・粗砂と珪質乳白色岩片や輝石・石英の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	
	B.4 多量の円磨度の進んだ灰白色・赤色・黒色岩片の礫・粗砂と少量の珪質乳白色岩片や石英・輝石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	
C類	C.1 中量の円磨度の進んだ灰白色・赤色岩片の礫・粗砂や輝石粗・細砂と少量の長石粗・細砂を含む緻密な胎土。	主としてB類の珪質乳白色岩片が欠落するグループ
	C.2 多量の円磨度の進んだ黒白色岩片や中量の灰白色岩片・輝石および少量の長石の粗・細砂を含むやや砂質・緻密な胎土。	
	C.3 多量の円磨度の進んだ灰白色岩片礫・粗砂と中量の赤色岩片礫・粗砂や少量の輝石粗・細砂を含む緻密な胎土。	
D類	D.1 中量の長石・輝石の粗・細砂や円磨度の進んだ灰白色岩片礫・粗砂を含む緻密な胎土。	主として長石を含有するグループ
	D.2 多量の長石や円磨度の進んだ中～少量の灰白色・黒色・赤色岩片と輝石の粗・細砂を含むやや砂質・緻密な胎土。	
	D.3 多量の長石粗・細砂と中量の円磨度の進んだ灰白色・赤色岩片礫・粗砂や輝石粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	
	D.4 多量の長石や円磨度の進んだ灰白色・赤色・黒色岩片の礫・粗砂や中量の輝石粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	
	D.5 多量の円磨度の進んだ長石・灰白色岩片の礫・粗砂や中量の輝石粗・細砂を含むやや緻密な胎土。	
E類	E.1 多量の円磨度の進んだ軽石の礫・粗砂や長石粗・細砂と中量の輝石・黒色岩片の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。	主として軽石を含有するグループ

※各分類はルーベ等を使用した肉眼観察による。

※夾雑物の粒径分類については「新版 標準土色帳」の「土壌調査用チャート」に準拠した。

写真図版



1. 調査区遠景(南西から)



2. V区(28年度)西半1面全景(上空から)



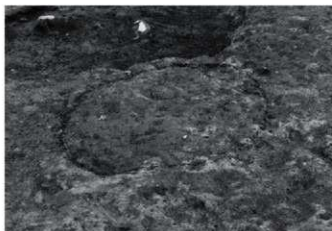
1. V区(27年度)1面全景(北東から)



2. V区(27年度)2面調査風景(北東から)



3. 1号畑、1号復旧溝群、1号道路、1号石積遺構全景(上空から)



1. 3号平坦面全景(北西から)



2. 3号畑泥流痕全景(南東から)



3. 4号畑、2号復旧溝全景(上空から)



4. 4号畑、2号復旧溝近景(南東から)



5. 4号畑、2号復旧溝近景(西から)



1. 2・3号道路全景(北東から、南に2号畑、北に3号畑)



2. 4号溝全景(北東から)



3. 5号溝全景(北西から)



4. 6号溝全景(西から)



5. V区調査風景(南西から)



1. 8号畑全景(南西から)



2. 3号復旧溝全景(東から)



1. 6号石積遺構全景(南東から)



2. 4号道路全景(南西から)



3. 7号石積遺構全景(東から)



5. VII区周辺風景(南東から)



4. 4号道路全景(南西から)



1. 1号屋敷全景(南西から)



2. 1号屋敷石垣・4号石杭遺構遺物出土状況(北東から)



3. 1号屋敷馬屋・26号土坑全景(南東から)



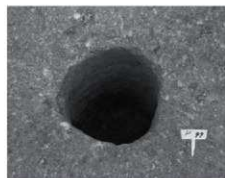
4. 1号屋敷・92号ピット全景(南東から)



5. 1号屋敷・94号ピット全景(南東から)



1. 1号屋敷・95号ピット全景(南東から)



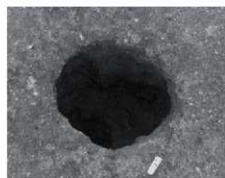
2. 1号屋敷・97号ピット全景(南東から)



3. 1号屋敷・99号ピット全景(南東から)



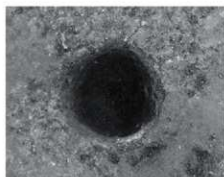
4. 1号屋敷・102号ピット全景(南東から)



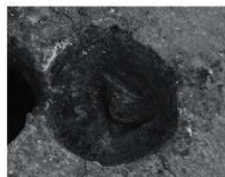
5. 1号屋敷・105号ピット全景(南東から)



6. 1号屋敷・116号ピット全景(南東から)



7. 1号屋敷・117号ピット全景(南東から)



8. 1号屋敷・122号ピット全景(南東から)



9. 1号屋敷・123号ピット全景(南東から)



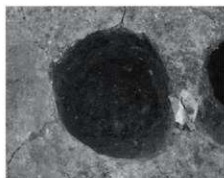
10. 1号屋敷・124号ピット全景(南東から)



11. 1号屋敷・125号ピット全景(南東から)



12. 1号屋敷・126号ピット全景(南東から)



13. 1号屋敷・127号ピット全景(南東から)



14. 1号屋敷・128号ピット全景(南東から)



15. 1号屋敷・129号ピット全景(南東から)



1. 1号壑穴状遺構全景(南東から)



2. 3号壑穴状遺構全景(南東から)



3. 5号櫛全景(南西から)



4. 10号溝全景(西から)



5. 11号溝全景(東から)



1. 19・20号溝全景(南東から)



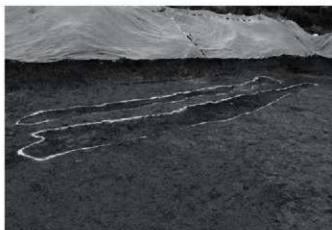
2. 22号溝 a・b 全景(南東から)



4. 25・26号溝全景(南東から)



3. 22号溝 a・b 全景(南西から)



5. 27・28号溝全景(南東から)



6. 30号溝全景(南東から)



1. 1号井戸遺物出土状況(南西から)



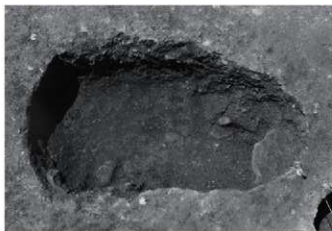
2. 1号井戸井戸枠上面全景(北東から)



3. 1号井戸井戸枠断削全景(南西から)



4. 3号井戸全景(南東から)



5. 1号墓坑全景(北東から)



6. 2号墓坑全景(南東から)



7. 2号墓坑遺物出土状況(南東から)



8. 3号墓坑全景(北東から)



1. 4号墓坑遺物出土状況(南東から)



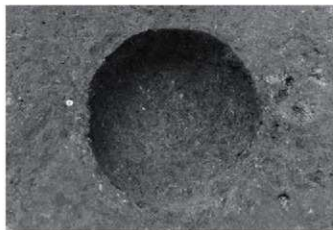
2. 5号墓坑全景(南西から)



3. 6号墓坑遺物出土状況(北東から)



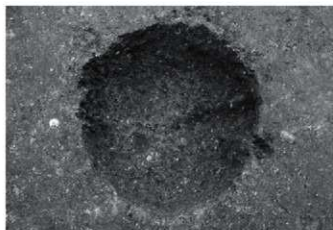
4. 1号土坑全景(南東から)



5. 2号土坑全景(南東から)



6. 3号土坑全景(南東から)



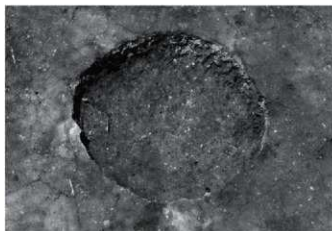
7. 5号土坑全景(南東から)



8. 8号土坑全景(南東から)



1. 9号土坑全景(南東から)



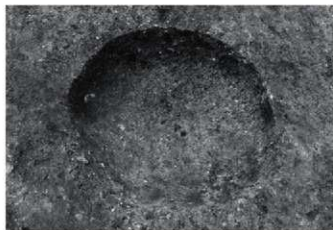
2. 10号土坑全景(北東から)



3. 11号土坑全景(南東から)



4. 12号土坑全景(南東から)



5. 13号土坑全景(南東から)



6. 14号土坑全景(南東から)



7. 15・16号土坑全景(北東から)



8. 17号土坑全景(南東から)



1. 18号土坑全景(南東から)



2. 19号土坑全景(南東から)



3. 20号土坑全景(南東から)



4. 21号土坑全景(南東から)



5. 22号土坑全景(南東から)



6. 23号土坑全景(南東から)



7. 24号土坑全景(南東から)



8. 25号土坑全景(南東から)



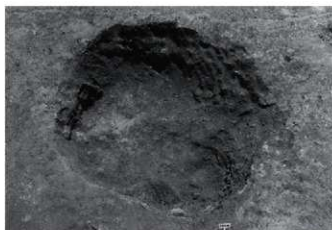
1. 27号土坑全景(南東から)



2. 28号土坑全景(東から)



3. 30号土坑全景(北東から)



4. 31号土坑全景(北東から)



5. 32号土坑全景(南東から)



6. 36号土坑全景(南東から)



7. 37号土坑全景(南東から)



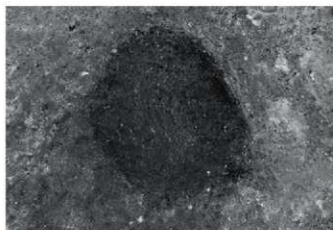
8. 38号土坑全景(北東から)



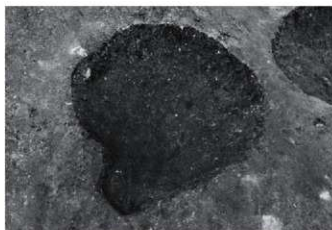
1. 39号土坑全景(南東から)



2. 39・40・41・42号土坑全景(南東から)



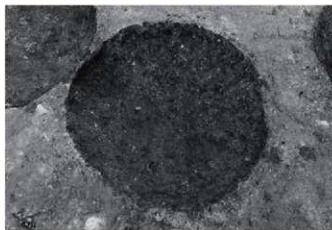
3. 43号土坑全景(南東から)



4. 44号土坑全景(南東から)



5. 45号土坑全景(南東から)



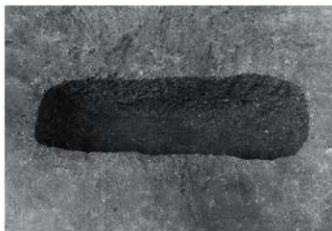
6. 46号土坑全景(南東から)



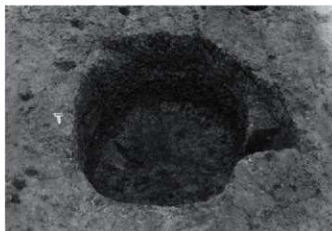
7. 47・48号土坑全景(南東から)



8. 49・50号土坑全景(南東から)



1. 53号土坑全景(北東から)



2. 54号土坑全景(南東から)



3. 54号土坑遺物出土状況(南東から)



4. 59号土坑全景(南東から)



5. 65号土坑全景(南東から)



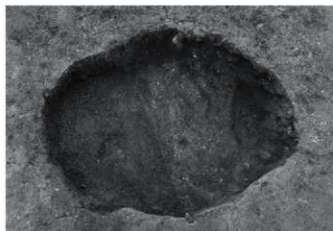
6. 65・66号土坑全景(南東から)



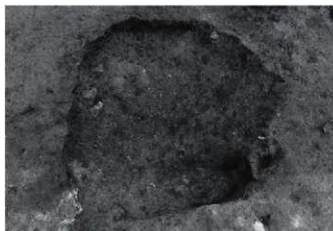
7. 67号土坑全景(南東から)



8. 67号土坑炭化物出土状況(南東から)



1. 68号土坑全景(南東から)



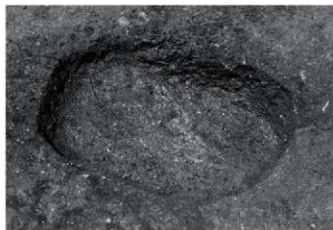
2. 69号土坑全景(南東から)



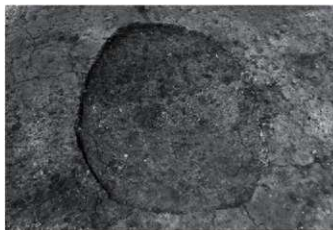
3. 71号土坑全景(南東から)



4. 72号土坑全景(南東から)



5. 78号土坑全景(南東から)



6. 79号土坑全景(南東から)



7. 80号土坑全景(南東から)



8. 81号土坑全景(南東から)



1. 82号土坑全景(南から)



2. 83号土坑全景(北東から)



3. 86号土坑全景(南東から)



4. 96・97号土坑全景(南東から)



5. 96号土坑断面(南東から)



6. 97号土坑断面(南東から)



7. 99・100号土坑全景(南から)



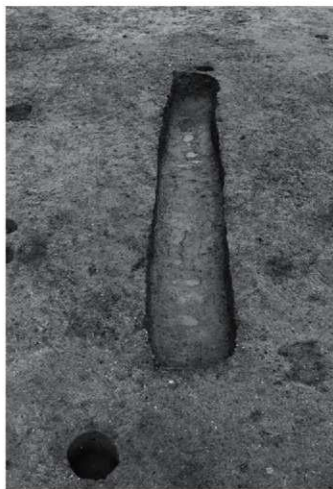
8. 101号土坑断面(南東から)



1. 103号土坑断面(南東から)



2. 104号土坑断面(南から)



3. 105号土坑断面(南東から)



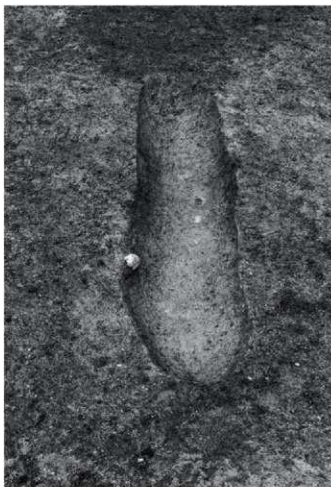
4. 106号土坑断面(南東から)



5. 106・115号土坑断面(南東から)



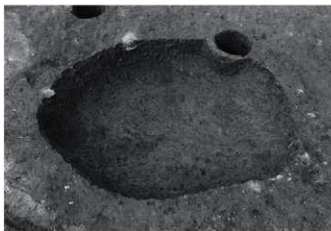
1. 107号土坑断面(南東から)



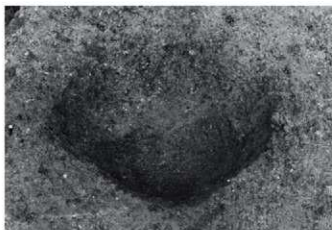
2. 108号土坑断面(南東から)



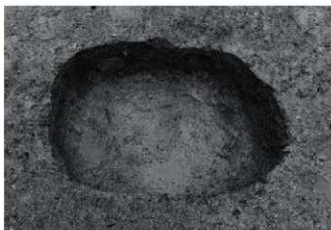
3. 109号土坑断面(北東から)



4. 112号土坑断面(南東から)



5. 113号土坑断面(南西から)



6. 116号土坑断面(北東から)



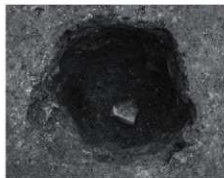
1. 1号ピット全景(南東から)



2. 2号ピット全景(南東から)



3. 3号ピット全景(南東から)



4. 4号ピット全景(南東から)



5. 5号ピット全景(南東から)



6. 9号ピット全景(南東から)



7. 10号ピット全景(南東から)



8. 11号ピット全景(南東から)



9. 12号ピット全景(南東から)



10. 13号ピット全景(南東から)



11. 14号ピット全景(南東から)



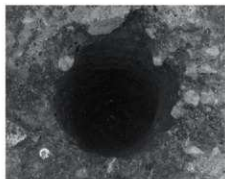
12. 15号ピット全景(南東から)



13. 16号ピット全景(北東から)



14. 18号ピット全景(北西から)



15. 21号ピット全景(南東から)



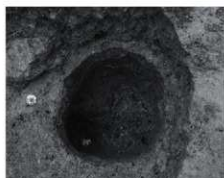
1. 22号ピット全景(南東から)



2. 23号ピット全景(南東から)



3. 24号ピット全景(南東から)



4. 25号ピット全景(南東から)



5. 26号ピット全景(南東から)



6. 27号ピット全景(南東から)



7. 28号ピット全景(南東から)



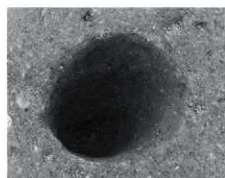
8. 29号ピット全景(南東から)



9. 30号ピット全景(南東から)



10. 31号ピット全景(南東から)



11. 32号ピット全景(南東から)



12. 33号ピット全景(南東から)



13. 34号ピット全景(北西から)



14. 35号ピット全景(北西から)



15. 36号ピット全景(南東から)



1. 38号ビット全景(南東から)



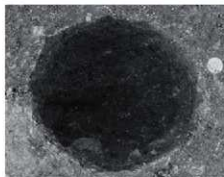
2. 39号ビット全景(南東から)



3. 42号ビット全景(南東から)



4. 43号ビット全景(南東から)



5. 44号ビット全景(南東から)



6. 45号ビット全景(南東から)



7. 46号ビット全景(南東から)



8. 47号ビット全景(南東から)



9. 49・55・56号ビット全景(南東から)



10. 53号ビット全景(南東から)



11. 54号ビット全景(南東から)



12. 57・58号ビット全景(東から)



13. 59号ビット全景(南東から)



14. 60号ビット全景(南東から)



15. 61号ビット全景(南東から)



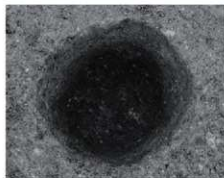
1. 62号ピット全景(南東から)



2. 63号ピット全景(南東から)



3. 67号ピット全景(北西から)



4. 69号ピット全景(南東から)



5. 70号ピット全景(南東から)



6. 71号ピット全景(南東から)



7. 72号ピット全景(南東から)



8. 73号ピット全景(南東から)



9. 74号ピット全景(北東から)



10. 75号ピット全景(南東から)



11. 106号ピット全景(南東から)



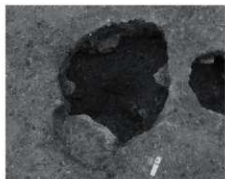
12. 108号ピット全景(南東から)



13. 109号ピット全景(南東から)



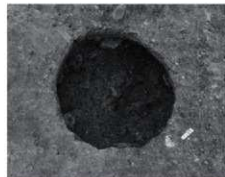
14. 110号ピット全景(南東から)



15. 111号ピット全景(南東から)



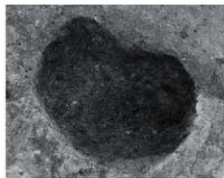
1. 112号ビット全景(南東から)



2. 113号ビット全景(南東から)



3. 114号ビット全景(南東から)



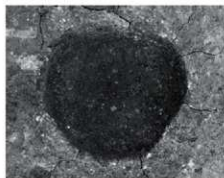
4. 115号ビット全景(南東から)



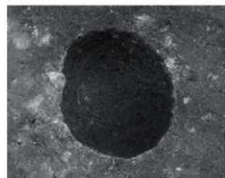
5. 130号ビット全景(南東から)



6. 186号ビット全景(南東から)



7. 203号ビット全景(南東から)



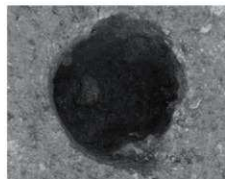
8. 204号ビット全景(南東から)



9. 205・206号ビット全景(西から)



10. 207号ビット全景(南東から)



11. 208号ビット全景(南東から)



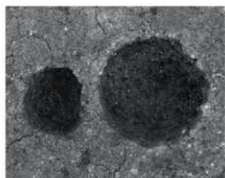
12. 209号ビット全景(南東から)



13. 210号ビット全景(南東から)



14. 211号ビット全景(南東から)



15. 212・223号ビット全景(東から)



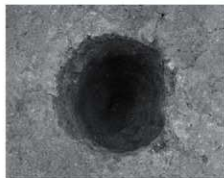
1. 214号ピット全景(南東から)



2. 216号ピット全景(南東から)



3. 217号ピット全景(南東から)



4. 218号ピット全景(南東から)



5. 219号ピット全景(南東から)



6. 220号ピット全景(南東から)



7. 400号ピット全景(南東から)



9. 7号焼土全景(南東から)



8. V区ピット群全景(南東から)



1. VI区ピット群全景(南東から)



2. 124号土坑全景(南西から)

1号復旧溝群



5号畑



8号畑



3. 1号復旧溝群、5・8号畑出土遺物

1号屋敷母屋・3号掘立柱建物



5号櫛



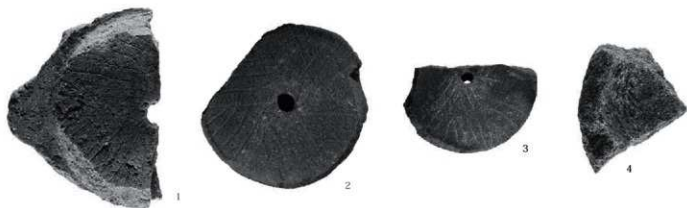
25号溝



9号溝



1号井戸

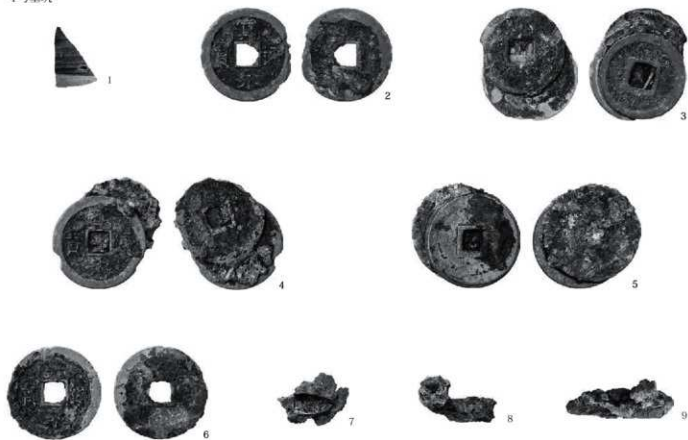


3号墓坑

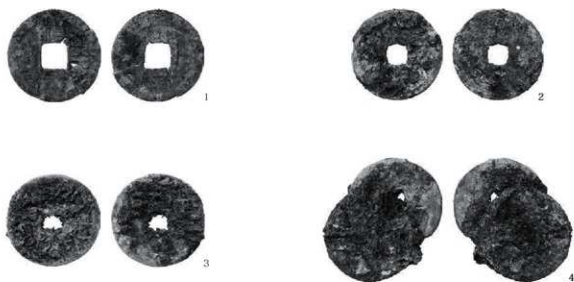


PL.30

4号墓坑



5号墓坑



86号土坑



292号ビット



462号ビット



7号焼土





遺構外出土遺物(1)



報告書抄録

書名ふりがな	ひがしみやいせきかっこよん
書名	東宮遺跡(4)
副書名	ハツ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	53
シリーズ名	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	633
編著者名	田村博
編集機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20180315
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784-2
遺跡名ふりがな	ひがしみやいせき
遺跡名	東宮遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんあがつまぐんながのはらまちおおあざかわらはた
遺跡所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑
市町村コード	10424
遺跡番号	0208
北緯(世界測地系)	363307
東経(世界測地系)	1384206
調査期間	20150601-20150630,20160401-20161231
調査面積	13,853
調査原因	ダム建設
種別	包蔵地/集落/墳墓/生産遺跡
主な時代	縄文/中近世
遺跡概要	包蔵地-縄文-土器+石器/集落-中近世-竪穴状遺構3+掘立柱建物3+柵2+道路2+溝23+石積遺構4+井戸3+土坑105+ピット743+焼土6+土器+木製品+陶磁器+金属器/墳墓-中近世-墓坑6+陶磁器+金属器/生産遺跡-近世-畑8+耕作痕群1+復旧溝群3+道路3+溝4+石積遺構5+陶磁器+金属器
特記事項	第3面(縄文時代後期)以下は、『東宮遺跡(5)』以降に掲載予定。
要約	第1面からは天明3(1783)年浅間山噴火に伴う泥流堆積物に覆われた畑など、第2面からは中近世の屋敷、溝、土坑・ピット群などが確認された。

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第633集

東宮遺跡(4)

ハツ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第53集

平成30(2018)年3月1日 印刷

平成30(2018)年3月15日 発行

編集・発行／公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北碓町下箱田1784番地2

電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／ジャーナル印刷株式会社



付図 東宮遺跡第1面(天明泥流下)全体図 (1:800)

